



ZEBRA

ZT411/ZT421

工業用プリンタ

ユーザーガイド

2022/09/01

ZEBRA および図案化された Zebra ヘッドは、Zebra Technologies Corporation の商標であり、世界各地の多数の法域で登録されています。その他のすべての商標は、該当する各所有者が権利を有しています。©2022 Zebra Technologies Corporation および/またはその関連会社。無断複写、転載を禁じます。

本書の内容は、予告なしに変更される場合があります。本書で説明するソフトウェアは、使用許諾契約または秘密保持契約に基づいて提供されます。本ソフトウェアの使用またはコピーは、これらの契約の条件に従ってのみ行うことができます。

法的事項および所有権に関する表明の詳細については、以下を参照してください。

ソフトウェア: zebra.com/linkoslegal.

著作権および商標: zebra.com/copyright.

保証: zebra.com/warranty.

エンドユーザー ソフトウェア使用許諾契約: zebra.com/eula.

使用の条件

所有権の表明

本書には、Zebra Technologies Corporation およびその子会社（「Zebra Technologies」）に所有権が属している情報が含まれています。本書は、本書に記載されている機器の操作および保守を行うユーザーに限り、情報の閲覧とその利用を目的として提供するものです。当社に所有権が属している当該情報に関しては、Zebra Technologies の書面による明示的な許可がない限り、他の目的で利用、複製、または第三者へ開示することは認められません。

製品の改善

Zebra Technologies は、会社の方針として、製品の継続的な改善を行っています。すべての仕様や設計は、予告なしに変更される場合があります。

免責条項

Zebra Technologies では、公開されているエンジニアリング仕様およびマニュアルに誤りがないように、万全の対策を講じていますが、まれに誤りが発生することがあります。Zebra Technologies は、かかる誤りを修正する権利を留保し、その誤りに起因する責任は負わないものとします。

責任の限定

業務の逸失利益、業務の中止、業務情報の損失などを含めて、またはこれらに限定することなく、当該製品の使用、使用の結果、またはその使用不能により派生した損害に関しては、いかなる場合でも、Zebra Technologies、あるいは同梱製品（ハードウェアおよびソフトウェアを含む）の開発、製造、または納入に関与したあらゆる当事者は、損害賠償責任を一切負わないものとします。さらにこれらの損害の可能性を事前に指摘されていた場合でも、損害賠償責任を一切負わないものとします。一部の法域では、付随的または派生的損害の除外または制限が認められないため、上記の制限または除外はお客様に適用されないことがあります。

目次

このガイドについて.....	7
表記規則.....	7
アイコン表記.....	7
プリンタのセットアップ.....	9
プリンタの設置場所の選択.....	9
消耗品および付属品の注文.....	10
用紙.....	10
リボン.....	10
製品ボックスの内容物の点検.....	12
プリンタをデバイスに接続.....	14
携帯電話またはタブレットへの接続.....	14
ドライバのインストールと Windows ベースのコンピュータとの接続.....	14
プリンタの USB ポートを使用したコンピュータ接続.....	20
プリンタのイーサネット ポートからネットワークに接続する.....	22
無線ネットワークへのプリンタ接続.....	24
最初にプリンタ ドライバをインストールしなかった場合の対処方法.....	25
ラベル コレクション方式の決定.....	28
用紙の装着.....	31
プリンタへの用紙の挿入.....	31
切り取りモードの使用.....	35
剥離モードの使用 (ライナー巻き取り付き/なし).....	39
巻き取りモードの使用.....	50
カッター モードまたは遅延カット モードの使用.....	58
使用するリボンのタイプの決定.....	62

使用できるリボンのタイプは?.....	62
粘着性テストの実行.....	62
リボンのスクラッチ テストの実行.....	62
リボンのセット.....	63
印刷ウィザードの実行とテスト ラベルの印刷.....	67
印字品質アシスタント ウィザードの使用.....	69
ラベル デザイン ソフトウェアのインストール.....	70
ZebraDesigner のシステム要件.....	70
プリントの設定と調整.....	72
ホーム画面.....	72
プリント設定の変更.....	73
Windows ドライバによるプリント設定の変更.....	74
プリント ウィザード.....	75
ユーザー メニュー.....	75
リボン センサーと用紙センサーのキャリブレート.....	119
自動キャリブレートの実行.....	120
手動によるセンサー キャリブレートの実行.....	120
印字ヘッド圧力の調整.....	121
センサー位置の調整.....	125
定期的なメンテナンス.....	127
クリーニングのスケジュールと手順.....	127
外装、用紙コンパートメント、およびセンサーのクリーニング.....	129
印字ヘッドとプラテン ローラーのクリーニング.....	130
カッター モジュールのクリーニングおよび潤滑油の塗布.....	133
使用済みリボンの取り外し.....	139
プリント コンポーネントの交換.....	140
交換部品の注文.....	140
プリント コンポーネントのリサイクル.....	140
プリントの保管.....	140
潤滑油.....	141

目次

診断とトラブルシューティング.....	142
バーコード品質の評価.....	143
設定ラベル.....	145
PAUSE (一時停止) セルフ テスト.....	146
センサー プロフィール.....	147
通信診断モードの使用.....	148
デフォルトの読み込みまたは最終保存値の読み込み.....	149
アラートとエラー状態.....	150
アラートとエラー メッセージ.....	151
インジケータ ライト.....	156
トラブルシューティング.....	159
印刷または印刷品質の問題.....	159
リボンの問題.....	163
RFID の問題.....	166
通信の問題.....	169
その他の問題.....	170
プリンタの修理.....	173
プリンタの輸送.....	173
 USB ホスト ポートと Print Touch 機能の使用.....	174
演習に必要なアイテム.....	174
演習を完了するためのファイル.....	175
USB ホスト.....	177
演習 1: ファイルを USB フラッシュ ドライブにコピーし、USB ミラーを実行する.....	177
演習 2: USB フラッシュ ドライブからラベル フォーマットを印刷する.....	178
演習 3: ファイルを USB フラッシュ ドライブにコピーまたは、USB フラッシュ ドライブからコピーする.....	179
演習 4: 保存したファイルに USB キーボードでデータを入力し、ラベルを印刷する.....	181
Print Touch/近距離無線通信 (NFC).....	182
演習 5: 保存したファイルにデバイスでデータを入力し、ラベルを印刷する.....	183
 仕様.....	184

目次

一般仕様.....	184
電源仕様.....	185
電源コードの仕様.....	185
通信インターフェースの仕様.....	187
標準接続.....	188
オプションの接続.....	190
ワイヤレス仕様.....	191
印刷仕様.....	192
用紙仕様.....	194
リボン仕様.....	195
 用語集.....	196

このガイドについて

本書は、ZT411/ZT421 プリンタの定期的なメンテナンス、アップグレード、または問題のトラブルシューティングを必要とする読者を対象としています。

表記規則

本書では、次の表記規則を使用しています。

- **太字**は、次の項目の強調に使用します。
 - ダイアログボックス、ウィンドウ、画面の名前
 - ドロップダウンリスト名、リストボックス名
 - チェックボックスおよびラジオボタン名
 - 画面上のアイコン
 - キーパッド上のキー名
 - 画面上のボタン名
- 中黒(・)は、次を示します。
 - 実行する操作
 - 代替方法の一覧
 - 実行する必要はあるが、任意の順番で実行できる手順のリスト
- 順番どおりに実行する必要のある手順(たとえば、順を追った手順)は、番号付きのリストで示されます。

アイコン表記

このドキュメントセットは、視覚的にわかりやすくする工夫が施されています。ドキュメントセット全体を通じて、次のビジュアルインジケータが使用されています。



注: ここに記載されているテキストは、ユーザーが知っておくべき補足情報であり、タスクを完了するために必要ではない情報が記載されています。



重要: ここに記載の内容は、ユーザーが知っておくべき重要な情報です。



注意—目のけが: プリンタ内部のクリーニングなど特定の作業を行う場合は、保護眼鏡を着用してください。



注意—製品の損傷：不適切に使用した場合、本製品が損傷するおそれがあります。



注意：記載されている注意事項を守らない場合、ユーザーが軽度または中程度の傷害を負う可能性があります。



注意—熱い表面：この部分に触ると、火傷を負う危険性があります。



注意—ESD：回路基板や印刷ヘッドなど、静電気に敏感なコンポーネントを取り扱うときは、静電気に対する適切な安全対策を講じてください。



注意—電気ショック：感電の危険性を回避するため、このタスクまたはタスク手順を実施する前に、デバイスの電源をオフ (O) にし、電源を切ってください。



警告：感電の危険性を回避しない場合、ユーザーが重傷を負うか、死亡するおそれがあります。



危険：危険を回避しない場合、ユーザーが重傷を負うか、死亡するおそれがあります。

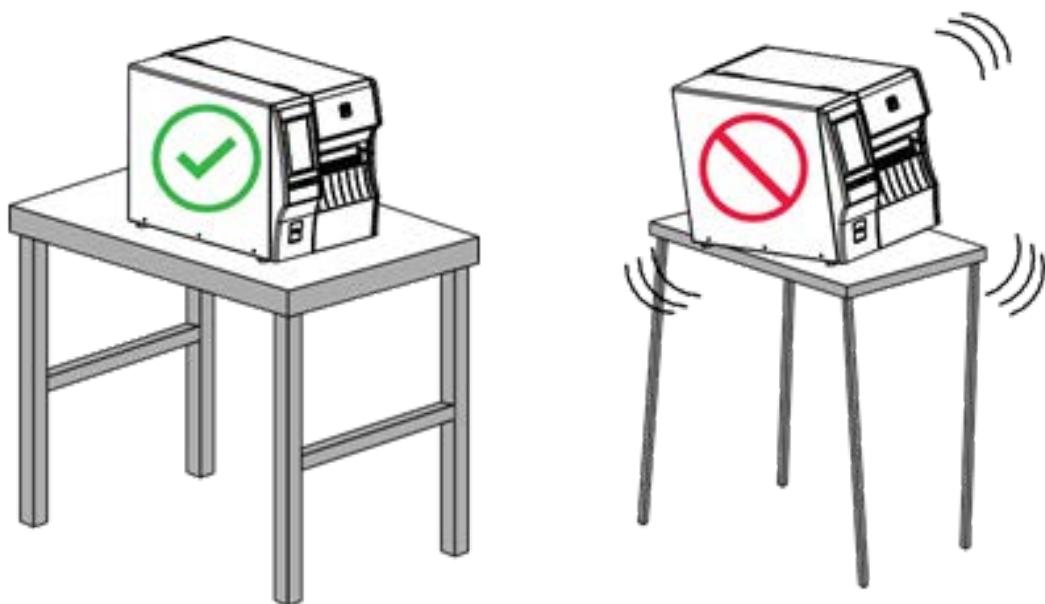
プリンタのセットアップ

このセクションでは、プリンタの初期設定と操作についてユーザーに役立つ情報を提供します。

プリンタの設置場所の選択

以下の条件を満たすようにプリンタの設置位置を決めます。

- 設置面 - プリンタの設置面はプリンタを保持するのに十分な広さと強度があるしっかりした平らな面であること。



- スペース - プリンタを設置する場所は、十分な換気が可能で、プリンタのコンポーネントやコネクタを容易に取り扱えるだけのスペースがあること。適切な換気と冷却ができるように、プリンタの周囲には空間を設けてください。



注意: プリンタの背後やプリンタの下には詰め物やクッションなどの材料を置かないでください。それによって空気の流れが遮断され、プリンタが過熱するおそれがあります。

- 電源 - プリンタはコードの抜き差しを容易に行える場所にある電源コンセントの近くであること。
- データ通信インターフェース - プリンタは WLAN 無線(該当する場合)の範囲内、または他のコネクタがデータ ソース(通常はコンピュータ)にアクセスできる許容可能な範囲内にあること。最大ケーブル長と設定の詳細については、[通信インターフェースの仕様](#)(187ページ)を参照してください。
- 動作条件 - ご使用のプリンタは、倉庫や生産現場を含め、幅広い環境および電気条件で動作するよう設計されています。次の表は、プリンタの動作中に求められる温度と相対湿度の要件を示したものです。

表1 動作時の温度および湿度

モード	温度	相対湿度
熱転写	5°~40°C (40°~104°F)	20 ~ 85% (結露なきこと)
ダイレクトサーマル	0°~40°C (32°~104°F)	

消耗品および付属品の注文

以下は必要な品目ですが、プリンタには付属していません。

- USB 以外の通信/ネットワークケーブル(シリアル、有線イーサネットなど)
- 用紙
- リボン(プリンタに熱転写オプションがある場合)

用紙

選択する用紙の種類とサイズは、プリンタにインストールされているオプションに適している必要があります([ラベルコレクション方式の決定](#)(28ページ)を参照)。ラベルの長さの最小値やその他の重要な考慮事項については、プリンタの用紙仕様を参照してください。

製品ライン全体で最適な印刷品質と適切なプリンタパフォーマンスを得るために、ZebraではZebra認定サプライ品をトータルソリューションの一部として使用することを強くお勧めします。プリンタの印刷能力を向上させ、印字ヘッドを長持ちさせるために、特別設計の紙製、ポリプロピレン製、ポリエスチル製、およびビニール製の用紙が広範に用意されています。消耗品の購入については、zebra.com/suppliesをご覧ください。

[用語集](#)には、黒マーク用紙、ギャップ/切れ込み用紙、RFID用紙、折り畳み用紙、ロール用紙など、用紙に関する用語が記載されています。これらの用語を使用すると、ニーズに適した用紙タイプを簡単に判別できます。

リボン



注: このセクションは、熱転写オプションが装着されたプリンタのみに適用されます。

リボンを使う必要がありますか?	リボンを使用する必要があるかどうかは、用紙によって異なります。 <ul style="list-style-type: none"> 熱転写用紙 - リボンが必要です。 感熱用紙 - リボンは必要ありません。
-----------------	--

プリンタのセットアップ

感熱用紙か熱転写用紙かを確認するには? (定義については、 ダイレクトサーマル (198ページ) より び 熱転写 (204ページ) を参照)。	確認する最も簡単な方法は用紙の表面を指の爪でさっと擦ってみることです。擦ったところに黒いマークが現れれば、用紙は感熱用紙です。リボンを使用する必要はありません。
使用できるリボンのタイプは?	このプリンタでは、コーティング面が外側になっているリボンのみを使用できます。ただし、オプションのスピンドルを購入し装着された場合は、コーティング面が内側になっているリボンも使用可能です。注文情報については、Zebra 公認の代理店にお問合せください。
リボンのコーティング面を確認するには?	次の 2 つの方法のいずれかを使用して、コーティングされた側を識別します。 <ul style="list-style-type: none">• 方法 1: 粘着性テスト<ol style="list-style-type: none">1. ラベルの粘着面の端をリボンロールの外側の表面に押し付けます。2. ラベルをリボンから剥がします。インクの粒子がラベルに付着する場合は、ロールの外側がコーティングされています。どちらの面がコーティングされているかを確認するには、必要に応じて、内側の表面で上記のテストを繰り返します。• 方法 2: リボンのスクラッチ テスト<ol style="list-style-type: none">1. リボンをロールから少し引き出し、外側の面を用紙に当てます。2. リボンの内側を指の爪でこります。3. リボンを用紙から外し、用紙のマークを確認します。用紙にリボンの跡が付いている場合は、外側がコーティングされています。

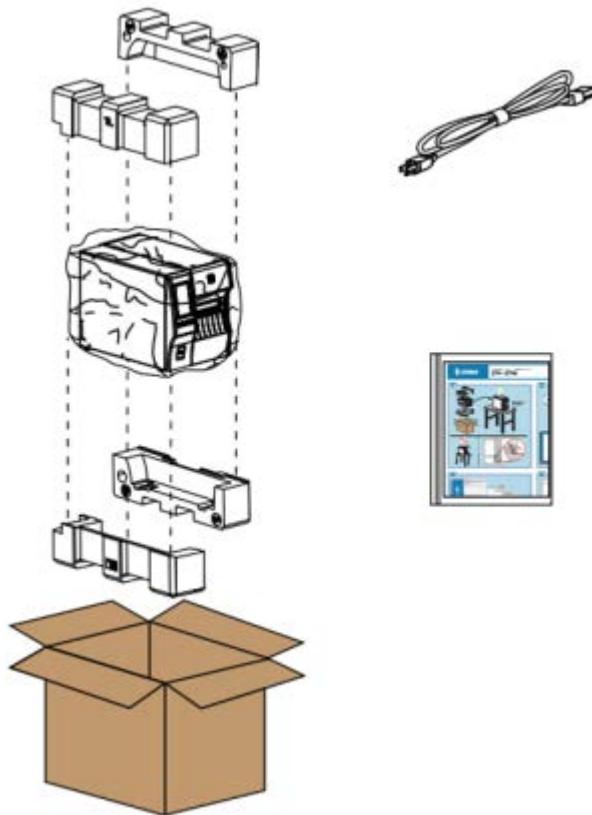
製品ボックスの内容物の点検

プリンタの製品ボックスに、設定に必要なすべての項目が含まれていることを確認します。



重要: Zebra Technologies では、機器の輸送中に発生した損傷に対しては責任を負わず、保証内の修理も行いません。

1. プリンタを箱から慎重に取り出し、製品ボックスにプリンタとともに以下の付属品が同梱されていることを確認してください。



プリンタと一緒に注文されたオプションによっては、別の品目が同梱される場合があります。

2. 何らかの品目が不足している場合は、最寄の正規 Zebra 販売代理店にお知らせください。
3. すぐにプリンタを開梱し、輸送中の損傷がないか調べます。
 - ・ 梱包材はすべて保管しておきます。
 - ・ すべての外装表面を調べ、損傷がないことを確認します。
 - ・ 用紙アクセス用ドアを上げ、用紙セット部のコンポーネントに損傷がないかどうか点検します。
4. 点検を行って、輸送中に発生した損傷が見つかった場合:
 - ・ ただちに運送会社に通知し、損害報告を提出します。
 - ・ 運送会社の調査に備えて、梱包材料はすべて保管しておきます。
 - ・ 最寄りの正規 Zebra 販売代理店に通知します。

プリンタのセットアップ

- お買い上げのプリンタには、用紙アクセス用ドアの透明なウィンドウを覆うプラスチックフィルムなど、輸送時用の保護材がいくつか付いています。プリンタを操作する前に、これらの保護材を取り外してください。

プリンタをデバイスに接続

プリンタをセットアップしたら、プリンタをデバイス（コンピュータ、電話、タブレットなど）に接続する準備ができます。

携帯電話またはタブレットへの接続

ご使用のデバイスに無料の Zebra プリンタ セットアップ ユーティリティ アプリをダウンロードします。

- [Android デバイス](#)
- [Apple デバイス](#)

アプリケーションは、次のタイプの接続をサポートしています。

- Bluetooth クラシック
- Bluetooth Low Energy (Bluetooth LE)
- 有線/イーサネット
- 無線
- USB On-The-Go

これらのプリンタ セットアップ ユーティリティのユーザー ガイドについては、[zebra.com/setup](#) にアクセスしてください。

ドライバのインストールと Windows ベースのコンピュータとの接続

Microsoft Windows ベースのコンピュータでプリンタを使用するには、最初に正しいドライバをインストールする必要があります。



重要： プリンタをコンピュータに接続するには、使用可能な接続のどれでも使用できます。ただし、指示があるまでは、コンピュータからプリンタにケーブルを接続しないでください。接続のタイミングを間違えると、正しいプリンタ ドライバがインストールされません。誤ったドライバのインストールから回復するには、[最初にプリンタ ドライバをインストールしなかった場合の対処方法](#) (25ページ) を参照してください。

ドライバのインストール

次の手順に従い、正しいドライバをインストールします。

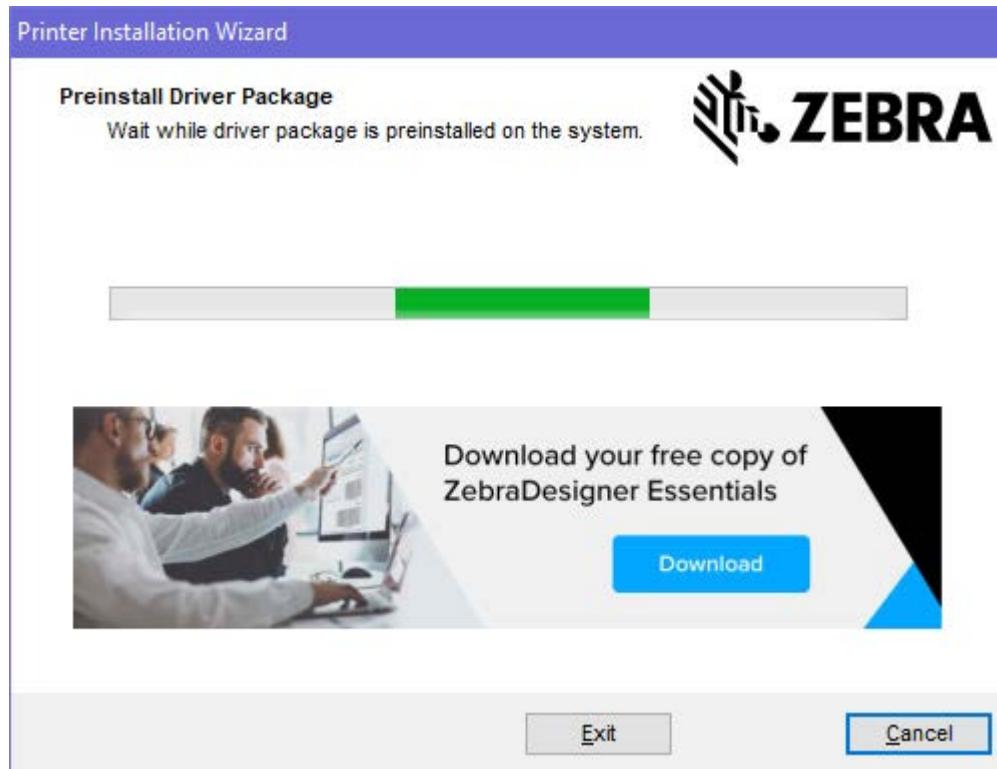
1. [zebra.com/drivers](#) に移動します。
2. [プリンタ] をクリックします。
3. プリンタ モデルを選択します。
4. プリンタの製品ページで、[ドライバ] をクリックします。
5. Windows 用の適切なドライバをダウンロードします。

ドライバの実行可能ファイル (zd86423827-certified.exe など) が、[ダウンロード] フォルダに追加されます。

プリンタのセットアップ

6. その実行可能ファイルを実行し、プロンプトに従います。

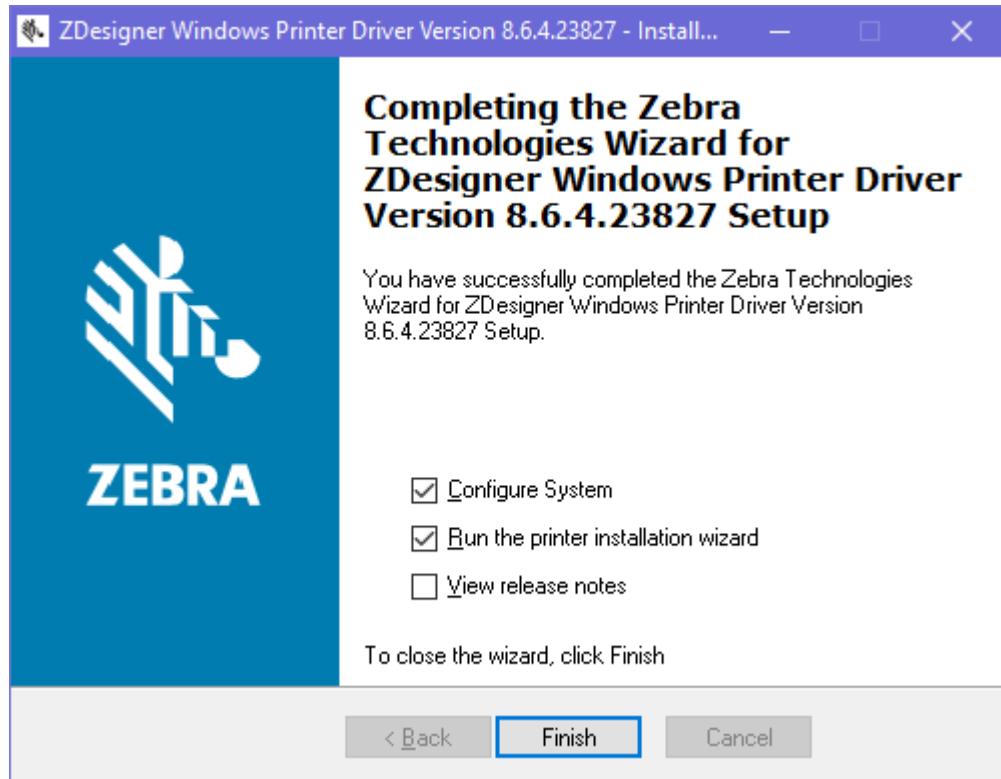
セットアップが完了したら、システムにすべてのドライバを追加するか ([**システムの設定**])、特定のプリンタを追加/設定するかを選択できます ([プリンタのインストール ウィザードの実行](#) (17ページ) を参照)。



プリンタのセットアップ

7. [システムの設定] を選択し、[完了] をクリックします。

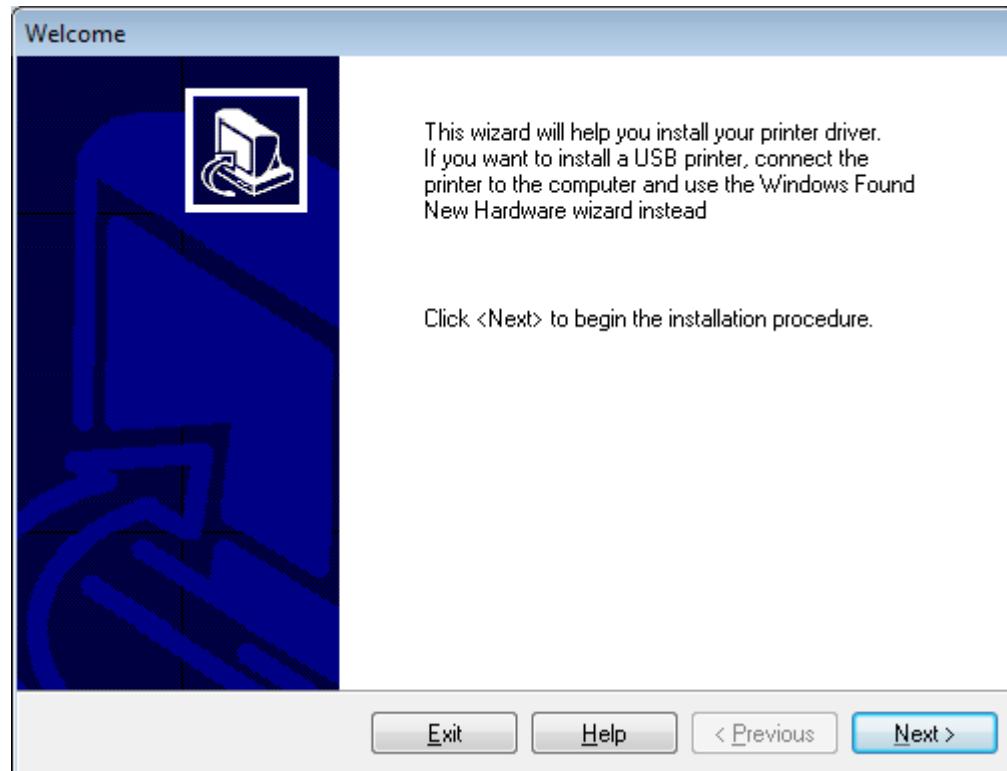
プリンタのインストール ウィザードによってドライバがインストールされます。



プリンタのインストール ウィザードの実行

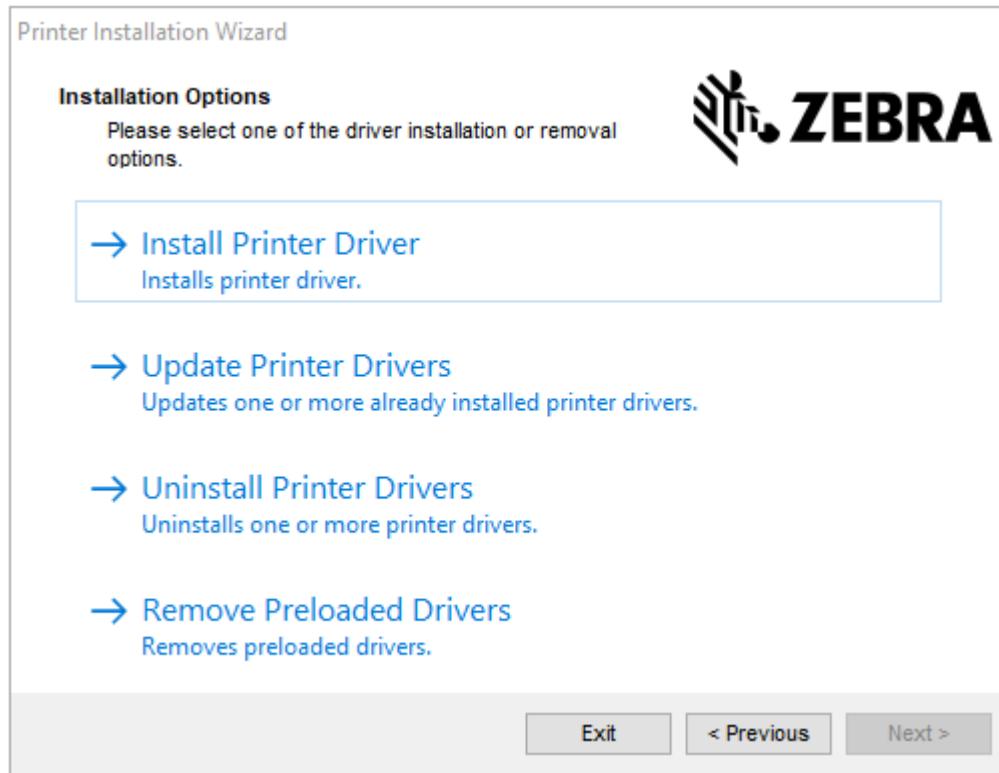
- ドライバインストーラの最後の画面で、[Run the Printer Installation Wizard] (プリンタのインストール ウィザードを実行する) チェックボックスをオンのままにして、[Finish] (完了) をクリックします。

プリンタのインストール ウィザードが表示されます。



プリンタのセットアップ

2. [Next] (次へ) をクリックします。

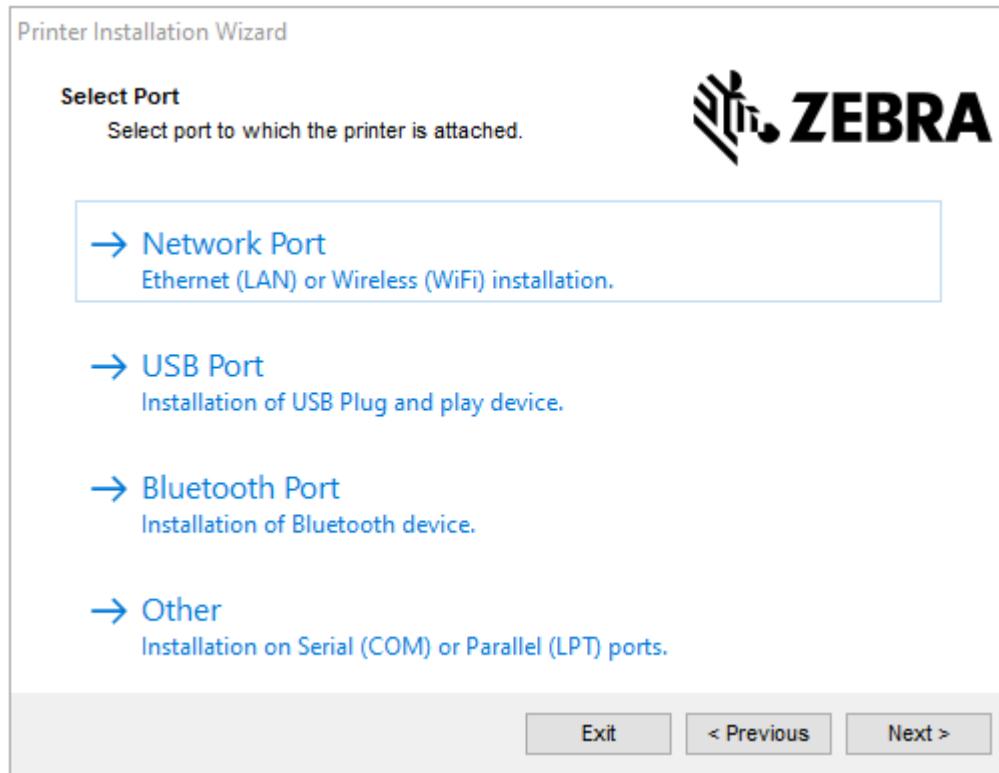


3. [Install Printer Driver] (プリンタ ドライバのインストール) をクリックします。



プリンタのセットアップ

4. 使用許諾契約の条項を読んで同意したら、[Next] (次へ) をクリックします。



5. プリンタに設定する通信オプションを選択します。

- ネットワークポート - Ethernet (LAN) またはワイヤレス (Wi-Fi) ネットワーク接続を使用してプリンタをインストールする場合に使用します。ドライバがローカルネットワークをスキャンしてデバイスを検出するまで待機して、画面の指示に従います。必要に応じて、[プリンタのイーサネットポートからネットワークに接続する](#) (22ページ) または[無線ネットワークへのプリンタ接続](#) (24ページ) の指示に従って値を設定します。
- USBポート - USB ケーブル接続のプリンタをインストールする場合に使用します。プリンタをコンピュータに接続します ([プリンタのUSBポートを使用したコンピュータ接続](#) (20ページ) を参照)。プリンタがすでに接続されていて電源が入っている場合は、USB ケーブルを取り外してから、もう一度インストールする必要があります。ドライバは、接続されているプリンタのモデルを自動的に検索します。
- Bluetoothポート - Bluetooth 接続でプリンタをインストールする場合に使用します。このプリンタには適用されません。
- その他 - パラレル (LPT) やシリアル (COM) などの別の種類のケーブルでインストールする場合に使用します。これ以外の設定は不要です。

プリンタのセットアップ

6. プロンプトが表示された場合は、プリンタのモデルと解像度を選択します。

モデルと解像度はプリンタの部品番号ステッカーに記載されています。このステッカーは通常、用紙ハンガーの下に貼られています。情報の形式は以下のとおりです。

Part Number: XXXXXxY - xxxxxxxxx

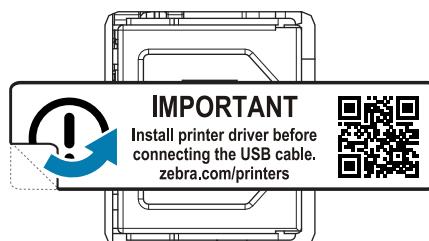
ここで、

XXXXX = プリンタ モデル、Y = プリンタ解像度 (2 = 203dpi、3 = 300dpi、6 = 600dpi)。

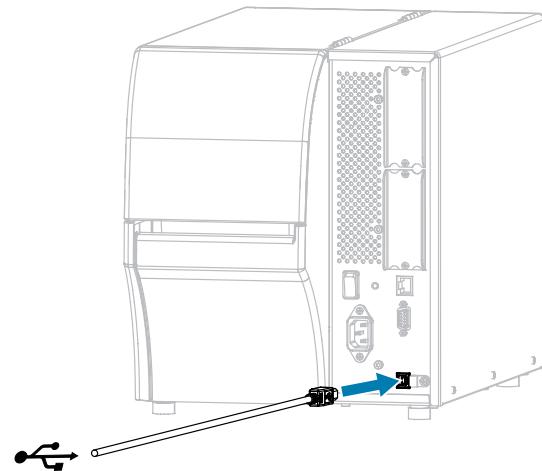
たとえば、部品番号 ZT411x3 - xxxxxxxxx の場合、ZT411 はプリンタが ZT411 モデルであることを示し、3 は印字ヘッドの解像度が 300dpi であることを示します。

プリンタの USB ポートを使用したコンピュータ接続

1. ドライバをインストールしたら、USB ポートを覆っているラベルを外します。



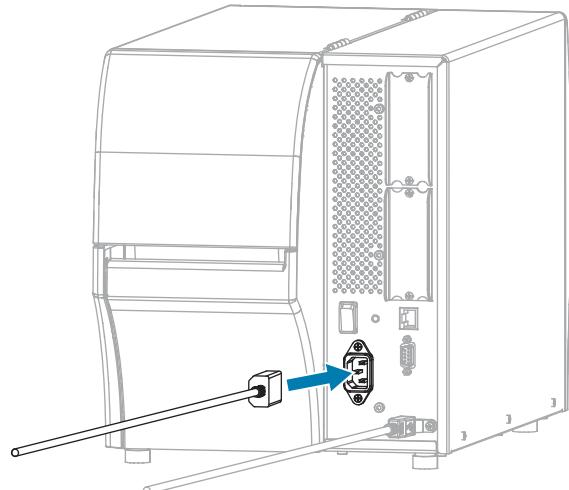
2. USB コードをプリンタの USB ポートに接続します。



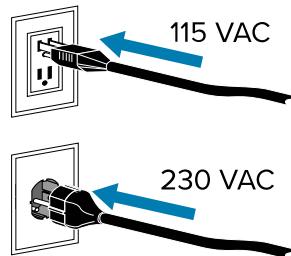
3. USB コードのもう一端をコンピュータに接続します。

プリンタのセットアップ

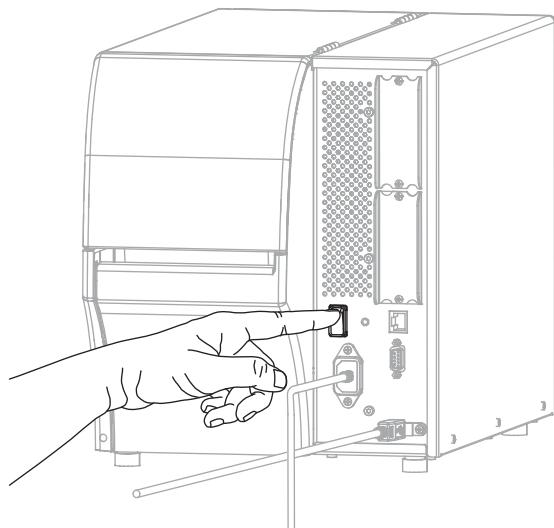
4. AC 電源コードをプリンタ背面の AC 電源コネクタに接続します。



5. AC 電源コードを適切な電源コンセントに差し込みます。



6. プリンタをオン (I) にします。



プリンタのブートアップ時に、ドライバがインストールされ、プリンタが認識されます。

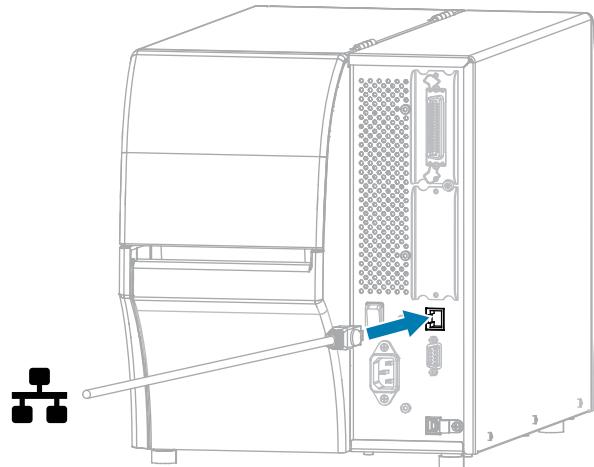
最初にドライバをインストールしなかった場合は、[最初にプリンタ ドライバをインストールしなかった場合の対処方法](#) (25ページ) を参照してください。

プリンタのイーサネット ポートからネットワークに接続する

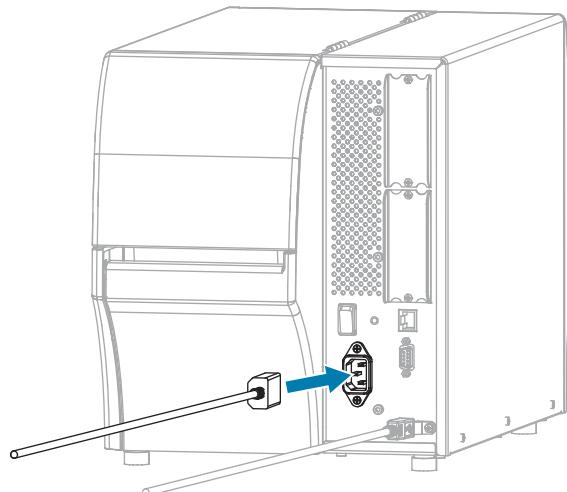
有線プリントサーバー(イーサネット)接続を使用するには、ローカルエリアネットワーク(VLAN)と通信するようにプリンタを設定する必要があります。

Zebra プリントサーバーの詳細については、『ZebraNet 有線プリントサーバーおよびワイヤレスプリントサーバーユーザーガイド』を参照してください。このガイドの最新版は、zebra.com/manualsでダウンロードできます。

1. ドライバをインストールしたら(ドライバのインストール(14ページ)を参照)、ネットワークに接続するイーサネットケーブルに、プリンタを接続します。

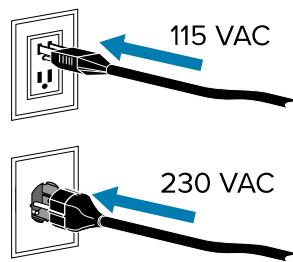


2. AC 電源コードをプリンタ背面の AC 電源コネクタに接続します。

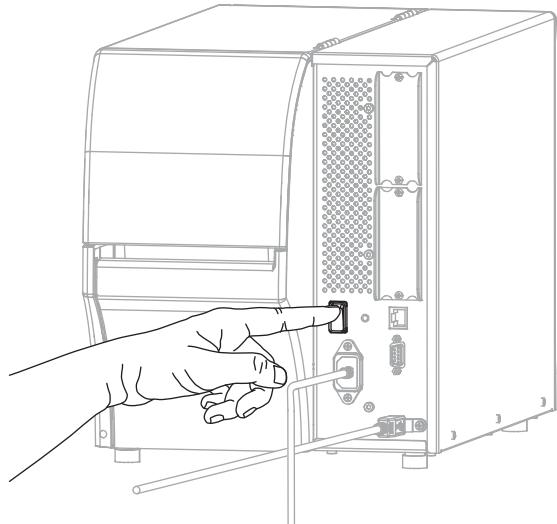


プリンタのセットアップ

3. AC 電源コードを適切な電源コンセントに差し込みます。



4. プリンタをオン (I) にします。



プリンタがネットワークとの通信を試行します。成功した場合は、LAN のゲートウェイとサブネットの値と、IP アドレスが取得されます。

プリンタのセットアップ

5. ホーム画面で、[プリンタ情報] タブをタッチします。ディスプレイをチェックして、プリンタに IP アドレスが割り当てられたかどうか確認します。

プリンタの IP アドレス:	操作
0.0.0.0 または 000,000,000,000	<p>ネットワーク ランプが消灯しているか、赤色に点灯しています(詳細については、インジケータ ライト (156ページ) を参照)。</p> <p>a. プリンタの背面にあるイーサネット コネクタを確認します。点灯または点滅しているランプがない場合、イーサネット接続はアクティブではありません。コードの両端が正しく接続されていること、および接続しているネットワーク ポートがアクティブであることを確認します。この問題が解決すると、プリンタは自動的に接続されます。</p> <p>b. 必要に応じて、次のプリンタ設定を行い、静的 IP アドレスを設定し、ネットワークをリセットします。ご使用のネットワークの正しい値については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none">• [接続] > [有線] > [有線 IP プロトコル] - 値を [すべて] から [確定] に変更します。• [接続] > [有線] > [有線ゲートウェイ] - LAN のゲートウェイ値に一致します。• [接続] > [有線] > [有線サブネット] - LAN のサブネット値に一致します。• [接続] > [有線] > [有線 IP アドレス] - 一意の IP アドレスをプリンタに割り当てます。• IP アドレス (有線または WLAN) - 一意の IP アドレスをプリンタに割り当てます。
その他の任意の値	接続に成功しました。ネットワーク ランプは、ネットワークにより、緑色または黄色に点灯します(詳細については、 インジケータ ライト (156ページ) を参照)。

6. ネットワーク設定で行った変更内容を反映させるには、ネットワークをリセットします ([\[接続\] > \[ネットワーク\]](#) を参照)。

無線ネットワークへのプリンタ接続

プリンタのオプションのワイヤレス プリント サーバーを使用する場合は、ワイヤレス プリント サーバーを介して無線ローカルエリアネットワーク (WLAN) と通信するようにプリンタを設定する必要になる場合があります。

Zebra プリント サーバーの詳細については、『ZebraNet 有線プリント サーバーおよびワイヤレス プリント サーバー ユーザー ガイド』を参照してください。このガイドの最新版は、zebra.com/manuals でダウンロードできます。

1. [ドライバのインストールと Windows ベースのコンピュータとの接続](#) (14ページ) の手順に従って、ドライバをインストールします。
2. 必要に応じて、ワイヤレス ルーターが使用する値と一致する ESSID 値を指定します。使用する ESSID 値については、ネットワーク管理者に確認してください。値を変更する方法については、[\[接続\] > \[ネットワーク\] > \[ESSID\]](#) を参照してください。

3. 必要な場合は、以下のプリンタ設定を行います。ご使用のネットワークの正しい値については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
 - [接続] > [WLAN] > [WLAN ゲートウェイ] - WLAN のゲートウェイ値に一致します。
 - [接続] > [WLAN] > [WLAN サブネット] - WLAN のサブネット値に一致します。
4. ネットワーク設定で行った変更内容を反映させるには、ネットワークをリセットします ([接続] > [ネットワーク] を参照)。
5. それでもプリンタが接続されない場合は、次の追加設定を行って静的 IP アドレスを設定することを検討してから、ネットワークを再度リセットしてください。ご使用のネットワークの正しい値については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
 - [接続] > [WLAN] > [WLAN IP プロトコル] - 値を [すべて] から [確定] に変更します。
 - [接続] > [WLAN] > [WLAN IP アドレス] - 一意の IP アドレスをプリンタに割り当てます。

最初にプリンタ ドライバをインストールしなかった場合の対処方法

ドライバをインストールする前に Zebra プリンタを接続すると、そのプリンタは [不明なデバイス] として表示されます。

1. [ドライバのインストールと Windows ベースのコンピュータとの接続](#) (14ページ) の説明に従って、ドライバをダウンロードしてインストールします。
2. [Windows] メニューから [コントロールパネル] を開きます。
3. [デバイスとプリンタ] をクリックします。

この例では、MZ320 が正しくインストールされていない Zebra プリンタです。



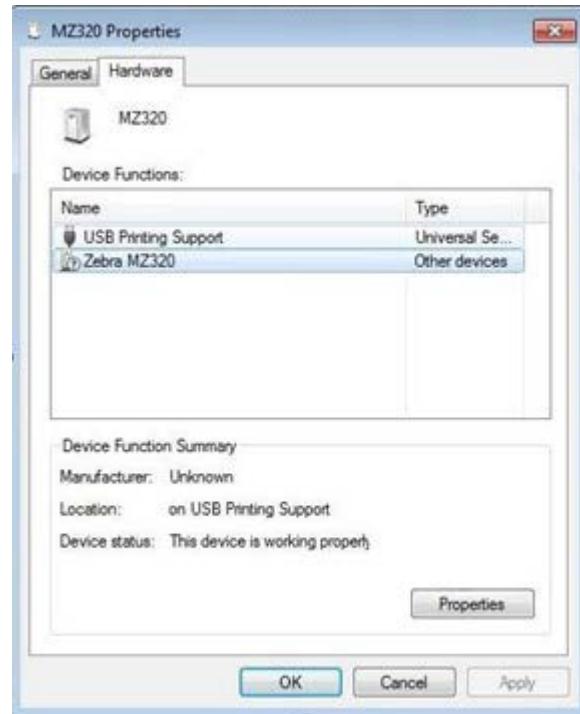
プリンタのセットアップ

4. デバイスを右クリックして、[プロパティ] を選択します。

デバイスのプロパティが表示されます。

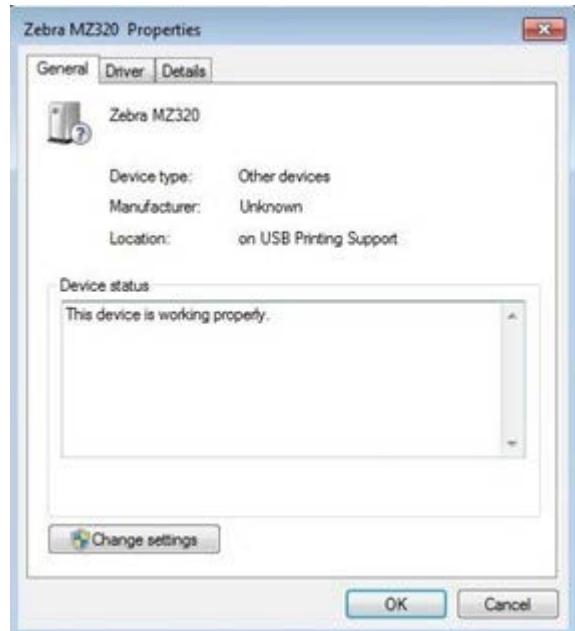


5. [ハードウェア] タブをクリックします。



プリンタのセットアップ

6. [デバイスの機能] リストで Zebra プリンタを選択し、[プロパティ] をクリックします。
プロパティが表示されます。

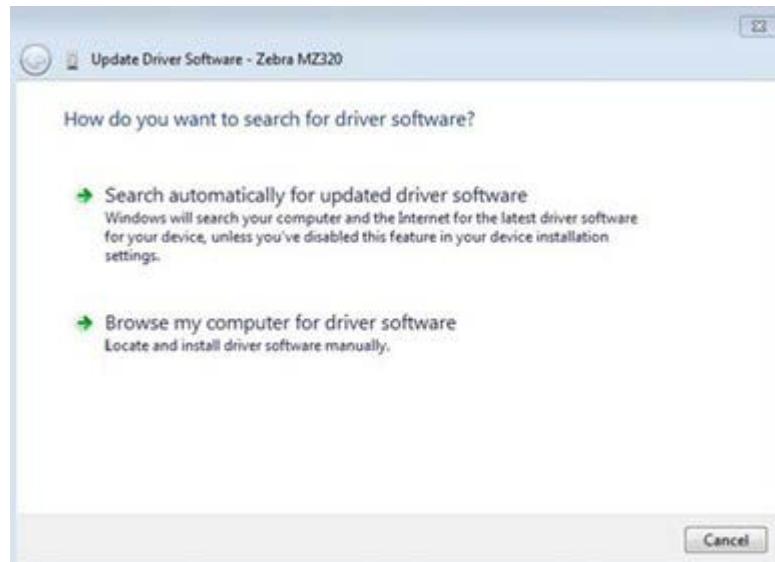


7. [設定の変更] をクリックし、[ドライバ] タブをクリックします。



プリンタのセットアップ

8. [ドライバの更新] をクリックします。



9. [コンピュータを参照してドライバを検索] をクリックします。

10. [参照...] をクリックして、[ダウンロード] フォルダに移動します。

11. [OK] をクリックして、フォルダを選択します。



12. [Next] (次へ) をクリックします。

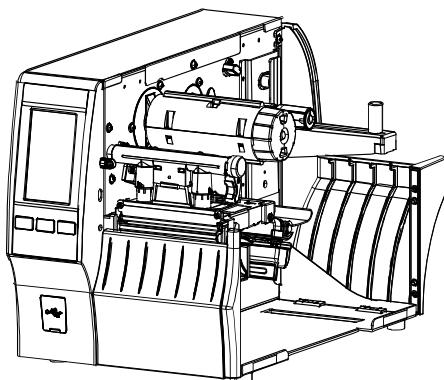
デバイスが正しいドライバを使用するようにアップデートされます。

ラベルコレクション方式の決定

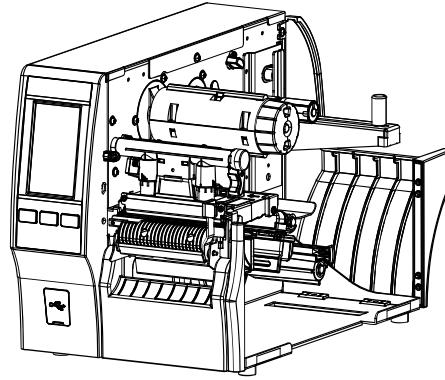
用紙をセットする前に、使用している用紙と使用可能なプリンタ オプションに一致するラベルコレクション方式を決定します。

プリンタのセットアップ

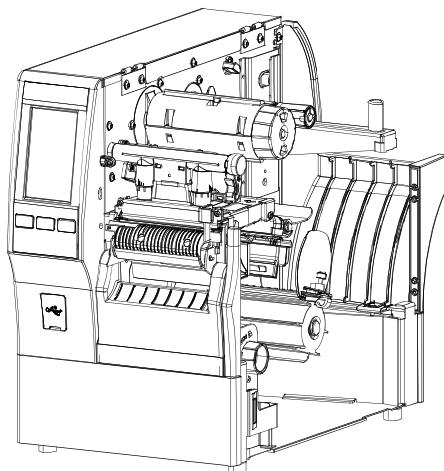
図1 プリンタ オプション



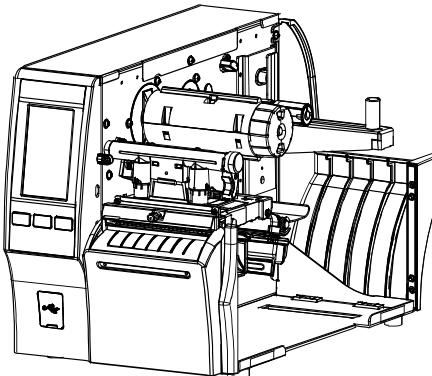
1



2



3



4

1	切り取り (標準)	2	ライナー巻き取り付き剥離オプション
3	巻き取りオプション	4	カッター オプション

表2 用紙コレクション方式およびプリンタ オプション

方法	必須のプリンタ オプション	説明
切り取り	任意のプリンタ オプションおよびほとんどの用紙タイプで使用できます。	プリンタは、ラベルフォーマットを受信すると、そのフォーマットを印刷します。プリンタのオペレータは、プリンタの停止時に印刷されたラベルを切り取ることができます。
剥離	剥離、ライナー巻き取り、巻き取りオプション	プリンタは、印刷中に台紙からラベルを剥離し、ラベルが取り除かれるまで一時停止します。空の台紙はプリンタの前部から取り出すことができます。または、ライナー巻き取りスピンドルまたは巻き取りスピンドルに巻き取られます。

プリンタのセットアップ

表2 用紙コレクション方式およびプリンタ オプション (Continued)

方法	必須のプリンタオプション	説明
巻き取り	巻き取りオプション	プリンタは、ラベル間で一時停止せずに印刷します。用紙は印刷後、芯に巻かれます。巻き取りプレートは、ラベルが台紙から剥がれないようにするために使用されます。
カッター	カッター オプション	プリンタはラベルが1枚印刷されるたびに、ラベルとラベルの間を切断します。
遅延カット	カッター オプション	プリンタは遅延カット ZPL コマンド (~JK) を待機してから、最後に印刷されたラベルを切り離します。
アプリケータ	アプリケータ ポートの接続が必要です。このモードはラベルを貼り付ける機械とともに使用します。	プリンタはアプリケータから信号を受け取ると、印刷を行います。アプリケータインターフェースの詳細について、認定サービス技術者は、メンテナンス マニュアルの上級ユーザー向け情報セクションを参照してください。



注：[台紙なし剥離]、[台紙なし巻き取り]、[台紙なし切り取り]、[台紙なしカット]、[台紙なし遅延カット] は、後で使用するために予約されているオプションです。

1. ホーム画面で、[メニュー] > [印刷] > [ラベル位置] > [コレクション方式] の順にタッチします。



2. 使用する用紙および使用可能なプリンタ オプションに一致する方式を選択してください。
3. [ホーム] アイコンをタッチしてホーム画面に戻ります。

次もご参考ください
用紙

用紙の装着

いずれのコレクション方式であっても、ロール用紙または折り畳み用紙の装着については、このセクションの説明に従ってください。



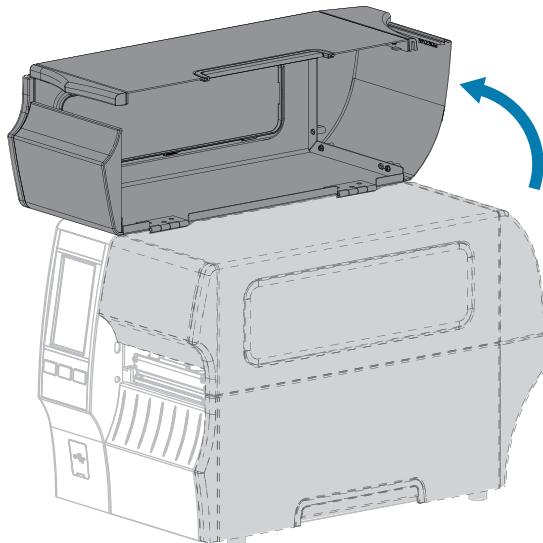
重要: 印字ヘッドが開いている近くで作業をする際、プリンタの電源は必ずしも切る必要はありませんが、Zebraでは、万一に備えて電源をオフにすることを推奨します。電源を切ると、ラベルフォーマットなどの一時設定はすべて失われるため、印刷を再開する前に再度読み込む必要があります。



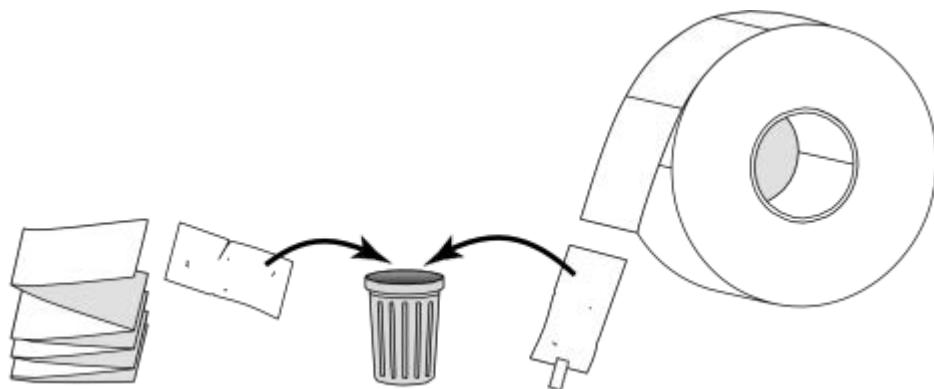
注: ロール用紙と折り畳み用紙の用紙経路は同じです。

プリンタへの用紙の挿入

- 用紙アクセス用ドアを開きます。

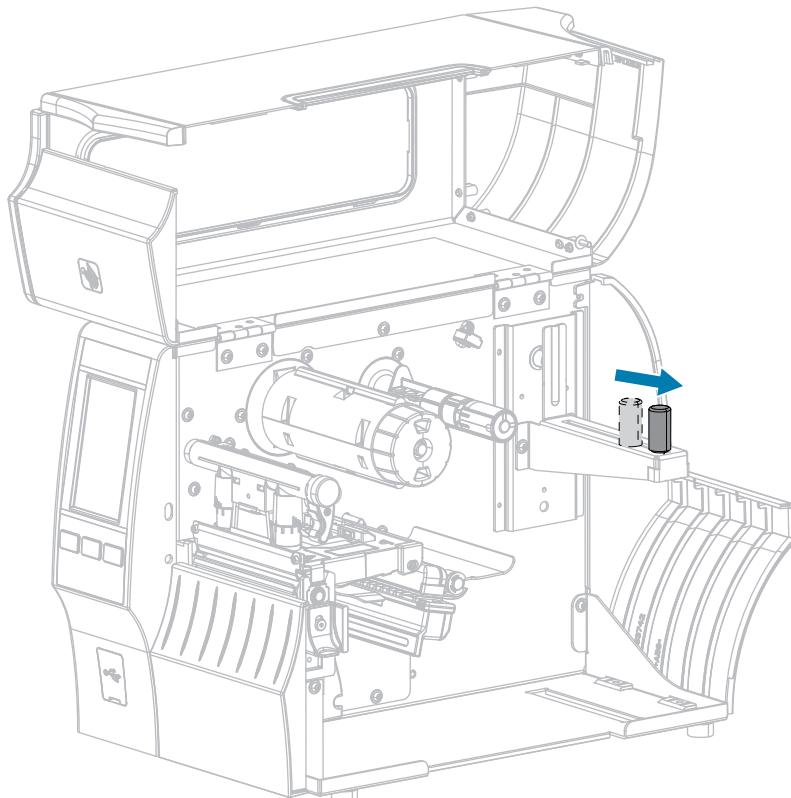


- 破れや汚れのあるタグやラベル、接着剤やテープでくっついたタグやラベルをすべて取り除いて廃棄します。



プリンタのセットアップ

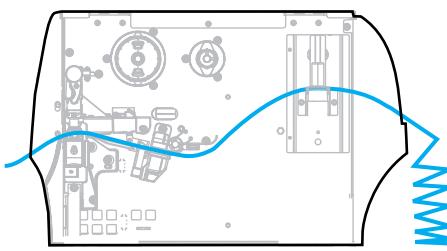
3. 用紙サプライガイドをできる限り引き出します。



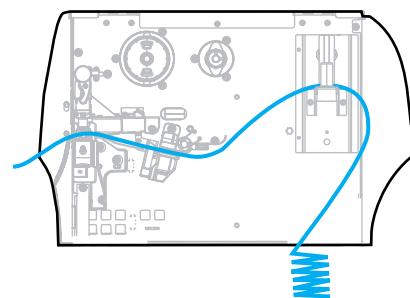
4. プリンタにロール用紙または折り畳み用紙を挿入します。用紙装着経路は、ロール用紙と折り畳み用紙のいずれも同じであるため、ここが唯一異なる手順です。

用紙のタイプ	取り扱い説明
	用紙のロールを用紙サプライ ハンガーに装着します。ロールを一番奥まで押し込みます。
	折り畳み用紙はプリンタの後部または下に保管できます。 用紙の保管位置によって、後部または底部のアクセス スロットから用紙をフィードしてから、用紙を用紙サプライ ハンガーに掛けます。

後部フィード



底部フィード

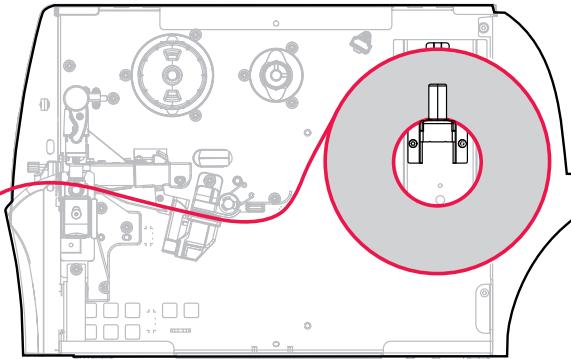


プリンタのセットアップ

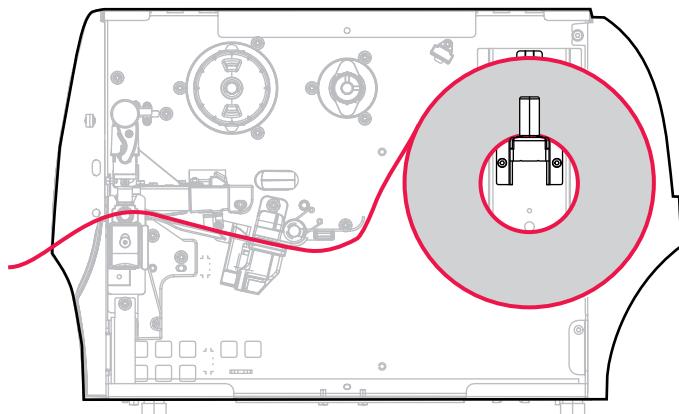
5. 使用するコレクション方式の選択([ラベルコレクション方式の決定](#) (28ページ) を参照)。

フィードのタイプ	操作
切り取り	切り取りモードの使用 (35ページ) に進みます。
剥離 (ライナー巻き取り付き/なし)	剥離モードの使用 (ライナー巻き取り付き/なし (39ページ) に進みます。
巻き取り	巻き取りモードの使用 (50ページ) に進みます。
カッターまたは遅延カット	カッター モードまたは遅延カット モードの使

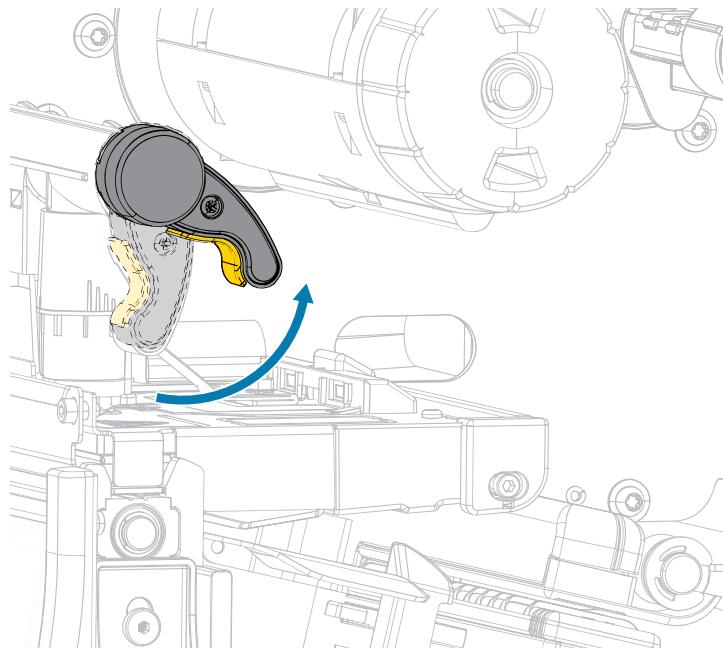
プリンタのセットアップ

フィードのタイプ	操作
	用 (58ページ) に進みます。

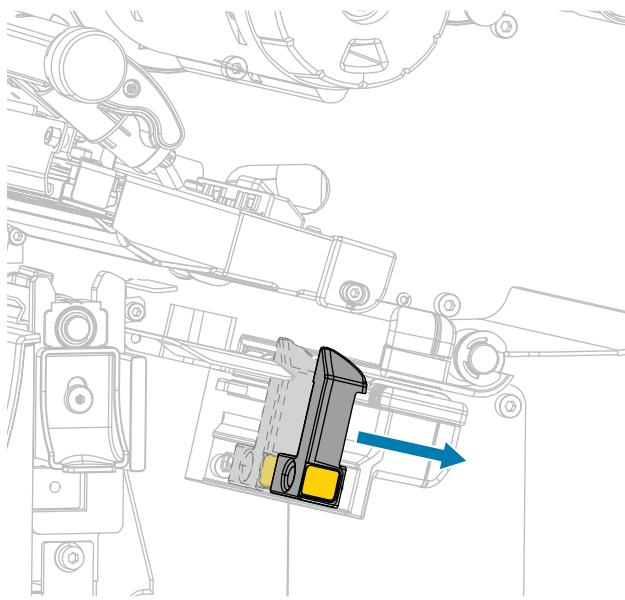
切り取りモードの使用



1. プリンタへの用紙の挿入（31ページ）のセクションの手順に従ってください（まだ行っていない場合）。
2. 印字ヘッド オープン レバーを上方に回して、印字ヘッド アセンブリを開けます。

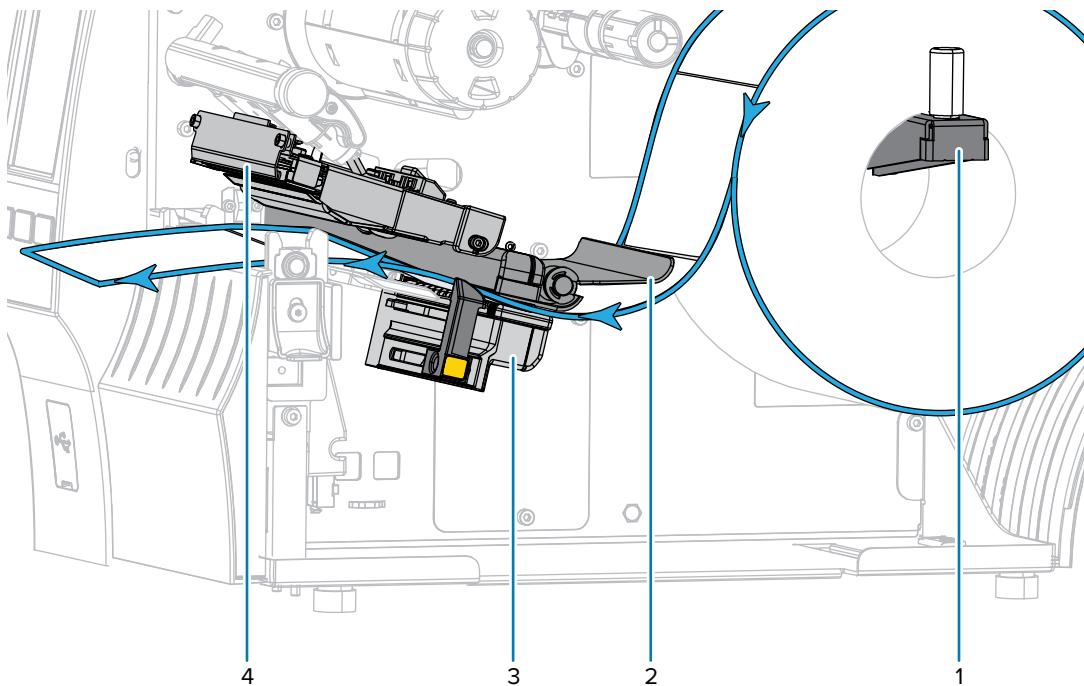


3. 用紙ガイドを完全に引き出します。



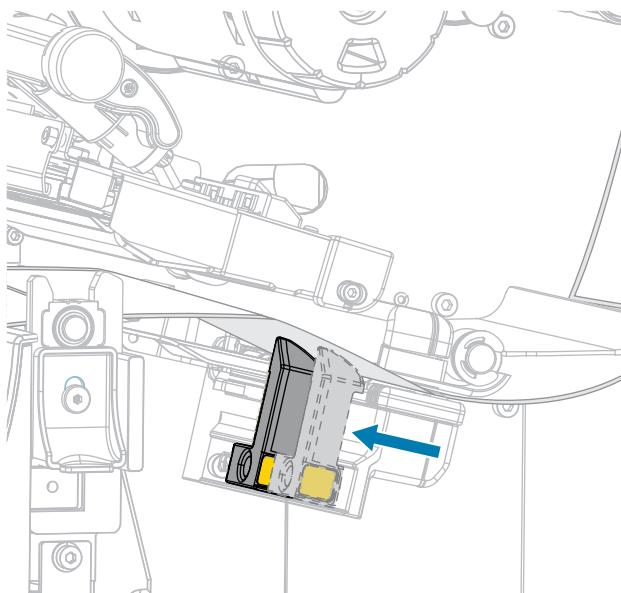
注意：表面が熱くなっています：印字ヘッドが熱くなっている可能性があり、重篤な火傷を引き起こす危険があります。印字ヘッドが冷めるまで時間をおいてください。

4. 用紙は、用紙ハンガー（1）からダンサー アセンブリ（2）の下を通し、用紙センサー（3）を通して、印字ヘッド アセンブリ（4）の下を通します。用紙裏面が用紙センサーの内側の背面に触れるよう、用紙をスライドさせます。



プリンタのセットアップ

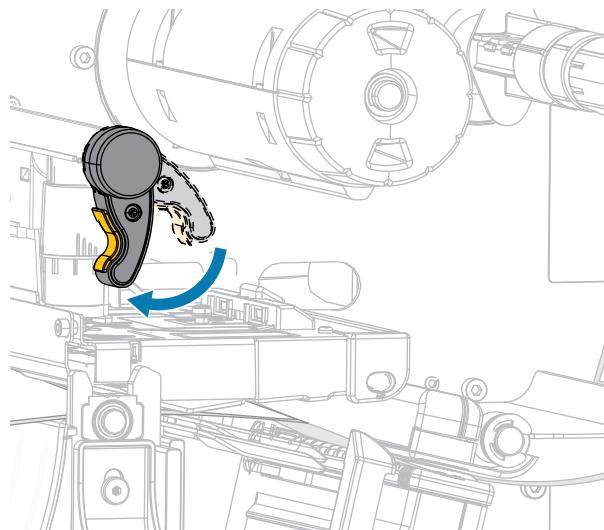
5. 用紙ガイドを用紙の端に軽く触れるまでスライドさせます。



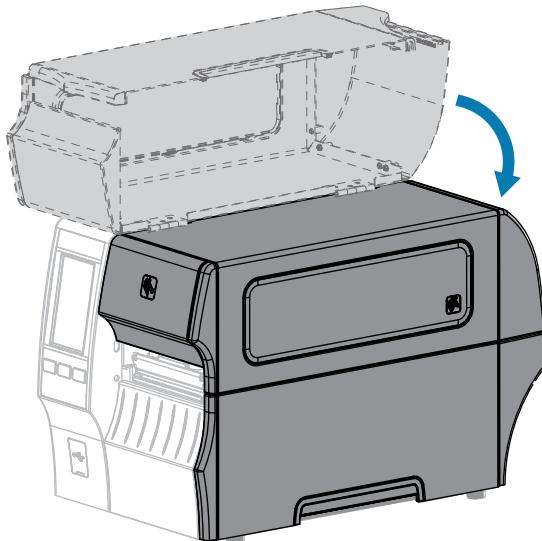
6. 使用する用紙を印刷するにはリボンが必要ですか? 分からない場合は、[リボン](#) (10ページ) を参照してください。

使用する用紙	対処
感熱用紙 (リボン不要)	手順 7 (37ページ) に進みます。
熱転写用紙 (リボン必要)	リボンをプリンタにまだ装着していない場合は、 リボンのセット (63ページ) の手順に従って装着してから、手順 7 (37ページ) に進みます。

7. 印字ヘッド オープン レバーを下方向に、印字ヘッドが固定位置でロックされるまで回します。

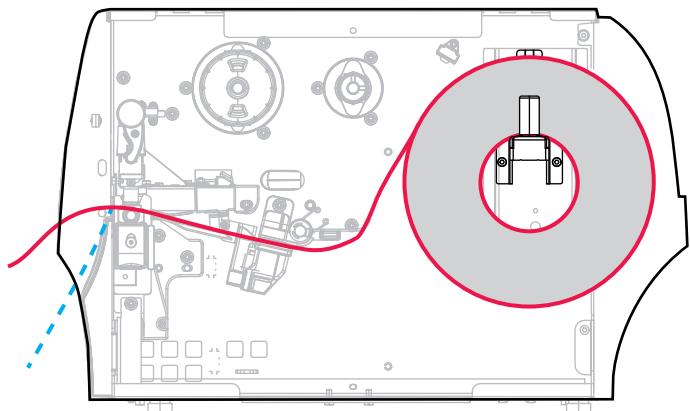


- 用紙アクセス用ドアを閉めます。

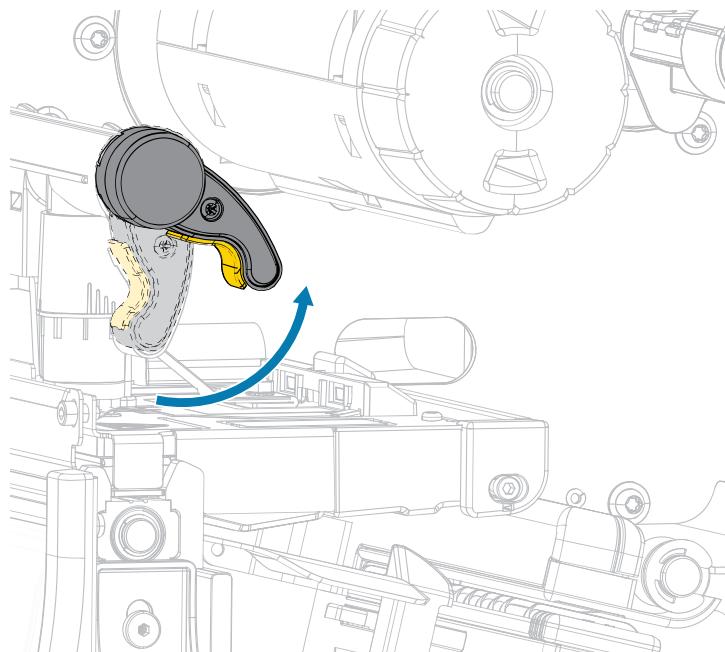


- プリンタを、プリンタと互換性のある適切なコレクション方式に設定します（「[印刷メニュー] > [ラベル位置] > [コレクション方式]」を参照）。
 - 一時停止モードを終了して印刷可能にするには、PAUSE (一時停止) を押します。
プリンタは、それぞれの設定によって、ラベルキャリブレートを実行するか、またはラベルをフィードします。
 - 最適な結果を得るには、プリンタをキャリブレートします（リボンセンサーと用紙センサーのキャリブレート（119ページ）を参照）。
 - FEED (フィード) キーと CANCEL (キャンセル) キーの両方を 2 秒間押したままにして、プリンタが設定ラベルを印刷できることを確認します。
- これで、切り取りモードの用紙装着は完了です。

剥離モードの使用 (ライナー巻き取り付き/なし)

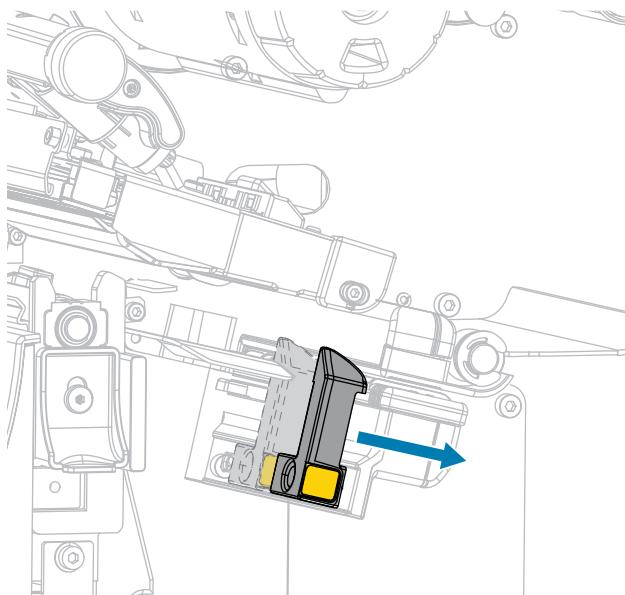


1. プリンタへの用紙の挿入 (31ページ) のセクションの手順に従ってください (まだ行っていない場合)。
2. 印字ヘッド オープン レバーを上方に回して、印字ヘッド アセンブリを開けます。

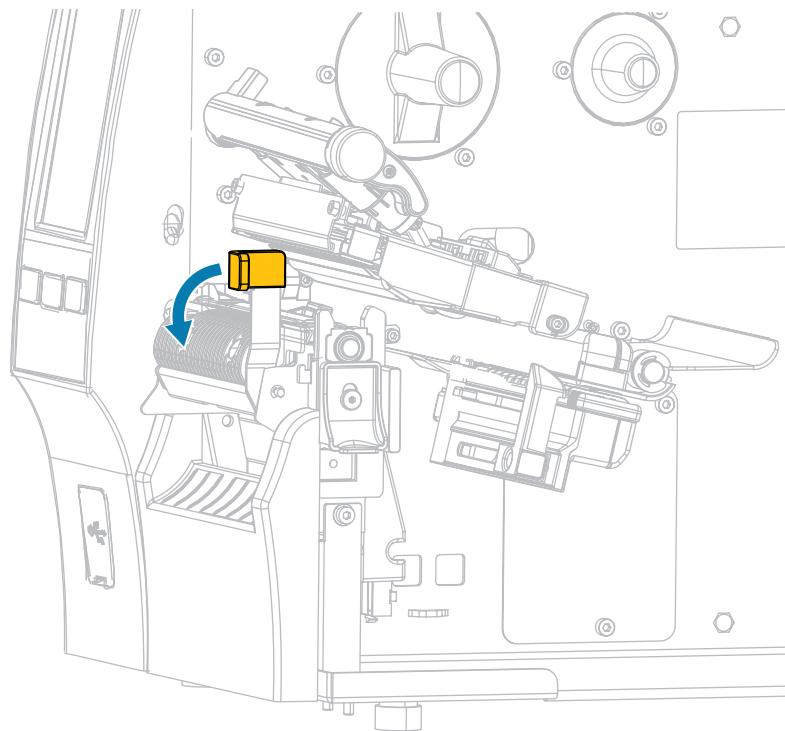


プリンタのセットアップ

3. 用紙ガイドを完全に引き出します。



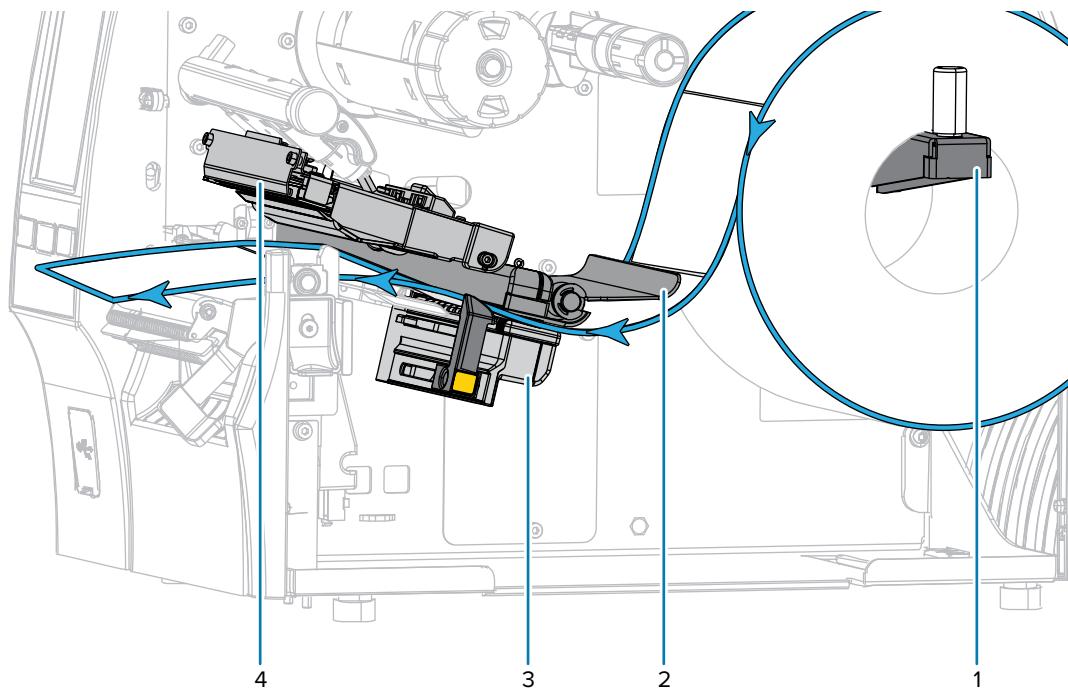
4. 剥離機構解除レバーを押し下げ、剥離アセンブリを開きます。



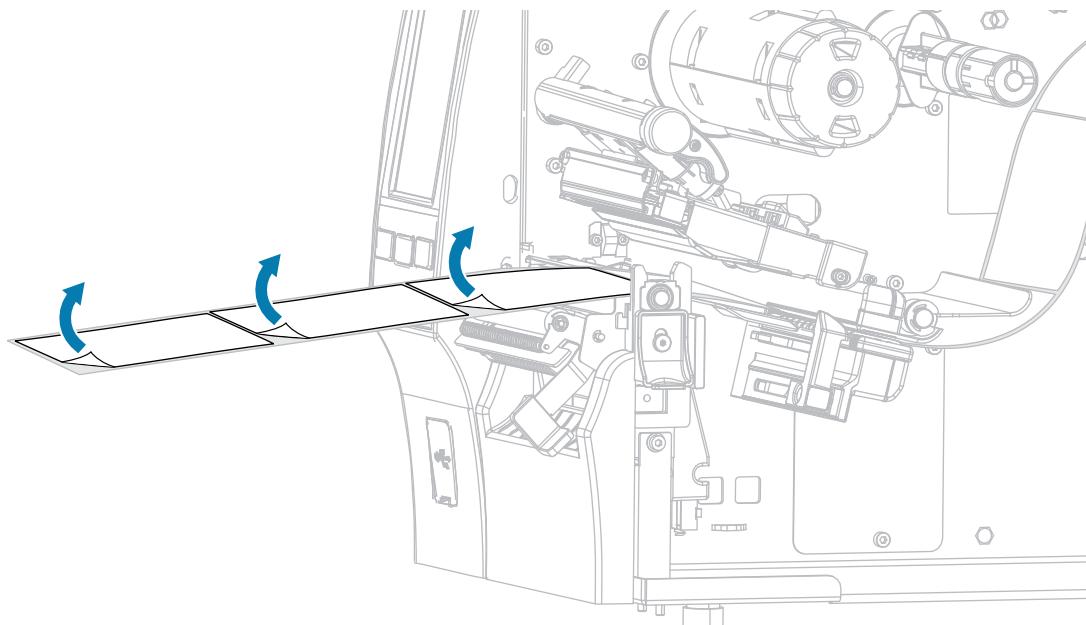
注意：表面が熱くなっています：印字ヘッドが熱くなっている可能性があり、重篤な火傷を引き起こす危険があります。印字ヘッドが冷めるまで時間をおいてください。

プリンタのセットアップ

5. 用紙は、用紙ハンガー (1) からダンサー アセンブリ (2) の下を通し、用紙センサー (3) を通って、印字ヘッドアセンブリ (4) の下を通します。用紙裏面が用紙センサーの内側の背面に触れるよう、用紙をスライドさせます。

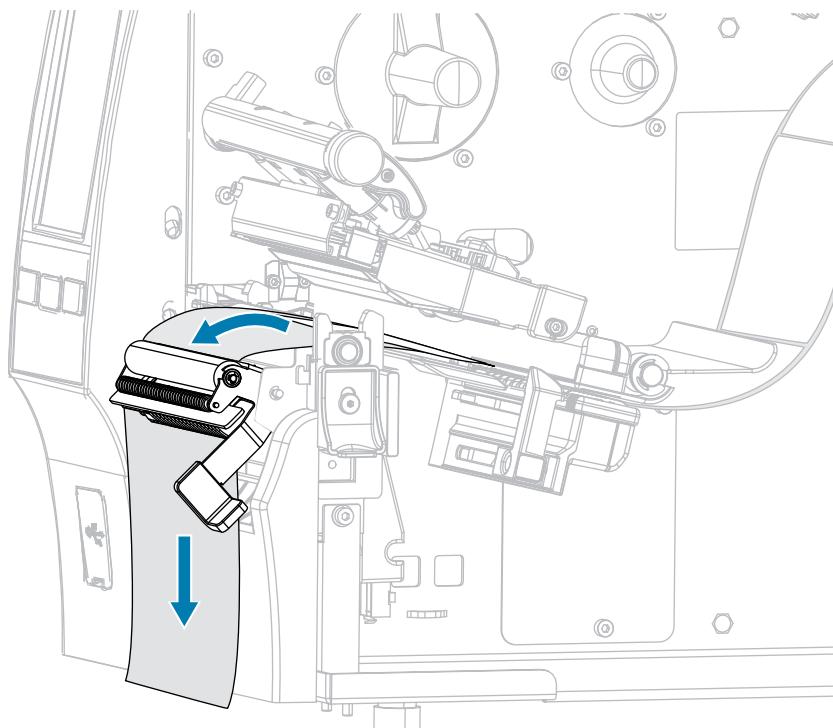


6. プリンタから用紙を約 500mm (18 インチ) 引き出します。この露出した部分からラベルを剥がして廃棄し、ライナーだけを残します。



プリンタのセットアップ

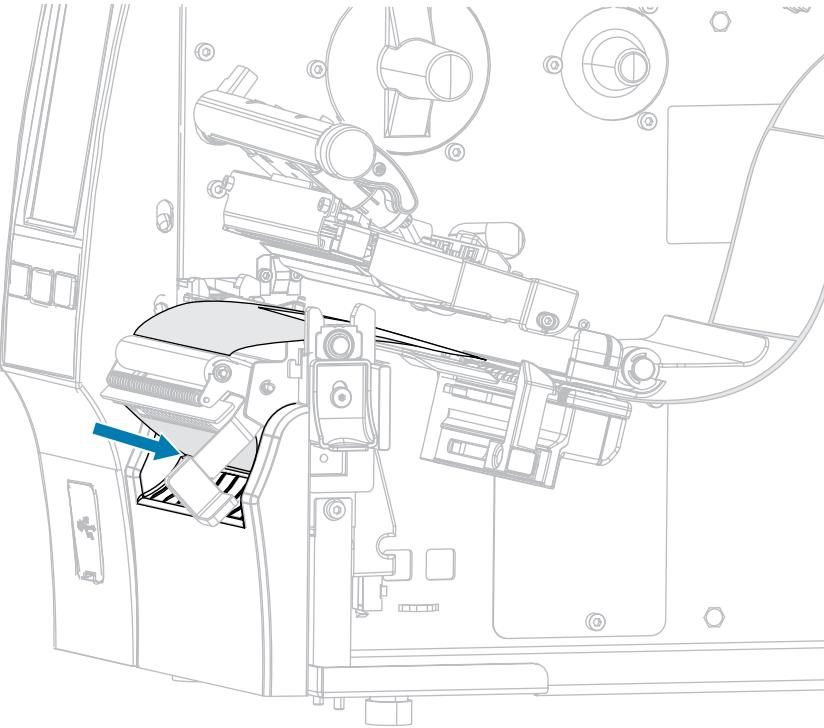
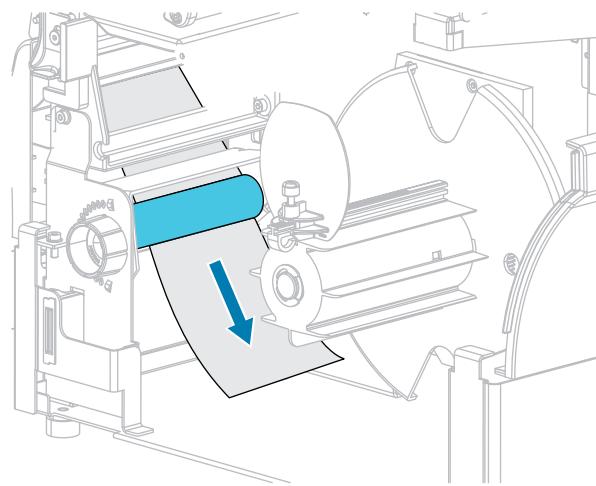
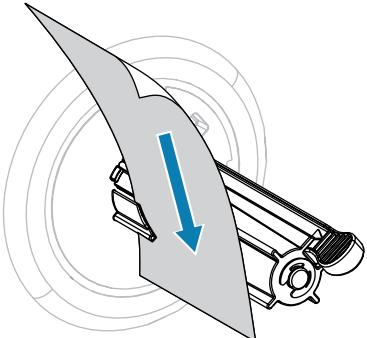
7. 剥離アセンブリの後にライナーをフィードします。ライナーの端がプリンタの外側に出ていることを確認します。



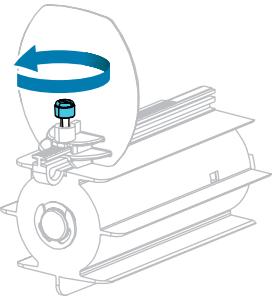
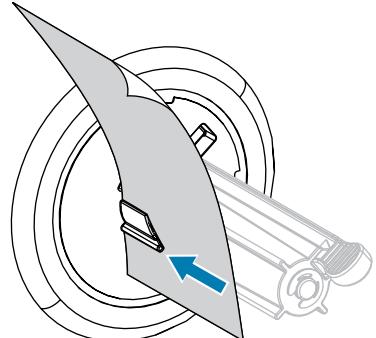
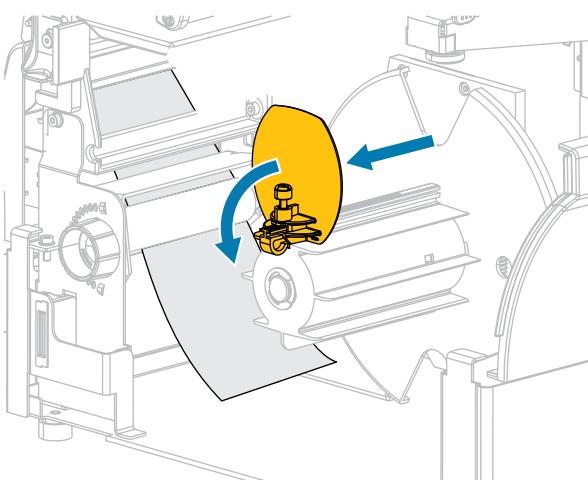
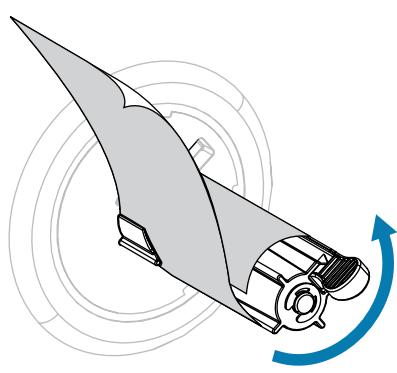
8. ライナー巻き取り付きで剥離モードを使用する場合のみ、この手順を実行します。プリンタには、ライナー巻き取りオプション、または巻き取りオプションが取り付けられている必要があります。

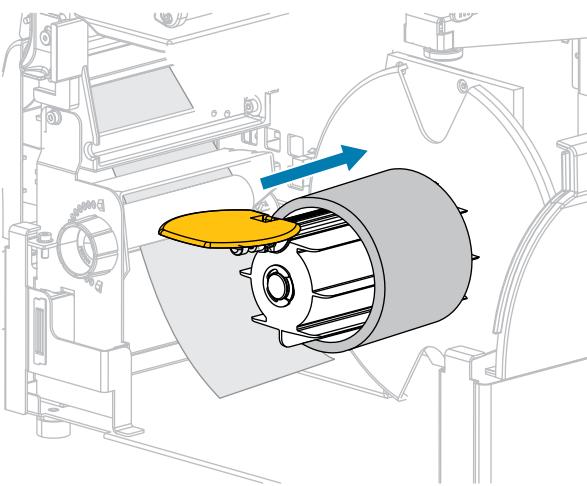
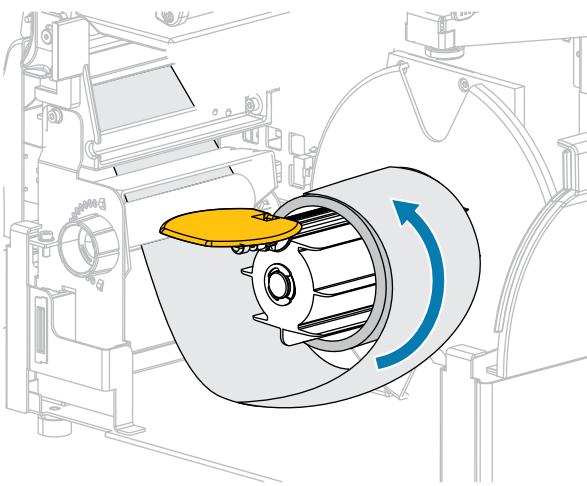
プリンタのセットアップ

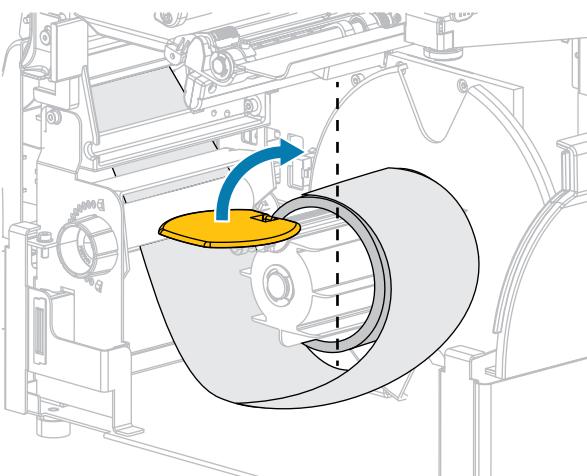
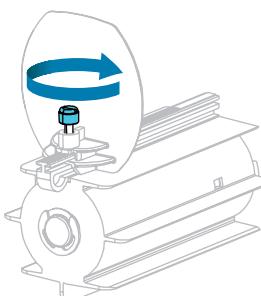
プリンタ オプションに応じて手順を実行します。(ライナー巻き取りを使用していない場合は、この手順を省略して手順 9 (47ページ) に進みます)。

巻き取りオプション	ライナー巻き取りオプション
a. 巻き取りオプションとライナー巻き取りオプションの両方で、次の操作を行います。ライナーを剥離アセンブリの下のスロットに通します。	
b. ライナーを用紙調整ローラーの下に通します。	
b. ライナーをライナー巻き取りスピンドルのスロットに通します。	

プリンタのセットアップ

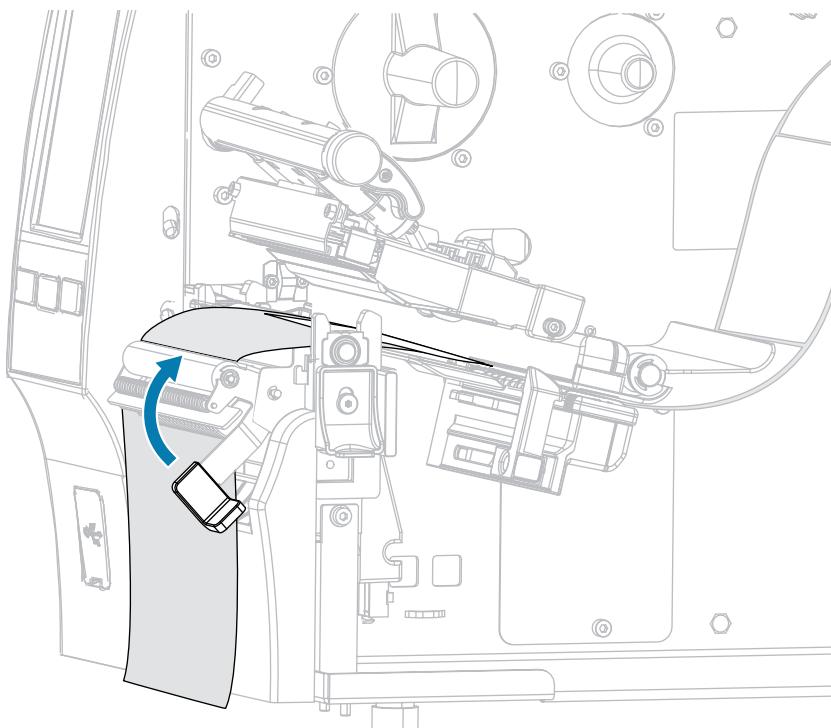
巻き取りオプション	ライナー巻き取りオプション
<p>c. 用紙巻き取りガイドの蝶ネジを緩めます。</p> 	<p>c. ライナーを、ライナー巻き取りスピンドルアセンブリのバックプレートに触れるまで押し込みます。</p> 
<p>d. 用紙巻き取りガイドを完全に引き出し、折り下げます。</p> 	<p>d. ライナーをライナー巻き取りスピンドルに巻き付け、スピンドルを逆時計回りに回して、ライナーをピンと張ります。</p>  <p>ライナー巻き取りオプションについては、ライナーの装着はこれで完了です。手順 9 (47ページ) に進みます。</p>

巻き取りオプション	ライナー巻き取りオプション
e. 巻き取りスピンドルに空の芯をスライドさせて装着します。	
 A technical line drawing of a printer's internal mechanism. It shows a large grey cylindrical component, identified as the take-up spindle, with a yellow circular part attached to its front. A blue arrow points towards the center of the spindle, indicating the direction of insertion for the empty core.	
f. 図のようにライナーを芯に巻き付け、巻き取りスピンドルを回して、用紙をピンと張ります。 用紙の端が巻き取りスピンドルのバックプレートにぴったり付いていることを確認してください。	
 A technical line drawing of the same printer mechanism. The yellow circular part is now wound around the grey spindle. A blue curved arrow indicates a clockwise rotation of the spindle. The paper is shown being tensioned, and a note at the bottom right of the diagram asks to confirm that the paper edge is tightly against the back plate of the spindle.	

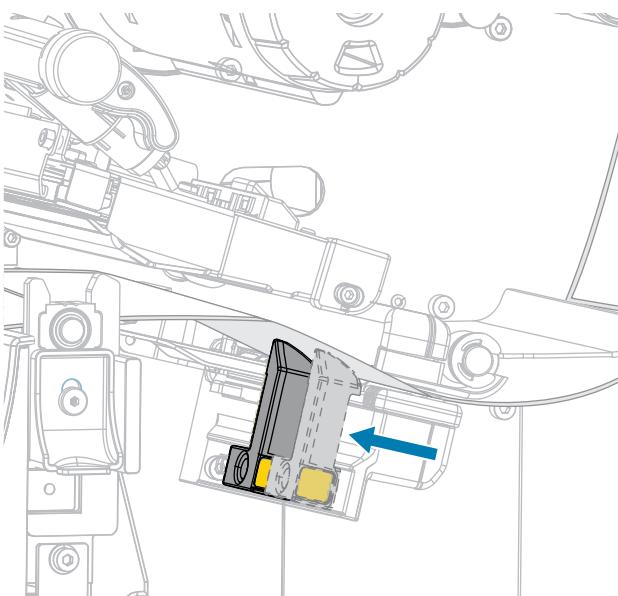
巻き取りオプション	ライナー巻き取りオプション
<p>g. 用紙巻き取りガイドを折りあげ、ライナーに触れるまでスライドさせます。</p> 	
<p>h. 用紙巻き取りガイドの蝶ネジを締めます。</p>  <p>これで、ライナーの装着は完了です。手順 9 (47ページ) に進みます。</p>	

プリンタのセットアップ

9. 剥離機構解除レバーを使用して、剥離アセンブリを閉じます。



10. 用紙ガイドを用紙の端に軽く触れるまでスライドさせます。



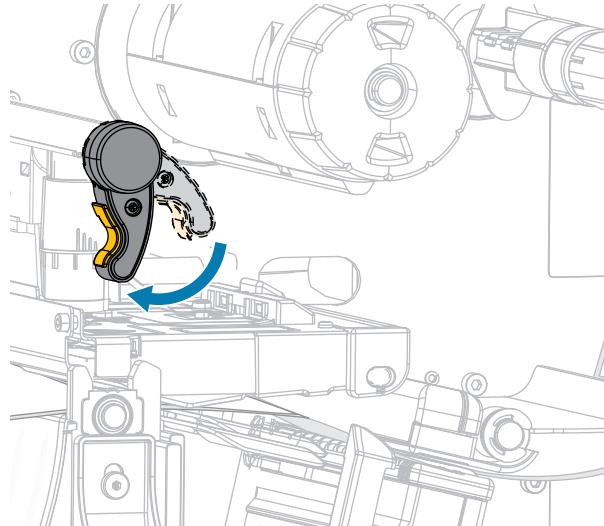
11. 使用する用紙を印刷するにはリボンが必要ですか? 分からない場合は、[リボン](#) (10ページ) を参照してください。

使用する用紙	対処
感熱用紙 (リボン不要)	手順 12 (48ページ) に進みます。

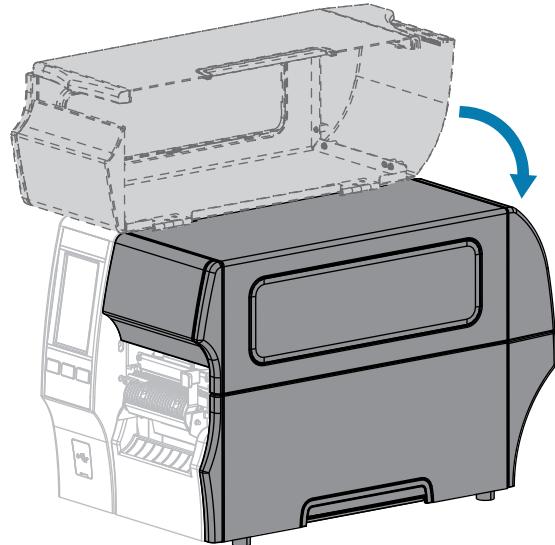
プリンタのセットアップ

使用する用紙	対処
熱転写用紙 (リボン必要)	a. リボンをプリンタに装着します (まだしていない場合)。(リボンのセット (63ページ) を参照)。 b. 手順 12 (48ページ) に進みます。

12. 印字ヘッド オープン レバーを下方向に、印字ヘッドが固定位置でロックされるまで回します。



13. 用紙アクセス用ドアを閉めます。



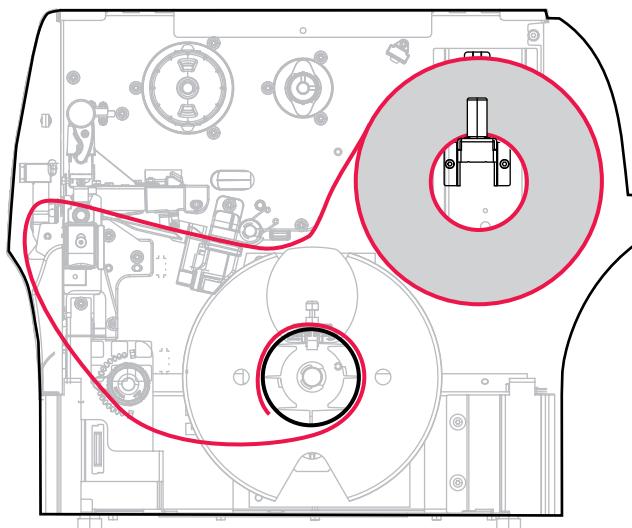
14. プリンタを適切なコレクション方式に設定します ([\[印刷\] > \[ラベル位置\] > \[コレクション方式\]](#) を参照)。
15. 一時停止モードを終了して印刷可能にするには、PAUSE (一時停止) を押します。
プリンタは、それぞれの設定によって、ラベルキャリブレートを実行するか、またはラベルをフィードします。
16. 最適な結果を得るには、プリンタをキャリブレートします ([リボンセンサーと用紙センサーのキャリブレート](#) (119ページ) を参照)。

プリンタのセットアップ

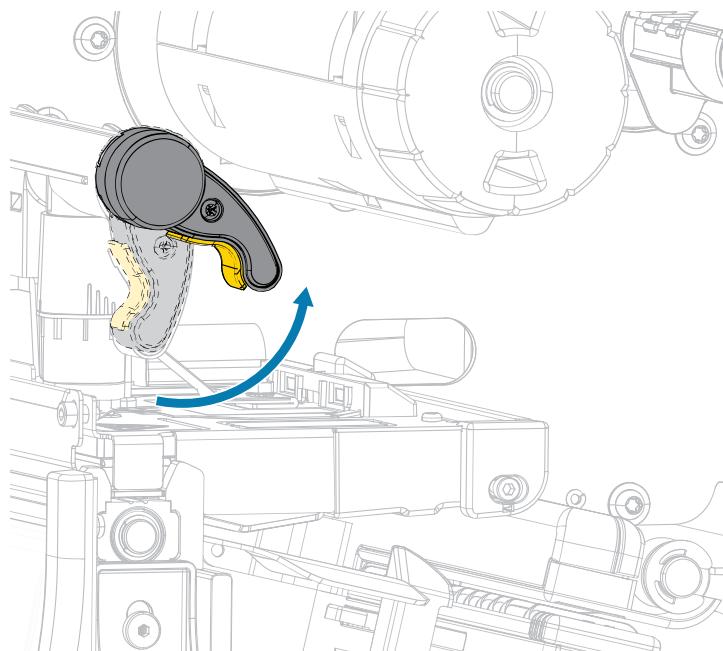
17. **FEED (フィード)** キーと **CANCEL (キャンセル)** キーの両方を 2 秒間押したままにして、プリンタが設定ラベルを印刷できることを確認します。

これで、剥離モードの用紙セットは完了です。

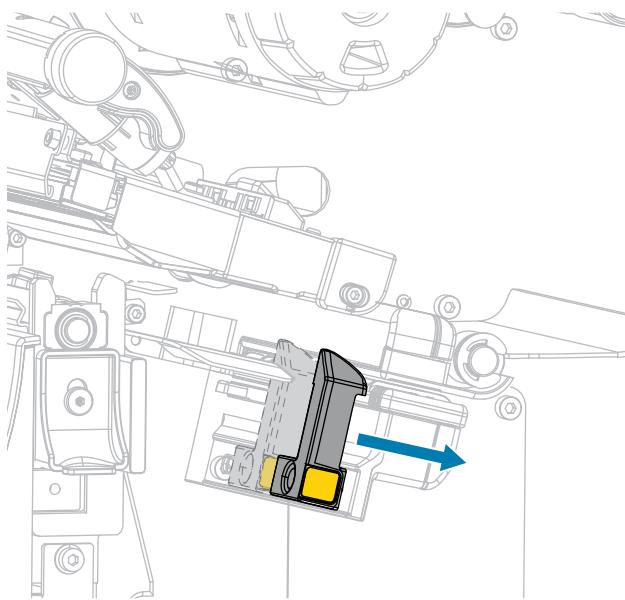
巻き取りモードの使用



1. プリンタへの用紙の挿入 (31ページ) の手順に従ってください (まだ行っていない場合)。
2. 印字ヘッド オープン レバーを上方に回して、印字ヘッド アセンブリを開けます。

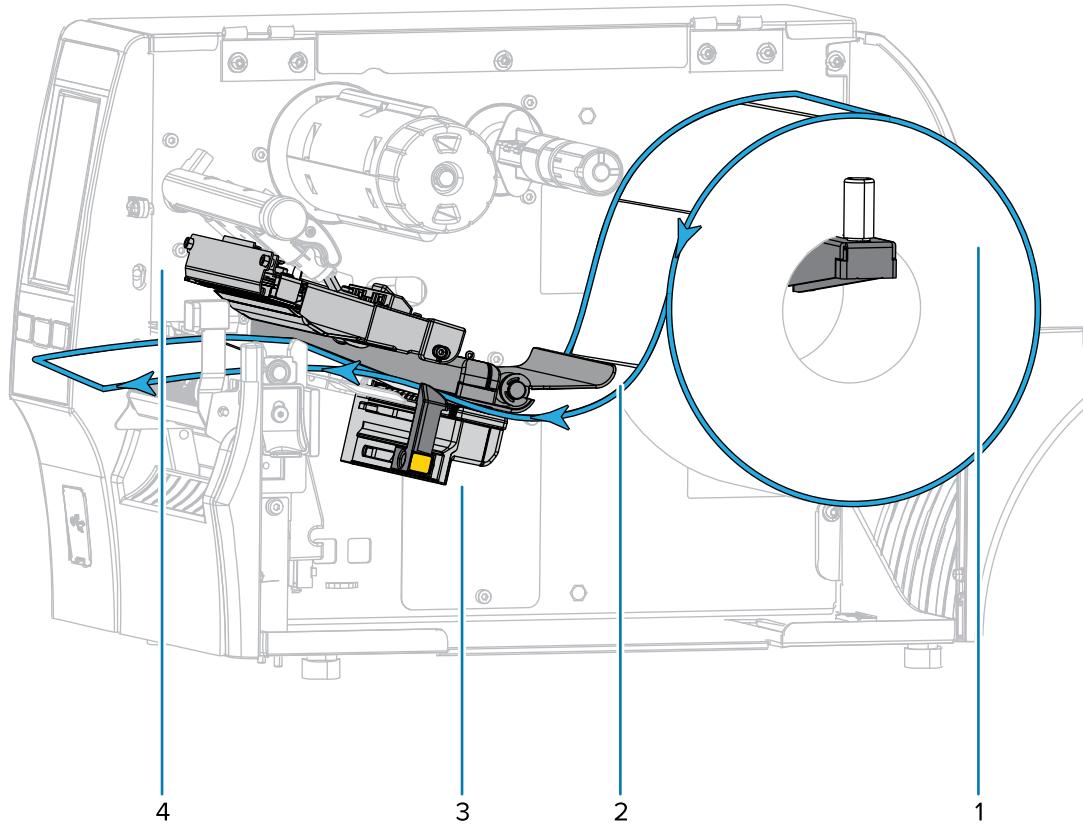


3. 用紙ガイドを完全に引き出します。



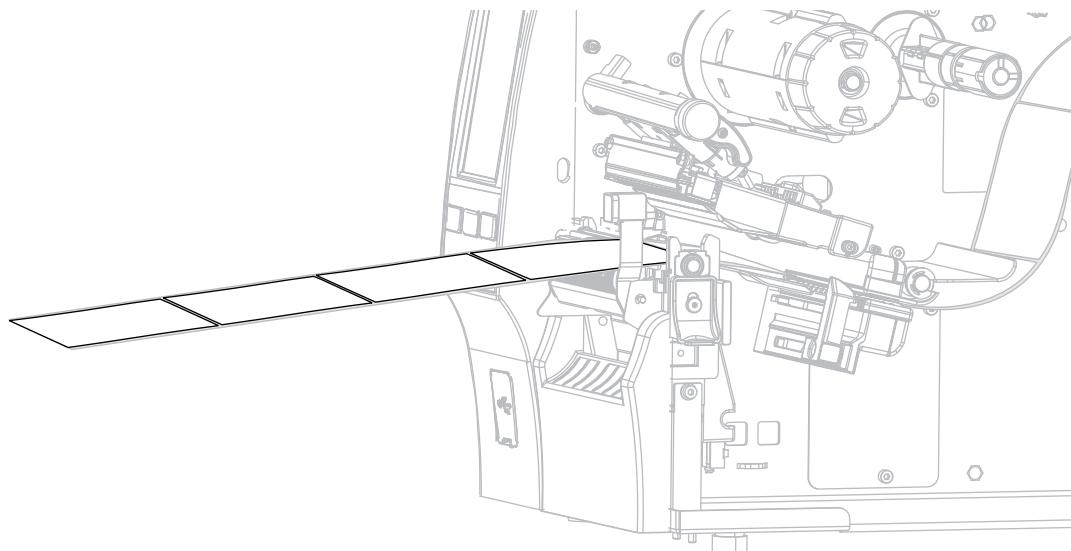
注意：表面が熱くなっています：印字ヘッドが熱くなっている可能性があり、重篤な火傷を引き起こす危険があります。印字ヘッドが冷めるまで時間をおいてください。

4. 用紙は、用紙ハンガー (1) からダンサー アセンブリ (2) の下を通し、用紙センサー (3) を通って、印字ヘッド アセンブリ (4) の下を通します。用紙裏面が用紙センサーの内側の背面に触れるよう、用紙をスライドさせます。

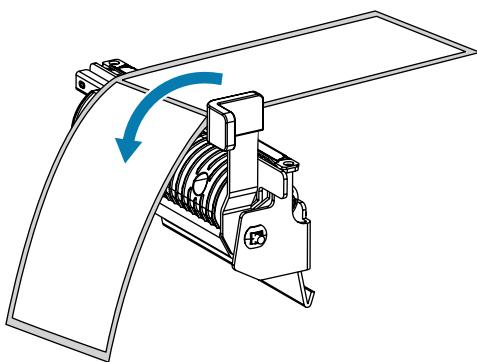


プリンタのセットアップ

5. プリンタから用紙を約 500mm (18 インチ) 引き出します。

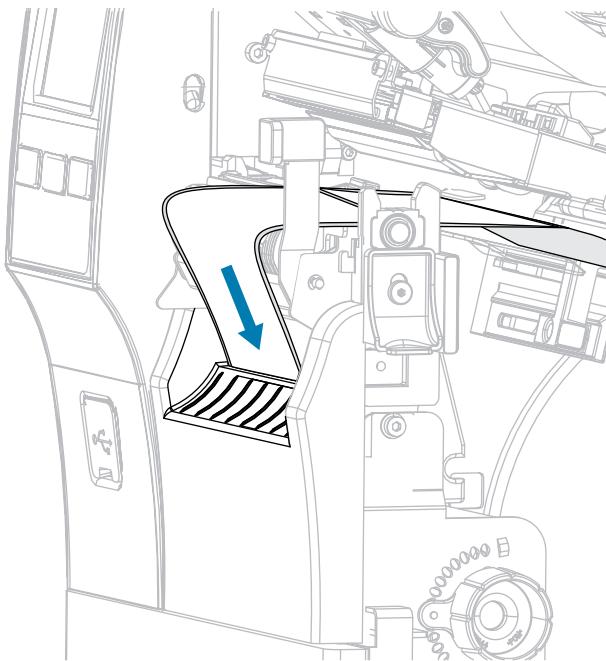


6. 剥離アセンブリの上から用紙をフィードします。

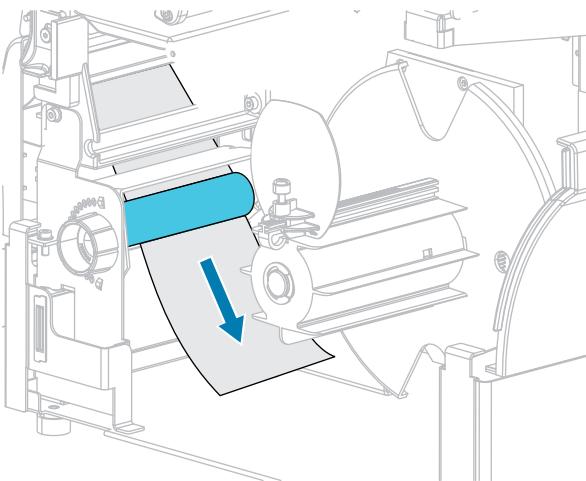


プリンタのセットアップ

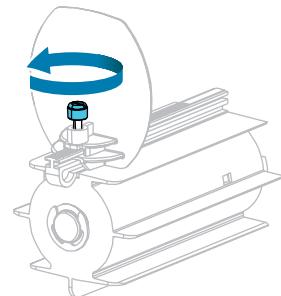
7. 用紙を剥離アセンブリの下のスロットに通します。



8. 用紙を用紙調整ローラーの下に通します。

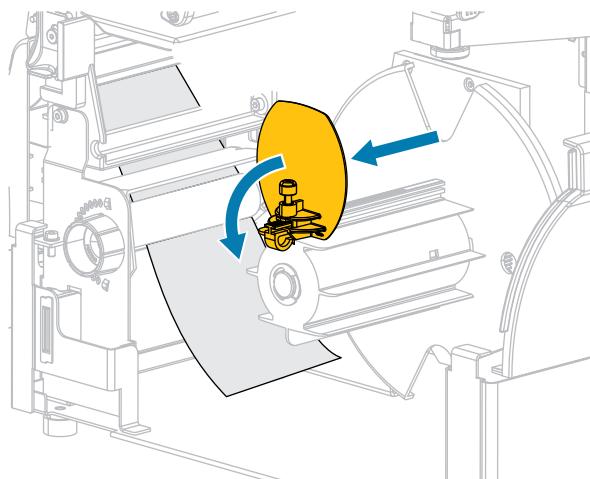


9. 用紙巻き取りガイドの蝶ネジを緩めます。

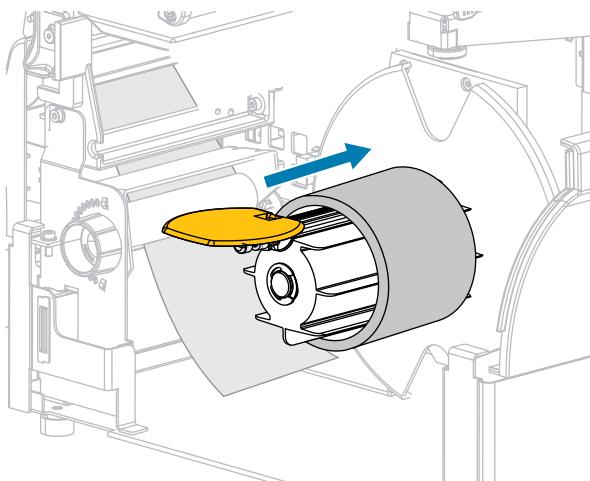


プリンタのセットアップ

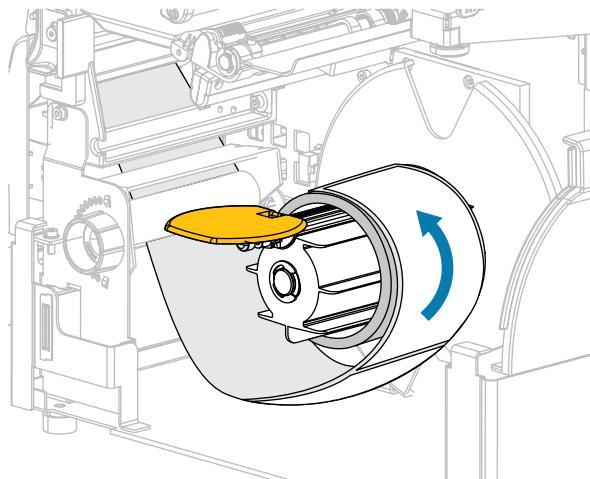
10. 用紙巻き取りガイドを完全に引き出し、折り下げます。



11. 巻き取りスピンドルに空の芯をスライドさせて装着します。

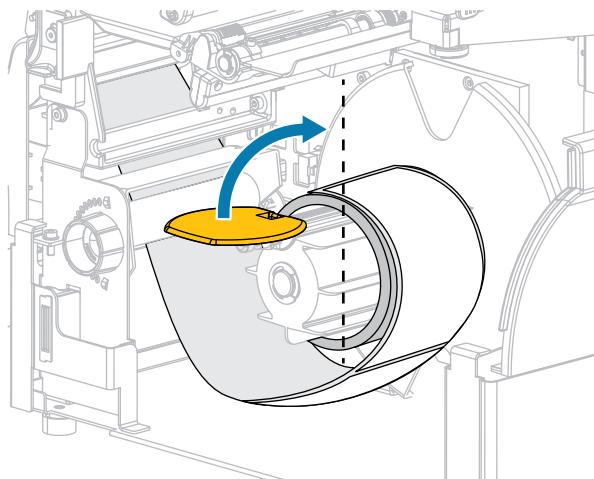


12. 図のように用紙を芯に巻き付け、巻き取りスピンドルを回して、用紙をピンと張ります。用紙の端が巻き取りスピンドルのバックプレートにぴったり付いていることを確認してください。

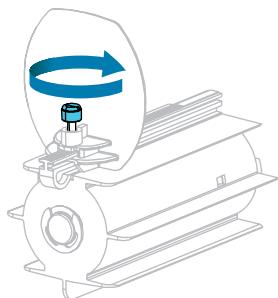


プリンタのセットアップ

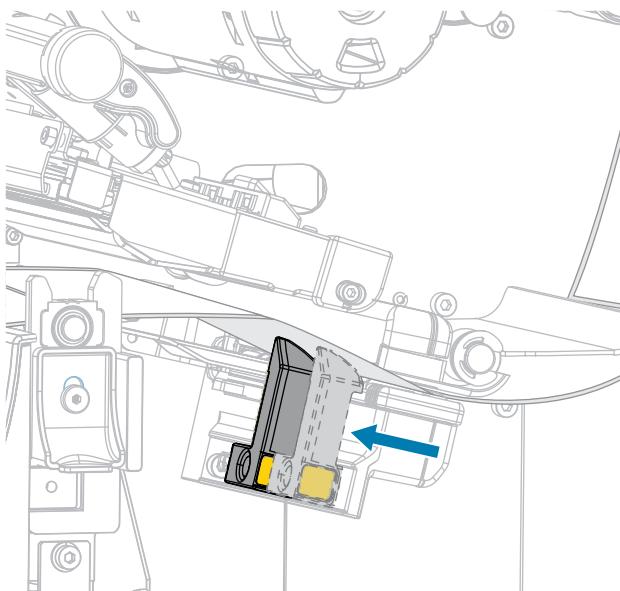
13. 用紙巻き取りガイドを折りあげ、用紙に触れるまでスライドさせます。



14. 用紙巻き取りガイドの蝶ネジを締めます。



15. 用紙ガイドを用紙の端に軽く触れるまでスライドさせます。

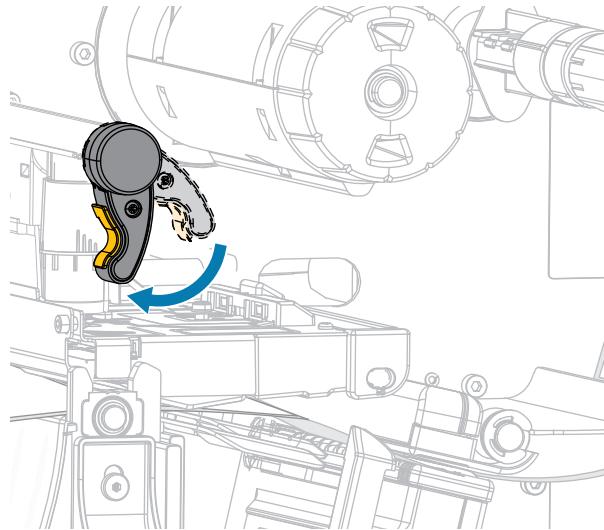


プリンタのセットアップ

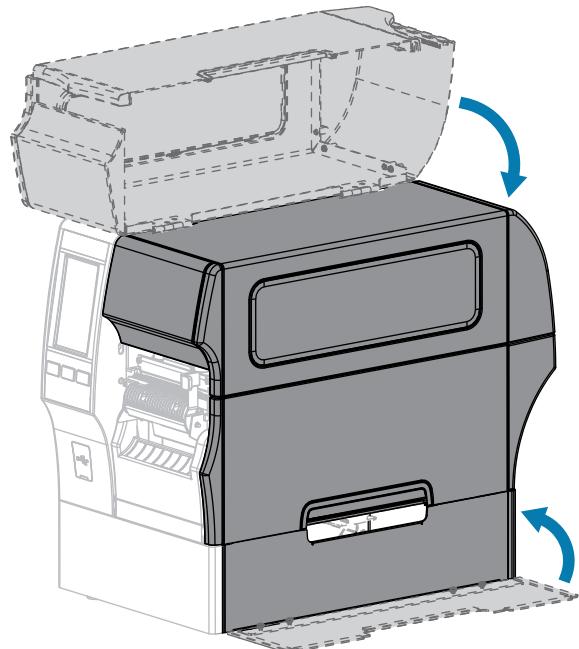
16. 使用する用紙を印刷するにはリボンが必要ですか? 分からない場合は、[リボン](#)（10ページ）を参照してください。

使用する用紙	対処
感熱用紙（リボン不要）	手順 17 （56ページ）に進みます。
熱転写用紙（リボン必要）	<ul style="list-style-type: none">a. リボンをプリンタに装着します（まだしていない場合）。（リボンのセット）（63ページ）を参照。b. 手順 17（56ページ）に進みます。

17. 印字ヘッド オープン レバーを下方向に、印字ヘッドが固定位置でロックされるまで回します。

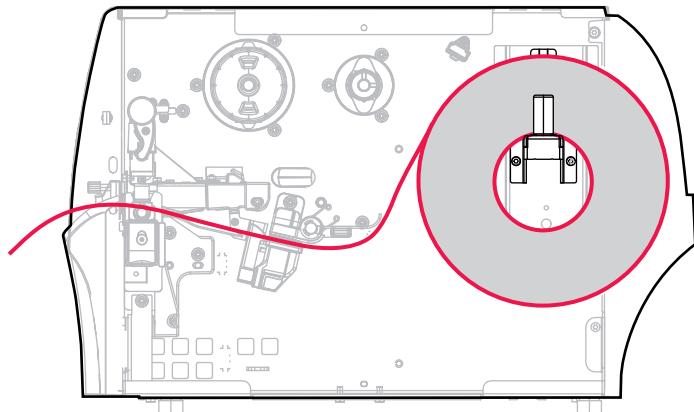


18. 用紙アクセス用ドアおよび巻き取りベース用ドアを閉めます。

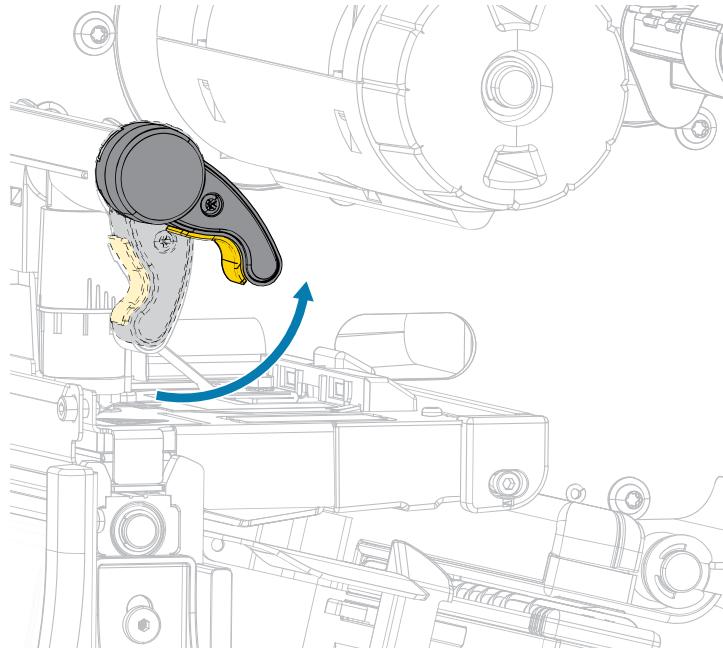


19. プリンタを巻き取りモードに設定します。(詳細については、[印刷] > [ラベル位置] > [コレクション方式] を参照してください)。
 20. 一時停止モードを終了して印刷可能にするには、PAUSE (一時停止) を押します。
プリンタは、それぞれの設定によって、ラベルキャリブレートを実行するか、またはラベルをフィードします。
 21. 最適な結果を得るには、プリンタをキャリブレートします。(リボンセンサーと用紙センサーのキャリブレート (119ページ) を参照)。
 22. FEED (フィード) キーと CANCEL (キャンセル) キーの両方を 2 秒間押したままにして、プリンタが設定ラベルを印刷できることを確認します。
- これで、巻き取りモードでの用紙の装着は完了です。

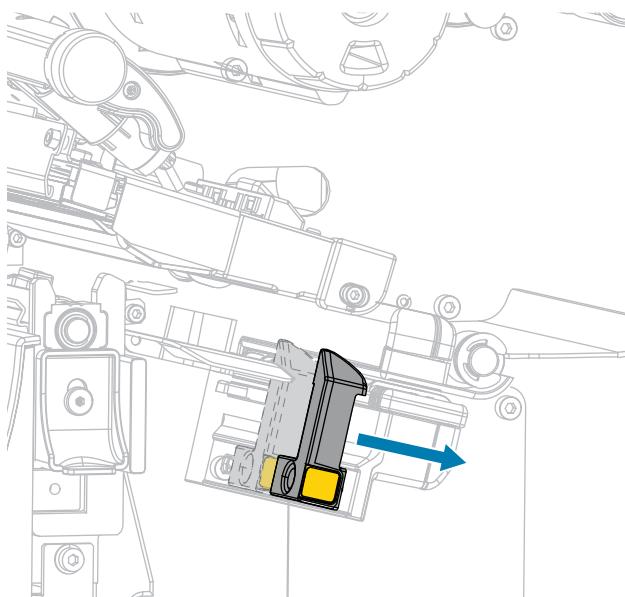
カッター モードまたは遅延カット モードの使用



1. プリンタへの用紙の挿入（31ページ）の手順に従ってください（まだ行っていない場合）。
2. 印字ヘッド オープン レバーを上方に回して、印字ヘッド アセンブリを開けます。



3. 用紙ガイドを完全に引き出します。

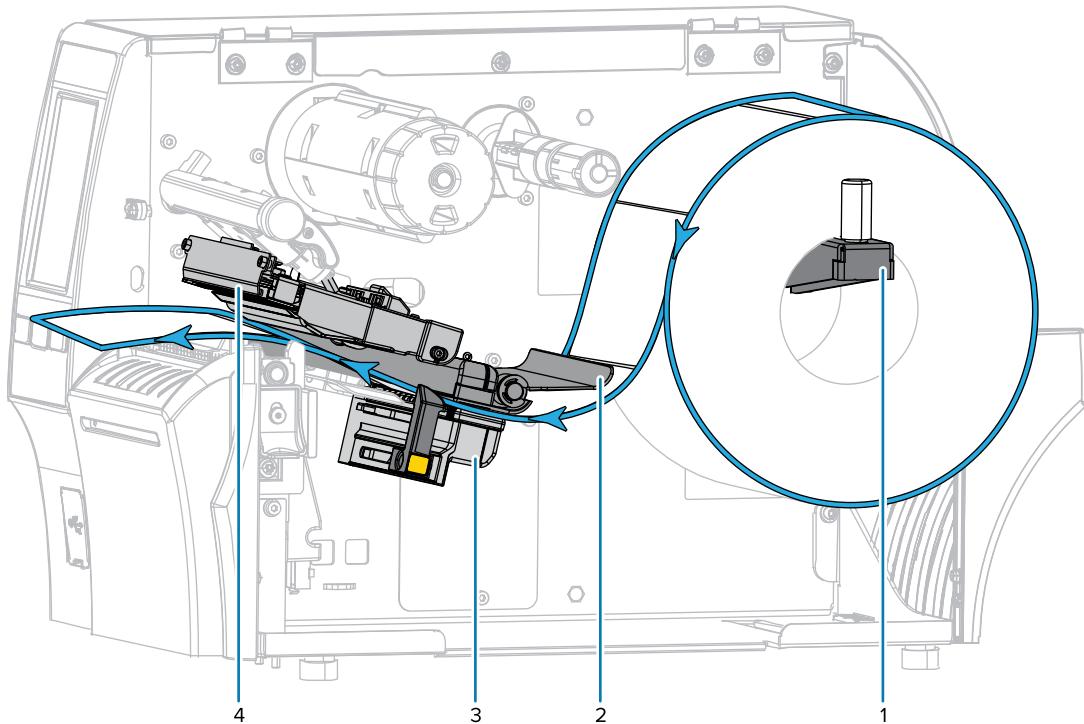


注意：表面が熱くなっています：印字ヘッドが熱くなっている可能性があり、重篤な火傷を引き起こす危険があります。印字ヘッドが冷めるまで時間をおいてください。

4. 用紙は、用紙ハンガー (1) からダンサー アセンブリ (2) の下を通し、用紙センサー (3) を通って、印字ヘッド アセンブリ (4) の下を通します。用紙裏面が用紙センサーの内側の背面に触れるよう、用紙をスライドさせます。

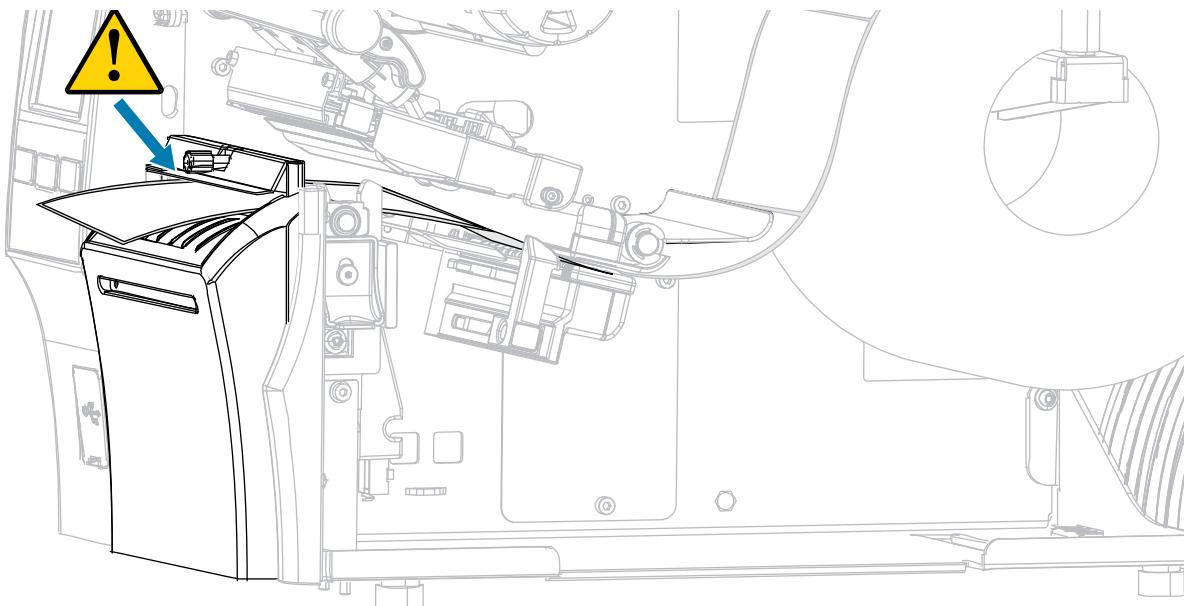


注意：カッターの刃は鋭利です。指で刃に触れたり、こすったりしないでください。

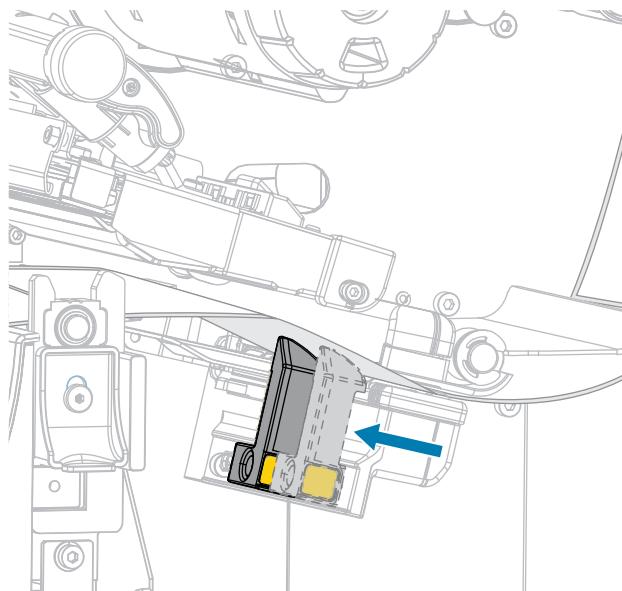


プリンタのセットアップ

5. カッターを通して用紙をフィードします。



6. 用紙ガイドを用紙の端に軽く触れるまでスライドさせます。

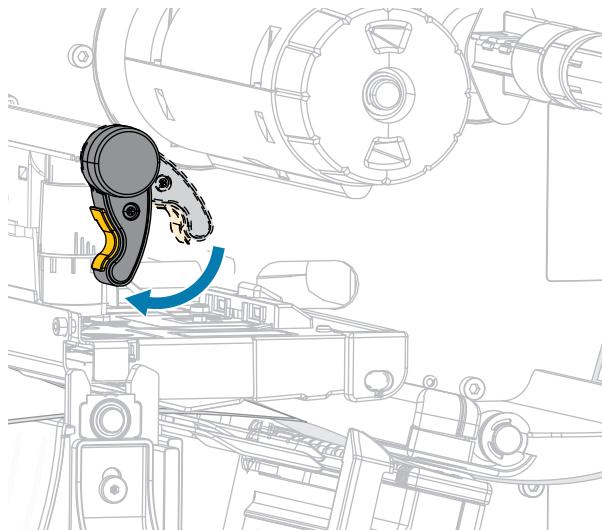


7. 使用する用紙を印刷するにはリボンが必要ですか? 分からない場合は、[リボン](#) (10ページ) を参照してください。

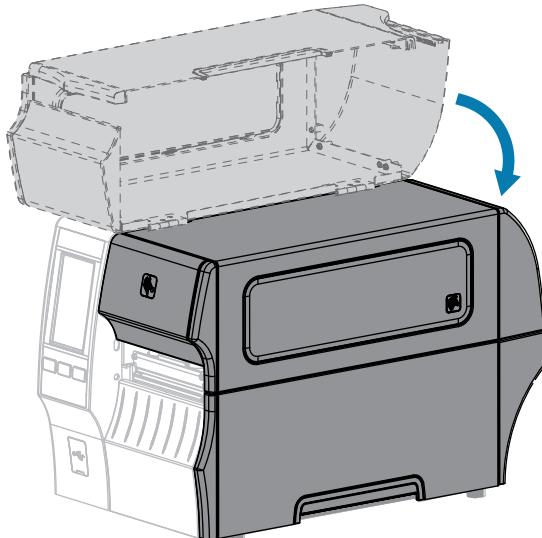
使用する用紙	対処
感熱用紙 (リボン不要)	手順 8 (61ページ) に進みます。
熱転写用紙 (リボン必要)	リボンをプリンタに装着します (まだしていない場合)。 リボンのセット (63ページ) を参照してください。手順 8 (61ページ) に進みます。

プリンタのセットアップ

8. 印字ヘッド オープン レバーを下方向に、印字ヘッドが固定位置でロックされるまで回します。



9. 用紙アクセス用ドアを閉めます。



10. プリンタを適切なコレクション方式に設定します (詳細については、[印刷] > [ラベル位置] > [コレクション方式] を参照)。
 11. 一時停止モードを終了して印刷可能にするには、PAUSE (一時停止) を押します。プリンタは、それぞれの設定によって、ラベルキャリブレートを実行するか、またはラベルをフィードします。
 12. 最適な結果を得るには、プリンタをキャリブレートします ([リボンセンサーと用紙センサーのキャリブレート](#) (119ページ) を参照)。
 13. FEED (フィード) キーと CANCEL (キャンセル) キーの両方を 2 秒間押したままにして、プリンタが設定ラベルを印刷できることを確認します。
- これで、カッターモードでの用紙の装着は完了です。

使用するリボンのタイプの決定



注: このセクションは、熱転写オプションが装着されたプリンタのみに適用されます。

使用できるリボンのタイプは?

リボンロールはインクの被覆面がロールの内側または外側になるように巻き取られます。標準の熱転写オプションを備えたこのプリンタでは、外側がコーティングされたリボンしか使用できません。オプションのリボンスピンドルは、内側がコーティングされたリボンを使用する場合に利用できます。注文情報については、Zebra 公認の代理店にお問合せください。

特定のリボンでコーティング面が内側か外側か明確でない場合は、粘着性テストまたはリボンのスクラッチテストを行い、コーティング側を確認してください。

粘着性テストの実行

ラベルを使用できる場合、粘着性のテストを実行して、リボンのコーティング面を判別します。この方法は、すでに装着されているリボンに対して非常に有効です。

1. ラベルをライナーから剥がします。
2. ラベルの粘着面の端をリボンの外側の表面に押し付けます。
3. ラベルをリボンから剥がします。
4. 結果を観察します。

リボンのインクが少しでもラベルに付いていますか?

リボンからの インクの状態	操作
ラベルに付いて いる	リボンの外側がコーティングされており、このプリンタで使用できます。 
ラベルに付いて いない	リボンの内側がコーティングされており、標準プリンタでは使用できません。 この結果を確認するには、リボンロールの外側の表面で同じテストを行います。 

リボンのスクラッチ テストの実行

ラベルを使用できない場合、リボンのスクラッチテストを実行します。

1. リボンをロールから少し引き出します。
2. リボンの引き出した部分を、リボンの外側が用紙と接するように用紙に置きます。
3. リボンの引き出した部分の内側を指の爪でこります。
4. リボンを用紙から外します。

5. 結果を観察します。

用紙にリボンの跡が付きましたか？

リボンの状態	操作
用紙にリボンの跡が付いている	リボンの外側がコーティングされており、このプリンタで使用できます。
用紙にリボンの跡が付いていない	リボンの内側がコーティングされており、標準プリンタでは使用できません。この結果を確認するには、リボンロールの外側の表面で同じテストを行います。

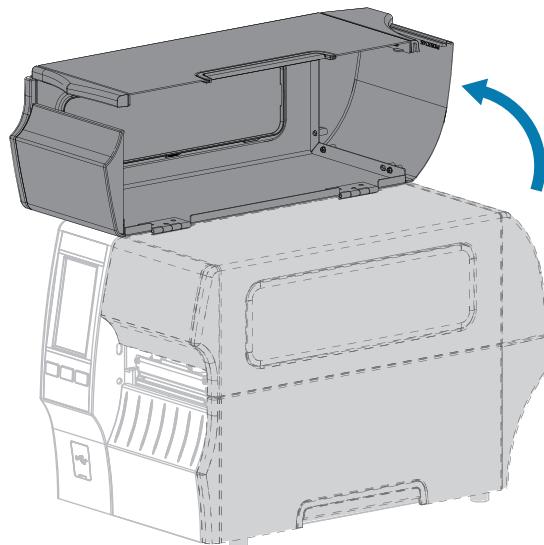
リボンのセット



重要：印字ヘッドが開いている近くで作業をする際、プリンタの電源は必ずしも切る必要はありませんが、Zebraでは、万一に備えて電源をオフにすることを推奨します。電源を切ると、ラベルフォーマットなどの一時設定はすべて失われるため、印刷を再開する前に再度読み込む必要があります。

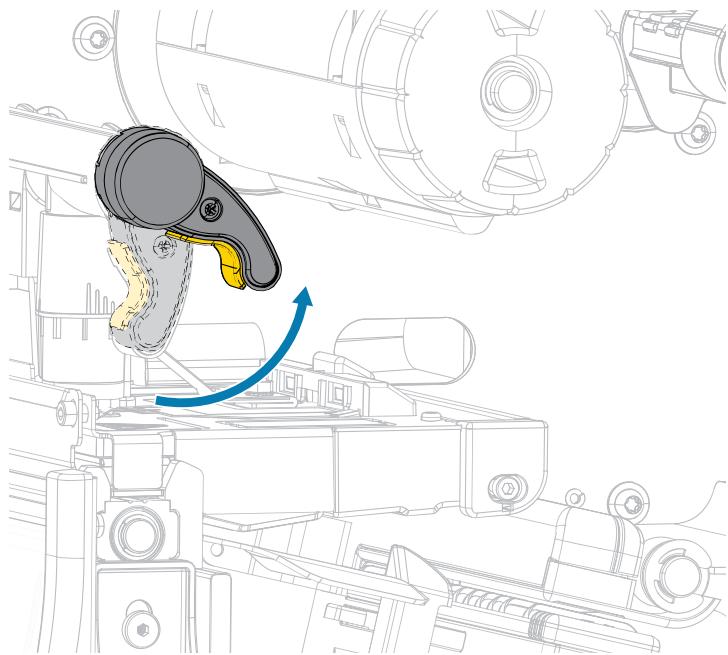
印字ヘッドの磨耗を防ぐために、用紙より幅の広いリボンを使用してください。標準プリンタで使用する場合、リボンは外側がコーティングされていなければなりません。詳細については、[使用できるリボンのタイプは？](#)（62ページ）を参照してください。

1. 用紙アクセス用ドアを開きます。

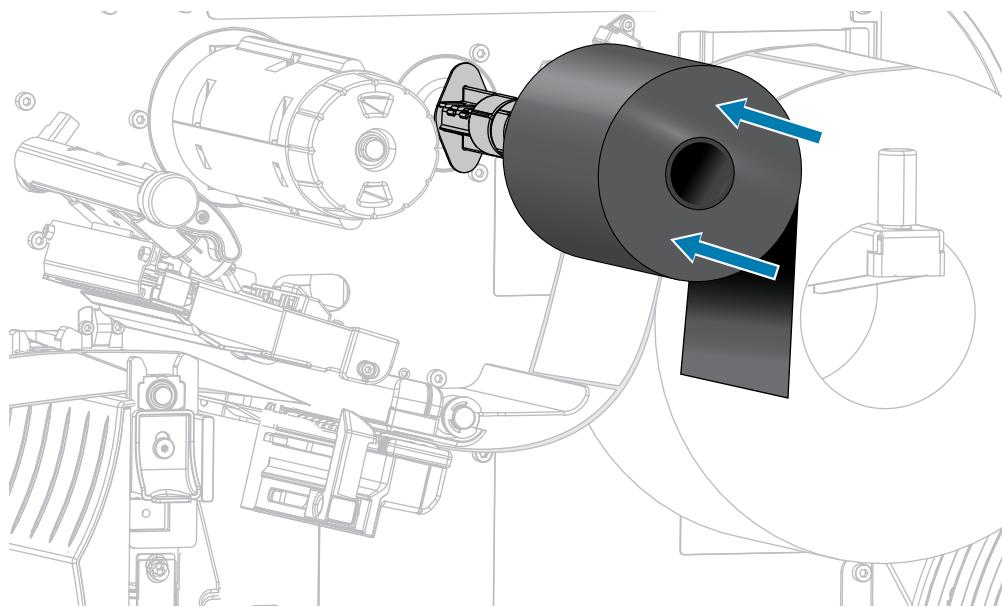


注意：表面が熱くなっています：印字ヘッドが熱くなっている可能性があり、重篤な火傷を引き起こす危険があります。印字ヘッドが冷めるまで時間をおいてください。

- 印字ヘッド オープン レバーを上方に回して、印字ヘッド アセンブリを開けます。

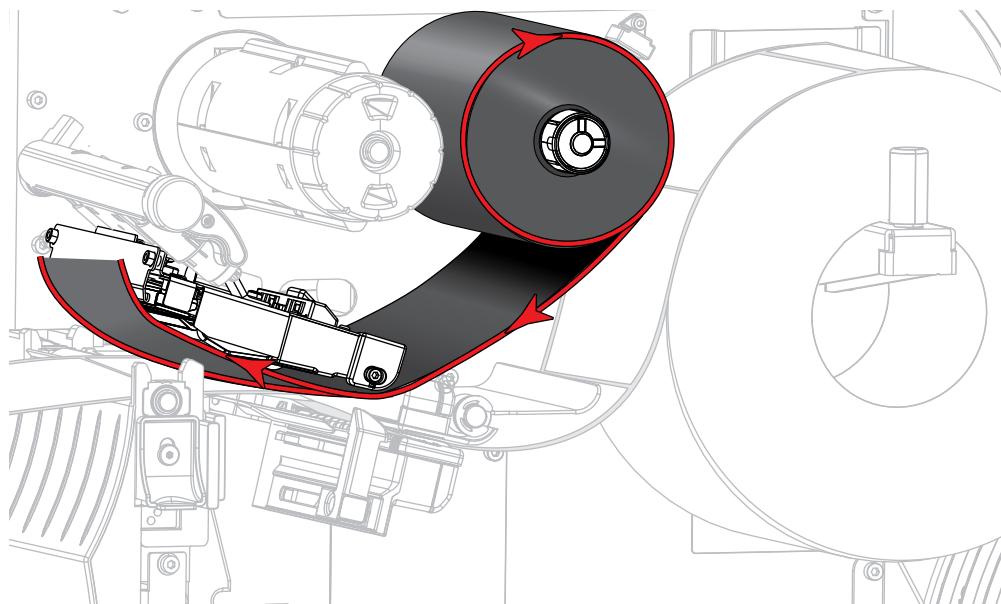


- リボンのロールをリボン サプライ スピンドルに装着し、リボンの巻き終わり部分を図のように垂らします。ロールを一番奥まで押し込みます。

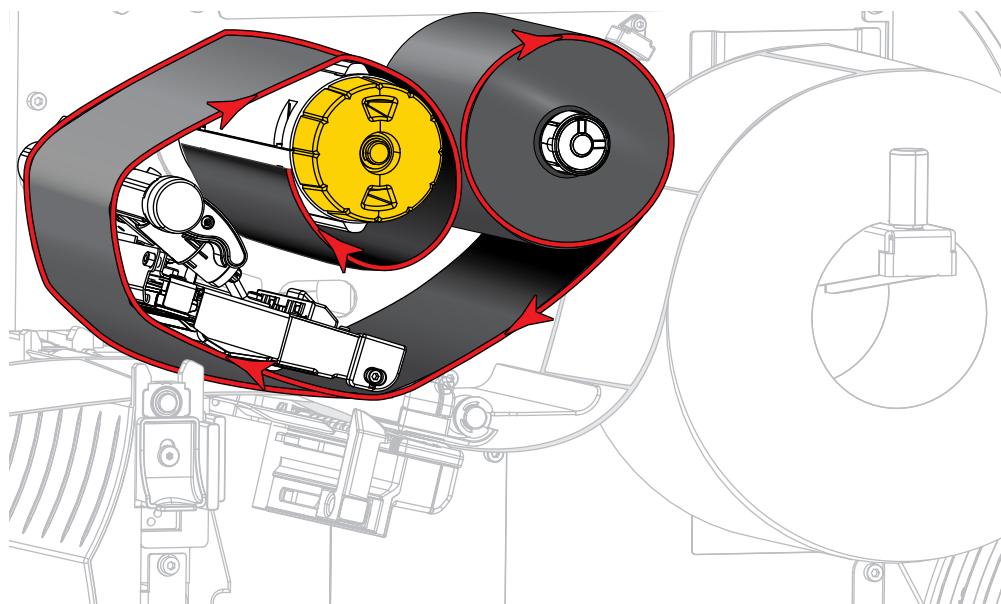


プリンタのセットアップ

4. 図に示すように、リボンは印字ヘッドアセンブリの下から左側へ通します。



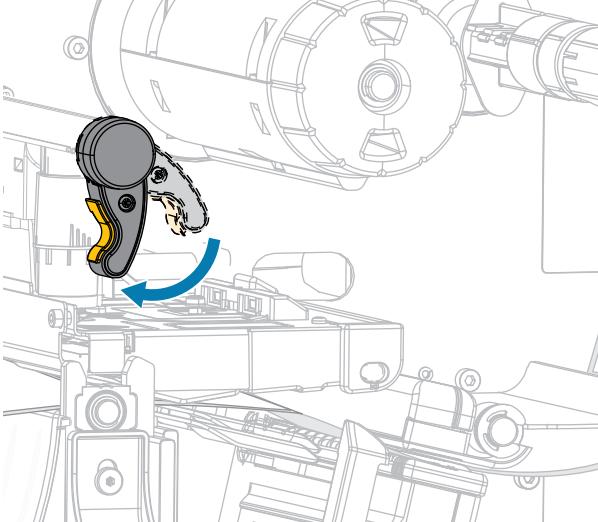
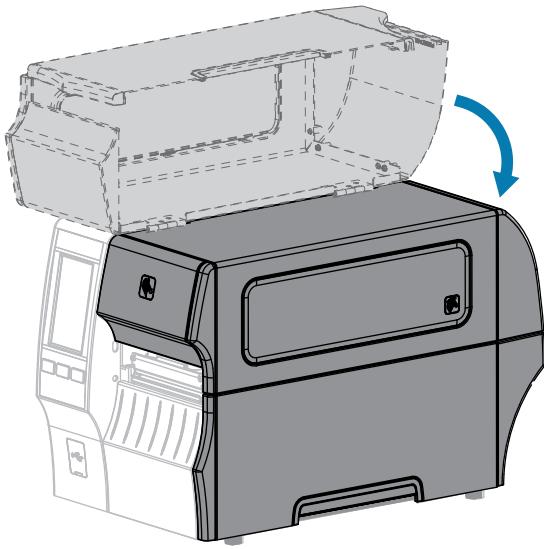
5. 印字ヘッドアセンブリの下にリボンを奥まで戻し、リボン巻き取りスピンドルに巻きつけます。示されている方向にスピンドルを数回回して、リボンの締め付けと調整を行います。



6. 用紙はプリンタに装着済みですか?

使用する用紙	操作
なし	プリンタに用紙をセットします。(用紙の装着 (31ページ) を参照)。

プリンタのセットアップ

使用する用紙	操作
あり	<p>a. 印字ヘッド オープン レバーを下方向に、印字ヘッドが固定位置でロックされるまで回します。</p>  <p>b. 用紙アクセス用ドアを閉めます。</p>  <p>c. 一時停止モードを終了して印刷可能にするには、PAUSE (一時停止) を押します。</p>

印刷ウィザードの実行とテスト ラベルの印刷

印刷ウィザードでは、プリンタを設定し、テスト ラベルを印刷して、テスト ラベルの結果に基づいて印刷品質を調整します。

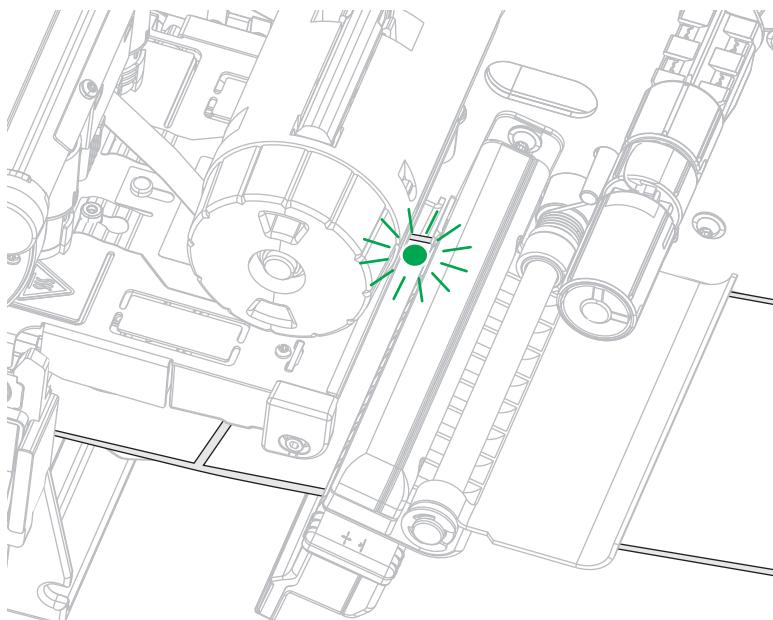


重要: ウィザードを使用する際は、ホストからプリンタにデータを送信しないでください。

最適な結果を得るために、[印刷ウィザード] または [すべてをウィザードに設定] を実行するときは全幅の用紙を使用してください。用紙が印刷するイメージよりも小さい場合、イメージが断ち切れたり、複数のラベルにまたがって印刷される結果になることがあります。

プリンタのセットアップ手順を完了してプリンタのセットアップ ウィザードを実行したら、このセクションを使用してテスト ラベルを印刷します。このラベルを印刷すると、接続が機能しているかどうか、印刷設定の調整が必要かどうかが分かります。

1. ホーム画面で [ウィザード] > [印刷] > [発行開始] をタッチします。
2. プロンプトに従って、以下の情報を指定します。
 - プリント タイプ (熱転写または感熱)
 - ラベル タイプ (連続、ギャップ/切れ込み、またはマーク)
 - ラベル幅
 - コレクション方式 (切り取り、剥離、巻き取り、カッター、遅延カット、台紙なし剥離、台紙なし巻き取り、台紙なし切り取り、またはアプリケータ)
- 上記を指定すると、ウィザードは用紙を装着してから用紙センサー上にラベルを置くように指示します。
3. ラベルが用紙センサーの緑色のランプの上にくるように用紙を装着してから、チェックマークをタッチします。

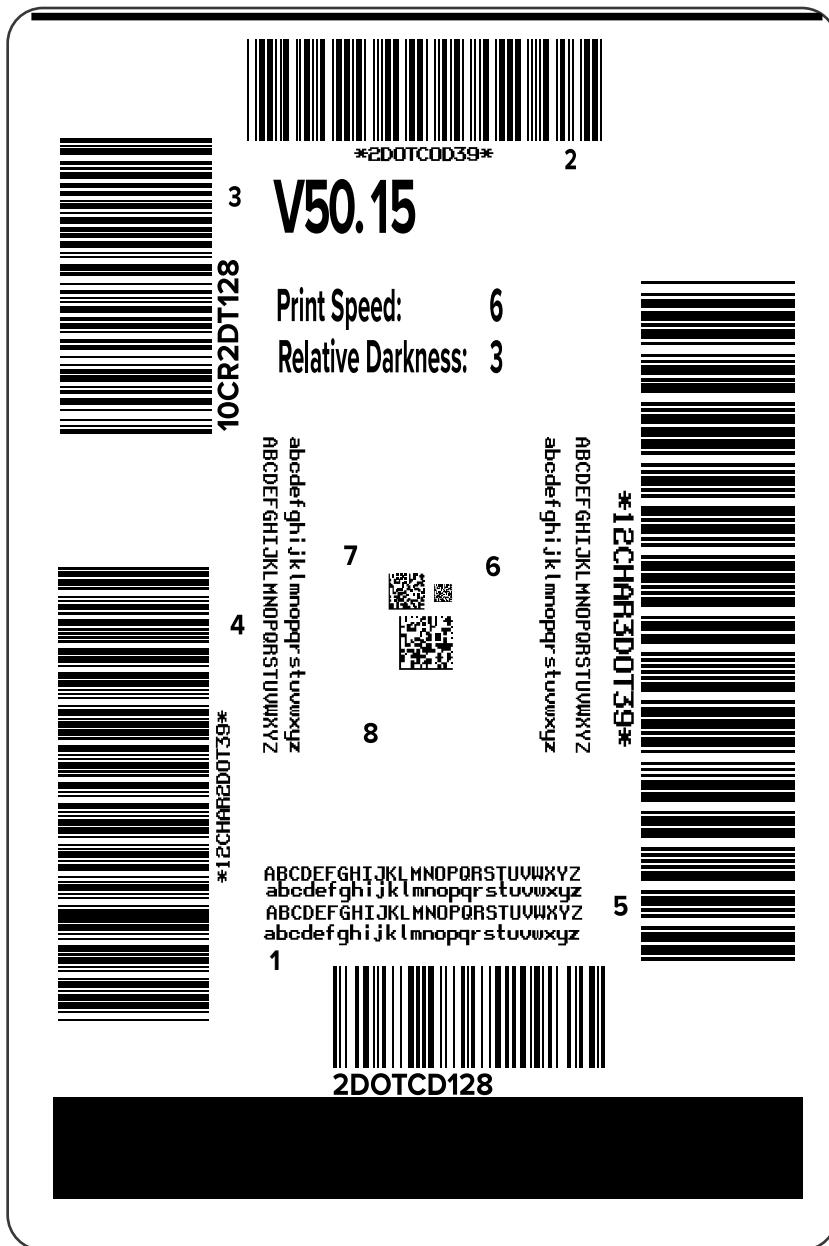


4. プロンプトで、印字ヘッドを閉じてから、次のチェックマークをタッチします。
- プリンタはキャリブレートしてから、テスト ラベルを印刷するかどうかの確認を求めます。
5. プロンプトに従って、プリンタの自動キャリブレーションの完了を確認します。

プリンタのセットアップ

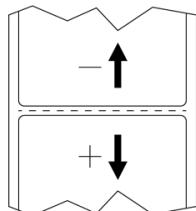
6. テストラベルを印刷するよう求められたら、チェックマークをタッチします。

これと同様のテスラベルが印刷されます。ラベルがイメージより小さい場合は、テスラベルの一部のみが印刷されます。



7. 切り取りバー上のラベルの位置を確認します。必要に応じて、この用紙位置が印刷後に切り取りバーの上にくるように移動します。

- ・ ラベル間のスペースが切り取りバーの上にくる場合は、次の手順に進みます。
- ・ ラベル間のスペースが切り取りバーに直接当たらない場合は、印刷後に用紙の位置を切り取りバーの上にくるように移動します。
数値を小さくすると、指定したドット数だけ用紙が引っ込みます(切り取り線が印刷されたラベルの端に近くなります)。
- 数値を大きくすると、用紙がプリンタの外へ出ます(切り取り線が次のラベルの先端に近くなります)。



8. テストラベル上のイメージの品質を調べます。テストラベル上のバーコードとテキストの品質に満足ですか? 詳細については、[バーコード品質の評価](#) (143ページ) を参照してください。

- ・ [はい] の場合は、チェックマークをタッチして、プリント品質に影響を与える可能性のあるその他の問題を確認します。[印刷または印刷品質の問題](#) (159ページ) を参照してください。
- ・ [いいえ] の場合は、プリンタのメニュー システムから濃度設定と速度設定を変更して印刷品質を手動で調整するか、印刷品質アシスタンス ウィザードを実行します。[印字品質アシスタント ウィザードの使用](#) (69ページ) を参照してください。

印字品質アシスタント ウィザードの使用

1. [印字品質アシスタンス] をタッチします。

プリンタは、印刷するテストラベルの数の入力を求めてきます。印刷するラベルの数が多いほど、ラベルの品質を決めるための選択肢が増えます。一般に、前のウィザードのテストラベルが満足できるものであれば、この手順でテストラベルの数を少なくできる可能性があります。

2. 印刷するテストラベルの数を選択します。

指定した数のテストラベルが印刷され、優先するテストラベルの入力を求められます。

3. 最高品质のテストラベルを決定します(詳細については、[バーコード品質の評価](#) (143ページ) を参照)。満足できるラベルが得られない場合は、ウィザードで矢印を使用して画面をバックアップし、多めの数のテストラベルを選択します。

4. ディスプレイ上のリストで、指定された品質のよいテストラベルのIDを選択してから、チェックマークをタッチします。

プリンタは、濃度と速度を優先するテストラベルで使用するレベルに変更します。

5. 必要な場合は、印刷品質に影響を及ぼす可能性のあるその他の問題の詳細については、[印刷または印刷品質の問題](#) (159ページ) を参照してください。

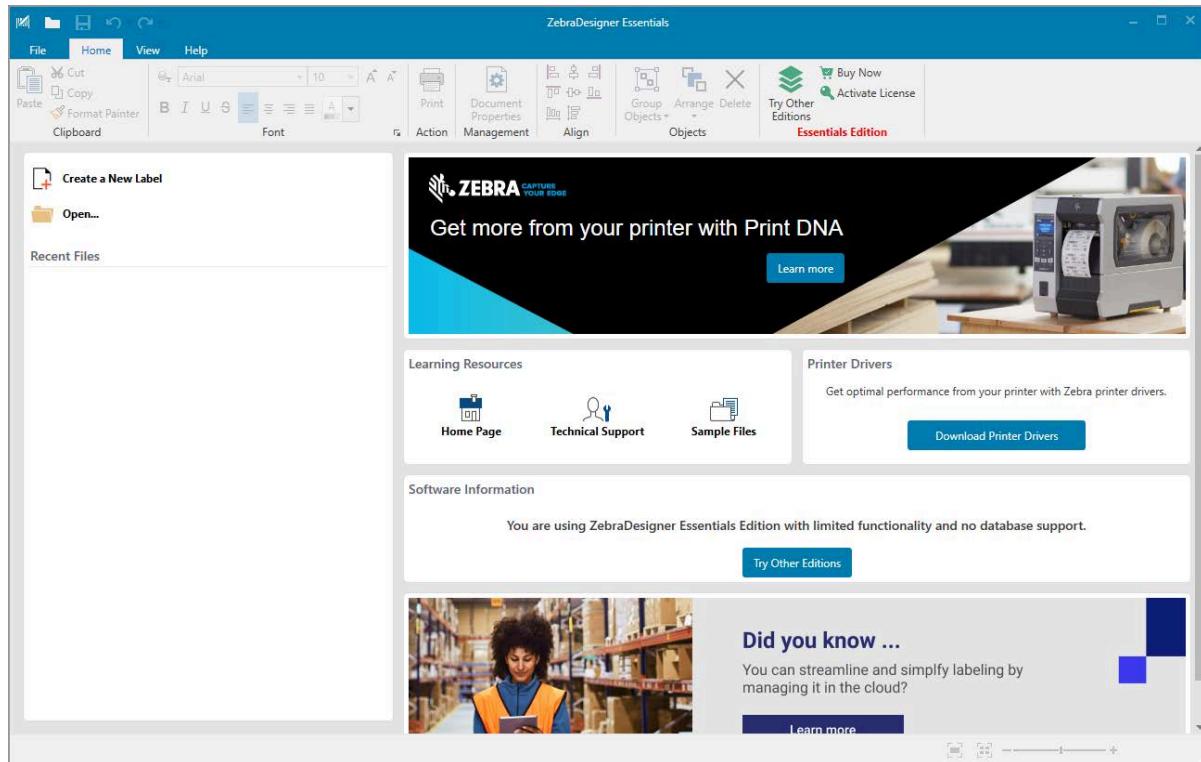
印字セットアップ手順が完了しました。

ラベルデザインソフトウェアのインストール

ご使用のプリンタに対応するラベルフォーマットの作成に使用するソフトウェアを選択してインストールします。

オプションの1つは ZebraDesigner です。このソフトウェアは zebra.com/zebradesigner からダウンロードできます。ZebraDesigner Essentials を無料で使用することもできますが、より堅牢なツールセットである ZebraDesigner Professional を購入することもできます。

図2 ZebraDesigner Essentials 画面の例



ZebraDesigner のシステム要件

ZebraDesigner ラベルフォーマットデザインアプリケーションのシステム要件を以下に示します。

- 32ビットまたは64ビットのWindows 10デスクトップエディション、Windows 11デスクトップエディション、Windows Server 2016、Windows Server 2019、Windows Server 2022 オペレーティングシステム。
- CPU: インテルまたは互換性のあるx86 ファミリ プロセッサ
- メモリ: 2GB 以上のRAM
- ハード ドライブ: 1GB の空きディスク容量
- Microsoft.NET Framework Version 4.7.2
- ディスプレイ: 解像度 1366 × 768 以上のモニタ
- ZDesigner プリンタ ドライバ

プリンタのセットアップ



注：リモートデスクトップサービスおよび仮想マシンはサポートされていません。

プリンタの設定と調整

このセクションではプリンタの設定とプリンタの調整について説明します。

ホーム画面

プリンタのホーム画面には、プリンタの現在のステータスが表示され、プリンタのメニューにアクセスできます。プリンタの画像を360度回転させると、あらゆる角度から見ることができます。



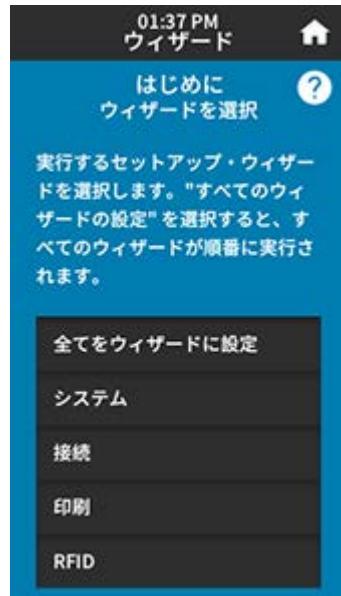
注：ホーム画面の背景色が黄色または赤色の場合、プリンタはアラート状態またはエラー状態にあります。詳細については、[アラートとエラー状態](#)を参照してください。

ホーム画面の [印刷ステータス] タブには次の項目があります。

- メニュー - プリンタ設定を変更できます。[ユーザー メニュー](#)を参照してください。

プリンタの設定と調整

- ・ ウィザード - 画面の指示に従ってプリンタ設定を変更できます。 [プリンタ ウィザード](#) を参照してください。



- ・ ショートカット - 最後の使用したメニュー項目にすばやくアクセスしたり、お気に入りを保存したりすることができます。メニュー項目の横にある暗い色のハートアイコンをタッチすると、お気に入りのリストに保存されます。お気に入りの項目は保存した順に表示されます。



プリンタ設定の変更

このセクションでは、変更可能なプリンタ設定について説明すると共に、プリンタ設定の変更に使用するツールも特定します。これらのツールには、次のようなものがあります。

- ・ 以前にインストールされた Windows ドライバ(詳細については、[Windows ドライバによるプリンタ設定の変更](#) (74ページ) を参照)。

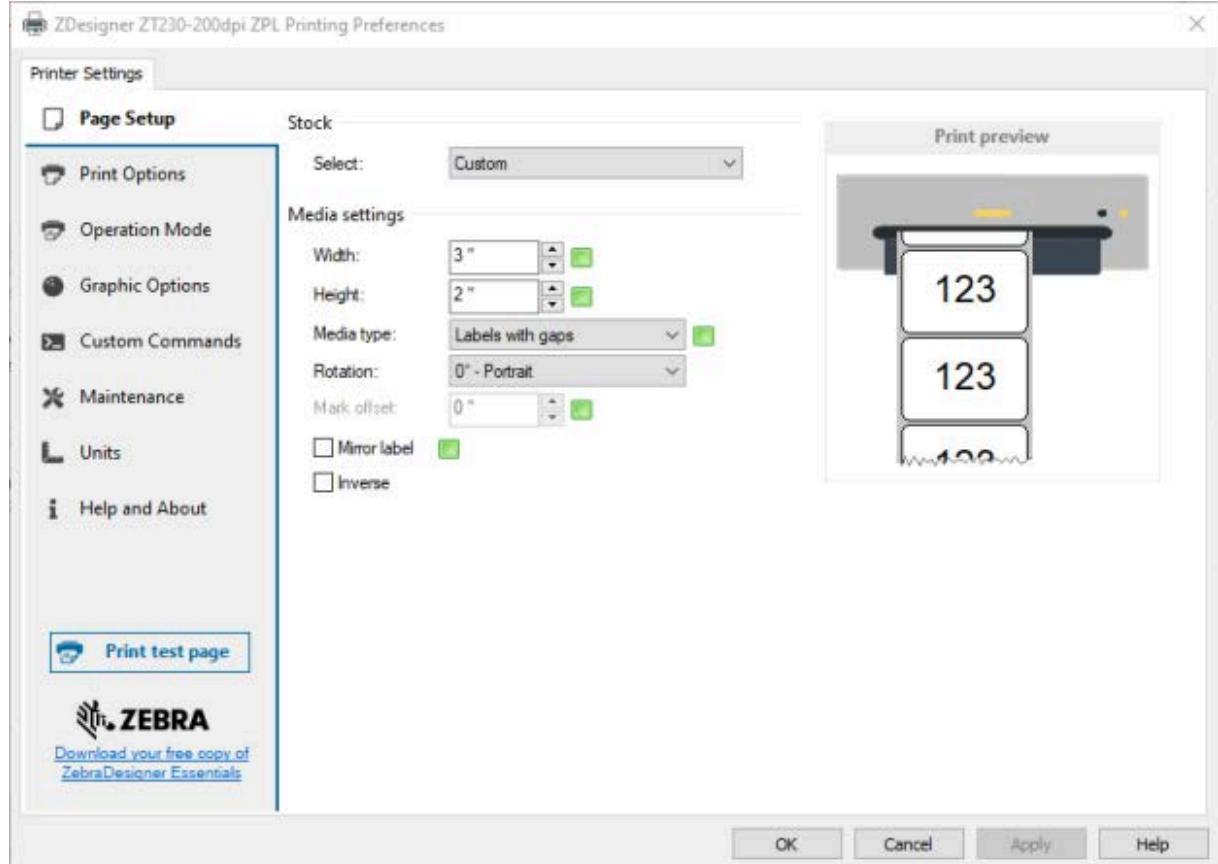
プリンタの設定と調整

- プリンタ ウィザード(プリンタ ウィザード (75ページ) を参照)。
- プリンタのユーザー メニュー(詳細については、ユーザー メニュー (75ページ) を参照)。
- Zebra Printer Setup Utilities:
 - [Windows コンピュータ](#)
 - [Android デバイス](#)
 - [Apple デバイス](#)
- ZPL コマンドと Set/Get/Do (SGD) コマンド(詳細については、『Zebra プログラミング ガイド』を参照)。
- プリンタに有線またはワイヤレスのプリント サーバー接続が有効になっているときのプリンタの Web ページ(詳細については、『ZebraNet 有線プリント サーバーおよびワイヤレス プリント サーバー ユーザー ガイド』を参照)。

Windows ドライバによるプリンタ設定の変更

1. Windows の [スタート] メニューから、[プリンタとスキャナ] に移動します。
2. 使用可能なプリンタのリストで目的のプリンタをクリックし、[管理] をクリックします。
3. [印刷設定] をクリックします。

プリンタの [ZDesigner] ウィンドウが表示されます。



4. 必要に応じて設定を変更し、続いて [OK] をクリックします。

プリンタ ウィザード

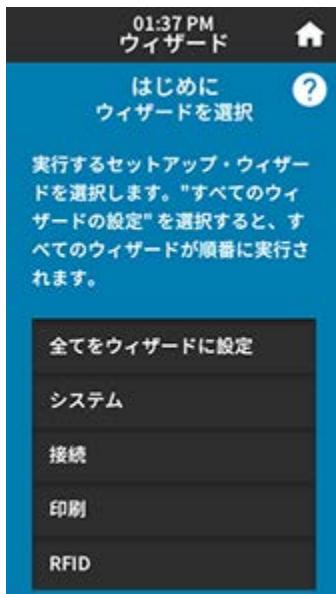
プリンタ ウィザードでは、各種のプリンタ設定および機能のセットアップ プロセスの手順が表示されます。

以下のウィザードを利用できます。

- ・ [すべてをウィザードに設定] - すべてのウィザードを順番に実行します。
- ・ [システム] ウィザード - 印刷関連以外のオペレーティング システム設定を行います。
- ・ [接続] ウィザード - プリンタの接続オプションを設定します。
- ・ [印刷] ウィザード - 重要な印刷パラメータと機能を設定します。 [印刷 ウィザードの実行とテスト ラベルの印刷](#) (67ページ) を参照してください。
- ・ [RFID] ウィザード - RFID サブシステムの動作を設定します。

ホーム画面で **[ウィザード]** をタッチすると、利用可能なオプションが表示されます。

いずれかのウィザードによって設定された個々の設定について詳しくは、[ユーザー メニュー](#) (75ページ) を参照してください。



重要:

ウィザードを使用する際は、ホストからプリンタにデータを送信しないでください。

最適な結果を得るために、[印刷 ウィザード] または [すべてを ウィザードに 設定] を実行するときは全幅の用紙を使用してください。印刷するイメージよりも用紙が短い場合、イメージが断ち切れたり、複数のラベルにまたがって印刷されたりすることがあります。

ユーザー メニュー

プリンタのユーザー メニューを使用し、必要に応じてプリンタを設定します。

これらの各メニューの詳細については、[システム メニュー](#) (77ページ)、[接続メニュー](#) (85ページ)、[印刷メニュー](#) (100ページ)、[RFID メニュー](#) (110ページ)、および[保管メニュー](#) (117ページ) を参照してください。

プリンタの設定と調整



プリンタの設定は、ユーザー メニューから変更することも、オプションで以下の方法を使用して変更することもできます(このセクションのユーザー メニューの説明には、必要に応じてこれらのオプションの方法に関する情報が含まれています)。

- ZPL コマンドと Set/Get/Do (SGD) コマンド(詳細については、『Zebra プログラミング ガイド』(zebra.com/manuals) を参照してください)。
- プリンタに有線またはワイヤレスのプリント サーバー接続が有効になっているときのプリンタの Web ページ。詳細については、『ZebraNet 有線プリント サーバーおよびワイヤレスプリントサーバー ユーザー ガイド』(zebra.com/manuals) を参照してください。

また、プリンタのウィザードを使用して設定の一部を変更することもできます(プリンタ ウィザード (75ページ) を参照)。

システムメニュー

メニュー表示	メニュー オプションの説明
	<p>[システム] > [言語]</p> <p>必要に応じてプリンタの表示言語を変更します。この変更内容は、以下の表示に反映されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ホーム画面 ユーザー メニュー エラー メッセージ プリンタ設定ラベル、ネットワーク設定ラベル、およびユーザー メニューで印刷を選択できるその他のラベル
	<p>有効値:</p> <p>英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ノルウェー語、ポルトガル語、スウェーデン語、デンマーク語、オランダ語、フィンランド語、チェコ語、日本語、韓国語、ルーマニア語、ロシア語、ポーランド語、簡体字中国語、繁体字中国語</p> <p>このパラメータの選択肢は、実際の当該言語で表示されるため、自分の判読できる言語が見つけやすくなっています。</p>
	<p>関連 ZPL コマンド:</p> <p>^KL</p>
	<p>使用される SGD コマンド:</p> <p>display.language</p>
	<p>プリンタの Web ページ:</p> <p>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [General Setup] (基本設定) > [Language] (言語)</p>

プリンタの設定と調整

メニュー表示	メニュー オプションの説明										
	<p>[システム] > [プログラム言語] > [診断モード]</p> <p>プリンタが受信するすべてのデータの 16 進値をプリンタで出力させるには、この診断ツールを使用します(詳細については、通信診断モードの使用 (148ページ) を参照してください)。</p> <table> <tr> <td>有効値:</td><td> ## - プリンタは、データが表す可能性のあるフォーマット済みラベルを印刷するのではなく、受信したデータ バイトのテキストと 16 進数表現を印刷します。 E: ##### - プリンタは情報を E: ドライブに保存します。 USB #### - USB ホスト メモリ デバイスがある場合、プリンタはそのデバイスに情報を保存します。 ## - プリンタの通常動作モード。電源を入れ直しても、プリンタは [##] モードに戻ります。 </td></tr> <tr> <td></td><td>  注: このコマンドは、ネットワーク パケットトレースを収集しません。 </td></tr> <tr> <td>関連 ZPL コマンド:</td><td> ~JD で有効 ~JE で無効 </td></tr> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td><td>input.capture</td></tr> <tr> <td>コントロールパネルのキー:</td><td>プリンタがレディ状態のときに、PAUSE (一時停止) と FEED (フィード) を 2 秒間長押しします。</td></tr> </table>	有効値:	## - プリンタは、データが表す可能性のあるフォーマット済みラベルを印刷するのではなく、受信したデータ バイトのテキストと 16 進数表現を印刷します。 E: ##### - プリンタは情報を E: ドライブに保存します。 USB #### - USB ホスト メモリ デバイスがある場合、プリンタはそのデバイスに情報を保存します。 ## - プリンタの通常動作モード。電源を入れ直しても、プリンタは [##] モードに戻ります。		 注: このコマンドは、ネットワーク パケットトレースを収集しません。	関連 ZPL コマンド:	~JD で有効 ~JE で無効	使用される SGD コマンド:	input.capture	コントロールパネルのキー:	プリンタがレディ状態のときに、PAUSE (一時停止) と FEED (フィード) を 2 秒間長押しします。
有効値:	## - プリンタは、データが表す可能性のあるフォーマット済みラベルを印刷するのではなく、受信したデータ バイトのテキストと 16 進数表現を印刷します。 E: ##### - プリンタは情報を E: ドライブに保存します。 USB #### - USB ホスト メモリ デバイスがある場合、プリンタはそのデバイスに情報を保存します。 ## - プリンタの通常動作モード。電源を入れ直しても、プリンタは [##] モードに戻ります。										
	 注: このコマンドは、ネットワーク パケットトレースを収集しません。										
関連 ZPL コマンド:	~JD で有効 ~JE で無効										
使用される SGD コマンド:	input.capture										
コントロールパネルのキー:	プリンタがレディ状態のときに、PAUSE (一時停止) と FEED (フィード) を 2 秒間長押しします。										
	<p>[システム] > [プログラム言語] > [仮想デバイス]</p> <p>プリンタに仮想デバイス アプリケーションがインストールされている場合、このユーザー メニューからこれらのアプリケーションの表示または有効化/無効化が可能です。</p> <p>詳細については、適切な仮想デバイスのユーザー ガイドを参照するか、最寄りの販売代理店にお問い合わせください。</p>										

プリンタの設定と調整

メニュー表示	メニュー オプションの説明
	<p>[システム] > [プログラム言語] > [ZBI]</p> <p>Zebra Basic Interpreter (ZBI 2.0™) は、プログラミング オプションで、ご使用のプリンタ用にご購入いただけます。このオプションをご購入される方は、詳細について最寄りの Zebra 販売代理店にお問い合わせください。</p> <p>ZBI プログラムがプリンタにすでにダウンロード済みの場合は、このメニュー項目を使用して ZBI プログラムを選択すると実行できます。プログラムがプリンタに存在しない場合は、[なし] が表示されます。</p> <p>ZBI プログラムがダウンロードされているのに何も実行されていない場合、プリンタは利用可能なプログラムをすべてリストします。そのうちの 1 つを実行するには、プログラム名の下にある [実行] (白く強調表示) をタッチします。</p> <p>プログラムの実行後は、そのプログラムのみがリストされます。プログラムを終了するには、[停止] (白く強調表示) をタッチします。</p> 
<p>使用される SGD コマンド:</p>	<p>zbi.key - 有効な ZBI 2.0 ライセンスがプリンタにインストールされているかどうかを示します。</p> <p>zbi.enable - ZBI 2.0 オプションがプリンタで有効か無効かを示します。</p> <p> 注: ZBI 機能を使用するには、zbi.key を [##] に設定し、zbi.enable を [##] に設定する必要があります。</p>

プリンタの設定と調整

メニュー表示	メニュー オプションの説明				
	<p>[システム] > [設定] > [Time Format 表示] プリンタで使用する時刻の表示形式を選択します。</p> <table> <tr> <td>有効値:</td><td>12 時間、24 時間</td></tr> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td><td>device.idle_display_value</td></tr> </table>	有効値:	12 時間、24 時間	使用される SGD コマンド:	device.idle_display_value
有効値:	12 時間、24 時間				
使用される SGD コマンド:	device.idle_display_value				
	<p>[システム] > [設定] > [パスワード レベル] ユーザー メニュー項目のパスワード保護のレベルを選択します。</p> <table> <tr> <td>有効値:</td><td>選択済み、すべて、なし</td></tr> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td><td>display.password.level</td></tr> </table>	有効値:	選択済み、すべて、なし	使用される SGD コマンド:	display.password.level
有効値:	選択済み、すべて、なし				
使用される SGD コマンド:	display.password.level				

プリンタの設定と調整

メニュー表示	メニュー オプションの説明								
	<p>[システム] > [設定] > [パスワードを設定]</p> <p>前のパラメータで保護されるメニュー項目に新しいプリンタ パスワードを設定します。デフォルトのプリンタ パスワードは 1234 です。</p> <table border="1"> <tr> <td>有効値:</td><td>数値 0 ~ 9</td></tr> <tr> <td>関連 ZPL コマンド:</td><td><code>^KP</code></td></tr> </table>	有効値:	数値 0 ~ 9	関連 ZPL コマンド:	<code>^KP</code>				
有効値:	数値 0 ~ 9								
関連 ZPL コマンド:	<code>^KP</code>								
	<p>[システム] > [設定] > [電源投入時の動作]</p> <p>電源投入シーケンス時に行うプリンタの動作を設定します。</p> <table border="1"> <tr> <td>有効値:</td><td> キャリブレート - センサー レベルとしきい値を調整し、ラベル長を判定し、用紙を次のウェブまでフィードします。 フィード - ラベルが最初の登録ポイントにフィードされます。 長さ - 現在のセンサー値を使用してラベル長を判定し、用紙を次のウェブまでフィードします。 動作しません - プリンタに用紙送りをさせません。 手動でウェブが正確な位置にあることを確認するか、FEED (フィード) を押して次のウェブの位置決めを行う必要があります。 短キャリブレート - センサー ゲインを調整せずに用紙とウェブのしきい値を設定し、ラベル長を判定して用紙を次のウェブまでフィードします。 </td></tr> <tr> <td>関連 ZPL コマンド:</td><td><code>^MF</code></td></tr> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td><td><code>ezpl.power_up_action</code></td></tr> <tr> <td>プリンタの Web ページ:</td><td>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示&変更をします) > [Calibration] (キャリブレート)</td></tr> </table>	有効値:	キャリブレート - センサー レベルとしきい値を調整し、ラベル長を判定し、用紙を次のウェブまでフィードします。 フィード - ラベルが最初の登録ポイントにフィードされます。 長さ - 現在のセンサー値を使用してラベル長を判定し、用紙を次のウェブまでフィードします。 動作しません - プリンタに用紙送りをさせません。 手動でウェブが正確な位置にあることを確認するか、FEED (フィード) を押して次のウェブの位置決めを行う必要があります。 短キャリブレート - センサー ゲインを調整せずに用紙とウェブのしきい値を設定し、ラベル長を判定して用紙を次のウェブまでフィードします。	関連 ZPL コマンド:	<code>^MF</code>	使用される SGD コマンド:	<code>ezpl.power_up_action</code>	プリンタの Web ページ:	[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示&変更をします) > [Calibration] (キャリブレート)
有効値:	キャリブレート - センサー レベルとしきい値を調整し、ラベル長を判定し、用紙を次のウェブまでフィードします。 フィード - ラベルが最初の登録ポイントにフィードされます。 長さ - 現在のセンサー値を使用してラベル長を判定し、用紙を次のウェブまでフィードします。 動作しません - プリンタに用紙送りをさせません。 手動でウェブが正確な位置にあることを確認するか、FEED (フィード) を押して次のウェブの位置決めを行う必要があります。 短キャリブレート - センサー ゲインを調整せずに用紙とウェブのしきい値を設定し、ラベル長を判定して用紙を次のウェブまでフィードします。								
関連 ZPL コマンド:	<code>^MF</code>								
使用される SGD コマンド:	<code>ezpl.power_up_action</code>								
プリンタの Web ページ:	[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示&変更をします) > [Calibration] (キャリブレート)								

プリンタの設定と調整

メニュー表示	メニュー オプションの説明
	<p>[システム] > [設定] > [印字 Head 閉時動作]</p> <p>印字ヘッドを閉めた時のプリンタの動作を設定します。</p>
	<p>有効値:</p> <ul style="list-style-type: none"> キャリブレート - センサー レベルとしきい値を調整し、ラベル長を判定し、用紙を次のウェブまでフィードします。 フィード - ラベルが最初の登録ポイントにフィードされます。 長さ - 現在のセンサー値を使用してラベル長を判定し、用紙を次のウェブまでフィードします。 動作しません - プリンタに用紙送りをさせません。手動でウェブが正確な位置にあることを確認するか、FEED (フィード) を押して次のウェブの位置決めを行う必要があります。 短キャリブレート - センサー ゲインを調整せずに用紙とウェブのしきい値を設定し、ラベル長を判定して用紙を次のウェブまでフィードします。
	<p>関連 ZPL コマンド:</p> <p>^MF</p>
	<p>使用される SGD コマンド:</p> <p>ezpl.head_close_action</p>
	<p>プリンタの Web ページ:</p> <p>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [Calibration] (キャリブレート)</p>
	<p>[システム] > [設定] > [画面キャリブレート]</p> <p>各十字線をタッチして画面を調整します。</p>

プリンタの設定と調整

メニュー表示	メニュー オプションの説明
	<p>[システム] > [設定] > [デフォルトに戻す]</p> <p>特定のプリンタ、プリントサーバー、およびネットワークの設定を工場出荷時のデフォルト値に戻します。デフォルト設定を読み込む場合は、手動で変更したすべての設定を再読み込みする必要があるので、注意してください。このメニュー項目は、それぞれ異なるデフォルト値を持つ2つのユーザー メニューから利用可能です。</p>
	<p>有効値:</p> <p>プリンタ - ネットワーク設定以外のすべてのプリンタ設定を工場出荷時のデフォルト値に戻します。デフォルト設定を読み込む場合は、手動で変更したすべての設定を再読み込みする必要があるので、注意してください。</p> <p>ネットワーク - プリンタの有線またはワイヤレスのプリントサーバーを再初期化します。ワイヤレスプリントサーバーの場合、プリンタとワイヤレスネットワークとの再関連付けも行われます。</p> <p>最終保存 - 最後の確定保存から設定を読み込みます。</p>
	<p>関連 ZPL コマンド:</p> <p>プリンタ - ^JUF ネットワーク - ^JUN 最終保存 - ^JUR</p>
	<p>コントロールパネルのキー:</p> <p>プリンタ - プリンタのパワーアップ時に FEED (フィード) と PAUSE (一時停止) を長押しして、プリンタパラメータを工場出荷時の値にリセットします。</p> <p>ネットワーク - プリンタの電源投入時に CANCEL (キャンセル) と PAUSE (一時停止) を長押しして、ネットワークパラメータを工場出荷時の値にリセットします。</p> <p>最終保存 - N/A</p>
	<p>プリンタの Web ページ:</p> <p>プリンタ - [View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [Restore Default Configuration] (デフォルトのコンフィグに再定義してください)</p> <p>ネットワーク - [Print Server Settings] (プリントサーバー設定) > [Reset Print Server] (プリントサーバーのリセット)</p> <p>最終保存 - [View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [Restore Saved Configuration] (保存された設定の復元)</p>

メニュー表示	メニュー オプションの説明																																																																																																																																																																												
 <p>19:27 システム</p> <p>ハスゾート・レベル None</p> <ul style="list-style-type: none"> パスワードを設定 電源投入時の動作 Calibrate 印字Head閉時動作 Calibrate 画面キャリブレート デフォルトに戻す 印刷: システム設定 省エネ 	<p>[システム] > [設定] > [印刷: システム設定]</p> <p>プリンタ設定ラベルを印刷します。以下は、サンプル ラベルです。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">PRINTER CONFIGURATION</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>Zebra Technologies</td><td>DARKNESS</td></tr> <tr><td>ZT2-T620R-203dpi ZPL</td><td>PRINT SPEED</td></tr> <tr><td>76J162700888</td><td>TEAR OFF</td></tr> <tr><td></td><td>FEED MODE</td></tr> <tr><td></td><td>CONTINUOUS</td></tr> <tr><td></td><td>MEDIA TYPE</td></tr> <tr><td></td><td>TRANSMISSIVE</td></tr> <tr><td></td><td>SENSOR SELECT</td></tr> <tr><td></td><td>PAPER THICKNESS</td></tr> <tr><td>1344...</td><td>PRINT WIDTH</td></tr> <tr><td>2000...</td><td>LABEL LENGTH</td></tr> <tr><td>FL0000002/00005 2...</td><td>LABEL ID</td></tr> <tr><td>15.0IN 380MM...</td><td>MAXIMUM LENGTH</td></tr> <tr><td>MAINT OFF...</td><td>EARLY WARNING</td></tr> <tr><td>USB...</td><td>USB COMM.</td></tr> <tr><td>BIDIRECTIONAL...</td><td>PARALLEL COMM.</td></tr> <tr><td>RS232...</td><td>SERIAL COMM.</td></tr> <tr><td>8000...</td><td>DATA BITS</td></tr> <tr><td>8BITS...</td><td>PARITY</td></tr> <tr><td>NONE...</td><td>HANDSHAKE</td></tr> <tr><td>XON/XOFF...</td><td>ROUTER</td></tr> <tr><td>NONE...</td><td>COMMUNICATIONS</td></tr> <tr><td><> ZEH...</td><td>CONTROL PREFIX</td></tr> <tr><td><> ZOH...</td><td>DATA PREFIX</td></tr> <tr><td>ZPL II...</td><td>DELIMITER CHAR</td></tr> <tr><td>ZPL II...</td><td>ZPL MODE</td></tr> <tr><td>ZPL II...</td><td>OVERWRITE</td></tr> <tr><td>FEED...</td><td>MEDIA POWER UP</td></tr> <tr><td>LENGTH...</td><td>HEAD CLOSE</td></tr> <tr><td>LEAD OUT...</td><td>FEED</td></tr> <tr><td>+000...</td><td>LABEL TOP</td></tr> <tr><td>+000...</td><td>LEFT POSITION</td></tr> <tr><td></td><td>RIGHT POSITION</td></tr> <tr><td>ENABLED...</td><td>PORT ERROR</td></tr> <tr><td>PULSE MODE...</td><td>ERROR ON PAUSE</td></tr> <tr><td>DISABLED...</td><td>START PRINT SIG</td></tr> <tr><td>080...</td><td>REPRINT MODE</td></tr> <tr><td>090...</td><td>MEDIA SENSOR</td></tr> <tr><td>090...</td><td>TAKE LABEL</td></tr> <tr><td>021...</td><td>MARK SENSOR</td></tr> <tr><td>027...</td><td>MARK MED SENSOR</td></tr> <tr><td>005...</td><td>TRANS GAIN</td></tr> <tr><td>005...</td><td>TRANS LED</td></tr> <tr><td>060...</td><td>TRANS LED</td></tr> <tr><td>002...</td><td>MARK GAIN</td></tr> <tr><td>000...</td><td>MARK LED</td></tr> <tr><td>OPCSAFVM...</td><td>MODES ENABLED</td></tr> <tr><td></td><td>MODES DISABLED</td></tr> <tr><td>1944.6MM FULL...</td><td>LINK-OS VERSION</td></tr> <tr><td>4.0...</td><td>FIRMWARE</td></tr> <tr><td>V80.20.03 <...</td><td>HW VERSION</td></tr> <tr><td>5.1.0 22.89...</td><td>HW VERSION</td></tr> <tr><td>32768...</td><td>SW SOFTWARE ID</td></tr> <tr><td>32768...</td><td>RAM</td></tr> <tr><td>32768k...</td><td>DN3280 FLASH</td></tr> <tr><td>NO...</td><td>FORMAT CONVERT</td></tr> <tr><td>MM/DD/YYYY 24HR...</td><td>IDLE DISPLAY</td></tr> <tr><td>05/11/17...</td><td>RTC DATE</td></tr> <tr><td>00:00:00...</td><td>RTC TIME</td></tr> <tr><td>ENABLED...</td><td>ZBI</td></tr> <tr><td>2.1...</td><td>ZBI VERSION</td></tr> <tr><td>THREE MICRO...</td><td>RFID READER</td></tr> <tr><td>20.00.00.01...</td><td>RFID HI VERSION</td></tr> <tr><td>20.00.00.01...</td><td>RFID LO VERSION</td></tr> <tr><td>USA/CANADA...</td><td>RFID REGION CODE</td></tr> <tr><td>USA/CANADA...</td><td>RFID COUNTRY CODE</td></tr> <tr><td>RFID OK...</td><td>RFID READ CTR</td></tr> <tr><td>16...</td><td>RFID READ PCTR</td></tr> <tr><td>16...</td><td>RFID WRITE PCTR</td></tr> <tr><td>70...</td><td>RFID VOID CTR</td></tr> <tr><td>0...</td><td>RFID VOID CTR</td></tr> <tr><td>NONE...</td><td>RFID ANTENNA</td></tr> <tr><td>570 LABELS...</td><td>NONRESET CTR</td></tr> <tr><td>570 LABELS...</td><td>RESET CTR</td></tr> <tr><td>2798 IN...</td><td>NONRESET CTR</td></tr> <tr><td>2798 IN...</td><td>RESET CTR1</td></tr> <tr><td>2798 IN...</td><td>RESET CTR2</td></tr> <tr><td>7.107 CM...</td><td>NONRESET CTR</td></tr> <tr><td>7.107 CM...</td><td>RESET CTR1</td></tr> <tr><td>001 WIRELESS...</td><td>RESET CTR2</td></tr> <tr><td>*** EMPTY...</td><td>SLOT 1</td></tr> <tr><td>0...</td><td>SLOT 2</td></tr> <tr><td></td><td>FLASH STORAGE COUNT</td></tr> <tr><td>OFF...</td><td>USB HOST LOCK OUT</td></tr> <tr><td></td><td>FIRMWARE IN THIS PRINTER IS COPYRIGHTED</td></tr> </tbody> </table>	PRINTER CONFIGURATION		Zebra Technologies	DARKNESS	ZT2-T620R-203dpi ZPL	PRINT SPEED	76J162700888	TEAR OFF		FEED MODE		CONTINUOUS		MEDIA TYPE		TRANSMISSIVE		SENSOR SELECT		PAPER THICKNESS	1344...	PRINT WIDTH	2000...	LABEL LENGTH	FL0000002/00005 2...	LABEL ID	15.0IN 380MM...	MAXIMUM LENGTH	MAINT OFF...	EARLY WARNING	USB...	USB COMM.	BIDIRECTIONAL...	PARALLEL COMM.	RS232...	SERIAL COMM.	8000...	DATA BITS	8BITS...	PARITY	NONE...	HANDSHAKE	XON/XOFF...	ROUTER	NONE...	COMMUNICATIONS	<> ZEH...	CONTROL PREFIX	<> ZOH...	DATA PREFIX	ZPL II...	DELIMITER CHAR	ZPL II...	ZPL MODE	ZPL II...	OVERWRITE	FEED...	MEDIA POWER UP	LENGTH...	HEAD CLOSE	LEAD OUT...	FEED	+000...	LABEL TOP	+000...	LEFT POSITION		RIGHT POSITION	ENABLED...	PORT ERROR	PULSE MODE...	ERROR ON PAUSE	DISABLED...	START PRINT SIG	080...	REPRINT MODE	090...	MEDIA SENSOR	090...	TAKE LABEL	021...	MARK SENSOR	027...	MARK MED SENSOR	005...	TRANS GAIN	005...	TRANS LED	060...	TRANS LED	002...	MARK GAIN	000...	MARK LED	OPCSAFVM...	MODES ENABLED		MODES DISABLED	1944.6MM FULL...	LINK-OS VERSION	4.0...	FIRMWARE	V80.20.03 <...	HW VERSION	5.1.0 22.89...	HW VERSION	32768...	SW SOFTWARE ID	32768...	RAM	32768k...	DN3280 FLASH	NO...	FORMAT CONVERT	MM/DD/YYYY 24HR...	IDLE DISPLAY	05/11/17...	RTC DATE	00:00:00...	RTC TIME	ENABLED...	ZBI	2.1...	ZBI VERSION	THREE MICRO...	RFID READER	20.00.00.01...	RFID HI VERSION	20.00.00.01...	RFID LO VERSION	USA/CANADA...	RFID REGION CODE	USA/CANADA...	RFID COUNTRY CODE	RFID OK...	RFID READ CTR	16...	RFID READ PCTR	16...	RFID WRITE PCTR	70...	RFID VOID CTR	0...	RFID VOID CTR	NONE...	RFID ANTENNA	570 LABELS...	NONRESET CTR	570 LABELS...	RESET CTR	2798 IN...	NONRESET CTR	2798 IN...	RESET CTR1	2798 IN...	RESET CTR2	7.107 CM...	NONRESET CTR	7.107 CM...	RESET CTR1	001 WIRELESS...	RESET CTR2	*** EMPTY...	SLOT 1	0...	SLOT 2		FLASH STORAGE COUNT	OFF...	USB HOST LOCK OUT		FIRMWARE IN THIS PRINTER IS COPYRIGHTED
PRINTER CONFIGURATION																																																																																																																																																																													
Zebra Technologies	DARKNESS																																																																																																																																																																												
ZT2-T620R-203dpi ZPL	PRINT SPEED																																																																																																																																																																												
76J162700888	TEAR OFF																																																																																																																																																																												
	FEED MODE																																																																																																																																																																												
	CONTINUOUS																																																																																																																																																																												
	MEDIA TYPE																																																																																																																																																																												
	TRANSMISSIVE																																																																																																																																																																												
	SENSOR SELECT																																																																																																																																																																												
	PAPER THICKNESS																																																																																																																																																																												
1344...	PRINT WIDTH																																																																																																																																																																												
2000...	LABEL LENGTH																																																																																																																																																																												
FL0000002/00005 2...	LABEL ID																																																																																																																																																																												
15.0IN 380MM...	MAXIMUM LENGTH																																																																																																																																																																												
MAINT OFF...	EARLY WARNING																																																																																																																																																																												
USB...	USB COMM.																																																																																																																																																																												
BIDIRECTIONAL...	PARALLEL COMM.																																																																																																																																																																												
RS232...	SERIAL COMM.																																																																																																																																																																												
8000...	DATA BITS																																																																																																																																																																												
8BITS...	PARITY																																																																																																																																																																												
NONE...	HANDSHAKE																																																																																																																																																																												
XON/XOFF...	ROUTER																																																																																																																																																																												
NONE...	COMMUNICATIONS																																																																																																																																																																												
<> ZEH...	CONTROL PREFIX																																																																																																																																																																												
<> ZOH...	DATA PREFIX																																																																																																																																																																												
ZPL II...	DELIMITER CHAR																																																																																																																																																																												
ZPL II...	ZPL MODE																																																																																																																																																																												
ZPL II...	OVERWRITE																																																																																																																																																																												
FEED...	MEDIA POWER UP																																																																																																																																																																												
LENGTH...	HEAD CLOSE																																																																																																																																																																												
LEAD OUT...	FEED																																																																																																																																																																												
+000...	LABEL TOP																																																																																																																																																																												
+000...	LEFT POSITION																																																																																																																																																																												
	RIGHT POSITION																																																																																																																																																																												
ENABLED...	PORT ERROR																																																																																																																																																																												
PULSE MODE...	ERROR ON PAUSE																																																																																																																																																																												
DISABLED...	START PRINT SIG																																																																																																																																																																												
080...	REPRINT MODE																																																																																																																																																																												
090...	MEDIA SENSOR																																																																																																																																																																												
090...	TAKE LABEL																																																																																																																																																																												
021...	MARK SENSOR																																																																																																																																																																												
027...	MARK MED SENSOR																																																																																																																																																																												
005...	TRANS GAIN																																																																																																																																																																												
005...	TRANS LED																																																																																																																																																																												
060...	TRANS LED																																																																																																																																																																												
002...	MARK GAIN																																																																																																																																																																												
000...	MARK LED																																																																																																																																																																												
OPCSAFVM...	MODES ENABLED																																																																																																																																																																												
	MODES DISABLED																																																																																																																																																																												
1944.6MM FULL...	LINK-OS VERSION																																																																																																																																																																												
4.0...	FIRMWARE																																																																																																																																																																												
V80.20.03 <...	HW VERSION																																																																																																																																																																												
5.1.0 22.89...	HW VERSION																																																																																																																																																																												
32768...	SW SOFTWARE ID																																																																																																																																																																												
32768...	RAM																																																																																																																																																																												
32768k...	DN3280 FLASH																																																																																																																																																																												
NO...	FORMAT CONVERT																																																																																																																																																																												
MM/DD/YYYY 24HR...	IDLE DISPLAY																																																																																																																																																																												
05/11/17...	RTC DATE																																																																																																																																																																												
00:00:00...	RTC TIME																																																																																																																																																																												
ENABLED...	ZBI																																																																																																																																																																												
2.1...	ZBI VERSION																																																																																																																																																																												
THREE MICRO...	RFID READER																																																																																																																																																																												
20.00.00.01...	RFID HI VERSION																																																																																																																																																																												
20.00.00.01...	RFID LO VERSION																																																																																																																																																																												
USA/CANADA...	RFID REGION CODE																																																																																																																																																																												
USA/CANADA...	RFID COUNTRY CODE																																																																																																																																																																												
RFID OK...	RFID READ CTR																																																																																																																																																																												
16...	RFID READ PCTR																																																																																																																																																																												
16...	RFID WRITE PCTR																																																																																																																																																																												
70...	RFID VOID CTR																																																																																																																																																																												
0...	RFID VOID CTR																																																																																																																																																																												
NONE...	RFID ANTENNA																																																																																																																																																																												
570 LABELS...	NONRESET CTR																																																																																																																																																																												
570 LABELS...	RESET CTR																																																																																																																																																																												
2798 IN...	NONRESET CTR																																																																																																																																																																												
2798 IN...	RESET CTR1																																																																																																																																																																												
2798 IN...	RESET CTR2																																																																																																																																																																												
7.107 CM...	NONRESET CTR																																																																																																																																																																												
7.107 CM...	RESET CTR1																																																																																																																																																																												
001 WIRELESS...	RESET CTR2																																																																																																																																																																												
*** EMPTY...	SLOT 1																																																																																																																																																																												
0...	SLOT 2																																																																																																																																																																												
	FLASH STORAGE COUNT																																																																																																																																																																												
OFF...	USB HOST LOCK OUT																																																																																																																																																																												
	FIRMWARE IN THIS PRINTER IS COPYRIGHTED																																																																																																																																																																												
関連 ZPL コマンド:	<p>~WC</p> <p>コントロールパネルのキー:</p> <p>以下のいずれかを実行します。*</p> <ul style="list-style-type: none"> プリンタの電源投入時に、CANCEL (キャンセル) を長押しします(旧称キャンセル セルフテスト)。 プリンタがレディ状態のときに、FEED (フィード) と CANCEL (キャンセル) を 2 秒間長押しします。 <p> 注: * プリンタ設定ラベルとネットワーク設定レベルを印刷します。</p> <p>プリンタの Web ページ:</p> <p>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [Print Listings on Label] (ラベルにリストを印刷)*</p> <p> 注: * プリンタ設定ラベルとネットワーク設定レベルを印刷します。</p>																																																																																																																																																																												

プリンタの設定と調整

メニュー表示	メニュー オプションの説明				
	<p>[Sシステム] > [省エネ] > [Energy Star]</p> <p>ENERGY STAR モードが有効な場合、タイムアウトの時間を過ぎるとプリンタは「スリープ」モードに入り、電力消費を減らします。コントロールパネルの任意のボタンを押すと、プリンタはアクティブ状態に戻ります。</p> <table border="1"> <tr> <td>有効値:</td> <td>オン、オフ</td> </tr> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td> <td> power.energy_star.enable power.energy_star_timeout (Energy Star が呼び出される前のアイドル時間の長さを設定する) </td> </tr> </table>	有効値:	オン、オフ	使用される SGD コマンド:	power.energy_star.enable power.energy_star_timeout (Energy Star が呼び出される前のアイドル時間の長さを設定する)
有効値:	オン、オフ				
使用される SGD コマンド:	power.energy_star.enable power.energy_star_timeout (Energy Star が呼び出される前のアイドル時間の長さを設定する)				

接続メニュー

メニュー表示	メニュー オプションの説明				
	<p>[接続] > [ネットワーク] > [ネットワークのリセット]</p> <p>このオプションは有線またはワイヤレス プrint サーバーをリセットし、ネットワーク設定に対して行った変更を保存します。</p> <p>! 重要: ネットワーク設定で行った変更内容を反映させるには、プリント サーバーをリセットする必要があります。</p> <table border="1"> <tr> <td>関連 ZPL コマンド:</td> <td>~WR</td> </tr> <tr> <td>プリンタの Web ページ:</td> <td>[Print Server Settings] (プリント サーバーの設定) > [Reset Print Server] (プリント サーバーのリセット)</td> </tr> </table>	関連 ZPL コマンド:	~WR	プリンタの Web ページ:	[Print Server Settings] (プリント サーバーの設定) > [Reset Print Server] (プリント サーバーのリセット)
関連 ZPL コマンド:	~WR				
プリンタの Web ページ:	[Print Server Settings] (プリント サーバーの設定) > [Reset Print Server] (プリント サーバーのリセット)				

プリンタの設定と調整

メニュー表示	メニュー オプションの説明						
	<p>[接続] > [ネットワーク] > [1 次ネットワーク]</p> <p>有線とワイヤレス プリント サーバーのどちらが 1 次と見なされるかどうかを表示または変更します。どちらのサーバーが 1 次と考えられるかどうかを選択できます。</p> <table border="1"> <tr> <td>有効値:</td><td>有線、WLAN</td></tr> <tr> <td>関連 ZPL コマンド:</td><td><code>^NC</code></td></tr> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td><td><code>ip.primary_network</code></td></tr> </table>	有効値:	有線、WLAN	関連 ZPL コマンド:	<code>^NC</code>	使用される SGD コマンド:	<code>ip.primary_network</code>
有効値:	有線、WLAN						
関連 ZPL コマンド:	<code>^NC</code>						
使用される SGD コマンド:	<code>ip.primary_network</code>						
	<p>[接続] > [ネットワーク] > [IP ポート]</p> <p>このプリンタ設定は、TCP プリント サービスがリッスンしている内蔵有線プリント サーバーのアダプタのポート番号を参照します。ホストからの通常の TCP 通信は、このポートに送信される必要があります。</p> <table border="1"> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td><td><code>ip.port</code></td></tr> <tr> <td>プリンタの Web ページ:</td><td> <p>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) > [TCP/IP Settings] (TCP/IP 設定)</p> </td></tr> </table>	使用される SGD コマンド:	<code>ip.port</code>	プリンタの Web ページ:	<p>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) > [TCP/IP Settings] (TCP/IP 設定)</p>		
使用される SGD コマンド:	<code>ip.port</code>						
プリンタの Web ページ:	<p>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) > [TCP/IP Settings] (TCP/IP 設定)</p>						

プリンタの設定と調整

メニュー表示	メニュー オプションの説明
	<p>[接続] > [ネットワーク] > [IP 代替ポート] このコマンドは、代替 TCP ポートのポート番号を設定します。</p>
	<p> 注: このコマンドをサポートするプリント サーバーは、1 次ポートと代替ポートの両方の接続を同時に監視します。</p>
使用される SGD コマンド: 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ✖ 0 ✓	ip.port_alternate
プリンタの Web ページ: [View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) > [TCP/IP Settings] (TCP/IP 設定)	

プリンタの設定と調整

メニュー表示	メニュー オプションの説明
	<p>[接続] > [ネットワーク] > [印刷: ネットワーク情報]</p> <p>プリントサーバーまたは取り付けられているBluetoothデバイスの設定を印刷します。以下は、サンプルラベルです。</p> <pre> Network Configuration Zebra Technologies ZTC ZTXXXX-XXXdpl ZPL XXXXXXXXXXXX Wired..... PRIMARY NETWORK PrintServer..... LOAD LAN FROM? INTERNAL WIRED..... ACTIVE PRINTSRVR Wired* ALL..... IP PROTOCOL 192.168.000.01?..... IP ADDRESS 255.255.255.000..... SUBNET 192.168.000.254..... GATEWAY 000.000.000.000..... WINS SERVER IP YES..... TIMEOUT CHECKING 300..... TIMEOUT VALUE 000..... ARP INTERVAL 9100..... BASE RAW PORT 9200..... JSON CONFIG PORT Wireless ALL..... IP PROTOCOL 000.000.000.000..... IP ADDRESS 255.255.255.000..... SUBNET 000.000.000.000..... GATEWAY 000.000.000.000..... WINS SERVER IP YES..... TIMEOUT CHECKING 300..... TIMEOUT VALUE 000..... ARP INTERVAL 9100..... BASE RAW PORT 9200..... JSON CONFIG PORT INSERTED..... CARD INSERTED 02dfH..... CARD MFG ID 9134H..... CARD PRODUCT ID ac:3f:a4:82:05:9c..... MAC ADDRESS YES..... DRIVER INSTALLED INFRASTRUCTURE..... OPERATING MODE 125..... ESSID 1.0..... CURRENT TX RATE OPEN..... WEP TYPE WPA PSK..... WLAN SECURITY 1..... WEP INDEX 000..... PDR SIGNAL LONG..... PREAMBLE NO..... ASSOCIATED 0N..... PULSE ENABLED 1S..... PULSE RATE OFF..... INTI MODE USA/CANADA..... REGION CODE USA/CANADA..... COUNTRY CODE 0x7FF..... CHANNEL MASK Bluetooth 4.3.ip1..... FIRMWARE 02/13/2015..... DATE on..... DISCOVERABLE 3.0/4.0..... RADIO VERSION on..... ENABLED AC:3F:A4:82:05:9D..... MAC ADDRESS 76J162700BBS..... FRIENDLY NAME no..... CONNECTED 1..... MIN SECURITY MODE nc..... COUN SECURITY MODE supported..... IDS FIRMWARE IN THIS PRINTER IS COPYRIGHTED </pre>
	<p>関連 ZPL コマンド:</p> <p>~WL</p>
	<p>コントロールパネルのキー:</p> <ul style="list-style-type: none"> 以下のいずれかを実行します。* プリンタの電源投入時に、CANCEL (キャンセル)を長押しします(旧称キャンセルセルフテスト)。 プリンタがレディ状態のときに、FEED (フィード)とCANCEL (キャンセル)を2秒間長押しします。
	<p>プリンタのWebページ:</p> <p>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示&変更をします) > [Print Listings on Label] (ラベルにリストを印刷)*</p>
	<p> 注: * プリンタ設定ラベルとネットワーク設定レベルを印刷します。</p>

プリンタの設定と調整

メニュー表示	メニュー オプションの説明
	<p>[接続] > [ネットワーク] > [ビジビリティエージェント]</p> <p>プリンタは有線またはワイヤレス ネットワークに接続されている場合、暗号化され証明書で認証された Web socket 接続を使用するクラウドベースの Zebra Printer Connector を介して、Zebra の Asset Visibility Service への接続を試みます。プリンタが検出データと設定、およびアラート データを送信します。ラベル フォーマットで印刷されたデータは転送されません。</p> <p>この機能をオプト アウトするには、この設定を無効にします。詳細については、アプリケーションノート「Opting Out of the Asset Visibility Agent」 (zebra.com) を参照してください。</p>
	<p>有効値: オン、オフ</p> <p>使用される SGD コマンド: <code>weblink.zebra_connector.enable</code></p>
	<p>プリンタの Web ページ: [View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [Network Configuration] (ネットワーク設定) > [Cloud Connect Settings] (クラウド接続設定)</p>
	<p>[接続] > [有線] > [有線 IP プロトコル]</p> <p>このパラメータは、ユーザー (固定) またはサーバー (動的) のどちらが有線プリントサーバーの IP アドレスを選択するかを示します。動的オプションを選択した場合、このパラメータは、プリントサーバーがサーバーから IP アドレスを受信する方法を指定します。</p> <p>! 重要: ネットワーク設定で行った変更内容を反映させるには、プリントサーバーをリセットする必要があります ([接続] > [ネットワーク] > [ネットワークのリセット] を参照してください)。</p>
	<p>有効値: [すべて]、[収集のみ]、[RARP]、[BOOTP]、[HCP]、[DHCP & BOOTP]、[確定]</p> <p>関連 ZPL コマンド: <code>^ND</code></p> <p>使用される SGD コマンド: <code>internal_wired.ip.protocol</code></p>
	<p>プリンタの Web ページ: [View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) > [TCP/IP Settings] (TCP/IP 設定)</p>

プリンタの設定と調整

メニュー表示	メニュー オプションの説明								
	<p>[接続] > [有線] > [有線 IP アドレス]</p> <p>プリンタの有線 IP アドレスを表示し、必要に応じて変更します。この設定に対する変更を保存するには、[接続] > [有線] > [有線 IP プロトコル] を [確定] に設定してから、プリントサーバーをリセットします ([接続] > [ネットワーク] > [ネットワークのリセット] を参照)。</p> <table border="1"> <tr> <td>有効値:</td><td>000 ~ 255 (各フィールド)</td></tr> <tr> <td>関連 ZPL コマンド:</td><td><code>^ND</code></td></tr> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td><td><code>internal_wired.ip.addr</code></td></tr> <tr> <td>プリンタの Web ページ:</td><td>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) > [TCP/IP Settings] (TCP/IP 設定)</td></tr> </table>	有効値:	000 ~ 255 (各フィールド)	関連 ZPL コマンド:	<code>^ND</code>	使用される SGD コマンド:	<code>internal_wired.ip.addr</code>	プリンタの Web ページ:	[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) > [TCP/IP Settings] (TCP/IP 設定)
有効値:	000 ~ 255 (各フィールド)								
関連 ZPL コマンド:	<code>^ND</code>								
使用される SGD コマンド:	<code>internal_wired.ip.addr</code>								
プリンタの Web ページ:	[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) > [TCP/IP Settings] (TCP/IP 設定)								
	<p>[接続] > [有線] > [有線サブネット]</p> <p>有線サブネットマスクを表示し、必要に応じて変更します。この設定に対する変更を保存するには、[接続] > [有線] > [有線 IP プロトコル] を [確定] に設定してから、プリントサーバーをリセットします ([接続] > [ネットワーク] > [ネットワークのリセット] を参照)。</p> <table border="1"> <tr> <td>有効値:</td><td>000 ~ 255 (各フィールド)</td></tr> <tr> <td>関連 ZPL コマンド:</td><td><code>^ND</code></td></tr> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td><td><code>internal_wired.ip.netmask</code></td></tr> <tr> <td>プリンタの Web ページ:</td><td>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) > [TCP/IP Settings] (TCP/IP 設定)</td></tr> </table>	有効値:	000 ~ 255 (各フィールド)	関連 ZPL コマンド:	<code>^ND</code>	使用される SGD コマンド:	<code>internal_wired.ip.netmask</code>	プリンタの Web ページ:	[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) > [TCP/IP Settings] (TCP/IP 設定)
有効値:	000 ~ 255 (各フィールド)								
関連 ZPL コマンド:	<code>^ND</code>								
使用される SGD コマンド:	<code>internal_wired.ip.netmask</code>								
プリンタの Web ページ:	[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) > [TCP/IP Settings] (TCP/IP 設定)								

プリンタの設定と調整

メニュー表示	メニュー オプションの説明
	<p>[接続] > [有線] > [有線ゲートウェイ]</p> <p>デフォルトの有線ゲートウェイを表示し、必要に応じて変更します。</p> <p>この設定に対する変更を保存するには、[接続] > [有線] > [有線 IP プロトコル] を [確定] に設定してから、プリントサーバーをリセットします ([接続] > [ネットワーク] > [ネットワークのリセット] を参照)。</p>
	<p>有効値: 000 ~ 255 (各フィールド)</p>
	<p>関連 ZPL コマンド: ^ND</p>
	<p>使用される SGD コマンド: internal_wired.ip.gateway</p>
	<p>プリンタの Web ページ: [View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) > [TCP/IP Settings] (TCP/IP 設定)</p>
	<p>[接続] > [有線] > [有線 MAC アドレス]</p> <p>有線プリントサーバーの Media Access Control (MAC) アドレスを表示します。この値は変更できません。</p>
	<p>使用される SGD コマンド: internal_wired.mac_addr</p>
	<p>プリンタの Web ページ: [View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) > [TCP/IP Settings] (TCP/IP 設定)</p>

プリンタの設定と調整

メニュー表示	メニュー オプションの説明								
	<p>[接続] > [WLAN] > [WLAN IP プロトコル]</p> <p>このパラメータは、ユーザー(確定)またはサーバー(動的)のどちらでワイヤレスプリントサーバーのIPアドレスを選択するのかを示します。動的オプションを選択した場合、このパラメータは、プリントサーバーがサーバーからIPアドレスを受信する方法を指定します。</p> <p> 注: ネットワーク設定で行った変更内容を反映させるには、プリントサーバーをリセットする必要があります([接続] > [ネットワーク] > [ネットワークのリセット]を参照してください)。</p> <table> <tr> <td>有効値:</td><td>[すべて]、[収集のみ]、[RARP]、[BOOTP]、[HCP]、[DHCP & BOOTP]、[確定]</td></tr> <tr> <td>関連 ZPL コマンド:</td><td><code>^ND</code></td></tr> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td><td><code>wlan.ip.protocol</code></td></tr> <tr> <td>プリンタの Web ページ:</td><td>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示&変更をします) > [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) > [Wireless Setup] (ワイヤレス設定)</td></tr> </table>	有効値:	[すべて]、[収集のみ]、[RARP]、[BOOTP]、[HCP]、[DHCP & BOOTP]、[確定]	関連 ZPL コマンド:	<code>^ND</code>	使用される SGD コマンド:	<code>wlan.ip.protocol</code>	プリンタの Web ページ:	[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示&変更をします) > [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) > [Wireless Setup] (ワイヤレス設定)
有効値:	[すべて]、[収集のみ]、[RARP]、[BOOTP]、[HCP]、[DHCP & BOOTP]、[確定]								
関連 ZPL コマンド:	<code>^ND</code>								
使用される SGD コマンド:	<code>wlan.ip.protocol</code>								
プリンタの Web ページ:	[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示&変更をします) > [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) > [Wireless Setup] (ワイヤレス設定)								
	<p>[接続] > [WLAN] > [WLAN IP アドレス]</p> <p>プリンタのワイヤレスIPアドレスを表示し、必要に応じて変更します。</p> <p>この設定に対する変更を保存するには、[接続] > [WLAN] > [WLAN IP プロトコル]を [確定] に設定してから、プリントサーバーをリセットします([接続] > [ネットワーク] > [ネットワークのリセット]を参照)。</p> <table> <tr> <td>有効値:</td><td>000 ~ 255 (各フィールド)</td></tr> <tr> <td>関連 ZPL コマンド:</td><td><code>^ND</code></td></tr> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td><td><code>wlan.ip.addr</code></td></tr> <tr> <td>プリンタの Web ページ:</td><td>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示&変更をします) > [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) > [Wireless Setup] (ワイヤレス設定)</td></tr> </table>	有効値:	000 ~ 255 (各フィールド)	関連 ZPL コマンド:	<code>^ND</code>	使用される SGD コマンド:	<code>wlan.ip.addr</code>	プリンタの Web ページ:	[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示&変更をします) > [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) > [Wireless Setup] (ワイヤレス設定)
有効値:	000 ~ 255 (各フィールド)								
関連 ZPL コマンド:	<code>^ND</code>								
使用される SGD コマンド:	<code>wlan.ip.addr</code>								
プリンタの Web ページ:	[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示&変更をします) > [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) > [Wireless Setup] (ワイヤレス設定)								

プリンタの設定と調整

メニュー表示	メニュー オプションの説明								
	<p>[接続] > [WLAN] > [WLAN サブネット]</p> <p>ワイヤレスのサブネットマスクを表示し、必要に応じて変更します。</p> <p>この設定に対する変更を保存するには、[接続] > [WLAN] > [WLAN IP プロトコル] を [確定] に設定してから、プリントサーバーをリセットします ([接続] > [ネットワーク] > [ネットワークのリセット] を参照)。</p> <table border="1"> <tr> <td>有効値:</td><td>000 - 255 (各フィールド)</td></tr> <tr> <td>関連 ZPL コマンド:</td><td><code>^ND</code></td></tr> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td><td><code>wlan.ip.netmask</code></td></tr> <tr> <td>プリンタの Web ページ:</td><td>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) > [Wireless Setup] (ワイヤレス設定)</td></tr> </table>	有効値:	000 - 255 (各フィールド)	関連 ZPL コマンド:	<code>^ND</code>	使用される SGD コマンド:	<code>wlan.ip.netmask</code>	プリンタの Web ページ:	[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) > [Wireless Setup] (ワイヤレス設定)
有効値:	000 - 255 (各フィールド)								
関連 ZPL コマンド:	<code>^ND</code>								
使用される SGD コマンド:	<code>wlan.ip.netmask</code>								
プリンタの Web ページ:	[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) > [Wireless Setup] (ワイヤレス設定)								
	<p>[接続] > [WLAN] > [WLAN ゲートウェイ]</p> <p>デフォルトのワイヤレスゲートウェイを表示し、必要に応じて変更します。</p> <p>この設定に対する変更を保存するには、[接続] > [WLAN] > [WLAN IP プロトコル] を [確定] に設定してから、プリントサーバーをリセットします ([接続] > [ネットワーク] > [ネットワークのリセット] を参照)。</p> <table border="1"> <tr> <td>有効値:</td><td>000 ~ 255 (各フィールド)</td></tr> <tr> <td>関連 ZPL コマンド:</td><td><code>^ND</code></td></tr> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td><td><code>wlan.ip.gateway</code></td></tr> <tr> <td>プリンタの Web ページ:</td><td>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) > [Wireless Setup] (ワイヤレス設定)</td></tr> </table>	有効値:	000 ~ 255 (各フィールド)	関連 ZPL コマンド:	<code>^ND</code>	使用される SGD コマンド:	<code>wlan.ip.gateway</code>	プリンタの Web ページ:	[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) > [Wireless Setup] (ワイヤレス設定)
有効値:	000 ~ 255 (各フィールド)								
関連 ZPL コマンド:	<code>^ND</code>								
使用される SGD コマンド:	<code>wlan.ip.gateway</code>								
プリンタの Web ページ:	[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) > [Wireless Setup] (ワイヤレス設定)								

プリンタの設定と調整

メニュー表示	メニュー オプションの説明
<p>WLAN MAC アドレス</p> <p>WLAN IP プロトコル 全て</p> <p>WLAN IP アドレス 0.0.0.0</p> <p>WLAN サブネット 0.0.0.0</p> <p>WLAN ゲートウェイ 0.0.0.0</p> <p>WLAN MAC アドレス 00:00:00:00:00:00</p> <p>ESSID 125</p> <p>WLAN セキュリティ</p>	<p>[接続] > [WLAN] > [WLAN MAC アドレス]</p> <p>ワイヤレス プリント サーバーの Media Access Control (MAC) アドレスを表示します。この値は変更できません。</p>
<p>ESSID</p> <p>125</p> <p>q w e r t y u i o p</p> <p>a s d f g h j k l</p> <p>z x c v b n m ↺</p> <p>123 space ✓</p>	<p>使用される SGD コマンド:</p> <p>wlan.mac_addr</p> <p>プリンタの Web ページ: [View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) > [Wireless Setup] (ワイヤレス設定)</p>
<p>ESSID</p> <p>125</p> <p>q w e r t y u i o p</p> <p>a s d f g h j k l</p> <p>z x c v b n m ↺</p> <p>123 space ✓</p>	<p>[接続] > [WLAN] > [ESSID]</p> <p>Extended Service Set Identification (ESSID) は、ご使用のワイヤレス ネットワークの ID です。現在の無線構成の ESSID を指定します。</p>
	<p>有効値:</p> <p>32 文字の英数字文字列 (デフォルトは 125)</p> <p>使用される SGD コマンド:</p> <p>wlan.essid</p> <p>プリンタの Web ページ: [View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) > [Wireless Setup] (ワイヤレス設定)</p>

プリンタの設定と調整

メニュー表示	メニュー オプションの説明						
	<p>[接続] > [WLAN] > [WLAN セキュリティ]</p> <p>ワイヤレス ネットワークで使用しているセキュリティ タイプを選択します。</p> <table> <tr> <td>関連 ZPL コマンド:</td><td><code>^WX</code></td></tr> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td><td><code>wlan.security</code></td></tr> <tr> <td>プリンタの Web ページ:</td><td>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) > [Wireless Encryption Setup] (ワイヤレス暗号化セットアップ)</td></tr> </table>	関連 ZPL コマンド:	<code>^WX</code>	使用される SGD コマンド:	<code>wlan.security</code>	プリンタの Web ページ:	[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) > [Wireless Encryption Setup] (ワイヤレス暗号化セットアップ)
関連 ZPL コマンド:	<code>^WX</code>						
使用される SGD コマンド:	<code>wlan.security</code>						
プリンタの Web ページ:	[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) > [Wireless Encryption Setup] (ワイヤレス暗号化セットアップ)						
	<p>[接続] > [WLAN] > [WLAN バンド]</p> <p>Wi-Fi 経由で接続する優先バンドを設定します。</p> <table> <tr> <td>有効値:</td><td>2.4、5、なし</td></tr> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td><td><code>wlan.band_preference</code></td></tr> <tr> <td>プリンタの Web ページ:</td><td>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [Network Communications] (ネットワーク通信) > [Wireless Setup] (ワイヤレス セットアップ)</td></tr> </table>	有効値:	2.4、5、なし	使用される SGD コマンド:	<code>wlan.band_preference</code>	プリンタの Web ページ:	[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [Network Communications] (ネットワーク通信) > [Wireless Setup] (ワイヤレス セットアップ)
有効値:	2.4、5、なし						
使用される SGD コマンド:	<code>wlan.band_preference</code>						
プリンタの Web ページ:	[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [Network Communications] (ネットワーク通信) > [Wireless Setup] (ワイヤレス セットアップ)						

プリンタの設定と調整

メニュー表示	メニュー オプションの説明				
	<p>[接続] > [WLAN] > [WLAN 国コード]</p> <p>国コードは、現在ワイヤレスが設定されている、規制対象の国/地域を定義します。</p> <p>! 重要: 国コードのリストはプリンタごとに固有であり、プリンタ モデルとその無線通信設定によって異なります。この国コード リストは、いつでも、予告なしに、ファームウェアの更新とともに変更、追加、または削除されることがあります。</p> <p>ご使用のプリンタで対象となっている国コードを確認するには、! U1 getvar "wlan" コマンドを発行します。これで、WLAN 設定に関するすべてのコマンドが返されます。結果で wlan.country.code コマンドを見つけて、ご使用のプリンタで対象となっている国コードを表示します。</p>				
	<p>[接続] > [Bluetooth] > [Bluetooth]</p> <p>Bluetooth デバイスペアリングに関して、プリンタを検出可能にするかどうかを選択します。</p> <table> <tr> <td>有効値:</td><td>オン - Bluetooth 無線を有効にします。 オフ - Bluetooth 無線を無効にします。</td></tr> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td><td>wlan.country_code</td></tr> </table>	有効値:	オン - Bluetooth 無線を有効にします。 オフ - Bluetooth 無線を無効にします。	使用される SGD コマンド:	wlan.country_code
有効値:	オン - Bluetooth 無線を有効にします。 オフ - Bluetooth 無線を無効にします。				
使用される SGD コマンド:	wlan.country_code				

プリンタの設定と調整

メニュー表示	メニュー オプションの説明				
 <p>Bluetooth 検出</p> <ul style="list-style-type: none"> ● オン ○ オフ 	<p>[接続] > [Bluetooth] > [Bluetooth 検出]</p> <p>Bluetooth デバイスペアリングに関して、プリンタを検出可能にするかどうかを選択します。</p> <table border="1"> <tr> <td>有効値:</td><td>オン - Bluetooth 検出可能モードを有効にします。 オフ - Bluetooth 検出可能モードを無効にします。</td></tr> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td><td>bluetooth.discoverable</td></tr> </table>	有効値:	オン - Bluetooth 検出可能モードを有効にします。 オフ - Bluetooth 検出可能モードを無効にします。	使用される SGD コマンド:	bluetooth.discoverable
有効値:	オン - Bluetooth 検出可能モードを有効にします。 オフ - Bluetooth 検出可能モードを無効にします。				
使用される SGD コマンド:	bluetooth.discoverable				
 <p>親しみやすい名前</p> <p>Zebra</p> <p>q w e r t y u i o p a s d f g h j k l z x c v b n m ↺ 123 space ✓</p>	<p>[接続] > [Bluetooth] > [親しみやすい名前]</p> <p>このコマンドは、サービス検索時に使用される解りやすい名前を設定します。変更を有効にするには、プリンタの電源を入れ直すか、device.reset コマンドを発行する必要があります ([接続] > [ネットワーク] > [ネットワークのリセット] を参照)。</p> <p>親しみやすい名前を設定しない場合は、デフォルトでプリンタのシリアル番号に設定されます。</p> <table border="1"> <tr> <td>有効値:</td><td>17 文字のテキスト文字列</td></tr> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td><td>bluetooth.friendly_name</td></tr> </table>	有効値:	17 文字のテキスト文字列	使用される SGD コマンド:	bluetooth.friendly_name
有効値:	17 文字のテキスト文字列				
使用される SGD コマンド:	bluetooth.friendly_name				

プリンタの設定と調整

メニュー表示	メニュー オプションの説明
	<p>[接続] > [Bluetooth] > [最小セキュリティ モード]</p> <p>このプリンタ設定パラメータは、Bluetooth 最小セキュリティ モードを設定します。最小セキュリティ モードは、プリンタ無線バージョンとプリンタファームウェアに応じて、さまざまなレベルのセキュリティに対応します。詳細については、『Zebra プログラミングガイド』 (zebra.com/manuals) を参照してください。</p>
	<p>有効値: 1、2、3、4</p>
	<p>使用される SGD コマンド: bluetooth.minimum_security_mode</p>
	<p>[接続] > [Bluetooth] > [仕様バージョン]</p> <p>このパラメータは Bluetooth ライブラリのバージョン番号を表示します。</p>
	<p>使用される SGD コマンド: bluetooth.version</p>

プリンタの設定と調整

メニュー表示	メニュー オプションの説明
	<p>[接続] > [Bluetooth] > [MAC アドレス]</p> <p>このパラメータは Bluetooth デバイス アドレスを表示します。</p> <p>使用される SGD コマンド: bluetooth.address</p>
	<p>[接続] > [Bluetooth] > [Bluetooth 認証ピン]</p> <p>Bluetooth 認証の有効時に使用する PIN を設定します。</p> <p>使用される SGD コマンド: bluetooth.bluetooth_pin (PIN を設定) bluetooth.authentication (認証を有効にする)</p>

プリンタの設定と調整

メニュー表示	メニュー オプションの説明
<p>03:45 PM 接続</p> <p>ボンディング</p> <ul style="list-style-type: none"> ● オン ● オフ 	<p>[接続] > [Bluetooth] > [Bluetooth ボンディング]</p> <p>プリンタに正常に接続しているデバイスについて、Bluetooth スタックがリンク キーをボンディングするか、保存するかを制御します。</p> <p>有効値: オン - Bluetooth ボンディングを有効にします。 オフ - Bluetooth ボンディングを無効にします。</p> <p>使用される SGD コマンド: bluetooth.bonding</p>

印刷メニュー

メニュー表示	メニュー オプションの説明
<p>03:46 PM 印刷</p> <p>濃度</p> <p>- 23 +</p> <p>0.0 30.0</p>	<p>[印刷] > [印字品質] > [濃度]</p> <p>印字濃度は、良好な印字品質が得られる最低値に設定してください。濃度の設定が高すぎると、ラベルの印字イメージが不鮮明になったり、バーコードが正しく読み取れなくなったり、リボンが焼き付いてしまったり、印字ヘッドの磨耗を早めてしまう場合があります。</p> <p>有効値: 0.0 ~ 30.0</p> <p>関連 ZPL コマンド: ^MD ~SD</p> <p>使用される SGD コマンド: print.tone</p> <p>プリンタの Web ページ: [View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [General Setup] (基本設定) > [Darkness] (印字濃度)</p>

プリンタの設定と調整

メニュー表示	メニュー オプションの説明								
	<p>[印刷] > [印字品質] > [印字速度]</p> <p>ラベル印刷の速度を、1秒あたりのインチ数 (ips) で選択します。通常、印字速度を遅くすると、印字品質は向上します。</p> <table border="1"> <tr> <td>有効値:</td><td>2 ~ 6ips</td></tr> <tr> <td>関連 ZPL コマンド:</td><td><code>^PR</code></td></tr> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td><td><code>media.speed</code></td></tr> <tr> <td>プリンタの Web ページ:</td><td>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [General Setup] (基本設定) > [Print Speed] (印字速度)</td></tr> </table>	有効値:	2 ~ 6ips	関連 ZPL コマンド:	<code>^PR</code>	使用される SGD コマンド:	<code>media.speed</code>	プリンタの Web ページ:	[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [General Setup] (基本設定) > [Print Speed] (印字速度)
有効値:	2 ~ 6ips								
関連 ZPL コマンド:	<code>^PR</code>								
使用される SGD コマンド:	<code>media.speed</code>								
プリンタの Web ページ:	[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [General Setup] (基本設定) > [Print Speed] (印字速度)								
	<p>[印刷] > [印字品質] > [印刷タイプ]</p> <p>プリンタで印刷にリボンを使用する必要があるかどうかを指定します。</p> <table border="1"> <tr> <td>有効値:</td><td> <ul style="list-style-type: none"> 熱転写 - リボンと熱転写用紙を使用します。 感熱 - 感熱用紙を使用し、リボンは使用しません。 </td></tr> <tr> <td>関連 ZPL コマンド:</td><td><code>^MT</code></td></tr> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td><td><code>ezpl.print_method</code></td></tr> <tr> <td>プリンタの Web ページ:</td><td>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [Media Setup] (用紙設定) > [Print Method] (印字方式)</td></tr> </table>	有効値:	<ul style="list-style-type: none"> 熱転写 - リボンと熱転写用紙を使用します。 感熱 - 感熱用紙を使用し、リボンは使用しません。 	関連 ZPL コマンド:	<code>^MT</code>	使用される SGD コマンド:	<code>ezpl.print_method</code>	プリンタの Web ページ:	[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [Media Setup] (用紙設定) > [Print Method] (印字方式)
有効値:	<ul style="list-style-type: none"> 熱転写 - リボンと熱転写用紙を使用します。 感熱 - 感熱用紙を使用し、リボンは使用しません。 								
関連 ZPL コマンド:	<code>^MT</code>								
使用される SGD コマンド:	<code>ezpl.print_method</code>								
プリンタの Web ページ:	[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [Media Setup] (用紙設定) > [Print Method] (印字方式)								

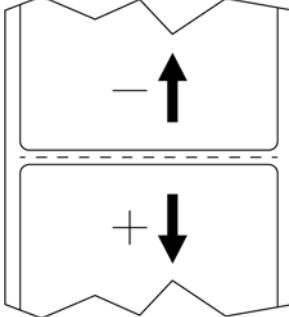
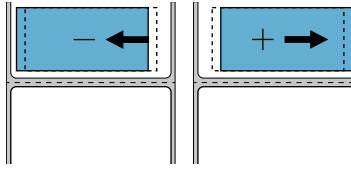
プリンタの設定と調整

メニュー表示	メニュー オプションの説明	
	[印刷] > [印字品質] > [ラベル タイプ] 使用する用紙のタイプを選択します。	有効値: [連続]、[ギャップ/切れ込み]、[マーク] [連続] を選択した場合は、ラベル フォーマットでラベルの長さ (ZPL を使用する場合は ^LL) も指定する必要があります。各種の単票用紙に [ギャップ/切れ込み] または [マーク] を選択する場合、プリンタは用紙をフィードしてラベル長を算出します。
	関連 ZPL コマンド: ^MN	使用される SGD コマンド: ezpl.media_type
	プリンタの Web ページ: [View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [Media Setup] (用紙設定) > [Media Type] (用紙タイプ)	[印刷] > [印字品質] > [ラベル長] キャリブレーション済みのラベル長をドットで表示します。 この値は、次のいずれかの条件でのみ変更できます。 <ul style="list-style-type: none">・ プリンタが連続用紙用に設定されています・ ^LL の 2 番目のパラメータは Y に設定されています
	関連 ZPL コマンド: ^LL	

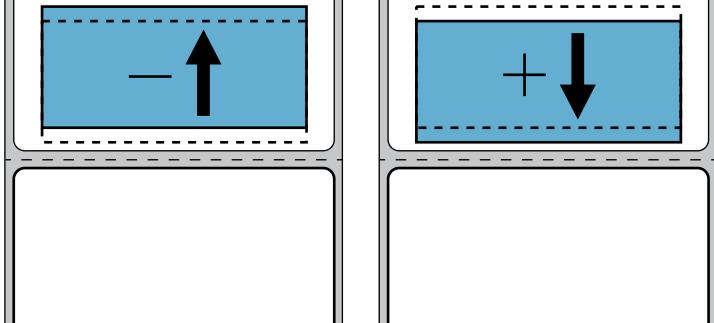
プリンタの設定と調整

メニュー表示	メニュー オプションの説明		
	[印刷] > [印字品質] > [ラベル幅 (ドット数)]	使用するラベルの幅をドット数で指定します。デフォルト値は、印字ヘッドの DPI 値に基づいたプリンタの最大幅です。	
	有効値:		<p>注: 指定する幅が狭すぎると、ラベル フォーマットの一部が用紙に印刷されない場合があります。設定する幅が広すぎると、フォーマットメモリを浪費し、ラベル外やプラテンローラー上に印刷がはみ出る可能性があります。^{^POI ZPL II} コマンドを使用してイメージが反転されている場合、この設定はラベル フォーマットの縦位置に影響を及ぼす可能性があります。</p>
	ZT411 203dpi = 0002 ~ 832	ZT411 300dpi = 0002 ~ 1248	
	ZT411 600dpi = 0002 ~ 2496	ZT421 203dpi = 0002 ~ 1344	
	ZT421 300dpi = 0002 ~ 1984		
	関連 ZPL コマンド:	^{^PW}	
	使用される SGD コマンド:	ezpl.print_width	
	プリンタの Web ページ:	[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [Media Setup] (用紙設定) > [Print Width] (印字幅)	
	[印刷] > [ラベル位置] > [コレクション方式]	ご使用のプリンタで利用できるオプションと互換性のあるコレクション方式を選択します。	
	有効値:	切り取り、剥離、巻き取り、カッター、遅延カット、台紙なし剥離、台紙なし巻き取り、台紙なし切り取り、アプリケータモード、台紙無しカット、台紙無し遅延カット	
	関連 ZPL コマンド:	^{^MM}	
	使用される SGD コマンド:	media.printmode	
	プリンタの Web ページ:	[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [General Setup] (基本設定) > [Print Mode] (印字モード)	

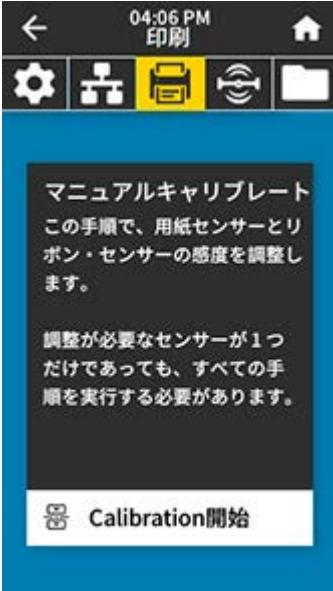
プリンタの設定と調整

メニュー表示	メニュー オプションの説明
	<p>[印刷] > [ラベル位置] > [切り取り線オフセット]</p> <p>必要に応じて、この用紙位置が印刷後に切り取りバーの上にくるように移動します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 数値を小さくすると、指定したドット数だけ用紙が引っ込みます (切り取り線が印刷されたラベルの端に近くなります)。 数値を大きくすると、用紙がプリンタの外へ出ます (切り取り線が次のラベルの先端に近くなります)。 
	<p>有効値: -120 ~ +120</p> <p>関連 ZPL コマンド: ~TA</p> <p>使用される SGD コマンド: ezpl.tear_off</p> <p>プリンタの Web ページ: [View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [General Setup] (基本設定) > [Tear Off] (切り取り)</p>
	<p>[印刷] > [ラベル位置] > [ラベルオフセット]</p> <p>必要に応じて、ラベルのイメージの位置を水平方向または垂直方向にシフトします。</p> <p>水平方向</p> <ul style="list-style-type: none"> 負の数を設定すると、選択したドット数だけ、イメージの左端がラベルの左端に移動します。 正の値を設定すると、イメージの端がラベルの右端の方に移動します。 
	<p>有効値: -9999 ~ 9999</p> <p>関連 ZPL コマンド: ^LS</p>

プリンタの設定と調整

メニュー表示	メニュー オプションの説明	
	使用される SGD コマンド: zpl.left_position	
	プリンタの Web ページ: [View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [Advanced Setup] (詳細設定) > [Left Position] (X 印字基点)	
	垂直方向 <ul style="list-style-type: none"> 数値を小さくすると、イメージはラベルの上側 (印字ヘッド側) に移動します。 数値を大きくすると、イメージは指定したドット数だけラベルの下側に (印字ヘッドから離れる方向に) 移動します。 	<p>垂直方向</p> <ul style="list-style-type: none"> 数値を小さくすると、イメージはラベルの上側 (印字ヘッド側) に移動します。 数値を大きくすると、イメージは指定したドット数だけラベルの下側に (印字ヘッドから離れる方向に) 移動します。 
	有効値: -120 ~ +120	
	関連 ZPL コマンド: ^LT	
	使用される SGD コマンド: zpl.label_top	
	プリンタの Web ページ: [View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [General Setup] (基本設定) > [Label Top] (Y 印字基点)	

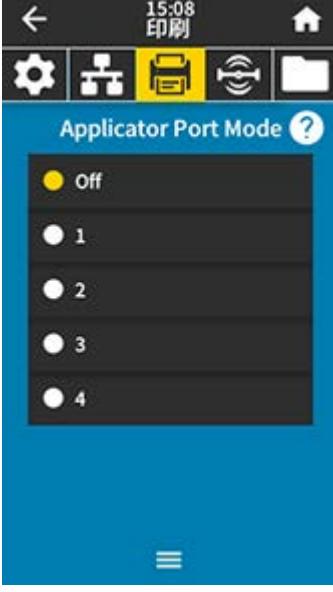
プリンタの設定と調整

メニュー表示	メニュー オプションの説明						
	<p>[印刷] > [センサー] > [マニュアル キャリブレート]</p> <p>用紙センサーとリボンセンサーの感度を調整するには、プリンタのキャリブレートを行います。</p> <p>キャリブレート手順を実行する方法の詳細については、リボンセンサーと用紙センサーのキャリブレート (119ページ) を参照してください。</p>						
	<p>関連 ZPL コマンド: ~JC</p> <p>使用される SGD コマンド: ezpl.manual_calibration</p>						
	<p>コントロールパネルのキー:</p> <p>キャリブレートを開始するには、PAUSE (一時停止) + FEED (フィード) + CANCEL (キャンセル) を2秒間長押しします。</p>						
	<p>プリンタの Web ページ:</p> <p>キャリブレート手順は、Web ページからは開始できません。センサー キャリブレート時に行われる設定については、次の Web ページを参照してください。</p> <p>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示&変更をします) > [Calibration] (キャリブレート)</p> <p>! 重要: Zebra 技術サポートまたは認定技術者からの指示でない限り、これらの設定は変更しないでください。</p>						
	<p>[印刷] > [センサー] > [ラベル センサー]</p> <p>ラベルセンサーの感度を設定します。</p> <p>! 重要: この値は、センサーのキャリブレーション時に設定されます。Zebra 技術サポートまたは認定技術者からの指示でない限り、これらの設定は変更しないでください。</p> <table border="1"> <tr> <td>有効値:</td><td>0 ~ 255</td></tr> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td><td>ezpl.label_sensor</td></tr> <tr> <td>プリンタの Web ページ:</td><td>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示&変更をします) > [Calibration] (キャリブレート)</td></tr> </table>	有効値:	0 ~ 255	使用される SGD コマンド:	ezpl.label_sensor	プリンタの Web ページ:	[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示&変更をします) > [Calibration] (キャリブレート)
有効値:	0 ~ 255						
使用される SGD コマンド:	ezpl.label_sensor						
プリンタの Web ページ:	[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示&変更をします) > [Calibration] (キャリブレート)						

プリンタの設定と調整

メニュー表示	メニュー オプションの説明								
	<p>[印刷] > [センサー] > [センサー タイプ]</p> <p>使用する用紙に適切な用紙センサーを選択します。通常、反射式センサーは黒マーク用紙用です。通常、透過式センサーは、その他の用紙タイプに使用されます。</p> <table border="1"> <tr> <td>有効値:</td><td>透過式、反射式</td></tr> <tr> <td>関連 ZPL コマンド:</td><td><code>^JS</code></td></tr> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td><td><code>device.sensor_select</code></td></tr> <tr> <td>プリンタの Web ページ:</td><td>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示&変更をします) > [Media Setup] (用紙設定)</td></tr> </table>	有効値:	透過式、反射式	関連 ZPL コマンド:	<code>^JS</code>	使用される SGD コマンド:	<code>device.sensor_select</code>	プリンタの Web ページ:	[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示&変更をします) > [Media Setup] (用紙設定)
有効値:	透過式、反射式								
関連 ZPL コマンド:	<code>^JS</code>								
使用される SGD コマンド:	<code>device.sensor_select</code>								
プリンタの Web ページ:	[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示&変更をします) > [Media Setup] (用紙設定)								
	<p>[印刷] > [センサー] > [印刷: センサー プロフィール]</p> <p>実際のセンサー読み取り値と比較したセンサー設定を表示します。結果の解釈については、センサー プロフィール (147ページ) を参照してください。</p> <table border="1"> <tr> <td>関連 ZPL コマンド:</td><td><code>~JG</code></td></tr> <tr> <td>コントロールパネルのキー:</td><td>プリンタの電源投入時に、FEED (フィード) と CANCEL (キャンセル) を長押しする。</td></tr> <tr> <td>プリンタの Web ページ:</td><td>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示&変更をします) > [Print Listings on Label] (ラベルにリストを印刷) ></td></tr> </table>	関連 ZPL コマンド:	<code>~JG</code>	コントロールパネルのキー:	プリンタの電源投入時に、 FEED (フィード) と CANCEL (キャンセル) を長押しする。	プリンタの Web ページ:	[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示&変更をします) > [Print Listings on Label] (ラベルにリストを印刷) >		
関連 ZPL コマンド:	<code>~JG</code>								
コントロールパネルのキー:	プリンタの電源投入時に、 FEED (フィード) と CANCEL (キャンセル) を長押しする。								
プリンタの Web ページ:	[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示&変更をします) > [Print Listings on Label] (ラベルにリストを印刷) >								

プリンタの設定と調整

メニュー表示	メニュー オプションの説明		
	<p>[印刷] > [Print Station] (印刷ステーション)</p> <p>このメニュー項目では、USB キーボード、スケールやバーコードスキャナなど、データ入力装置 (HID) を使用して、ラベルフォーマットで変数フィールドに入力し、ラベルを印刷します。このオプションを使用するには、プリンタの E: ドライブに適切なラベルフォーマットを保存する必要があります。この機能を使用した演習については、USB ホストポートと Print Touch 機能の使用 (174ページ) の演習を参照してください。</p> <p>プリンタの USB ホストポートに HID を接続したら、このユーザーメニューを使用してプリンタの E: ドライブにあるフォームを選択します。フォームにある各変数 ^FN フィールドの入力を求めるプロンプトが表示されたら、印刷する希望のラベル枚数を指定できます。</p> <p>この機能に関連する ^FN コマンドまたは SGD コマンドの使用に関する詳細は、『Zebra プログラミングガイド』 (zebra.com/manuals) を参照してください。</p> <p> 注: このメニュー項目は、プリンタの USB ホストポートに USB デバイスが接続されている場合にのみ使用できます。</p>		
	<p>[印刷] > [アプリケータ] > [Applicator Port Mode] (アプリケータポートモード)</p> <p>アプリケータポートの「発行終了」信号がどのように機能するかを制御します。</p> <table border="1"> <tr> <td>有効値:</td> <td>オフ 1 = 発行終了信号は通常はハイに設定され、プリンタがラベルを前に送り出している間のみローに設定されます。 2 = 発行終了信号は通常はローに設定され、プリンタがラベルを前に送り出している間のみハイに設定されます。 3 = 発行終了信号は通常はハイに設定され、ラベルが印刷され配置された場合 20ms 間ローに設定されます。 4 = 発行終了信号は通常はローに設定され、ラベルが印刷され配置された場合 20ms 間ハイに設定されます。</td> </tr> </table>	有効値:	オフ 1 = 発行終了信号は通常はハイに設定され、プリンタがラベルを前に送り出している間のみローに設定されます。 2 = 発行終了信号は通常はローに設定され、プリンタがラベルを前に送り出している間のみハイに設定されます。 3 = 発行終了信号は通常はハイに設定され、ラベルが印刷され配置された場合 20ms 間ローに設定されます。 4 = 発行終了信号は通常はローに設定され、ラベルが印刷され配置された場合 20ms 間ハイに設定されます。
有効値:	オフ 1 = 発行終了信号は通常はハイに設定され、プリンタがラベルを前に送り出している間のみローに設定されます。 2 = 発行終了信号は通常はローに設定され、プリンタがラベルを前に送り出している間のみハイに設定されます。 3 = 発行終了信号は通常はハイに設定され、ラベルが印刷され配置された場合 20ms 間ローに設定されます。 4 = 発行終了信号は通常はローに設定され、ラベルが印刷され配置された場合 20ms 間ハイに設定されます。		

プリンタの設定と調整

メニュー表示	メニュー オプションの説明	
	関連 ZPL コマンド:	<code>^JJ</code>
	使用される SGD コマンド:	<code>device.applicator.end_print</code>
	<p>[印刷] > [アプリケータ] > [発行開始モード]</p> <p>アプリケータ ポートの「発行開始」信号がレベル モードであるか、パルス モードであるかどうかを決定します。</p>	
	有効値:	<p>パルス - 発行開始信号は次のラベルに対してアサートされる前に無効にする必要があります。</p> <p>レベル - 発行開始信号は、次のラベルを印刷するために無効にする必要はありません。発行開始信号がローで、ラベルがフォーマットされている限り、ラベルは印刷されます。</p>
	関連 ZPL コマンド:	<code>^JJ</code>
	使用される SGD コマンド:	<code>device.applicator.start_print</code>
	<p>[印刷] > [アプリケータ] > [エラーで一時停止]</p> <p>アプリケータ ポートのエラーをプリンタで処理する方法を決定します。この機能を有効にすると、[Service Required] (サービス要) ピンもアサートされます。</p>	
	有効値:	有効、無効
	使用される SGD コマンド:	<code>device.applicator.error_on_pause</code>
	プリンタの Web ページ:	[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示&変更をします) > [Advanced Setup] (詳細設定) > [Error on Pause] (エラーのため一時停止)

プリンタの設定と調整

メニュー表示	メニュー オプションの説明
	<p>[印刷] > [アプリケータ] > [アプリケータ再発行]</p> <p>アプリケータがラベルを再印刷するために High 値または Low 値のどちらの値が必要かを指定します。</p> <p>~PR コマンドが有効または無効になります。有効になると、最後に印刷したラベルが再印刷されます。また、[ホーム] 画面の [再発行] ボタンも有効になります。</p>
関連 ZPL コマンド: ^JJ および ~PR	
使用される SGD コマンド: device.applicator.reprint	

RFID メニュー

メニュー表示	メニュー オプションの説明
	<p>[RFID] > [RFID ステータス]</p> <p>プリンタの RFID サブシステムのステータスを表示します。</p>
関連 ZPL コマンド: ^HL または ~HL	
使用される SGD コマンド: rfid.error.response	

プリンタの設定と調整

メニュー表示	メニュー オプションの説明
	<p>[RFID] > [RFID テスト]</p> <p>RFID テストでは、プリンタがトランスポンダに対する読み取りと書き込みを試行します。このテストではプリンタに動きが生じません。</p> <p>RFID ラベルをテストするには、</p> <ol style="list-style-type: none"> トランスポンダが RFID アンテナ アレイに重なるように、RFID ラベルの位置を決めます。 [開始] をタッチします。 <p>テストの結果がディスプレイに表示されます。</p> 
	<p>使用される SGD コマンド:</p> <p>rfid.tag.test.content および rfid.tag.test.execute</p>

メニュー表示	メニュー オプションの説明								
	<p>[RFID] > [RFID キャリブレート] RFID 用紙のタグ キャリブレーションを開始します(用紙およびリボンのキャリブレートと同じではありません)。</p> <p>途中、プリンタは用紙を動かし、RFID タグ位置のキャリブレーションを行い、使用されている RFID 用紙に最適な設定を特定します。</p> <p>これらの設定にはプログラミング位置、使用するアンテナエレメント、使用する読み取り/書き込みのパワーレベルが含まれます(詳しいについては、『RFID プログラミングガイド3』を参照してください)。</p> <p>注: このコマンドを実行する前に、プリンタに RFID 用紙をセットしてプリンタのキャリブレーションを行い、印字ヘッドを閉じ、1枚以上のラベルをフィードして、タグキャリブレーションが正確な位置から開始することを確認してください。</p> <p>キャリブレーションが行なわれているタグの前後のトランスポンタはすべてそのままになります。これにより、プリンタは、隣接するタグをエンコードしない RFID 設定を特定できます。タグキャリブレーション手順中にバックフィードできるように、プリンタの前面から用紙の一部がはみ出しているようにします。</p>								
	<p>[RFID] > [読み取りパワー] RFID タグのキャリブレーションで必要な読み取り出力に達しない場合は、値を指定できます。</p> <table border="1"> <tr> <td>有効値:</td><td>0 ~ 30</td></tr> <tr> <td>関連 ZPL コマンド:</td><td><code>^RW</code></td></tr> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td><td><code>rfid.reader_1.power.read</code></td></tr> <tr> <td>プリンタの Web ページ:</td><td>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示&変更をします) > [RFID Setup] (RFID 設定) > [RFID READ PWR] (RFID 読み取りパワー)</td></tr> </table>	有効値:	0 ~ 30	関連 ZPL コマンド:	<code>^RW</code>	使用される SGD コマンド:	<code>rfid.reader_1.power.read</code>	プリンタの Web ページ:	[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示&変更をします) > [RFID Setup] (RFID 設定) > [RFID READ PWR] (RFID 読み取りパワー)
有効値:	0 ~ 30								
関連 ZPL コマンド:	<code>^RW</code>								
使用される SGD コマンド:	<code>rfid.reader_1.power.read</code>								
プリンタの Web ページ:	[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示&変更をします) > [RFID Setup] (RFID 設定) > [RFID READ PWR] (RFID 読み取りパワー)								

プリンタの設定と調整

メニュー表示	メニュー オプションの説明								
	<p>[RFID] > [RFID 書き込みパワー]</p> <p>RFID タグのキャリブレーションで必要な書き込み出力に達しない場合は、値を指定できます。</p> <table border="1"> <tr> <td>有効値:</td> <td>0 ~ 30</td> </tr> <tr> <td>関連 ZPL コマンド:</td> <td><code>^RW</code></td> </tr> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td> <td><code>rfid.reader_1.power.write</code></td> </tr> <tr> <td>プリンタの Web ページ:</td> <td>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [RFID Setup] (RFID 設定) > [RFID WRITE PWR] (RFID 書き込みパワー)</td> </tr> </table>	有効値:	0 ~ 30	関連 ZPL コマンド:	<code>^RW</code>	使用される SGD コマンド:	<code>rfid.reader_1.power.write</code>	プリンタの Web ページ:	[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [RFID Setup] (RFID 設定) > [RFID WRITE PWR] (RFID 書き込みパワー)
有効値:	0 ~ 30								
関連 ZPL コマンド:	<code>^RW</code>								
使用される SGD コマンド:	<code>rfid.reader_1.power.write</code>								
プリンタの Web ページ:	[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [RFID Setup] (RFID 設定) > [RFID WRITE PWR] (RFID 書き込みパワー)								
	<p>[RFID] > [RFID アンテナ]</p> <p>RFID タグ キャリブレートで希望するアンテナ選択ができない場合は、値を指定できます。</p> <table border="1"> <tr> <td>有効値:</td> <td>A1、A2、A3、A4 B1、B2、B3、B4 C1、C2、C3、C4 D1、D2、D3、D4 E1、E2、E3、E4</td> </tr> <tr> <td>関連 ZPL コマンド:</td> <td><code>^RW</code></td> </tr> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td> <td><code>rfid.reader_1.antenna_port</code></td> </tr> <tr> <td>プリンタの Web ページ:</td> <td>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [RFID Setup] (RFID 設定) > [RFID ANTENNA] (RFID アンテナ)</td> </tr> </table>	有効値:	A1、A2、A3、A4 B1、B2、B3、B4 C1、C2、C3、C4 D1、D2、D3、D4 E1、E2、E3、E4	関連 ZPL コマンド:	<code>^RW</code>	使用される SGD コマンド:	<code>rfid.reader_1.antenna_port</code>	プリンタの Web ページ:	[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [RFID Setup] (RFID 設定) > [RFID ANTENNA] (RFID アンテナ)
有効値:	A1、A2、A3、A4 B1、B2、B3、B4 C1、C2、C3、C4 D1、D2、D3、D4 E1、E2、E3、E4								
関連 ZPL コマンド:	<code>^RW</code>								
使用される SGD コマンド:	<code>rfid.reader_1.antenna_port</code>								
プリンタの Web ページ:	[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [RFID Setup] (RFID 設定) > [RFID ANTENNA] (RFID アンテナ)								

プリンタの設定と調整

メニュー表示	メニュー オプションの説明
	<p>[RFID] > [有効カウントのリセット]</p> <p>RFID 有効ラベル カウンタをゼロにリセットします。</p>
	<p>関連 ZPL コマンド: ~RO</p>
	<p>使用される SGD コマンド: odometer.rfid.valid_resettable</p>
	<p>[RFID] > [無効カウントのリセット]</p> <p>RFID 無効ラベル カウンタをゼロにリセットします。</p>
	<p>関連 ZPL コマンド: ~RO</p>
	<p>使用される SGD コマンド: odometer.rfid.invalid_resettable</p>

メニュー表示	メニュー オプションの説明
	<p>[RFID] > [RFID プログラミング位置] RFID タグ キャリブレーションで、必要なプログラミング位置(読み取り/書き込み位置)に達しない場合は、値を指定できます。</p>
	<p>有効値: F0 ~ Fxxx (xxx はミリメートル単位でのラベル長か999 のいずれか短い方) - プリンタは、指定した分だけラベルを前方にフィードしてからプログラミングを開始します。</p>
	<p>B0 ~ B30 - プリンタは、指定した分だけラベルをバックフィードしてからプログラミングを開始します。バックフィードのため、後方のプログラミング位置を使用する場合に、プリンタに空の用紙ライナーがプリンタの前面から出るようにします。</p>
	<p>関連 ZPL コマンド: ^RS</p>
	<p>使用される SGD コマンド: rfid.position.program</p>
	<p>プリンタの Web ページ: [View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示&変更をします) > [RFID Setup] (RFID 設定) > [PROGRAM POSITION] (プログラム位置)</p>

プリンタの設定と調整

メニュー表示	メニュー オプションの説明
	<p>[RFID] > [RFID データ読み取り]</p> <p>RFID アンテナの上にある RFID タグから指定のタグ データを読み取って返します。タグデータの読み取り中は、プリンタは動作しません。印字ヘッドは開閉できます。</p> <p>RFID タグに保存されている情報を読み取って表示する場合は、</p> <ol style="list-style-type: none"> トランスポンダが RFID アンテナの上になるように、RFID ラベルの位置を決めます。 [RFID データ読み取り] をタッチします。 <p>テストの結果がディスプレイに表示されます。</p> 
	<p>関連 ZPL コマンド:</p> <p>関連 SGD コマンド:</p>
	<p>関連 ZPL コマンド: ^RF</p> <p>関連 SGD コマンド: rfid.tag.read.content rfid.tag.read.execute</p>

保管メニュー

メニュー表示	メニュー オプションの説明
	<p>[保管] > [USB] > [コピー: ファイルを USB に] プリンタから USB フラッシュ ドライブに保存するファイルを選択します。 リンタから USB フラッシュ ドライブにファイルをコピーするに USB フラッシュ ドライブをプリンタの USB ホスト ポートに挿入します。 プリンタに使用可能なファイルがリスト表示されます。 目的のファイルの横にあるボックスをタッチします。[すべて選択] も利用できます。 選択したファイルをコピーするには、チェックマークをタッチします。</p> <p>使用される SGD コマンド: usb.host.write_list</p>
	<p>[保管] > [USB] > [コピー: ファイルをプリンタに] USB フラッシュ ドライブからプリンタにコピーするファイルを選択します。 USB フラッシュ ドライブからコピーするファイルを選択するには、次の手順に従います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. USB フラッシュ ドライブをプリンタの USB ホスト ポートに挿入します。 プリンタに使用可能なファイルがリスト表示されます。 2. 目的のファイルの横にあるボックスをタッチします。[すべて選択] も利用できます。 3. 選択したファイルをコピーするには、チェックマークをタッチします。 <p>使用される SGD コマンド: usb.host.read_list</p>

プリンタの設定と調整

メニュー表示	メニュー オプションの説明
	<p>[保管] > [USB] > [コピー: 設定を USB に]</p> <p>この機能を使用して、USB フラッシュ ドライブなどのプリンタの設定情報を、プリンタの USB ホスト ポートの 1 つに接続された USB 大容量記憶装置にコピーします。これによって、物理的にラベルを印刷しなくとも、情報にアクセスできます。</p>
	<p>関連 ZPL コマンド: ^HH - ホスト コンピュータに返されたプリンタ設定情報を返します。</p> <p>プリンタの Web ページ: [Printer Home Page] (プリンタのホーム ページ) > [View Printer Configuration] (プリンタ設定の表示) (Web ブラウザでプリンタ設定情報を表示する) [View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [Print Listings on Label] (ラベルにリストを印刷) (ラベルに設定情報を印刷する)</p>

メニュー表示	メニュー オプションの説明
	<p>[保管] > [アセットリストの印刷] 以下の指定された情報を1つまたは複数のラベルに印刷します。</p>
	<p>有効値:</p> <ul style="list-style-type: none"> フォーマット - プリンタのRAM、フラッシュメモリ、またはオプションのメモリカードに格納されている使用可能なフォーマットを印刷します。 イメージ - プリンタのRAM、フラッシュメモリ、またはオプションのメモリカードに格納されている使用可能なイメージを印刷します。 フォント - プリンタで使用可能なフォント(標準プリンタフォント、および任意のオプションのフォントを含む)を印刷します。フォントは、RAMまたはフラッシュメモリに保存されています。 バーコード - プリンタで使用可能なバーコードを印刷します。バーコードは、RAMまたはフラッシュメモリに保存されています。 すべて - 前述のラベルに加え、プリンタ設定ラベルおよびネットワーク設定ラベルを印刷します。
	<p>関連 ZPL コマンド:</p> <p>関連 ZPL コマンド: ^WD</p> <p>プリンタの Web ページ:</p> <p>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [Print Listings on Label] (ラベルにリストを印刷)</p>

リボンセンサーと用紙センサーのキャリブレート

プリンタキャリブレートは、用紙センサーとリボンセンサーの感度を調整します。印刷されるイメージの適切な位置合わせと最適な印刷品質も保証されます。

次の状況のときにキャリブレートを実行します。

- リボンまたは用紙のサイズまたは種類を別のものに切り替えたとき。
- プリンタで次のいずれかの問題が発生したとき。
 - ラベルがスキップされる
 - 印刷されたイメージが左右または上下に歪む/ずれる
 - リボンがインストールされているときやなくなったときに、検出されない
 - 単票ラベルが連続ラベルとして扱われる

自動キャリブレートの実行

[#####] または [#####] パラメータを使用して、自動キャリブレート (CALIBRATE) または短キャリブレート (SHORT CAL) を実行するようにプリンタを設定できます。

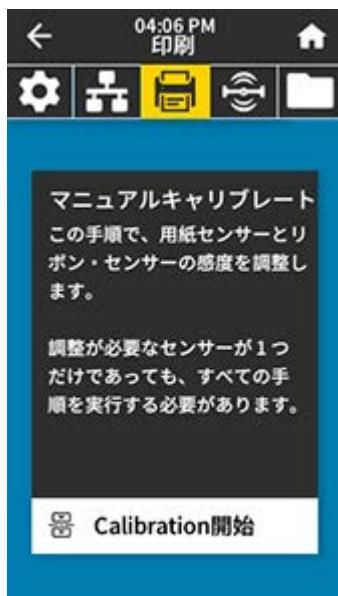
- ##### - センサー レベルとしきい値を調整し、ラベル長を判定し、用紙を次のウェブまでフィードします。
- ##### - センサー ゲインを調整せずに用紙とウェブのしきい値を設定し、ラベル長を判定して用紙を次のウェブまでフィードします。

詳細については、[電源投入時の動作](#) または [印字ヘッドを閉めた時の動作](#) を参照してください。

手動によるセンサー キャリブレートの実行

印刷出力に問題がある場合は、プリンタを手動でキャリブレートする必要があることがあります。

1. [印刷] > [センサー] > [マニュアル キャリブレート] をタッチします。



2. [Calibration 開始] をタッチします。
3. 指示通り、キャリブレート手順のステップに従います。



重要: 次の説明のとおりに、キャリブレート手順を実行してください。

- [次へ] をタッチして、次のプロンプトに進みます。
 - この手順を実行時にコントロール パネルの CANCEL (キャンセル) を長押しすると、キャリブレート処理をいつでもキャンセルできます。
4. キャリブレートが完了したら、PAUSE (一時停止) を押して一時停止モードを終了し、印刷を可能にします。

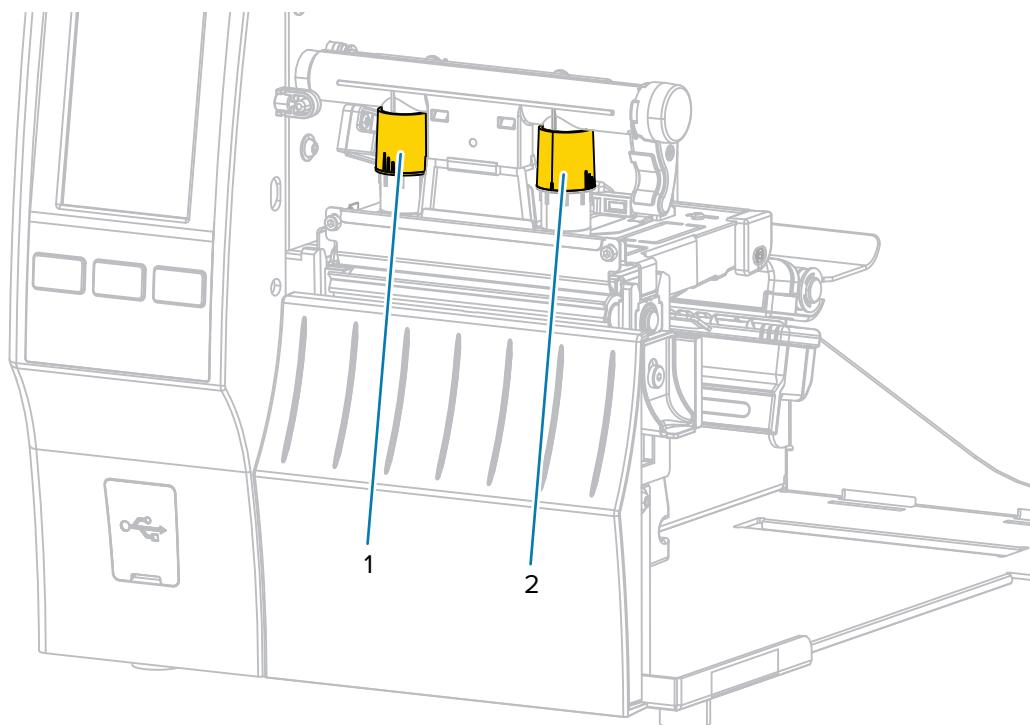
印字ヘッド圧力の調整

以下の場合は、印字ヘッド圧力を調整する必要があります。

- ・印刷の片側が薄すぎる場合
- ・厚い用紙を使用する場合
- ・印刷中に用紙が左右に動く場合

内側と外側の印字ヘッド圧力調整ダイヤルを使用して、印字ヘッドの圧力を設定します。良好な印刷品質を得るために必要な最低レベルに圧力を設定します。これらのダイヤルの設定マークの範囲は1～4です。

図3 印字ヘッド圧力調整ダイヤル



次の表で指定されているプリンタモデルと用紙幅の圧力設定から開始し、必要に応じて内側のダイヤル(1)と外側のダイヤル(2)を調整します。

表3 圧力設定開始点

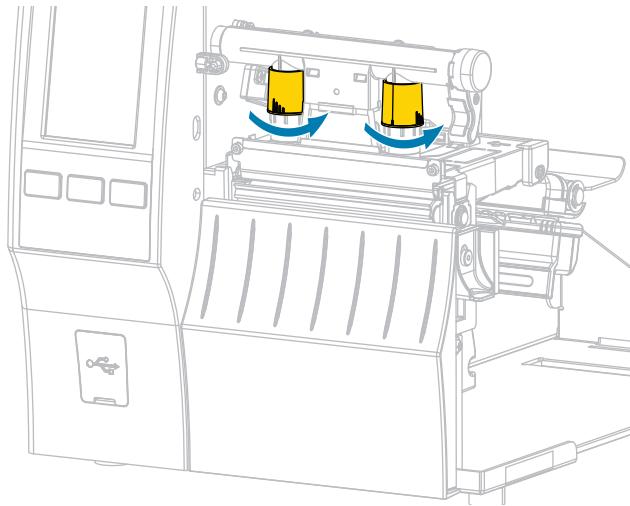
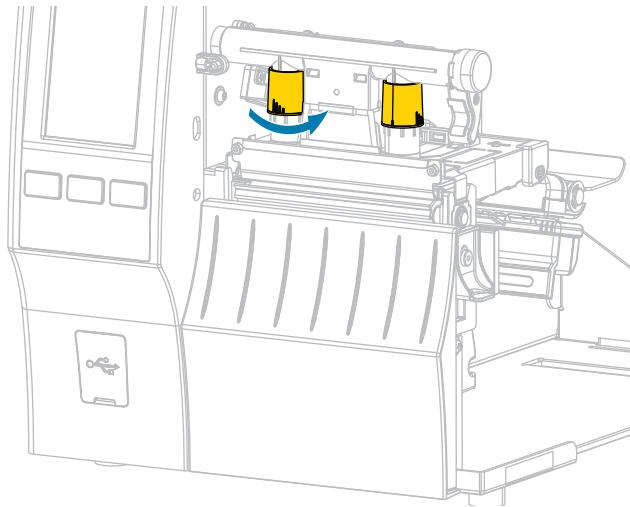
プリンタ	用紙幅	内側ダイヤル設定	外側ダイヤル設定
ZT411	25mm (1インチ)	4	1
	51mm (2インチ)	3	1
	76mm (3インチ)	2.5	1.5
	89mm (3.5インチ)	2	2

プリンタの設定と調整

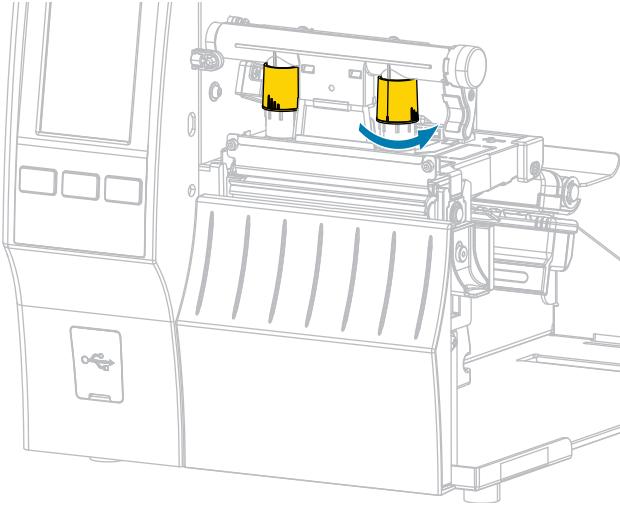
表3 圧力設定開始点 (Continued)

プリンタ	用紙幅	内側ダイヤル設定	外側ダイヤル設定
ZT421	51mm (2 インチ)	4	1
	76mm (3 インチ)	3.5	1
	102mm (4 インチ)	3	2
	≥ 127mm (5 インチ)	2.5	2.5

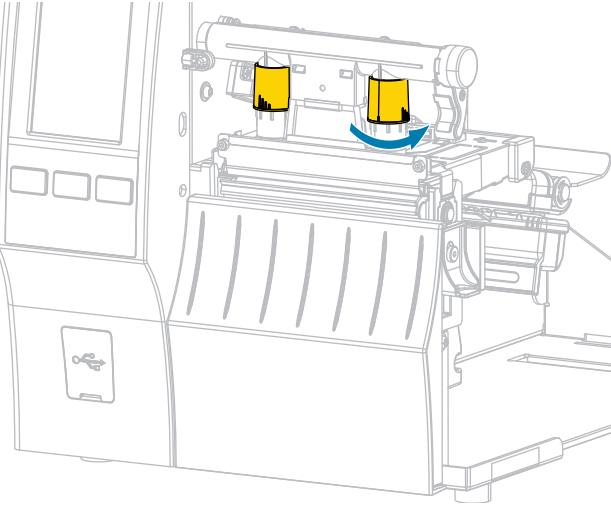
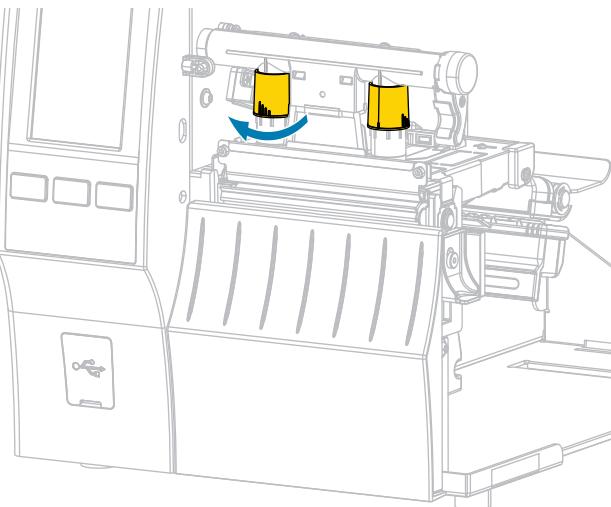
必要に応じて、印字ヘッド圧力調整ダイヤルを以下のように調整します。

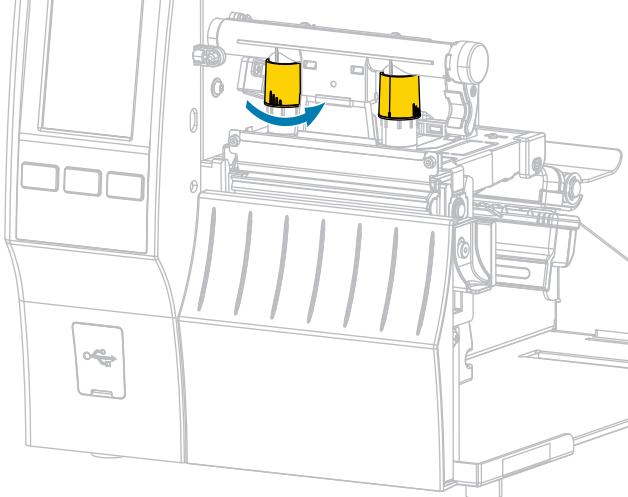
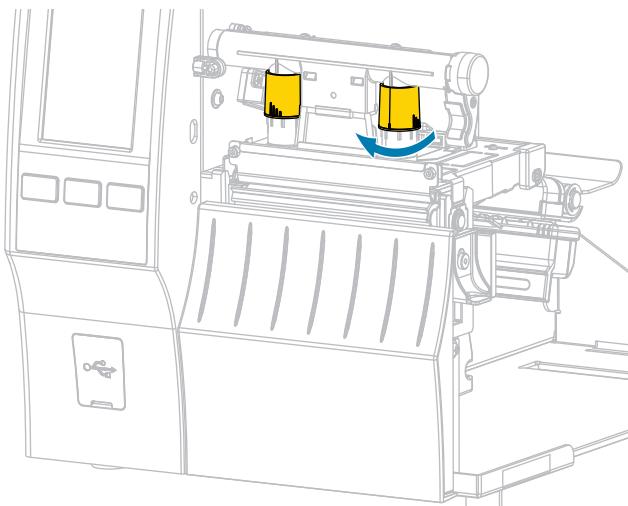
用紙の状態	操作
良好な印字品質を得るために圧力を高める必要がある	両方のダイヤル値を 1 レベル上げます。 
ラベル左側の印刷が薄すぎる	内側のダイヤル設定を 1 レベル上げます。 

プリンタの設定と調整

用紙の状態	操作
ラベル右側の印刷が薄すぎる	外側のダイヤル設定を 1 レベル上げます。 

プリンタの設定と調整

用紙の状態	操作
印刷中に左へ移動する	<p>外側のダイヤル設定を 1 レベル上げます。</p>  <p>または</p> <p>内側のダイヤル設定を 1 レベル下げます。</p> 

用紙の状態	操作
印刷中に右へ移動する	<p>内側のダイヤル設定を 1 レベル上げます。</p>  <p>または</p> <p>外側のダイヤル設定を 1 レベル下げます。</p> 

センサー位置の調整

透過式用紙センサー アセンブリは 2 つの部分で構成されています。

- 光源 (用紙センサーの下部)
- 光センサー (用紙センサーの上部)

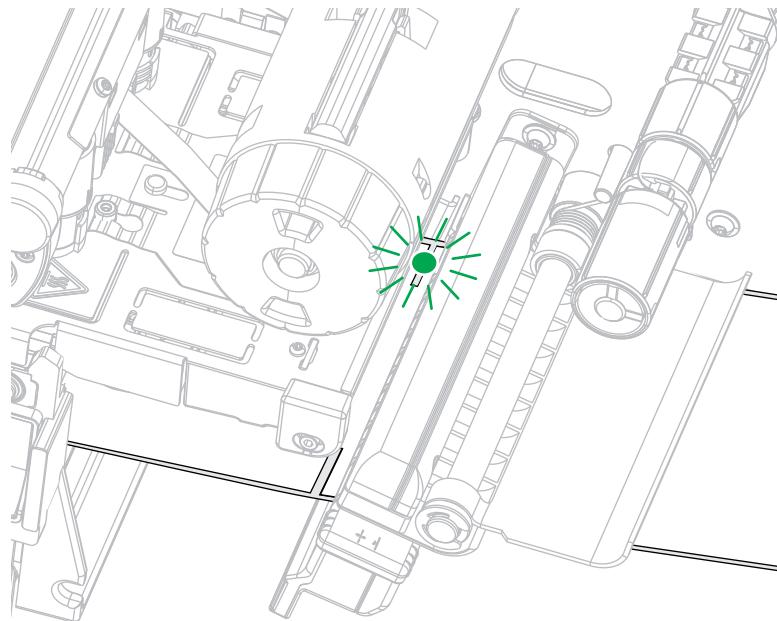
用紙はこれら 2 つのパート間を通過します。

センサーの位置は、プリンタがラベルの先頭を検出できないときにのみ調整してください。この場合、用紙がセットされていても、プリンタのディスプレイに「用紙出力エラー」が表示されます。

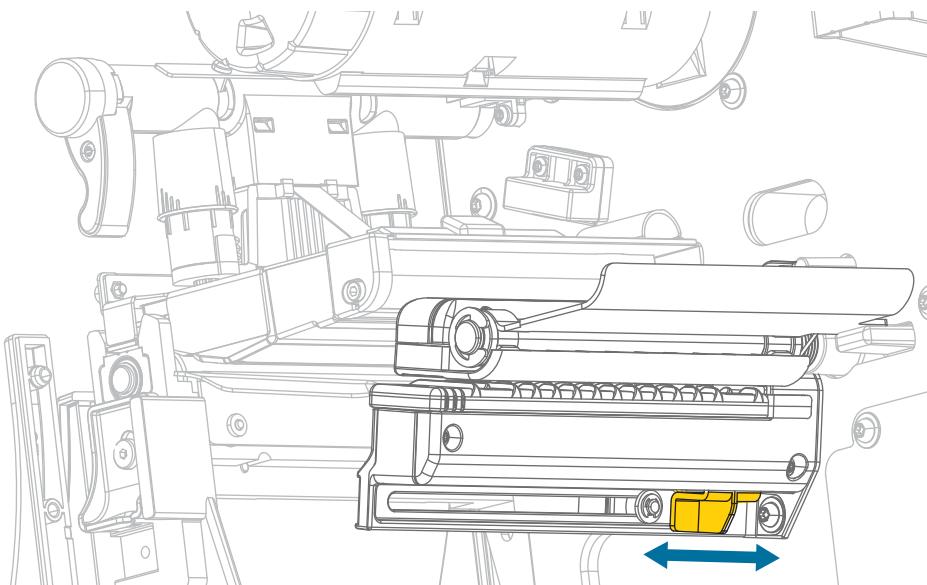
切れ込みまたは穴のある単票用紙の場合、センサーは切れ込みまたは穴の位置にくるように配置する必要があります

1. 用紙経路がはっきり見えるよう、リボンを外します。

2. 用紙センターの緑色のランプの光が隙間、切れ込み、または穴から見えるように、用紙をセットします。



3. 必要に応じて、用紙センサーを調整して、用紙センサーを横にスライドします。



定期的なメンテナンス

このセクションでは、定期的なクリーニングおよびメンテナンスの手順について説明します。

クリーニングのスケジュールと手順

定期的な予防メンテナンスは、通常のプリンタ操作で重要な要素です。ご使用のプリンタをきちんと手入れすることで、起こりうる問題の発生を最小限に抑え、目的の印刷品質基準を達成/維持できます。

用紙やリボンが印字ヘッドを横切って移動するため、長期間の使用により、セラミックの保護コーティングが磨耗して剥がれ、最終的には印字エレメント(ドット)が劣化します。磨耗を防止するために、以下の点を心掛けてください。

- 印字ヘッドを頻繁にクリーニングします。
- 印字ヘッド圧力と加熱温度(濃度)のバランスを最適化して、設定値を最小にしてください。
- 熱転写モードを使用する場合は、リボンが用紙と同じ幅か、用紙よりも幅が広いことを確認してください。これは、摩擦の大きなラベル用紙に印字ヘッドのエレメントが触れるのを防止するためです。



重要: Zebra では、クリーニング液の使用によってこのプリンタに生じた損傷の責任は負いません。

具体的なクリーニング方法については、このセクションに記載されています。以下の表に示す、奨励されるクリーニングスケジュールに従ってください。



注: これらの推奨されるクリーニング間隔は、あくまで目安として記載しております。具体的な用途や印刷に使用する用紙によっては、より頻繁なクリーニングが必要となる場合があります。

表4 クリーニングの推奨スケジュール

部位	方法	指定間隔
印字ヘッド (印字ヘッドとプラテンローラーのクリーニング (130ページ) を参照)	溶剤*	ダイレクトサーマル モード: 用紙 1 ロール (または折り畳み用紙 500 フィート) を使用済み後に毎回。
プラテンローラー	溶剤*	熱転写モード: リボン 1 ロールを使用済み後に毎回。
用紙センサー	空気ブロー	
リボンセンサー	空気ブロー	
用紙経路	溶剤*	

表4 クリーニングの推奨スケジュール (Continued)

部位	方法	指定間隔
リボン経路	溶剤*	
ピンチ ローラー (剥離オプションの一部)	溶剤*	
カッター モジュール	連続用紙、感圧紙をカットする場合	溶剤* 用紙 1 ロールを使用済み後に毎回 (用途および用紙のタイプによってはそれより頻繁に)。
	タグ ストックまたはラベル台紙をカットする場合	溶剤* および 空気ブロー [*] 用紙 2 ロールから 3 ロールを使用済み後に毎回。
切り取り/剥離バー	溶剤*	月 1 回。
ラベル剥離センサー	空気ブロー	半年に 1 回。

 **注:**

* Zebra では、予防メンテナンス キット (部品番号 47362 または部品番号 105950-035 (マルチパック)) の使用を推奨しています。予防メンテナンス キットの代わりに、99.7% のイソプロピルアルコールに浸した糸くずでのない布を使用することも可能です。

600dpi プリンタには、Save-a-Printhead クリーニング フィルムを使用してください。この特殊コーティングが施されたフィルムを使用すると、印字ヘッドを傷めずに溜まった不純物を取り除くことができます。詳細については、公認の代理店または販売店にお問い合わせください。

外装、用紙コンパートメント、およびセンサーのクリーニング

時間の経過とともに、ご使用のプリンタの外側にも内側にも、特に厳しい動作環境にある場合は、埃や汚れなどのゴミがたまります。

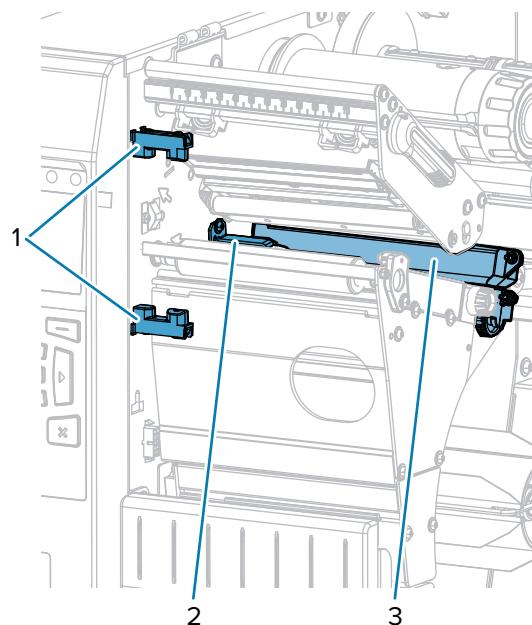
プリンタの外装のクリーニング

プリンタの外装表面は、必要があれば、糸くずのない布と、水で薄めた少量の洗剤を使用してクリーニングできます。ざらざらしたものや摩擦性のクリーニング液、クリーニング溶剤などは使用しないでください。

重要: Zebra では、クリーニング液の使用によってこのプリンタに生じた損傷の責任は負いません。

用紙セット部とセンサーのクリーニング

1. ブラシ、空気ブローまたは掃除機を使用して、用紙経路およびリボン経路に溜まった用紙くずや埃を清掃します。
2. ブラシ、空気ブローまたは掃除機を使用して、センサーに溜まった用紙くずや埃を清掃します。



1	ラベル剥離センサー
2	リボン センサー
3	用紙センサー

印字ヘッドとプラテンローラーのクリーニング

バーコードやグラフィックに空白が見られるなど、一貫した印刷品質が得られないときは、印字ヘッドが汚れている可能性があります。推奨されるクリーニングのスケジュールについては、[クリーニングのスケジュールと手順](#)（127ページ）を参照してください。



重要:

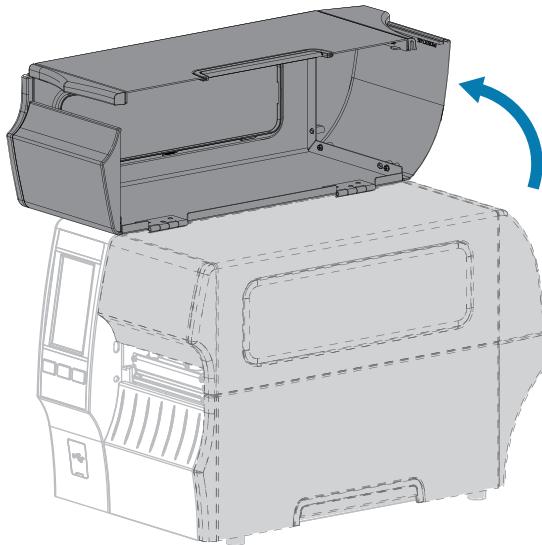
開いている印字ヘッドの近くで作業をする際、プリンタの電源は必ずしも切る必要はありませんが、Zebraでは、万一に備えて電源をオフにすることを推奨します。

電源を切ると、ラベルフォーマットなどの一時設定はすべて失われるため、印刷を再開する前に再度読み込む必要があります。



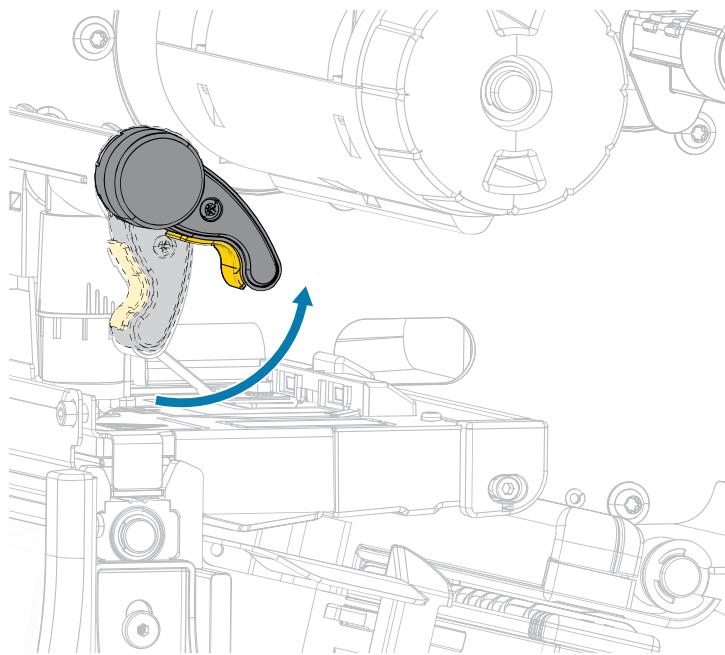
注意—ESD: 印字ヘッドアセンブリに触れる前に、プリンタの金属フレームを触るか静電気除去リストストラップとマットを使用するなどして、蓄積した静電気をすべて除去してください。

- 用紙アクセス用ドアを開きます。



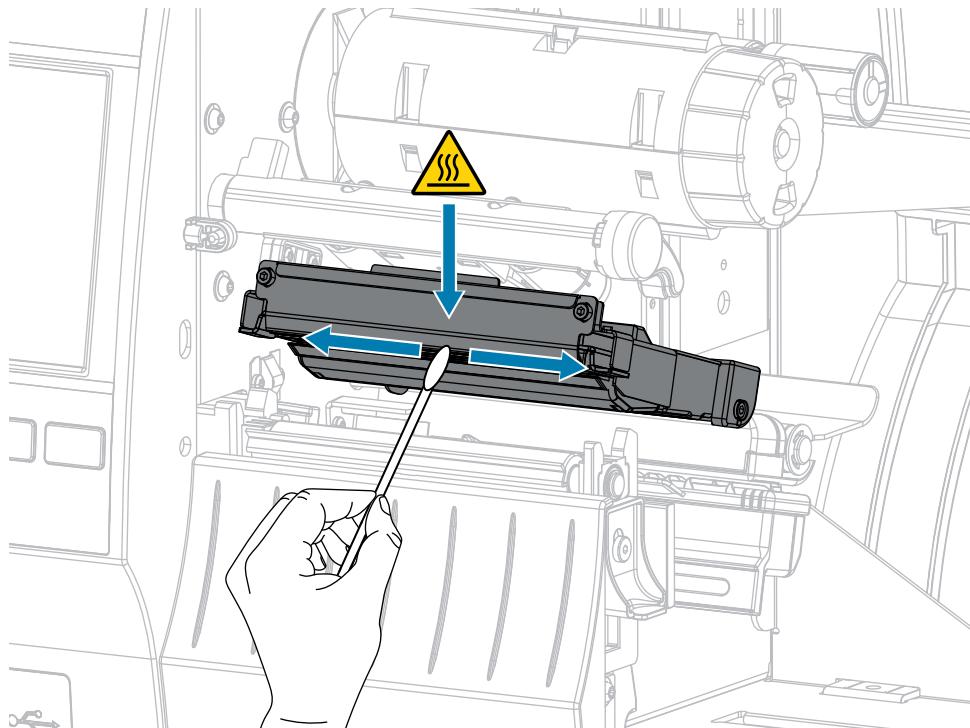
注意: 表面が熱くなっています: 印字ヘッドが熱くなっている可能性があり、重篤な火傷を引き起こす危険があります。印字ヘッドが冷めるまで時間をおいてください。

2. 印字ヘッド オープン レバーを上方に回して、印字ヘッド アセンブリを開けます。

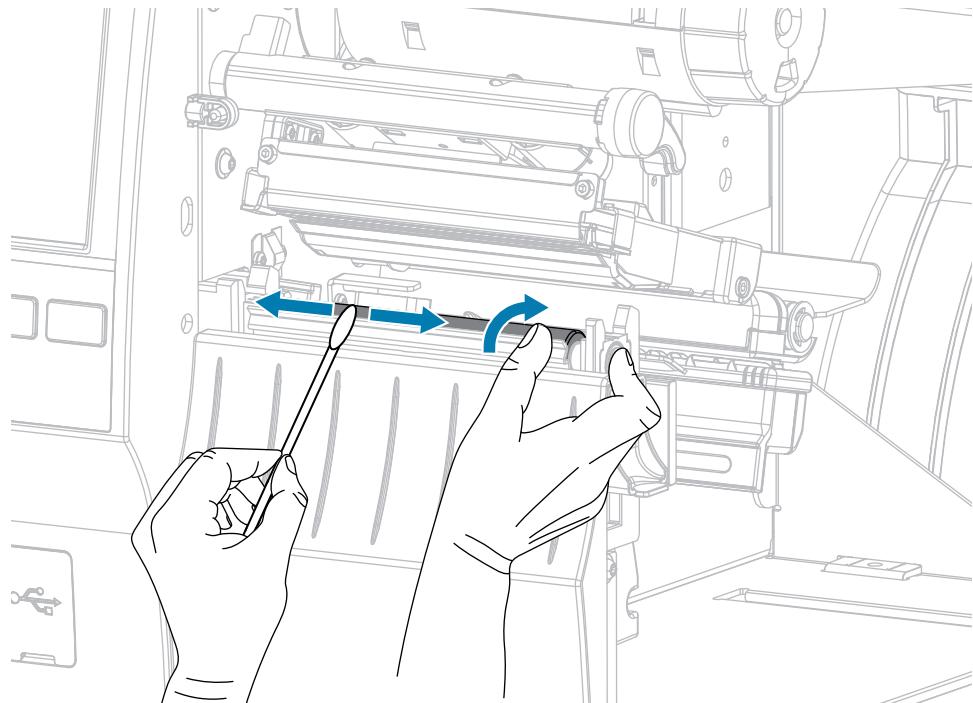


3. リボン (使用している場合) と用紙を取り外します。

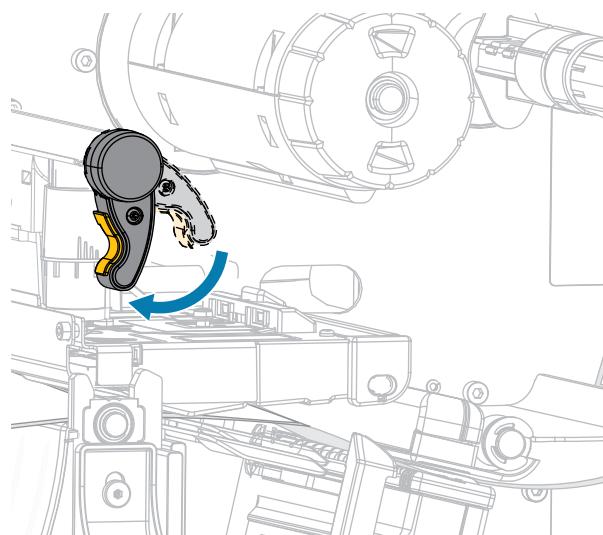
4. Zebra 予防メンテナンス キットの綿棒を使用して、印字ヘッド アセンブリ上の茶色い帯を端から端まで拭き取ります。予防メンテナンス キットの代わりに、99.7% のイソプロピル アルコールに浸した清潔な綿棒を使用することも可能です。溶剤が蒸発するまでお待ちください。



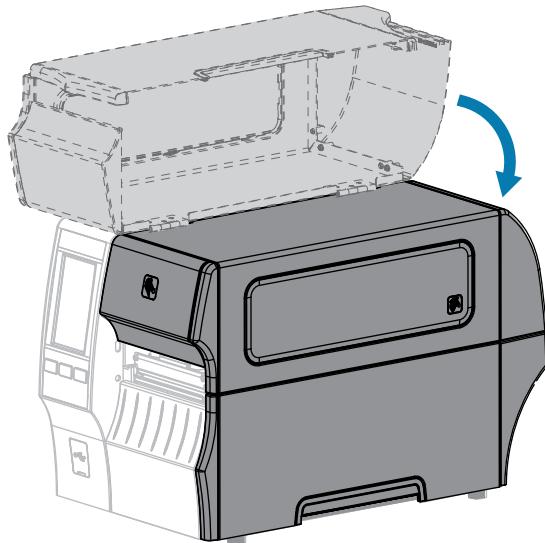
5. プラテンローラーを手で回しながら、綿棒で入念にクリーニングします。溶剤が蒸発するまでお待ちください。



6. リボン(リボンを使用する場合)と用紙をセットし直します。詳細については、[リボンのセット](#)(63ページ)または[用紙の装着](#)(31ページ)を参照してください。
7. 印字ヘッドオープンレバーを下方向に、印字ヘッドが固定位置でロックされるまで回します。



8. 用紙アクセス用ドアを閉めます。



プリンタが動作可能になります。

9. 一時停止モードを終了して印刷可能にするには、PAUSE (一時停止) を押します。

プリンタは、それぞれの設定によって、ラベルキャリブレートを実行するか、またはラベルをフィードします。



注:

この手順を実行しても印刷品質が改善されない場合は、Save-A-Printhead クリーニング フィルムを使用して印字ヘッドのクリーニングを試みてください。この特殊コーティングが施されたフィルムを使用すると、印字ヘッドを傷めずに溜まった不純物を取り除くことができます。

詳細については、Zebra 公認の代理店にお問い合わせください。

カッター モジュールのクリーニングおよび潤滑油の塗布

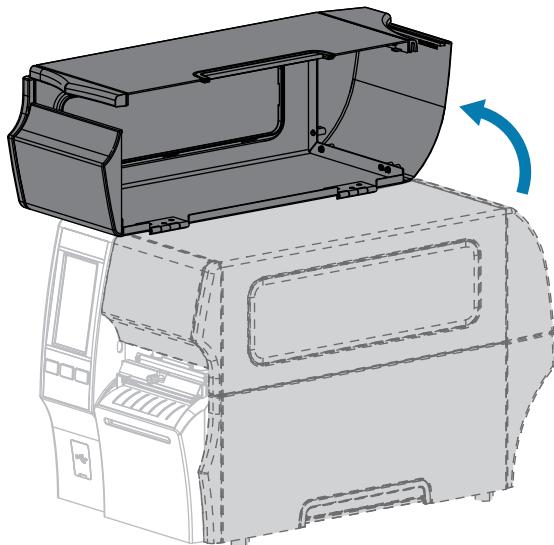
カッターでラベルがきれいに切断されない場合、またはラベルが詰まってしまう場合には、カッターの刃をクリーニングします。カッター モジュールの寿命を延ばすために、ブレードをクリーニングした後は潤滑油を塗布します。



注意—電気ショック: 以下の手順を実行する前に、必ずプリンタの電源スイッチをオフ (O) にし、電源供給装置との接続を切断してください。

1. プリンタの電源をオフ (O) にして、AC 電源コードの接続を切断します。

- 用紙アクセス用ドアを開きます。

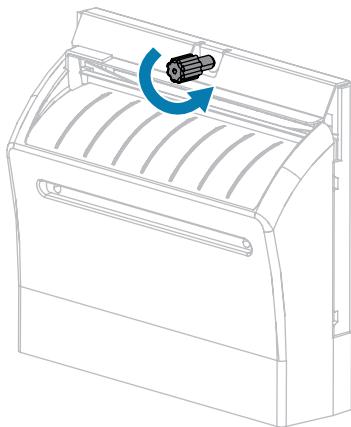


- カッターモジュールを通して装着した用紙を取り出します。

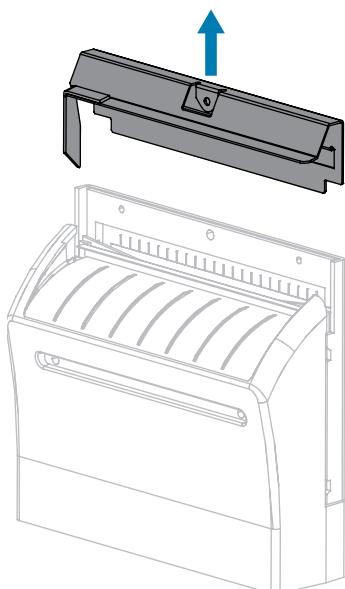


注意：カッターの刃は鋭利です。指で刃に触れたり、こすったりしないでください。

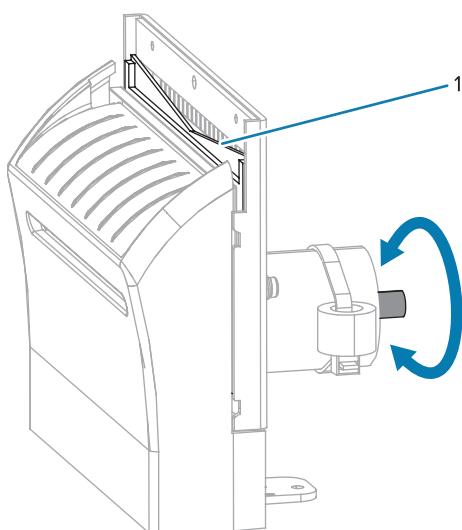
- カッターシールド上の蝶ネジとロックワッシャを緩めて取り外します。



5. カッターシールドを取り外します。

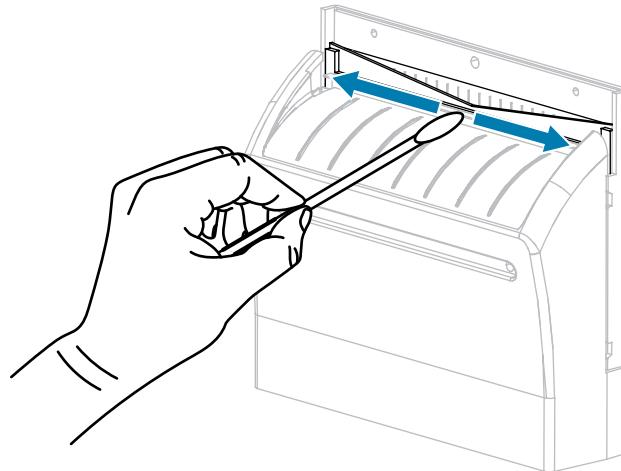


6. 必要な場合は、カッター モーターの蝶ネジを回して V 字形のカッターの刃 (1) を完全に露出させます。

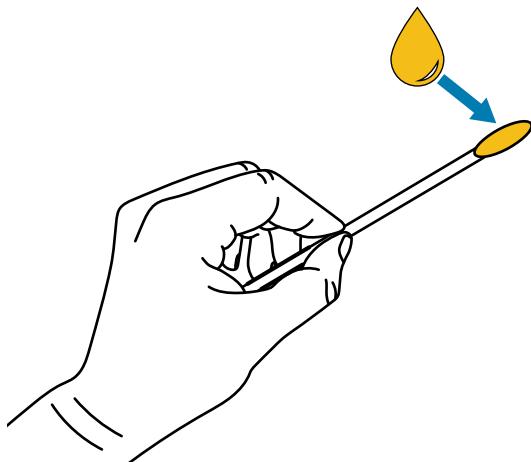


定期的なメンテナンス

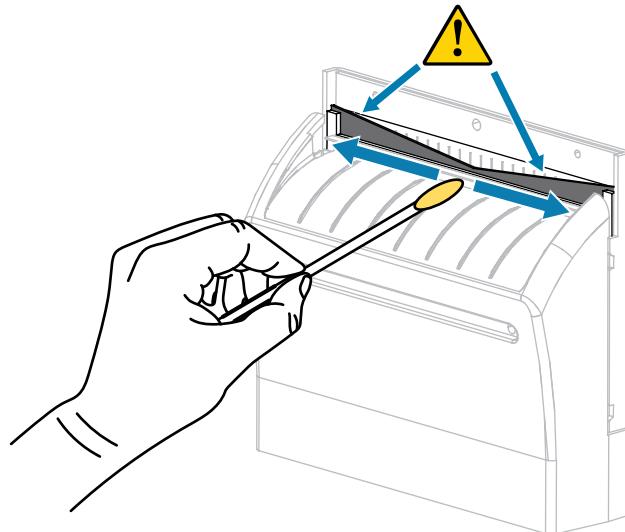
- 予防メンテナンス キット (パーツ番号 47362) の綿棒を使用して、切り取り面の上部とカッターの刃を拭き取ります。予防メンテナンス キットの代わりに、99.7% のイソプロピルアルコールに浸した清潔な綿棒を使用することも可能です。溶剤が蒸発するまでお待ちください。



- 溶剤が蒸発したら、きれいな綿棒を汎用の高粘性シリコーンまたは PTFE オイル潤滑剤に浸してください。

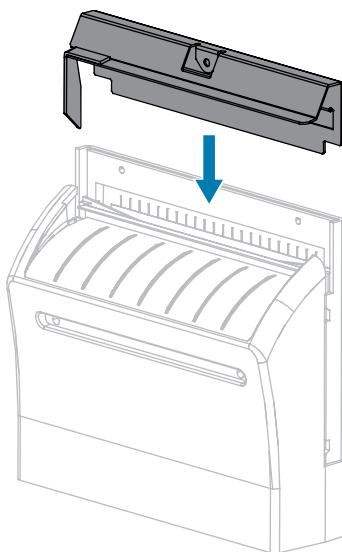


9. 両方のカッターブレードの露出した面全体に均一に行き渡るように塗布します。余分なオイルを取り除いて、印字ヘッドまたはプラテンローラーに付かないようにします。

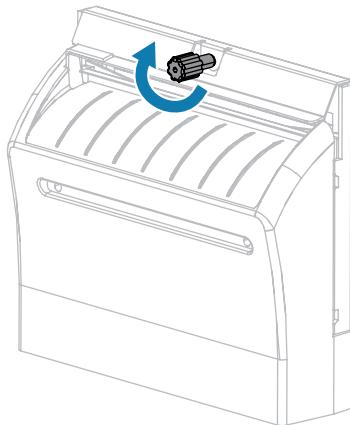


注意：カッターの刃は鋭利です。オペレータの安全のため、カッターシールドを元の位置に戻します。

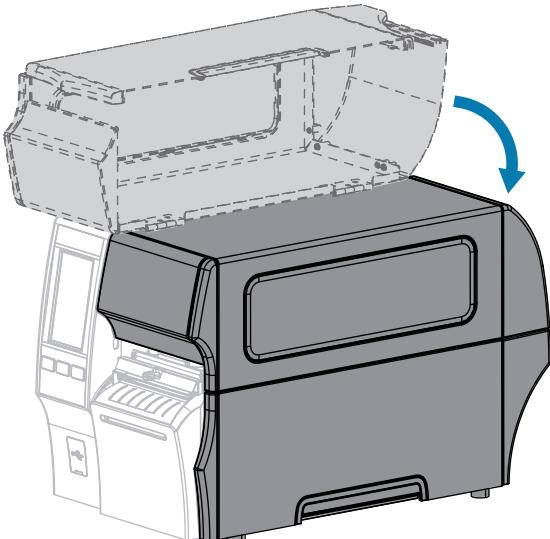
10. カッターシールドを交換します。



11. 前の手順で取り外した蝶ネジとロックワッシャで固定します。



12. 用紙アクセス用ドアを閉めます。



13. 電源にプリンタの電源コードを差し込んで、プリンタをオン (I) にします。

カッターの刃が動作位置に戻ります。

14. カッターがまだ正常に動作しない場合は、資格のあるサービス技師にお問い合わせください。

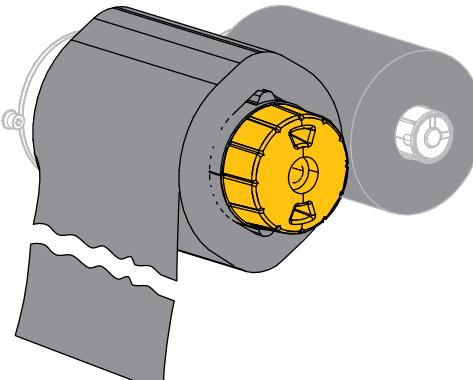
使用済みリボンの取り外し

リボン ロールを交換するたびに、少なくとも、リボン巻き取りスピンドルから使用済みリボンを取り外す必要があります。

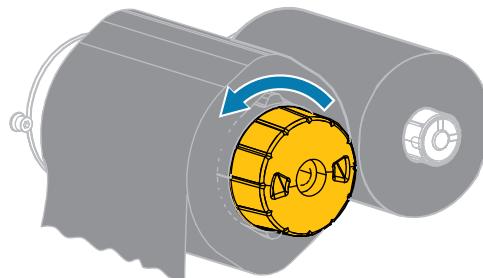
リボンの幅が印字ヘッドの幅の半分以下である場合は、新しい用紙ロールを装着するたびに、使用済みリボンの取り外しを行う必要があります。これは、リボン巻き取りスピンドルへの不均一な圧力がスピンドル上のリボンリリースバーに干渉しないようにするためにです。

使用済みのリボンを取り外すには、次の手順を実行します。

1. リボンの残りの有無に応じて、次のように操作します。

リボンの状態	対処
なし	手順 2 (139ページ) に進みます。
あり	<p>リボン巻き取りスピンドルの手前でリボンを切ります。</p>  <p>注意—製品の損傷: リボンはリボン巻き取りスピンドルの上で直に切らないでください。スピンドルを傷つけることがあります。</p>

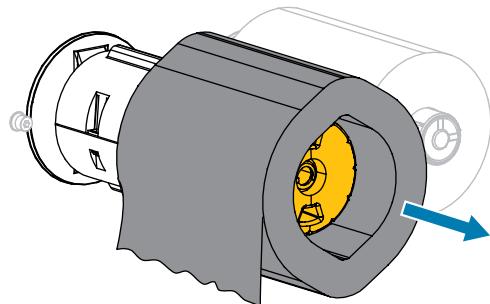
2. リボン巻き取りスピンドルを押さえながら、リボンリリースノブを左に止まるまで回します。



リボンリリースバーが下がり、リボンを押さえていたスピンドルのグリップが緩みます。

3. リボンリリースバーが下がったら、可能な場合はリボン巻き取りスピンドルを右に完全に1回転させてスピンドル上のリボンを緩めます。

4. 使用済みリボンをリボン巻き取りスピンドルから外して、廃棄します。



プリンタ コンポーネントの交換

印刷ヘッドやプラテンローラーなど、一部のプリンタ コンポーネントは時間の経過と共に消耗しますが、簡単に取り替えられます。定期的にクリーニングすることで、このようなコンポーネントの寿命を延ばすことができます。

推奨するクリーニング間隔については、[クリーニングのスケジュールと手順](#) (127ページ) を参照してください。

交換部品の注文

Zebra プリンタは、Zebra 純正印字ヘッドでのみ機能させることで、安全性と印刷品質が最大化されるように設計されています。部品の注文情報については、Zebra 公認の代理店にお問合せください。

プリンタ コンポーネントのリサイクル



プリンタのコンポーネントのほとんどはリサイクルが可能です。プリンタのメイン ロジック ボードにはバッテリがあり、適切な方法で処分する必要があります。

プリンタ コンポーネントは、その種類を問わず、無分別の一般廃棄物として処分しないでください。バッテリは自治体の定める法律に従って処分し、他のプリンタ コンポーネントは地域の規制に従って処分してください。詳細については、zebra.com/environment を参照してください。

プリンタの保管

プリンタをすぐに使用しない場合には、元の梱包材料を使用してプリンタを梱包し直します。プリンタは次の条件下で保管できます。

- 温度: -40°F ~ 140°F (-40°C ~ 60°C)
- 相対湿度: 5 ~ 85% (結露なきこと)

潤滑油

このプリンタで潤滑油を必要とするのはカッター モジュールのみです。カッター モジュールのクリーニングおよび潤滑油の塗布（133ページ）の説明に従ってください。



注：カッター モジュール以外の部分には潤滑油を塗布しないでください。



注意—製品の損傷：このプリンタに市販の潤滑油を使用すると、塗装や機械部品を損傷する可能性があります。

診断とトラブルシューティング

このセクションでは、印刷の最適化や、問題の診断とトラブルシューティングに役立つ診断テストやその他の情報を提供します。

ユーザーに役立つビデオやその他のオンライン情報にアクセスするには、zebra.com/zt400 をご覧ください。

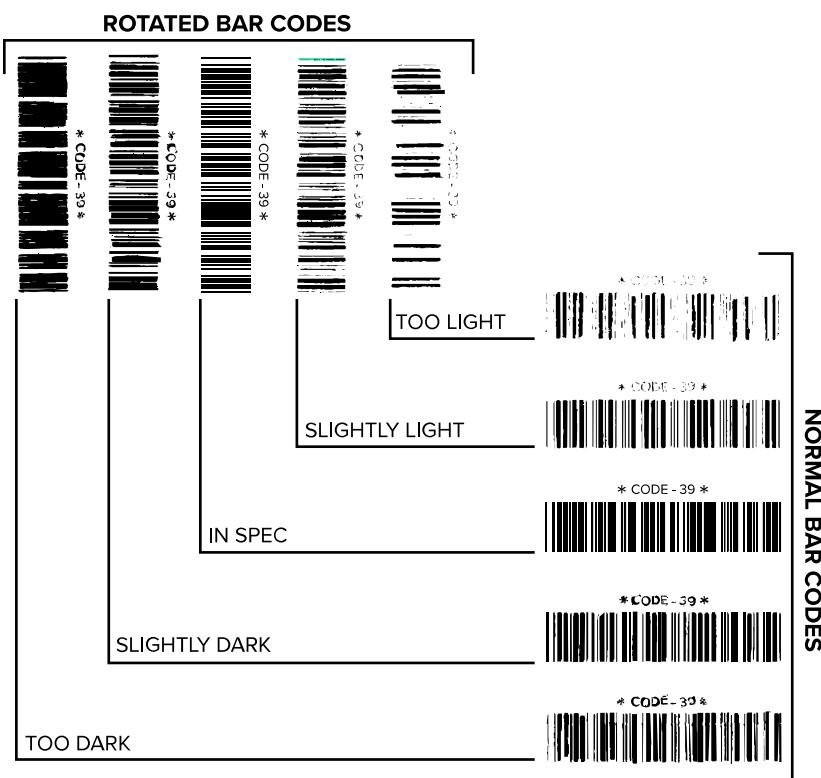


バーコード品質の評価

下の図は、印字の濃度と速度などプリンタの設定が、印刷されるバーコードの品質にどのように影響するかを示しています。

印字濃度は、良好な印刷品質が得られる最低値に設定してください。[印刷ウィザードの実行とテストラベルの印刷](#) (67ページ) にある印字品質アシスタントを使用して、最適な設定を決定できます。

図4 バーコードの濃度の比較



外観	説明
濃すぎるラベル	<p>明らかです。判読可能ですが、「仕様範囲内」とは認められません。</p> <ul style="list-style-type: none"> 標準バーコードのバーのサイズが大きくなっています。 小さい英数字の文字の開いた部分にインクがたまる場合があります。 回転バーコードのバーと空白部分が混ざっています。
やや濃いラベル	<p>濃すぎるラベルほど明らかではありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> 標準バーコードは、「仕様範囲内」です。 小さい英数字の文字が太くなり、多少つぶれて見える場合があります。 回転バーコードの空白部分が、「仕様範囲内」のコードと比べて小さいため、コードを判読できない場合があります。

診断とトラブルシューティング

外観	説明
「仕様範囲内」のラベル	<p>ラベルが「仕様範囲内」であるかどうかは、検証ツールによってのみ確認できますが、通常はいくつかの目に見える特性を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 標準バーコードのバーは、完全でムラがなく、空白部分が鮮明ではっきりと見分けられます。 回転バーコードのバーは、完全でムラがなく、空白部分が鮮明ではっきりと見分けられます。やや濃いバーコードより不鮮明な場合もありますが、このバーコードは「仕様範囲内」です。 標準と回転のいずれのスタイルにおいても、小さい英数字が鮮明です。
やや薄いラベル	<p>「仕様範囲内」のバーコードでは、場合によって、濃いめのラベルよりも好まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 標準バーコードおよび回転バーコードはどちらも仕様範囲内ですが、小さい英数字が不鮮明な場合があります。
薄すぎるラベル	<p>明らかです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 標準バーコードおよび回転バーコードのバーと空白部分が不鮮明です。 小さい英数字を判読できません。

設定ラベル

最も一般的に使用されるプリンタ診断項目は、プリンタとネットワーク設定ラベルの2つです。これらのラベルの情報を分析すると、潜在的な問題のトラブルシューティングに役立ちます。

プリンタ設定ラベルを印刷するには、[メニュー] > [設定] > [Print System Settings] (印刷システム設定) をタッチします。

図5 プリンタ設定ラベルのサンプル

PRINTER CONFIGURATION	
Zebra Technologies ZTC ZT620R-203dpi ZPL 76J162700886	
+30.0.....	DARKNESS
6.0 IPS.....	PRINT SPEED
-007.....	TEAR OFF
TEAR OFF.....	PRINT MODE
CONTINUOUS.....	MEDIA TYPE
TRANSMISSIVE.....	SENSOR SELECT
DIRECT-THERMAL.....	PRINT METHOD
1344.....	PRINT WIDTH
2000.....	ABEL LENGTH
P085892/00005 2.....	PRINT HEAD ID
15.0 IN 380MM.....	MAXIMUM LENGTH
MAIN OFF.....	EARLY WARNING
CONNECTED.....	USB COMM.
BIDIRECTIONAL.....	PARALLEL COMM.
RS232.....	SERIAL COMM.
9600.....	BAUD
8 BITS.....	DATA BITS
NONE.....	PARITY
XON/XOFF.....	HOST HANDSHAKE
NONE.....	PROTOCOL
NORMAL MODE.....	COMMUNICATIONS
<~> ZEH.....	CONTROL PREFIX
<~> SEH.....	FORMAT PREFIX
<,> 2CH.....	DELIMITER CHAR
ZPL II.....	ZPL MODE
INACTIVE.....	COMMAND OVERRIDE
FEED.....	MEDIA POWER UP
LENGTH.....	HEAD CLOSE
DEFALT.....	BACKFEED
+000.....	LABEL TOP
+0000.....	POSITION
OFF.....	APPLICATION PORT
ENABLED.....	ERROR ON PAUSE
PULSE MODE.....	START PRINT SIG
DISABLED.....	REPRINT MODE
080.....	WEB SENSOR
090.....	MEDIA SENSOR
255.....	TAKE LABEL
027.....	MARK SENSOR
027.....	MARK MED SENSOR
000.....	TRANS GAIN
005.....	TRANS BASE
060.....	TRANS LED
002.....	MARK GAIN
100.....	MARK LED
DPCSWFNM.....	MODES ENABLED
1344 8/MIN FULL.....	MODES DISABLED
4.0.....	RESOLUTION
V8.0_20.03 <.....	LINK-OS VERSION
1.3.....	FIRMWARE
6.6.0 22.89.....	XML SCHEMA
32768K.....	HW: RAM
524288K.....	E: ONBOARD FLASH
NONE.....	FORMAT CONVERT
MM/DD/YYYY 24HR.....	IDLE DISPLAY
05/11/17.....	DATE
06:40.....	RTC TIME
ENABLED.....	ZBT
24.....	ZBT VERSION
READY.....	ZBT STATUS
TM:16E MICRO.....	RFID READER
20.00.00.01.....	RFID HW VERSION
01.03.00.18.....	RFID FW VERSION
USA/CANADA.....	RFID REGION CODE
USA/CANADA.....	RFID COUNTRY CODE
RFID OK.....	RFID ERR STATUS
16.....	RFID READ PWR
16.....	RFID WRITE PWR
F0.....	PROG. POSITION
0.....	RFID VALID CTR
0.....	RFID VOID CTR
NONE.....	ADAPTIVE ANTENNA
A4.....	RFID ANTENNA
570 LABELS.....	NONRESET CNTR
570 LABELS.....	RESET CNTR1
570 LABELS.....	RESET CNTR2
2,798 IN.....	NONRESET CNTR
2,798 IN.....	RESET CNTR1
2,798 IN.....	RESET CNTR2
7,107 CM.....	NONRESET CNTR
7,107 CM.....	RESET CNTR1
7,107 CM.....	RESET CNTR2
001 WIRELESS.....	SLOT 1
*** EMPTY.....	SLOT 2
0.....	MASS STORAGE COUNT
0.....	HID COUNT
OFF.....	USB HOST LOCK OUT
FIRMWARE IN THIS PRINTER IS COPYRIGHTED	

ネットワーク設定ラベルを印刷するには、[メニュー] > [ネットワーク] > [印刷: ネットワーク情報] の順にタッチします。

図6 ネットワーク設定ラベルのサンプル

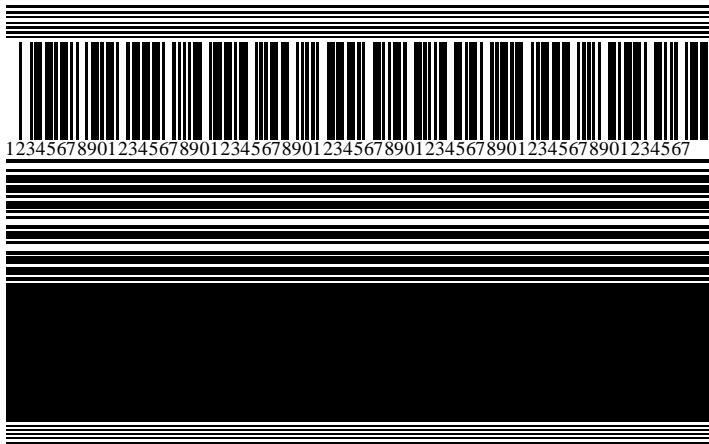
Network Configuration	
Zebra Technologies ZTC ZTXXX-XXXdpi ZPL XXXXXXXXXXXX	
Wired.....	PRIMARY NETWORK
PrintServer.....	LOAD LAN FROM?
INTERNAL WIRED.....	ACTIVE PRINTSRVR
Wired#	
ALL.....	IP PROTOCOL
192.168.000.017.....	IP ADDRESS
255.255.255.000.....	SUBNET
192.168.000.254.....	GATEWAY
000.000.000.000.....	WINS SERVER IP
YES.....	TIMEDOUT CHECKING
300.....	TIMEDOUT VALUE
000.....	ARP INTERVAL
9100.....	BASE RAW PORT
9200.....	JSON CONFIG PORT
Wireless	
ALL.....	IP PROTOCOL
000.000.000.000.....	IP ADDRESS
255.255.255.000.....	SUBNET
000.000.000.000.....	GATEWAY
000.000.000.000.....	WINS SERVER IP
YES.....	TIMEDOUT CHECKING
300.....	TIMEDOUT VALUE
000.....	ARP INTERVAL
9100.....	BASE RAW PORT
9200.....	CARD CONFIG PORT
INSERTED	
00:FF.....	CARD MFG ID
9134F.....	CARD PRODUCT ID
BC:13:84:82:05:9C.....	MAC ADDRESS
YES.....	DRIVER INSTALLED
INFRASTRUCTURE.....	OPERATING MODE
125.....	ESSID
1.0.....	CURRENT TX RATE
OPEN.....	WEP TYPE
WPA_PSK.....	WLAN SECURITY
1.....	WEP INDEX
000.....	POOR SIGNAL
LONG.....	PREAMBLE
NO.....	ASSOCIATED
ON.....	PULSE ENABLED
15.....	PULSE RATE
OFF.....	INTL MODE
USA/CANADA.....	REGION CODE
USA/CANADA.....	COUNTRY CODE
0x7FF.....	CHANNEL MASK
Bluetooth	
4.3.1p1.....	FIRMWARE
02/13/2015.....	DATE
on.....	DISCOVERABLE
3.0/4.0.....	RADIO VERSION
on.....	ENABLED
AC:13:84:82:05:90.....	MAC ADDRESS
76J162700886.....	FRIENDLY NAME
no.....	CONNECTED
1.....	MIN SECURITY MODE
nc.....	CONN SECURITY MODE
supported.....	iOS
FIRMWARE IN THIS PRINTER IS COPYRIGHTED	

PAUSE (一時停止) セルフ テスト

このセルフ テストは、プリンタの機械部品を調整するために必要なテスト ラベルの印刷や、印字ヘッドのどれかのエレメントが機能していないかどうかの判別に使用できます。

以下は、印刷サンプルです。

図 7 PAUSE (一時停止) テストのラベル



1. プリンタをオフ (O) にします。
2. **PAUSE (一時停止)** を押しながら、プリンタをオン (I) にします。コントロール パネルの最初のランプが消えるまで、**PAUSE (一時停止)** を長押しします。

最初のセルフ テストでは、15 のラベルがそのプリンタの最低速度で印刷され、その後、プリンタは自動的に一時停止します。**PAUSE (一時停止)** を押すたびに、さらに 15 枚のラベルが印刷されます。

プリンタが一時停止中の動作:

- **CANCEL (キャンセル)** を押すと、セルフ テストが変更されます。**PAUSE (一時停止)** を押すたびに、15 枚のラベルが 1 秒あたり 152mm (6 インチ) で印刷されます。
- **CANCEL (キャンセル)** を再び押すと、2 回目のセルフ テストの変更が行われます。**PAUSE (一時停止)** を押すたびに、50 枚のラベルがそのプリンタの最低速度で印刷されます。
- **CANCEL (キャンセル)** を再び押すと、3 回目のセルフ テストの変更が行われます。**PAUSE (一時停止)** を押すたびに、50 枚のラベルが 1 秒あたり 152mm (6 インチ) で印刷されます。
- **CANCEL (キャンセル)** を再び押すと、4 回目のセルフ テストの変更が行われます。**PAUSE (一時停止)** を押すたびに、15 枚のラベルがそのプリンタの最高速度で印刷されます。

3. このセルフ テストを途中で終了するには、**CANCEL (キャンセル)** を長押しします。

センサー プロフィール

[メニュー] > [印刷] > [センサー] > [印刷: センサー プロフィール] の順にタップして、センサー プロフィール イメージを印刷します。イメージは、複数の実際のラベルまたはタグにまたがって拡張されます。

センサー プロフィール メージを使用して、以下の状況のトラブルシューティングを行います。

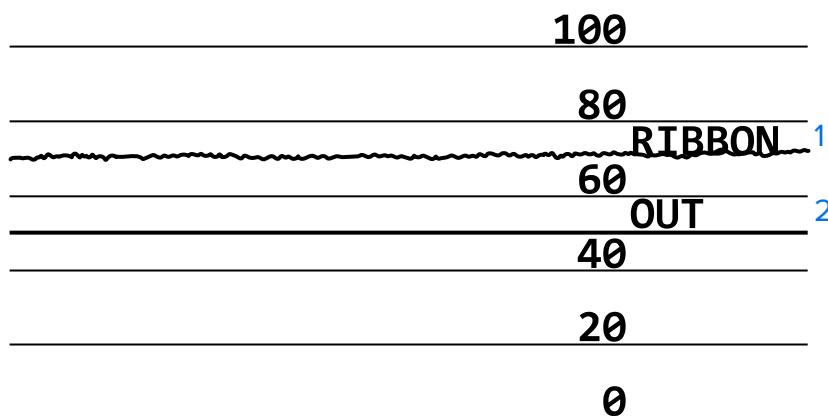
- ・ プリンタでラベル間のギャップ(ウェブ)を判定できない
- ・ プリンタが、ラベルの事前印刷の領域をギャップ(ウェブ)と誤って認識する
- ・ プリンタがリボンを検出できない

印刷結果とこのセクションで示す例を比べてください。センサーの感度を調整するには、プリンタをキャリブレートします([リボンセンサーと用紙センサーのキャリブレート](#) (119ページ) を参照)。

リボン センサー プロフィール

センサー プロフィールの [RIBBON] (リボン) (1) というラベルの付いたラインは、リボンセンサーの読み取り値を示します。リボンセンサーのしきい値設定は、[OUT] (ありません) (2) で示されます。リボンの読み取り値がしきい値未満の場合、プリンタはリボンがセットされたことを認識しません。

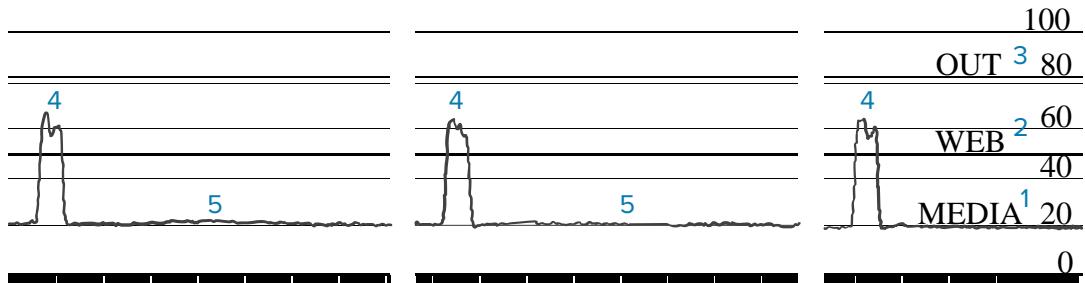
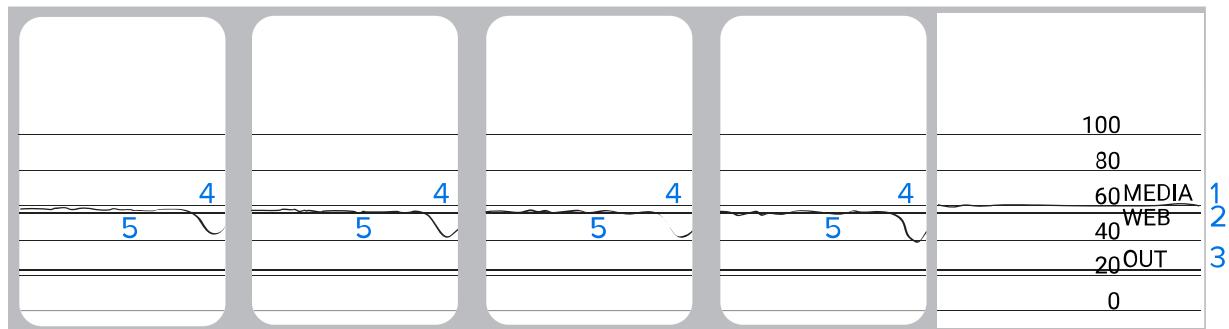
図8 センサー プロフィール (リボンのセクション)



用紙センサー プロフィール

センサー プロフィールの MEDIA (用紙) (1) という語の付いたラインは、用紙センサーの読み取り値を示します。用紙センサーのしきい値設定は、WEB (ウェブ) (2) で示されます。用紙切れのしきい値設定は、OUT (用紙切れ) (3) で示されます。上向きまたは下向きの突起 (4) はラベル (ウェブ、切れ込みまたは黒マーク) 間の分割を示し、突起間の線 (5) はラベルのある位置を示します。

センサー ロフィールの印刷サンプルを用紙の長さと比較すると、印刷サンプルの突起間の距離と用紙のギャップ間の距離が同じ長さになるはずです。距離が同じでない場合は、プリンタによるギャップ位置の判定に問題があります。

図 9 センサー プロフィール (ギヤップ/切れ込み用紙)**図 10** 用紙センサー プロフィール (黒マーク用紙)

通信診断モードの使用

通信診断テストは、プリンタとホストコンピュータの相互接続を確認するためのトラブルシューティングツールです。プリンタが診断モードである場合、ホストコンピュータから送信されたデータがすべてASCII文字として印刷されます。ASCIIテキストの下には、16進値が表示されます。プリンタは、CR(改行)などの制御コードを含め、受信したすべての文字を印刷します。[図 11 通信診断モードサンプルラベル](#)(148ページ)は、このテストによる一般的なテストラベルを示したものです。



注: テストラベルは上下が逆になって印刷されます。

図 11 通信診断モードサンプルラベル

```

^FS^FO394,25^AA
5E 46 53 5E 46 4F 33 39 34 2C 32 35 5E 41 41
N,18,10^FD( 0000
4E 2C 31 38 2C 31 30 5E 46 44 28 30 30 30 30
)999-9999^FS
29 39 39 39 2D 39 39 39 39 5E 46 53 0D 0A
^FO0,50^AAN,18,
5E 46 4F 30 2C 35 30 5E 41 41 4E 2C 31 38 2C
10^FD CENTER STA
31 30 5E 46 44 43 45 4E 54 45 52 20 53 54 41

```

1. ラベル幅を、テストに使用する実際の用紙幅以下に設定します。[メニュー] > [印刷] > [印刷品質] > [ラベル幅] の順にタップして、ラベル幅の設定にアクセスします。
2. [メニュー] > [システム] > [プログラム言語] の順にタップして、[診断モード] オプションを [有効] に設定します。
プリンタは診断モードになり、ホストコンピュータから受信したすべてのデータがテストラベルに印刷されます。
3. テストラベルにエラー コードがあるかどうか確認します。エラーがある場合は、通信パラメータが正しいことを確認します。
テストラベルに印字されるエラーは、以下のとおりです。
 - FE はフレーミング エラーを示します。
 - OE はオーバーラン エラーを示します。
 - PE はparity エラーを示します。
 - NE はノイズを示します。
4. セルフ テストを終了して通常の操作に戻るには、プリンタの電源を入れ直すか、[診断モード] オプションを [無効] に設定します。

デフォルトの読み込みまたは最終保存値の読み込み

なにかが正常に機能しない場合に、プリンタをデフォルト値または最終保存値に復元すると正常に戻る場合があります。

[メニュー] > [システム] > [設定] > [デフォルトに戻す] の順にタッチして使用可能なオプションを確認します。



プリンタの復元	ネットワーク設定以外のすべてのプリンタ設定を工場出荷時のデフォルト値に戻します。デフォルト設定を読み込む場合は、手動で変更したすべての設定を再読み込みする必要があるので、注意してください。
ネットワークの復元	プリンタの有線またはワイヤレスのプリントサーバーを再初期化します。ワイヤレスプリントサーバーの場合、プリンタとワイヤレスネットワークとの再接続も行われます。
最終保存の復元	最後に確定保存された設定が読み込まれます。

これらの値を復元するためのその他の方法については、[システム] > [設定] > [デフォルトに戻す] を参照してください。

アラートとエラー状態

ホーム画面の背景色が変わるのは、プリンタをレディ状態に戻すための操作を行う必要があります。

- ・ 背景色が赤色と黄色の場合には通常、問題が解決するまで印刷は停止します。
- ・ 背景色が緑色の場合に表示される情報メッセージは通常、ユーザーが介入しなくとも表示されなくなり、印刷は正常に続行されます。
- ・ 最後に印刷したラベルを印刷するには、[Reprint] (再印刷) をタッチします。ボタンが表示されない場合、再印刷できるラベル形式はありません



ホーム画面上部のバーにあるアイコンをタッチすると、エラー、警告、または情報メッセージが表示されます。奨励される対処については、[アラートとエラー メッセージ](#) (151ページ) を参照してください。



アラートとエラー メッセージ

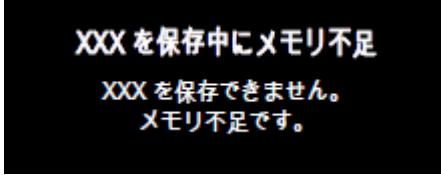
ディスプレイ	考えられる原因	奨励される解決策
ヘッド・オープン 印字ヘッドが開いています。 印字ヘッドを閉じます。	印字ヘッドが完全に閉じていません。	印字ヘッドを完全に閉じます。
	印字ヘッド オープン センサーが正常に動作していません。	センサーの交換については、サービス技術者にお問い合わせください。
用紙切れ 用紙切れです。 追加の用紙を装着します。	用紙がセットされていないか、正しくセットされていません。	用紙を正しくセットします。用紙の装着 (31ページ) を参照してください。
	用紙センサーの調整不良です。	用紙センサーの位置を確認します。
	プリンタは単票用紙を使用するよう設定されていますが、連続用紙がセットされています。	<ol style="list-style-type: none"> 適切な用紙タイプをセットするか、プリンタを現在の用紙タイプにリセットします。 プリンタをキャリブレートします。リボンセンサーと用紙センサーのキャリブレーション (119ページ) を参照してください。
用紙詰まり 用紙がジャムしました。 用紙を確認します。	用紙経路内の用紙に問題があります。	<ol style="list-style-type: none"> 用紙が正しく装着されているか、用紙経路内のコンポーネントに詰まっていないかを確認します。 用紙がプラテンローラーに巻き付いていないかを確認します。ラベルがあれば慎重に取り除きます。必要に応じて、プラテンローラーをクリーニングして付着した埃を除去します (印字ヘッドとプラテンローラーのクリーニング (130ページ) を参照)。

ディスプレイ	考えられる原因	奨励される解決策
<p>リボン切れ</p> <p>リボン切れです。 リボンを交換します。</p>	<p>熱転写モードで、次の状態になっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> リボンがセットされていません。 リボンが正しくセットされていません。 リボンセンサーがリボンを検出していません。 用紙がリボンセンサーをブロックしています。 	<ol style="list-style-type: none"> リボンを正しくセットします。リボンのセット（63ページ）を参照してください。 プリンタをキャリブレートします。リボンセンサーと用紙センサーのキャリブレート（119ページ）を参照してください。
	<p>熱転写モードで、リボンが正しくセットされているにもかかわらず、プリンタがリボンを認識しません。</p>	<p>プリンタをキャリブレートします。リボンセンサーと用紙センサーのキャリブレート（119ページ）を参照するか、[メニュー] > [システム] > [設定] > [デフォルトに戻す] > [プリンタの復元] の順にタッチしてプリンタのデフォルトを読み込みます。</p>
	<p>感熱用紙を使用していますが、プリンタが誤って熱転写モード用に設定されているために、リボンのセットを待機しています。</p>	<p>プリンタをダイレクトサーマルモードに設定します。[印刷] > [印刷品質] > [印刷タイプ] を参照してください。</p>
<p>リボンあり</p> <p>ダイレクト・サーマル・モードで リボンを検出しました リボンを取り外します。</p>	<p>リボンが装着されていますが、プリンタはダイレクトサーマルモードに設定されています。</p>	<p>感熱用紙では、リボンは必要ありません。感熱用紙を使用する場合は、リボンを取り外してください。このエラーメッセージによる印刷への影響はありません。</p>
		<p>プリンタにリボンがない状態でメッセージが消えない場合は、プリンタをキャリブレートします。リボンセンサーと用紙センサーのキャリブレート（119ページ）を参照してください。</p>
		<p>熱転写用紙を使用する場合はリボンが必要です。プリンタを熱転写モードに設定してください。ラベルコレクション方式の決定（28ページ）を参照してください。</p>

ディスプレイ	考えられる原因	奨励される解決策
<p>ヘッド識別に失敗しました 印字ヘッドが Zebra 認定製品ではありません 印字ヘッドの取り替え</p>	印字ヘッドが純正 Zebra 印字ヘッド以外のヘッドに交換されました。	Zebra 純正印字ヘッドを取り付けます。
<p>ヘッド・エレメント切れ 印字ヘッド・エレメントが切れました。 印字ヘッドを交換する必要があります。</p>		プリンタの電源をオフにしてから入れ直し、エラーが再発するかどうかを確認します。エラーが再発する場合は、印字ヘッドを交換します。
<p>印字ヘッドの交換 印字ヘッドを交換してください。</p>	印字ヘッドエレメントが動作しなくなりました。	失敗したエレメントの位置が印刷に影響する場合は、印字ヘッドを交換してください。
<p>ヘッド・メンテナンスが必要です 印字ヘッドをクリーニングします。</p>	印字ヘッドに寿命が来ているため、交換する必要があります。	印字ヘッドを交換します。
<p>ヘッド過剰高温 印字ヘッドの温度が高すぎます。 印刷はすべて中止されます。</p>	 注意：表面が熱くなっています： 印字ヘッドは高温になっているため、重度の火傷を引き起こす危険があります。印字ヘッドが冷めるまで時間を置いてください。	印字ヘッドとプラテンローラーのクリーニング (130ページ) のクリーニングの手順に従ってください。
	印字ヘッドの温度が高すぎます。	プリンタが冷めるまで時間を置いてください。印字ヘッドエレメントの温度が許容範囲の動作温度まで低下すると、印刷が自動的に再開されます。 このエラーが続く場合は、プリンタの設置場所を変更することや印字速度を遅めにすることを考慮してください。

ディスプレイ	考えられる原因	奨励される解決策
<p>プリンタに、これらのメッセージのいずれか1つ、または交互に示されます。</p> <div style="background-color: black; color: white; padding: 10px; text-align: center;"> ヘッド過剰低温 印字ヘッドの温度が低すぎます。 印刷はすべて中止されます。 </div> <div style="background-color: black; color: white; padding: 10px; text-align: center;"> ヘッド・サーミスタの故障 障害のあるサーミスタが検出されました。 印字ヘッドを交換してください。 </div>	 注意: 表面が熱くなっています: 印字ヘッドのデータケーブルまたは電源ケーブルが正しく接続されていないと、これらのエラー メッセージが表示されることがあります。印字ヘッドは高温になっているため、重度の火傷を引き起こす危険があります。印字ヘッドが冷めるまで時間をおいてください。	
	印字ヘッドのデータケーブルが正しく接続されていません。	印字ヘッドを適切に接続します。
	印字ヘッドのサーミスタにエラーがあります。	印字ヘッドを交換します。
<div style="background-color: black; color: white; padding: 10px; text-align: center;"> ヘッド過剰低温 印字ヘッドの温度が低すぎます。 印刷はすべて中止されます。 </div>	 注意: 表面が熱くなっています: 印字ヘッドのデータケーブルまたは電源ケーブルが正しく接続されていないと、このエラー メッセージが表示されることがあります。印字ヘッドは高温になっているため、重度の火傷を引き起こす危険があります。印字ヘッドが冷めるまで時間をおいてください。	
	印字ヘッドの温度が、動作温度の下限に近づいています。	印字ヘッドが適切な動作温度に達するまで印刷を続行します。エラーが解消しない場合は、動作環境の温度が低すぎて適切な印刷ができないことが考えられます。プリンタを暖かい場所に移動してください。
	印字ヘッドのデータケーブルが正しく接続されていません。	印字ヘッドを適切に接続します。
<div style="background-color: black; color: white; padding: 10px; text-align: center;"> カッター・エラー カッター・エラーが発生しました。 プリンタを再起動します。 </div>	 注意: カッターの刃は鋭利です。指で刃に触れたり、こすったりしないでください。	
	カッターの刃が用紙経路に入っています。	プリンタの電源をオフにして、プリンタの電源コードを抜きます。カッター モジュールにゴミがないかどうか点検し、必要に応じて カッター モジュールのクリーニングおよび潤滑油の塗布 (133ページ) の指示に従ってクリーニングします。

診断とトラブルシューティング

ディスプレイ	考えられる原因	奨励される解決策
	メモリが不足しているため、指定された機能を実行できません。	ラベル フォーマットまたはプリンタのパラメータを調整して、プリンタのメモリの一部を解放します。メモリを解放するには、印字幅をデフォルト設定のままにせず、実際のラベルの幅に調整します。
		取り付けられていないデバイスや利用できないデバイスにデータが送られないようになります。
		問題が解決しない場合は、サービス技術者にお問い合わせください。

インジケータ ライト

プリンタのディスプレイの上にあるインジケータ ランプもプリンタの状態を示します。

表5 インジケータ ライトが示すプリンタのステータス

インジケータ ライト	ライトの意味
 STATUS (ステータス)  PAUSE (一時停止)  DATA (データ)  SUPPLIES (消耗品)  NETWORK (ネットワーク)	STATUS (ステータス) ランプが緑色点灯 (他のランプはプリンタの電源投入時に2秒間黄色点灯)。 プリンタが使用可能です。
 STATUS (ステータス)  PAUSE (一時停止)  DATA (データ)  SUPPLIES (消耗品)  NETWORK (ネットワーク)	PAUSE (一時停止) ランプが黄色点灯。 プリンタは一時停止しています。
 STATUS (ステータス)  PAUSE (一時停止)  DATA (データ)  SUPPLIES (消耗品)  NETWORK (ネットワーク)	STATUS (ステータス) ランプが赤色点灯。 SUPPLIES (消耗品) ランプが赤色点灯。 用紙がなくなりました。プリンタに処置を講ずる必要があり、ユーザーが介入しないと続行できません。
 STATUS (ステータス)  PAUSE (一時停止)  DATA (データ)  SUPPLIES (消耗品)  NETWORK (ネットワーク)	STATUS (ステータス) ランプが赤色点灯。 SUPPLIES (消耗品) ランプが赤色で点滅。 リボンがなくなりました。プリンタに処置を講ずる必要があり、ユーザーが介入しないと続行できません。
 STATUS (ステータス)  PAUSE (一時停止)  DATA (データ)  SUPPLIES (消耗品)  NETWORK (ネットワーク)	STATUS (ステータス) ランプが黄色点灯。 SUPPLIES (消耗品) ランプが黄色で点滅。 プリンタがダイレクトサーマルモードなのでリボンは不要ですが、プリンタにリボンがセットされています。
 STATUS (ステータス)  PAUSE (一時停止)  DATA (データ)  SUPPLIES (消耗品)  NETWORK (ネットワーク)	STATUS (ステータス) ランプが赤色点灯。 PAUSE (一時停止) ランプが黄色点灯。 印字ヘッドが開いています。プリンタに処置を講ずる必要があり、ユーザーが介入しないと続行できません。
 STATUS (ステータス)  PAUSE (一時停止)  DATA (データ)  SUPPLIES (消耗品)  NETWORK (ネットワーク)	STATUS (ステータス) ランプが黄色点灯。 印字ヘッドの温度が高すぎます。  注意—熱い表面： 印字ヘッドが熱くなっている可能性があり、重篤な火傷を引き起こす危険があります。印字ヘッドが冷めるまで時間をおいてください。

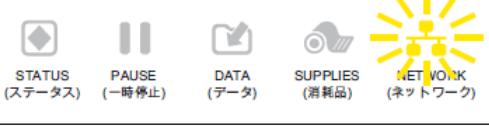
診断とトラブルシューティング

表5 インジケータ ライトが示すプリンタのステータス (Continued)

インジケータ ライト	ライトの意味
 STATUS (ステータス)  PAUSE (一時停止)  DATA (データ)  SUPPLIES (消耗品)  NETWORK (ネットワーク)	STATUS (ステータス) ランプが黄色で点滅。 次のいずれかを示しています。 <ul style="list-style-type: none"> 印字ヘッドの温度が低すぎます。 電源の温度が高すぎます。 メイン ロジック ボード (MLB) の温度が高すぎます。
 STATUS (ステータス)  PAUSE (一時停止)  DATA (データ)  SUPPLIES (消耗品)  NETWORK (ネットワーク)	STATUS (ステータス) ランプが赤色点灯。 PAUSE (一時停止) ランプが赤色点灯。 DATA (データ) ランプが赤色点灯。 印字ヘッドが純正 Zebra 印字ヘッド以外のヘッドに交換されました。Zebra 純正印字ヘッドを取り付けて続行してください。
 STATUS (ステータス)  PAUSE (一時停止)  DATA (データ)  SUPPLIES (消耗品)  NETWORK (ネットワーク)	STATUS (ステータス) ランプが赤色で点滅。 プリンタが印字ヘッドの dpi 設定を読み取れません。
ZebraNet 有線イーサネット オプションのあるプリンタ	
 STATUS (ステータス)  PAUSE (一時停止)  DATA (データ)  SUPPLIES (消耗品)  NETWORK (ネットワーク)	NETWORK (ネットワーク) ランプが消灯。 使用できるイーサネット リンクはありません。
 STATUS (ステータス)  PAUSE (一時停止)  DATA (データ)  SUPPLIES (消耗品)  NETWORK (ネットワーク)	NETWORK (ネットワーク) ランプが緑色点灯。 100Base-T リンクが見つかりました。
 STATUS (ステータス)  PAUSE (一時停止)  DATA (データ)  SUPPLIES (消耗品)  NETWORK (ネットワーク)	NETWORK (ネットワーク) ランプが黄色点灯。 10Base-T リンクが見つかりました。
 STATUS (ステータス)  PAUSE (一時停止)  DATA (データ)  SUPPLIES (消耗品)  NETWORK (ネットワーク)	NETWORK (ネットワーク) ランプが赤色点灯。 イーサネットにエラーが発生しています。プリンタがネットワークに接続されていません。
ZebraNet 無線オプションのあるプリンタ	

診断とトラブルシューティング

表5 インジケータ ライトが示すプリンタのステータス (Continued)

インジケータ ライト	ライトの意味
  	<p>NETWORK (ネットワーク) ランプが消灯。</p> <p>パワーアップ時に無線機が見つかりました。プリンタはそのネットワークとの接続を試行します。</p> <p>プリンタとネットワークの関連付け時にランプが赤く点滅します。</p> <p>次に、プリンタとネットワークの認証時にランプが黄色く点滅します。</p>
	<p>NETWORK (ネットワーク) ランプが緑色点灯。</p> <p>無線がネットワークに接続して認証されています。また、WLAN 信号強度は強です。</p>
	<p>NETWORK (ネットワーク) ランプが緑色で点滅。</p> <p>無線がネットワークに接続して認証されています。ただし、WLAN 信号強度は弱です。</p>
	<p>NETWORK (ネットワーク) ランプが赤色点灯。</p> <p>WLAN にエラーが発生しています。プリンタがネットワークに接続されていません。</p>

トラブルシューティング

この情報を使用して、プリンタの問題をトラブルシューティングします。

印刷または印刷品質の問題

問題	考えられる原因	奨励される解決策	
バーコードをスキャンできない	<p>ラベルに印刷されたバーコードをスキャンできません。</p> <p>プリンタが不適切な濃度レベルに設定されているか印字ヘッド圧力がオフのため、バーコードが仕様を満たしていないません。</p>	<p>1. 印刷ウィザードの実行とテスト ラベルの印刷 (67ページ) の手順を実行します。</p> <p>2. 必要に応じて、印刷濃度または印刷速度設定を手動で調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 印字濃度は、良好な印字品質が得られる最低値に設定してください。濃度の設定が高すぎると、ラベルの印字イメージが不鮮明になったり、バーコードが正しく読み取れなくなったり、リボンが焼き付いてしまったり、印字ヘッドの磨耗を早めてしまう場合があります。 通常、印字速度を遅くすると、印字品質は向上します。 <p>ホーム画面から [メニュー] > [印刷] > [印刷品質] の順にタッチして、濃度と印刷速度の設定にアクセスします。</p> <p>3. 問題が解決しない場合は、印字ヘッド圧力とトグル位置を確認します。参照: 印字ヘッド圧力の調整 (121ページ)</p>	
バーコードの周囲に十分な空白がありません。	バーコードの周囲に十分な空白がありません。	ラベル上のバーコードとその他の印刷領域の間、およびバーコードとラベルの端の間には、最低 3.2mm (1/8 インチ) の空白を残しておきます。	
画像サイズが正しくない	ラベルの印刷が小さすぎる (または大きすぎる)	ご使用の接続について、プリンタ ドライバまたはソフトウェアの通信設定を確認します (必要な場合)。 プリンタをデバイスに接続 (14ページ) の手順に従って、プリンタ ドライバを再インストールすることをお勧めします。	
印刷品質が不良	ラベルに染みが付いている	用紙またはリボンが高速処理に適していません。	高速処理用に推奨されているサプライ製品と交換します。 詳細については、 zebra.com/supplies を参照してください。

診断とトラブルシューティング

問題	考えられる原因	奨励される解決策
厚いラベルの印刷結果が不良	印字ヘッド圧力が不適切です。	印字ヘッドの圧力を良好な印字品質に必要な最低値に設定します。参照: 印字ヘッド圧力の調整 (121ページ)
印刷が一貫して薄すぎる、または濃すぎる		
ラベル全体の印刷が薄すぎる、または濃すぎる	用紙またはリボンが高速処理に適していません。	高速処理用に推奨されているサプライ製品と交換します。詳細については、 zebra.com/supplies を参照してください。
	プリンタが不適切な濃度レベルに設定されています。	<p>最適な印字品質を得るために、アプリケーションに設定できる最低の濃度に設定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 印刷ウィザードの実行とテスト ラベルの印刷 (67ページ) の手順を実行します。 2. 必要に応じて、印刷濃度または印刷速度設定を手動で調整します。 <ul style="list-style-type: none"> 印字濃度は、良好な印字品質が得られる最低値に設定してください。濃度の設定が高すぎると、ラベルの印字イメージが不鮮明になったり、バーコードが正しく読み取れなくなったり、リボンが焼き付いてしまったり、印字ヘッドの磨耗を早めてしまう場合があります。 通常、印字速度を遅くすると、印字品質は向上します。 <p>ホーム画面から [メニュー] > [印刷] > [印刷品質] の順にタッチして、濃度と印刷速度の設定にアクセスします。</p>
	使用している用紙とリボンの組み合わせがアプリケーションに適していません。	<p>互換性のある組み合わせを見つけるため、別のタイプの用紙またはリボンに切り替えます。</p> <p>必要に応じて、Zebra 公認の代理店または販売店にお問い合わせください。</p>
	印字ヘッド圧力が不適切です。	問題が解決しない場合は、印字ヘッド圧力とトグル位置を確認します。参照: 印字ヘッド圧力の調整 (121ページ)
ラベルの一方の側の印刷が薄すぎるか、濃すぎる	印字ヘッド圧力が均一です。	印字ヘッド圧力を良好な印刷品質に必要な値に調整します。参照: 印字ヘッド圧力の調整 (121ページ)

診断とトラブルシューティング

問題	考えられる原因	奨励される解決策
一般的な印字品質の問題	プリンタが不適切な印刷速度または濃度レベルに設定されています。プリンタ設定は、使用しているドライバまたはソフトウェアによって影響を受けることがあります。ご注意ください。	<p>最適な印字品質を得るため、アプリケーションに設定できる最低の濃度に設定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 印刷ウィザードの実行とテスト ラベルの印刷 (67ページ) の手順を実行します。 必要に応じて、印刷濃度または印刷速度設定を手動で調整します。 <ul style="list-style-type: none"> 印字濃度は、良好な印字品質が得られる最低値に設定してください。濃度の設定が高すぎると、ラベルの印字イメージが不鮮明になったり、バーコードが正しく読み取れなくなったり、リボンが焼き付いてしまったり、印字ヘッドの磨耗を早めてしまう場合があります。 通常、印字速度を遅くすると、印字品質は向上します。 <p>ホーム画面から [メニュー] > [印刷] > [印刷品質] の順にタッチして、濃度と印刷速度の設定にアクセスします。</p>
	使用しているラベルとリボンの組み合わせがアプリケーションに適していません。	<p>互換性のある組み合わせを見つけるため、別のタイプの用紙またはリボンに切り替えます。</p> <p>必要に応じて、Zebra 公認の代理店または販売店にお問い合わせください。</p>
	印字ヘッドが汚れています。	印字ヘッドとプラテンローラーをクリーニングします。 印字ヘッドとプラテンローラーのクリーニング (130ページ) を参照してください。
	印字ヘッドの圧力が正しくないか不均一です。	問題が解決しない場合は、印字ヘッド圧力とトグル位置を確認します。参照: 印字ヘッド圧力の調整 (121ページ)
	ラベルのフォーマットがスケーラブルではないフォントをスケーリングしています。	フォントの問題についてはラベルのフォーマットを確認してください。
空白のラベルにグレーの斜線がある		
空白のラベルに細かいグレーの斜線がある	リボンにシワがあります。	その他の問題 (170ページ) で、リボンにシワがある場合の原因と解決策を参照してください。
印刷抜け		
複数のラベルに長い印刷ヌケの跡がある	印刷エレメントが損傷しています。	サポートが必要な場合は、サービス技術者にお問い合わせください。

診断とトラブルシューティング

問題	考えられる原因	奨励される解決策
	リボンにシワがあります。	リボンの問題（163ページ）で、リボンにシワがある場合の原因と解決策を参照してください。
レジストレーションのロス		
ラベルでの印刷レジストレーションのロス フォーム上部のレジストレーション位置が過剰に縦方向にずれる	プラテンローラーが汚れています。	印字ヘッドとプラテンローラーをクリーニングします。印字ヘッドとプラテンローラーのクリーニング（130ページ）を参照してください。
	用紙ガイドの位置が正しくありません。	用紙ガイドが正しくセットされていることを確認します。用紙の装着（31ページ）を参照してください。
	用紙タイプの設定が不適切です。	正しい用紙タイプ（ギャップ/切れ込み、連続またはマーク）に合わせてプリンタを設定します。
	用紙が正しくセットされていません。	用紙を正しくセットします。用紙の装着（31ページ）を参照してください。
ラベルが位置ずれ/スキップされる	プリンタがキャリブレートされていません。	プリンタをキャリブレートします。リボンセンサーと用紙センサーのキャリブレート（119ページ）を参照してください。
	ラベルフォーマットが不適切です。	ラベルフォーマットを確認し、必要に応じて訂正します。
3つのラベルのうち1つが位置ずれ、または誤印刷される	プラテンローラーが汚れています。	印字ヘッドとプラテンローラーをクリーニングします。印字ヘッドとプラテンローラーのクリーニング（130ページ）を参照してください。
	用紙が仕様に適合していません。	仕様に合った用紙を使用します。用紙仕様（194ページ）を参照してください。
フォーム上部の位置が縦方向にずれる	プリンタのキャリレーションがずれています。	プリンタをキャリブレートします。リボンセンサーと用紙センサーのキャリブレート（119ページ）を参照してください。
	プラテンローラーが汚れています。	印字ヘッドとプラテンローラーをクリーニングします。印字ヘッドとプラテンローラーのクリーニング（130ページ）を参照してください。
ラベルイメージの配置での水平方向の移動。	前のラベルが誤って切り取られました。	ラベルを切り取る際に、切り取りバーを使ってラベル台紙から簡単に切り取れるように下方向で左方向に引き下げます。上下や右に引くと、用紙が横方向に移動することがあります。

問題	考えられる原因	奨励される解決策
イメージまたはラベルが縦方向にずれる	プリンタでは単票ラベルが使用されていますが、設定は連続モードになっています。	プリンタを正しい用紙のタイプ(ギャップ/切れ込み、連続、またはマーク)に設定し、必要に応じて、プリンタをキャリブレートします。リボンセンサーと用紙センサーのキャリブレート(119ページ)を参照してください。
	用紙センサーが正しくキャリブレートされていません。	プリンタをキャリブレートします。リボンセンサーと用紙センサーのキャリブレート(119ページ)を参照してください。
	プラテンローラーが汚れています。	印字ヘッドとプラテンローラーをクリーニングします。印字ヘッドとプラテンローラーのクリーニング(130ページ)を参照してください。
	印字ヘッドの圧力設定(トグル)が不適切です。	印字ヘッドの圧力を調整し、正しく動作することを確認します。印字ヘッド圧力の調整(121ページ)を参照してください。
	用紙またはリボンが正しくセットされていません。	用紙とリボンが正しくセットされていることを確認します。リボンのセット(63ページ)と用紙の装着(31ページ)を参照してください。
	用紙に互換性がありません。	プリンタ仕様に適合する用紙を使用してください。ラベル間の切れ目または切れ込みが2~4mmであり、等間隔であることを確認します。用紙仕様(194ページ)を参照してください。

リボンの問題

一般的手順のビデオについては、zebra.com/zt400をご覧ください。



問題	考えられる原因	奨励される解決策
リボンが破損している		

診断とトラブルシューティング

問題	考えられる原因	奨励される解決策
リボンが損傷または溶解している	濃度の設定が高すぎます。	<p>1. 印刷ウィザードの実行とテスト ラベルの印刷 (67ページ) の手順を実行します。</p> <p>2. 必要に応じて、印刷濃度または印刷速度設定を手動で調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 印字濃度は、良好な印字品質が得られる最低値に設定してください。濃度の設定が高すぎると、ラベルの印字イメージが不鮮明になったり、バーコードが正しく読み取れなくなったり、リボンが焼き付いてしまったり、印字ヘッドの磨耗を早めてしまう場合があります。 通常、印字速度を遅くすると、印字品質は向上します。 <p>ホーム画面から [メニュー] > [印刷] > [印刷品質] の順にタッチして、濃度と印刷速度の設定にアクセスします。</p> <p>3. 印字ヘッドを完全にクリーニングします。印字ヘッドとプラテンローラーのクリーニング (130ページ) を参照してください。</p>
	リボンのコーティング面が適切ではありません。このプリンタでは使用できません。	適切な面がコーティングされているリボンと交換してください。詳細については、 使用するリボンのタイプの決定 (62ページ) を参照してください。
リボンにシワがある		
リボンにシワがある	リボンが正しくセットされていません。	リボンを正しくセットします。 リボンのセット (63ページ) を参照してください。

診断とトラブルシューティング

問題	考えられる原因	奨励される解決策
	焼き付け温度が不適切です。	<p>1. 印刷ウィザードの実行とテスト ラベルの印刷 (67ページ) の手順を実行します。</p> <p>2. 必要に応じて、印刷濃度または印刷速度設定を手動で調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 印字濃度は、良好な印字品質が得られる最低値に設定してください。濃度の設定が高すぎると、ラベルの印字イメージが不鮮明になったり、バーコードが正しく読み取れなくなったり、リボンが焼き付いてしまったり、印字ヘッドの磨耗を早めてしまう場合があります。 通常、印字速度を遅くすると、印字品質は向上します。 <p>ホーム画面から [メニュー] > [印刷] > [印刷品質] の順にタッチして、濃度と印刷速度の設定にアクセスします。</p>
	印字ヘッドの圧力が正しくないか不均一です。	印字ヘッドの圧力を良好な印字品質に必要な最低値に設定します。 印字ヘッド圧力の調整 (121ページ) を参照してください。
	用紙が正しくフィードされず、左右に「ずれて」います。	用紙ガイドを用紙の端に軽く触れるまで調整します。それでも問題が解決しない場合は、印字ヘッドの圧力を確認します。 印字ヘッド圧力の調整 (121ページ) を参照してください。
	印字ヘッドまたはプラテンローラーが正しく装着されていない可能性があります。	可能であれば、正しく装着されていることを確認します。必要な場合は、サービス技師にお問い合わせください。
リボンの検出の問題		
リボンがなくなってもプリンタが検知しない	プリンタのキャリブレートがリボンなしで、またはリボンが正しくセットされずに行われたことが考えられます。	<p>1. リボンセンサーに検出されるようにリボンが正しくセットされていることを確認します。印字ヘッドの下で、リボンがプリンタのファイアウォールの近くまで戻っていることを確認してください。リボンのセット (63ページ) を参照してください。</p> <p>2. プリンタをキャリブレートします。リボンセンサーと用紙センサーのキャリブレーション (119ページ) を参照してください。</p>
熱転写モードで、リボンが正しくセットされているにもかかわらず、プリンタがリボンを認識しない		

問題	考えられる原因	奨励される解決策
リボンが正しくセットされているにもかかわらず、プリンタがリボン切れを表示する	プリンタが、使用しているラベルおよびリボンに合わせてキャリブレートされていません。	プリンタをキャリブレートします。 リボンセンサーと用紙センサーのキャリブレート (119ページ) を参照してください。

RFID の問題

問題	考えられる原因	奨励される解決策
プリンタが RFID インレイで停止する		
プリンタが RFID インレイで停止します。	プリンタが、ラベル間のギャップまでではなく、RFID インレイまでしかラベル長をキャリブレートしませんでした。	<p>1. [メニュー] > [システム] > [設定] とタップしてから、[電源投入時の動作] および [印字ヘッドを閉めた時の動作] で [フィード] を選択します。</p> <p>2. プリンタを手動でキャリブレートします。手動によるセンサー キャリブレートの実行 (120ページ) を参照してください。</p>
無効なラベル		
プリンタはすべてのラベルを無効にします。	<p>プリンタが、使用している用紙に合わせてキャリブレートされていません。</p> <p>ご使用のプリンタでサポートされていないタグ タイプの RFID ラベルを使用しています。</p>	<p>プリンタを手動でキャリブレートします。手動によるセンサー キャリブレートの実行 (120ページ) を参照してください。</p> <p>これらのプリンタでは、Gen 2 RFID ラベルのみがサポートされます。詳細については、『RFID プログラミング ガイド 3』を参照するか、または公認の Zebra RFID 再販業者に問い合わせてください。</p>
	プリンタが RFID リーダーと通信できません。	<p>1. プリンタをオフ (O) にします。</p> <p>2. 10 秒待ちます。</p> <p>3. プリンタをオン (I) にします。</p> <p>4. それでも問題が解決しない場合は、RFID リーダーが不良か、RFID リーダーとプリンタの接続が不完全である可能性があります。技術サポートまたは資格のある Zebra RFID のサービス技師にお問い合わせください。</p>

診断とトラブルシューティング

問題	考えられる原因	奨励される解決策
	別の RF ソースからの周波数変調 (FM) 干渉があります。	<p>必要に応じて、以下の手順の 1 つ以上を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プリンタを、固定されている RFID リーダーまたはその他の RF ソースから離します。 ・ RFID プログラミングの間中、用紙アクセス用ドアをしっかりと閉めておきます。
	ラベル デザイナー ソフトウェアの設定が正しくありません。	<p>このソフトウェア設定は、プリンタの設定を無効化します。ソフトウェアとプリンタの設定が一致していることを確認してください。</p>
	使用しているプログラミング位置が正しくありません (特に、使用しているタグがプリンタの仕様に適合している場合)。	<p>必要に応じて、以下の手順の 1 つ以上を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ RFID プログラミング位置を確認するか、ラベル デザイナー ソフトウェアのプログラム位置の設定を確認します。位置が正しくない場合は、設定を変更します。 ・ RFID プログラミング位置をデフォルト値に戻します。 <p>詳細については、『RFID プログラミングガイド 3』を参照してください。トランスポンダの配置の詳細については、zebra.com/transponders を参照してください。</p>
	送信している RFID ZPL または SGD コマンドが正しくありません。	<p>ラベル フォーマットを確認してください。詳細については、『RFID プログラミングガイド 3』を参照してください。</p>
収率が低く、ロールごとに無効になる RFID タグが多くすぎます。	RFID ラベルがプリンタの仕様を満たしていません。トランスポンダが、一貫したプログラミングを可能にする領域内にありません。	<p>ラベルが、使用しているプリンタのトランスポンダ配置仕様に準拠していることを確認してください。トランスポンダ配置の情報については、zebra.com/transponders を参照してください。</p> <p>詳細については、『RFID プログラミングガイド 3』を参照するか、または公認の Zebra RFID 再販業者に問い合わせてください。</p>
	RFID の読み取り/書き込みのパワーレベルが不適切です。	<p>RFID の読み取り/書き込みのパワーレベルを変更します。手順については、『RFID プログラミングガイド 3』を参照してください。</p>
	別の RF ソースからの周波数変調 (FM) 干渉があります。	<p>必要に応じて、以下の手順の 1 つ以上を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プリンタを、固定されている RFID リーダーから離します。 ・ RFID プログラミングの間中、用紙アクセス用ドアをしっかりと閉めておきます。

診断とトラブルシューティング

問題	考えられる原因	奨励される解決策
	プリンタが、プリンタ ファームウェアとリーダー ファームウェアの古いバージョンを使用しています。	更新されたファームウェアについて は、 zebra.com/firmware をご覧ください。
RFID のその他の問題		
RFID パラメータがセットアップ モードで表示されず、RFID 情報がプリンタ設定ラベルに表示されません。 プリンタは、正しくプログラミングされていない RFID ラベルでも無効にしません。	プリンタの電源をオフ (O) にしてから、あまりに速くオン (I) にしたので、RFID リーダーが正しく初期化されませんでした。	プリンタの電源をオフにした後、最低 10 秒待機してから、電源をオンにしてください。 1. プリンタをオフ (O) にします。 2. 10 秒待ちます。 3. プリンタをオン (I) にします。 4. セットアップ モードの RFID パラメータをチェックするか、新しい設定ラベルの RFID 情報をチェックします。
	不正なバージョンのプリンタ ファームウェアがプリンタにロードされました。	1. 正しいバージョンのファームウェアがプリンタにロードされていることを確認します。詳細については、『RFID プログラミング ガイド 3』を参照してください。 2. 必要に応じて、正しいプリンタ ファームウェアをダウンロードします。 3. それでも、問題が解決しない場合は、技術サポートに連絡してください。
	プリンタが RFID サブシステムと通信できません。	1. プリンタをオフ (O) にします。 2. 10 秒待ちます。 3. プリンタをオン (I) にします。 4. それでも問題が解決しない場合は、RFID リーダーが不良か、RFID リーダーとプリンタの接続が不完全である可能性があります。技術サポートまたは資格のあるサービス技師に連絡してください。
プリンタまたはリーダーファームウェアのダウンロードを試行すると、DATA (データ) ランプが点滅を続けます。	ダウンロードが失敗しました。最良の結果を得るには、各ファームウェアをダウンロードする前に、プリンタの電源をオン/オフします。	1. プリンタをオフ (O) にします。 2. 10 秒待ちます。 3. プリンタをオン (I) にします。 4. ファームウェアのダウンロードを再試行します。 5. それでも、問題が解決しない場合は、技術サポートに連絡してください。

通信の問題

問題	考えられる原因	奨励される解決策
ラベルのフォーマットが認識されない		
ラベルのフォーマットがプリンタに送信されたが認識されない。DATA(データ)ランプが点滅しない。	通信パラメータが不適切です。	ご使用の接続について、プリンタ ドライバまたはソフトウェアの通信設定を確認します(必要な場合)。 プリンタをデバイスに接続 (14ページ)の手順に従って、プリンタ ドライバを再インストールすることをお勧めします。
ラベルのフォーマットがプリンタに送信されたが認識されない。DATA(データ)ランプが点滅するが、印刷が行われない。	プリンタに設定されているプレフィックス文字とデリミタ文字がラベル フォーマットのこれらの文字と一致していません。	以下の SGD コマンドを使用して、プレフィックスとデリミタ文字を確認します。必要に応じて値を変更します。 <ul style="list-style-type: none"> • ! U1 getvar "zpl.format_prefix" • ! U1 getvar "zpl.delimiter"
	誤ったデータがプリンタに送信されています。	コンピュータの通信設定を確認します。この設定がプリンタの設定に一致することを確認します。 それでも問題が解決しない場合は、ラベル フォーマットを確認します。
	プリンタのエミュレーションがアクティブになっています。	ラベル フォーマットがプリンタの設定と一致することを確認します。
ラベルが正常に印刷されなくなる		
ラベルのフォーマットがプリンタに送信された。ラベルが何枚か印刷されるが、その後、プリンタでラベル上のイメージがスキップされたり、誤った位置に配置されたり、印刷されなかったり、歪んで印刷されたりする。	シリアル通信設定が不適切です。	フロー制御設定が一致することを確認します。 通信ケーブルの長さを確認します。要件については、 通信インターフェースの仕様 (187ページ)を参照してください。 プリンタ ドライバまたはソフトウェアの通信設定を確認します(該当する場合)。

その他の問題

問題	考えられる原因	奨励される解決策
ディスプレイの問題		
コントロール パネルに判読できない言語が表示される	コントロール パネルまたはファームウェア コマンドによって言語パラメータが変更されました。	<p>1. ホーム画面で、[メニュー] (左下のアイコン) をタッチします。</p>  <p>2. 画面の一番上の選択肢をタッチします。</p> <p>3. このメニュー オプションの下の言語選択肢をスクロールします。このパラメータの選択肢は、実際の当該言語で表示されるため、自分の判読できる言語が見つけやすくなっています。</p> <p>4. 選択する言語をタッチして表示します。</p> <p>5. [ホーム] アイコンをタッチしてホーム画面に戻ります。</p>
ディスプレイの文字または文字の一部が欠けている	ディスプレイの交換が必要な可能性があります。	サービス技術者にお問い合わせください。
USB ホスト ポートが USB デバイスを認識しない		
プリンタが USB デバイスを認識していないか、USB ホスト ポートに接続した USB デバイス上のファイルを読み取っていません。	プリンタは、現在、最大 1TB までの USB ドライブしかサポートしていません。	1TB 以下の USB ドライブを使用してください。
	USB デバイスが、専用の外部電源を必要とする可能性があります。	USB デバイスに外部電源が必要な場合は、機能する電源にドライブが差し込まれていることを確認してください。
プリンタ パラメータが予測したとおりに設定されていない		
パラメータの設定変更が反映されていない。 または 一部のパラメータが予期せず変化した。	ファームウェアの設定またはコマンドにより、パラメータの変更機能が妨げられています。	フォーマットをプリンタに送信するために使用しているソフトウェアのラベルのフォーマットまたは設定を確認してください。 必要に応じて、『Programming Guide for ZPL, ZBI, Set - Get - Do, Mirror, and WML』を参照するか、サービス技師にお問い合わせください。マニュアルのコピーは、 zebra.com/manuals で入手できます。
	ラベル フォーマットのコマンドにより、パラメータが以前の設定に戻されています。	
IP アドレスが変更される		

診断とトラブルシューティング

問題	考えられる原因	奨励される解決策
プリンタの電源をしばらくオフになると、その後、プリンタが新しいIPアドレスをプリントサーバーに再割り当てします。	ネットワークの設定が原因で、ネットワークが新しいIPアドレスを再割り当てしています。	<p>プリンタがIPアドレスを変更することで問題が起きる場合は、次の手順に従って、静的IPアドレスを割り当ててください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. プリントサーバー(有線、ワイヤレス、またはその両方)のIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイに割り当てるべき値を確認します。 2. 適切なIPプロトコルの値を[確定]に変更します。 3. 適切なプリントサーバーのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイの値を、固定したい値に変更します。 4. [メニュー] > [接続] > [ネットワーク] > [ネットワークのリセット] の順にタッチしてネットワークをリセットしてから、チェックマークをタッチして変更を保存します。
有線接続または無線接続で接続できない		
プリンタ上で、ワイヤレスIPアドレス、サブネット、およびゲートウェイを手動で入力しましたが、有線ネットワークにもワイヤレスネットワークにも接続できません。	<p>値の変更後に、プリンタのネットワークをリセットする必要があります。</p> <p>ESSID値が指定されていません。</p>	<p>[メニュー] > [接続] > [ネットワーク] > [ネットワークのリセット] の順にタッチしてネットワークをリセットしてから、チェックマークをタッチして変更を保存します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ワイヤレス接続の場合は、以下のSet/Get/Doコマンドを使用して、ワイヤレスルーターで使用する値と一致するESSID値を指定します。 <pre>! U1 setvar "wlan.essid" "value"</pre> <p>ここで、"value"はルーターのESSID(ネットワークSSIDとも呼ばれる)です。ルーターの背面を見ると、ルーターのデフォルト情報を記載したステッカーを確認できます。</p> <p> 注: 情報がデフォルトから変更されている場合は、ネットワーク管理者に使用するESSID値を確認してください。</p> 2. それでもプリンタが接続しない場合は、[メニュー] > [接続] > [ネットワーク] > [ネットワークのリセット] の順にタッチしてネットワークをリセットしてから、チェックマークをタッチして変更を保存し、その後でプリンタの電源を入れ直します。

診断とトラブルシューティング

問題	考えられる原因	奨励される解決策
	ESSID 値または他の値が正しく指定されていません。	<p>1. ネットワーク設定ラベルを印刷して、指定した値が正しいことを確認してください。</p> <p>2. 必要に応じて修正します。</p> <p>3. [メニュー] > [接続] > [ネットワーク] > [ネットワークのリセット] の順にタッチしてネットワークをリセットしてから、チェックマークをタッチして変更を保存します。</p>
キャリブレートの問題		
自動キャリブレートに失敗した	用紙またはリボンが正しくセットされていません。	用紙とリボンが正しくセットされていることを確認します。 リボンのセット (63ページ) と 用紙の装着 (31ページ) を参照してください。
	センサーが用紙またはリボンを検出できませんでした。	プリンタをキャリブレートします。 リボンセンサーと用紙センサーのキャリブレート (119ページ) を参照してください。
	センサーが汚れているか、正しい位置にセットされていません。	センサーがクリーニングされ、適切に配置されていることを確認します。
	用紙タイプの設定が不適切です。	正しい用紙タイプ(ギャップ/切れ込み、連続またはマーク)に合わせてプリンタを設定します。
単票ラベルが連續ラベルとして扱われる。	プリンタが、使用している用紙用にキャリブレートされていません。	プリンタをキャリブレートします。 リボンセンサーと用紙センサーのキャリブレート (119ページ) を参照してください。
	プリンタが連續用紙用に設定されています。	正しい用紙タイプ(ギャップ/切れ込み、連続またはマーク)に合わせてプリンタを設定します。
プリンタがロックされて動かない		
すべてのインジケータランプが点灯して、ディスプレイに何も表示されず、プリンタがロックされて動きません。	内部の電子的傷害またはファームウェアの故障です。	プリンタの電源を入れ直します。問題が解決しない場合は、サービス技術者にお問い合わせください。
起動時にガロックされて動かない。	メインロジックボードの故障です。	

プリンタの修理

本プリンタの使用中に問題が発生した場合は、お客様の使用環境を管理する技術サポートまたはシステムサポートにお問い合わせください。本プリンタに問題がある場合は、当該の技術サポートまたはシステムサポートの担当者が、次のサイト (zebra.com/support) へ問い合わせます。

Zebra グローバル カスタマー サポートに問い合わせる前に、次の情報を収集してください。

- 装置のシリアル番号
- モデル番号または製品名
- ファームウェアのバージョン番号

Zebra では、サービス契約で定められた期間内に電子メール、電話、またはファックスでお問い合わせに対応いたします。Zebra グローバル カスタマー サポートが問題を解決できない場合、修理のため機器をご返送いただくことがあります。その際に詳しい手順をご案内します。

ご使用の製品を Zebra ビジネス パートナーから購入された場合、サポートについては購入先のビジネスパートナーにお問い合わせください。

プリンタの輸送

プリンタを輸送する必要がある場合:

1. プリンタの電源をオフ (O) にして、すべてのケーブルを取り外します。
2. プリンタ内部からすべての用紙、リボン、または固定されていない物を取り外します。
3. 印字ヘッドを閉じます。
4. また、プリンタを元の段ボール箱またはその他の適切な段ボール箱に注意して梱包し、輸送中の損傷を避けるようにしてください。

元の梱包材料がないか、破損してしまった場合は、Zebra から輸送用の段ボール箱を購入できます。



重要: Zebra は、承認済みの梱包箱を使用せずに発生した搬送時の損傷について、その責任を負わないものとします。装置を不適切な方法で搬送すると、保証が無効になる場合があります。

USB ホスト ポートと Print Touch 機能の使用

この演習では、Android™ ベースの NFC 対応デバイス (スマートフォンまたはタブレットなど) での USB ホスト ポートの使用方法と、プリンタの Print Touch 機能の使用方法について説明します。

SGD コマンドの一部は、上級ユーザー向けのこれらの演習の一部として記載されています。

演習に必要なアイテム

ここに記載された演習の実行には、以下のアイテムが必要です。

- 最大 1 テラバイト (TB) の USB フラッシュ ドライブ



注：1 TB を超えるドライブはプリンタで認識されません。

- USB キーボード
- さまざまなファイルが次に一覧表示されます [演習を完了するためのファイル](#) (175ページ)
- スマートフォン用無料 Zebra ユーティリティ アプリ (Google Play ストアで Zebra Technologies を検索)。

演習を完了するためのファイル

これらのセクションの演習を完了するために必要なファイルのほとんどは、[ここ](#)に配置された .ZIP ファイルの形式で、zebra.com から入手できます。これらのファイルをコンピュータにコピーしてから、演習を開始してください。可能な場合は、ファイルの内容が表示されます。コーディングされた内容を含むファイルのコンテンツは、テキストやイメージとして表示できず、下記の図には含まれません。

ファイル 1: ZEBRA.BMP



ファイル 2: SAMPLELABEL.TXT

この簡単なラベルフォーマットを使用すると、ミラーリング演習の最後に、Zebra ロゴとテキスト行が印刷されます。

```
^XA
^FO100,75^XGE:zebra.bmp^FS
^FO100,475^A0N,50,50^FDMirror from USB Completed^FS
^XZ
```

ファイル 3: LOGO.ZPL

ファイル 4: USBSTOREDFILE.ZPL

このラベルフォーマットを使用すると、画像とテキストが印刷されます。このファイルは、印刷できるように、ルート レベルの USB メモリデバイスに保存されます。

```
CT~~CD,~CC^~CT~
^XA~TA012~JSN^LT0^LH0,0^JMA^PR4,4~SD15^LRN^CI0^XZ
~DG000.GRF,07680,024,,[image data]
^XA
^LS0
^SL0
^BY3,3,91^FT35,250^BCN,,Y,N^FC%,{,#^FD%d/%m/%Y^FS
^FT608,325^XG000.GRF,1,1^FS
^FT26,75^A0N,28,28^FH\^FDThis label was printed from a format stored^FS
^FT26,125^A0N,28,28^FH\^FDOn a USB Flash Memory drive. ^FS
^BY3,3,90^FT33,425^BCN,,Y,N
^FD>:Zebra Technologies^FS
^PQ1,0,1,Y^XZ
^XA^ID000.GRF^FS^XZ
```

ファイル 5: VLS_BONKGRF.ZPL

このファイルは、[ここ](#)にある .ZIP ファイルに含まれています。

ファイル 6: VLS_EIFFEL.ZPL

このファイルは、[ここ](#)にある .ZIP ファイルに含まれています。

USB ホスト ポートと Print Touch 機能の使用

ファイル 7: KEYBOARDINPUT.ZPL

このラベル フォーマットは USB キーボード入力の演習に使用され、以下のことを行います。

- リアルタイム クロック (RTC) の設定に基づいて、現在の日付の付いたバーコードを作成します
- Zebra ロゴのグラフィックを印刷します
- 固定テキストを印刷します
- ^FN により、ユーザー名の入力を促すプロンプトが表示され、入力した内容がプリンタで印刷されます

```
^XA
^CI28
^BY2,3,91^FT38,184^BCN,,Y,N^FC%,{,#^FD%d/%m/%Y^FS
^FO385,75^XGE:zebra.bmp^FS
^FT40,70^A0N,28,28^FH\^FDThis label was printed using a keyboard input. ^FS
^FT35,260^A0N,28,28^FH\^FDThis label was printed by:^FS
^FT33,319^A0N,28,28^FN1"Enter Name"^FS
^XZ
```

ファイル 8: SMARTDEVINPUT.ZPL

これは前のラベルと同じラベル フォーマットですが、テキストの印刷だけが異なります。このフォーマットは、スマート デバイスの入力演習に使用します。

```
^XA
^CI28
^BY2,3,91^FT38,184^BCN,,Y,N^FC%,{,#^FD%d/%m/%Y^FS
^FO385,75^XGE:zebra.bmp^FS
^FT40,70^A0N,28,28^FH\^FDThis label was printed using a smart device input.
^FS
^FT35,260^A0N,28,28^FH\^FDThis label was printed by:^FS
^FT33,319^A0N,28,28^FN1"Enter Name"^FS
^XZ
```

ファイル 9: フームウェア ファイル

プリンタのファームウェア ファイルをダウンロードし、演習中に使用するためにコンピュータにコピーすることをお勧めします。この手順は、必要に応じて省略できます。

最新のファームウェア ファイルは、zebra.com/firmware からダウンロードできます。

USB ホスト

プリンタにはフロントパネルに1つまたは2つのUSBホストポートが備わっています。USBホストポートを使用すると、USBデバイス(キーボード、スキャナ、USBフラッシュドライブなど)をプリンタに接続できます。このセクションの演習では、USBミラーの実行方法、ファイルをプリンタへ転送したりプリンタから転送したりする方法、プロンプトで要求された情報を入力し、その情報を使用してラベルを印刷する方法を学習します。



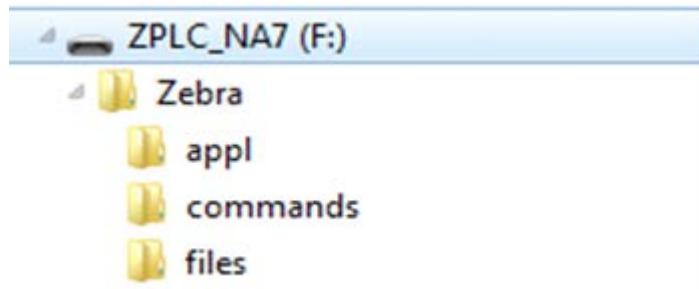
重要: USB ホスト ポートを使用する場合、ファイル名には 1 ~ 16 個の英数字(A, a, B, b, C, c, ..., 0, 1, 2, 3, ...)だけを使用してください。ファイル名には、アジア系の文字、キリル文字、アクセント記号付き文字を使用しないでください。



注: ファイル名にアンダースコアがある場合、一部の機能が正しく動作しない可能性があります。代わりにピリオドを使用してください。

演習 1: ファイルを USB フラッシュ ドライブにコピーし、USB ミラーを実行する

1. USB フラッシュ ドライブで、以下のアイテムを作成します。



- Zebra という名前のフォルダ
- そのファルダ内に3つのサブフォルダ:
 - appl
 - commands
 - files

2. /appl フォルダに、プリンタの最新ファームウェアのコピーを格納します。

3. /files フォルダには、次のファイルを格納します。

ファイル 1: ZEBRA.BMP (175ページ)

4. /commands フォルダには、以下のファイルを格納します。

- ファイル 2: SAMPLELABEL.TXT (175ページ)
- ファイル 3: LOGO.ZPL (175ページ)

5. プリンタ前面の USB ホスト ポートに、USB フラッシュ ドライブを挿入します。

6. コントロール パネルを観察し、待機します。

以下のことが起きるはずです。

- USB フラッシュ ドライブのファームウェアがプリンタのファームウェアと異なる場合は、USB フラッシュ ドライブのファームウェアがプリンタにダウンロードされます。その後、プリンタは再

USB ホストポートと Print Touch 機能の使用

起動し、プリンタ設定ラベルを印刷します(USB フラッシュドライブにファームウェアがない場合やファームウェアのバージョンが同じ場合は、このプリンタ動作はスキップされます)。

- /files フォルダにファイルがダウンロードされ、ディスプレイにダウンロード中のファイル名が短時間表示されます。
- /commands フォルダ内のファイルが実行されます。
- プリンタが再起動して次のメッセージが表示されます。MIRROR PROCESSING FINISHED

7. USB フラッシュドライブをプリンタから取り外します。

上級ユーザー向け情報	
このコマンドの詳細については、『Zebra Programming Guide』を参照してください。	
ミラーリングを有効/無効化するには、次の手順に従います。	! U1 setvar "usb.mirror.enable" "value" 値: "on" または "off"
USB フラッシュドライブの USB ホストポートへの挿入時に発生する自動ミラーリングを有効または無効にするには、次の手順に従います。	! U1 setvar "usb.mirror.auto" "value" 値: "on" または "off"
ミラーリングが失敗した場合にミラーリング操作を繰り返す回数を指定するには、次の手順に従います。	! U1 setvar "usb.mirror.error_retry" "value" 値: 0 ~ 65535
USB デバイス上のミラー ファイル取得位置へのパスを変更するには、次の手順に従います。	! U1 setvar "usb.mirror.appl_path" "new_path" デフォルト: "zebra/app1"
プリンタ上のミラー ファイル取得位置へのパスを変更するには、次の手順に従います。	! U1 setvar "usb.host.lock_out" "value" デフォルト: "zebra"
USB ポートを使用する機能を有効または無効にするには、次の手順に従います。	! U1 setvar "usb.host.lock_out" "value" 値: "on" または "off"

演習 2: USB フラッシュドライブからラベル フォーマットを印刷する

[Print USB File] (USB ファイルを印刷) オプションを使用すると、USB 大容量記憶装置 (USB フラッシュドライブなど) からファイルを印刷できます。USB 大容量記憶装置から印刷できるのは印刷可能ファイル (.ZPL と .XML) のみであり、それらのファイルは、ディレクトリでなく、ルートレベルに位置する必要があります。

1. 以下のファイルを USB フラッシュドライブにコピーします。

- ##### 4: [USBSTOREDFILE.ZPL](#)#175#####
- ##### 5: [VLS_BONKGRF.ZPL](#)#175#####
- ##### 6: [VLS_EIFFEL.ZPL](#)#175#####

2. プリンタ前面の USB ホストポートに、USB フラッシュドライブを挿入します。

USB ホスト ポートと Print Touch 機能の使用

3. [メニュー] > [保管] > [USB] > [Print: From USB] (印刷: USB から) をタップします。



プリンタが実行可能ファイルを読み取って処理します。使用可能なファイルが一覧されます。[すべて選択] を使用すると、USB フラッシュ ドライブ上のすべてのファイルを印刷できます。

4. USBSTOREDFILE.zpl を選択します。
5. ファイルをコピーするには、チェックマークをタッチします。
ラベルが印刷されます。

演習 3: ファイルを USB フラッシュ ドライブにコピーまたは、USB フラッシュ ドライブからコピーする

[USB ファイルをコピー] オプションを使用すると、USB 大容量記憶装置からプリンタのフラッシュメモリ (E: ドライブ) にファイルをコピーできます。

1. 以下のファイルを USB フラッシュ ドライブのルート ディレクトリにコピーします。
 - ##### 7: KEYBOARDINPUT.ZPL#176#####
 - ##### 8: SMARTDEVINPUT.ZPL#176#####



注: これらのファイルは、サブフォルダに入れないのでください。

2. プリンタ前面の USB ホスト ポートに、USB フラッシュ ドライブを挿入します。

USB ホストポートと Print Touch 機能の使用

3. [メニュー] > [ストレージ] > [USB] > [コピー: ファイルからプリンタ] をタップします。



プリンタが実行可能ファイルを読み取って処理します。使用可能なファイルが一覧されます。(必要に応じて、[すべて選択] を使用して、使用可能なすべてのファイルを USB フラッシュ ドライブからコピーできます)。

4. ファイル STOREFMT.ZPL と STOREFMTM1.ZPL を選択します。
5. ファイルをコピーするには、チェックマークをタッチします。
プリンタでは、ファイルが E: メモリに格納されます。
6. USB フラッシュ ドライブを USB ホストポートから取り外します。

これで、[メニュー] > [ストレージ] > [USB] > [コピー: ファイルを USB に] をタップして、プリンタから USB フラッシュ ドライブにこれらのファイルをコピーできます。



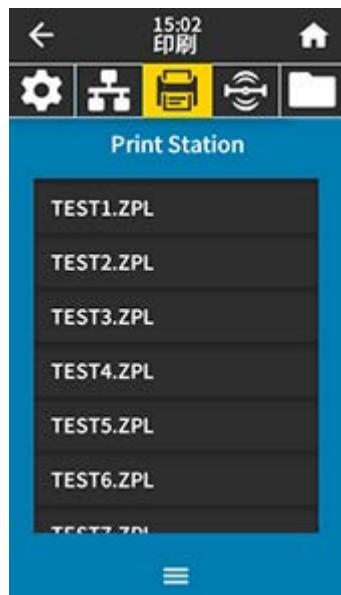
[すべて選択] オプションを使用すると、USB フラッシュ ドライブにプリンタからのすべてのファイルを保存できます。コピーした .ZPL ファイルはすべて後処理され、プリンタに送信して通常どおり実行できるようになります。

演習 4: 保存したファイルに USB キーボードでデータを入力し、ラベルを印刷する

プリントステーション機能を使用すると、USB キーボードやバーコード スキヤナなど、データ入力装置 (HID) を使用して、^FN フィールド データを *.ZPL テンプレート ファイルに入力できます。

1. 演習 3: ファイルを USB フラッシュ ドライブにコピーまたは、USB フラッシュ ドライブからコピーする（179ページ）を実行したら、USB キーボードを USB ホスト ポートに接続します。
2. [メニュー] > [印刷] > [印刷ステーション] をタップします。

プリンタが実行可能ファイルを読み取って処理します。使用可能なファイルが一覧されます。



3. ファイル KEYBOARDINPUT.ZPL を選択します。

プリンタがファイルにアクセスし、ファイルへの ^FN フィールド情報の入力を求めるプロンプトを表示します。この場合、プリンタはユーザー名の入力を求めてきます。

4. キーボードで名前を入力して、<ENTER> を押します。

プリンタは、印刷するラベルの数の入力を求めてきます。

5. ラベル数を指定して、再度 <ENTER> を押します。

指定した数のラベルが、該当するフィールドに名前を表示して印刷されます。

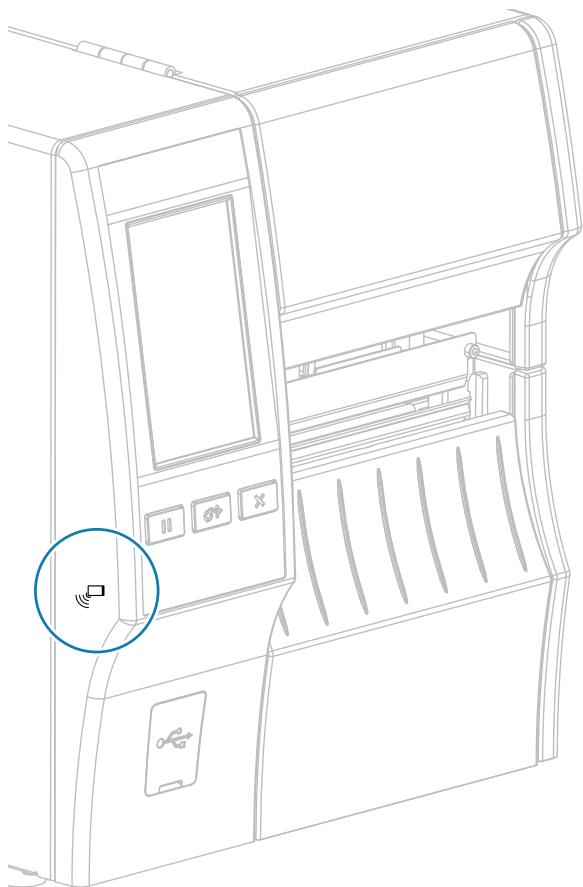
Print Touch/近距離無線通信 (NFC)

Zebra Print Touch 機能を使用すると、Android™ ベースの NFC 対応デバイス（スマート フォンやタブレットなど）をプリンタの NFC ロゴにタッチさせることで、そのデバイスをプリンタにペアリングできます。つまり、デバイスを使用して、求められた情報を入力し、その情報でラベルを印刷することができます。



重要: 一部のデバイスでは、その設定を変更しないと、プリンタとの NFC 通信ができません。問題がある場合は、サービス プロバイダ、またはスマート デバイスのメーカーに詳細を問い合わせてください。

図 12 NFC ロゴの位置



演習 5: 保存したファイルにデバイスでデータを入力し、ラベルを印刷する

この演習の手順は、次の条件によって多少異なる場合があります。

- お使いのデバイス (携帯電話またはタブレット)
- ご使用のサービス プロバイダ
- 無料の Zebra ユーティリティ アプリがデバイスにインストール済みかどうか。

Bluetooth インタフェースを使用するようにプリンタを設定する手順については、『Zebra Bluetooth User Guide』を参照してください。このマニュアルのコピーは、zebra.com/manuals で入手できます。

1. SMARTDEVINPUT.ZPL ファイルをデバイスにコピーします。
2. Zebra ユーティリティ アプリをデバイスにインストールしていない場合は、デバイスのアプリストアに移動し、Zebra Setup Utilities アプリを検索してインストールします。
3. 電話機が NFC をサポートしている場合、デバイスをプリンタ上の  NFC アイコンに近づけて、デバイスとプリンタをペアリングします。それ以外の場合は、デバイスの Bluetooth 設定を使用してペアリングします。
 - a) 必要な場合は、デバイスを使用してプリンタに関する Bluetooth 情報にアクセスします。手順については、デバイスメーカーのマニュアルを参照してください。
 - b) 必要な場合は、Zebra プリンタのシリアル番号を選択して、デバイスとペアリングさせます。
 - c) プリンタがデバイスを検出すると、ペアリングの受入または拒否を求めてくることがあります。必要に応じて、[同意] をタップします。一部のデバイスでは、このプロンプトが表示されなくてもプリンタとペアリングされます。

プリンタとデバイスがペアリングされます。
4. デバイスで Zebra ユーティリティ アプリを起動します。

Zebra ユーティリティ アプリのメイン メニューが表示されます。

5. [使用可能なファイル] をタップします。
- スマート デバイスがプリンタからデータを取得して表示します。



注: この取得プロセスの完了には、1 分以上かかる場合があります。

6. 表示されたフォーマットをスクロールし、SMARTDEVINPUT.ZPL を選択します。
ラベル フォーマットの ^FN フィールドに基づいて、デバイスがユーザー名の入力を求めてきます。
7. プロンプトに名前を入力します。
8. 必要に応じて、印刷するラベル数を変更します。
9. [プリンタへの送信] をタップして、ラベルを印刷します。

仕様

このセクションでは、一般的なプリンタ仕様、印刷仕様、リボン仕様、および用紙仕様をリストします。

一般仕様

		ZT411	ZT421
高さ*		325mm (12.8 インチ)	325mm (12.8 インチ)
幅		272mm (10.7 インチ)	335mm (13.2 インチ)
奥行き		500mm (19.7 インチ)	500mm (19.7 インチ)
重量		16kg (36lb)	18 kg (40 lb)
温度	操作	熱転写: 5 ~ 40°C (40 ~ 105°F) ダイレクトサーマル: 0° ~ 40°C (32 ~ 105°F)	
	ストレージ	-40 ~ 60°C (-40 ~ 140°F)	
相対湿度	操作	20 ~ 85% (結露なきこと)	
	ストレージ	5 ~ 85% (結露なきこと)	
メモリ		256MB RAM (8MB はユーザー使用可能) 512MB フラッシュ (64MB はユーザー使用可能なオンボード フラッシュ)	
 注:		*ベース プリンタ モデルに適用されます。寸法は、オプションの巻き取りの追加など、設定によって異なる場合があります。	

電源仕様

以下は代表値になります。実際の値はユニットごとに異なり、インストールされているオプションやプリンタ設定などの影響を受けます。

	ZT411	ZT421
電気仕様	AC 100 ~ 240V、50 ~ 60Hz	
消費電力	AC 120V、60Hz	
突入電流	< 35A peak8A RMS (半サイクル)	< 40A peak8A RMS (半サイクル)
Energy Star オフ時の電力 (W)	0.08	0.08
Energy Star スリープ時の電力 (W)	4.14	4.14
印刷時の電力 *(W)	98	215
印刷時の電力 *(VA)	108	261
消費電力	AC 230V、50Hz	
突入電流	< 80A peak12A RMS (半サイクル)	< 90A peak15A RMS (半サイクル)
Energy Star オフ時の電力 (W)	0.18	0.18
Energy Star スリープ時の電力 (W)	4.26	4.26
印刷時の電力 *(W)	97	209
印刷時の電力 *(VA)	127	261



注: *一時停止セルフ テストのラベルの印刷は、6ips の速度、4 × 6 インチまたは 6.5 × 4 インチのラベル、10 の濃度、感熱用紙を使用します。

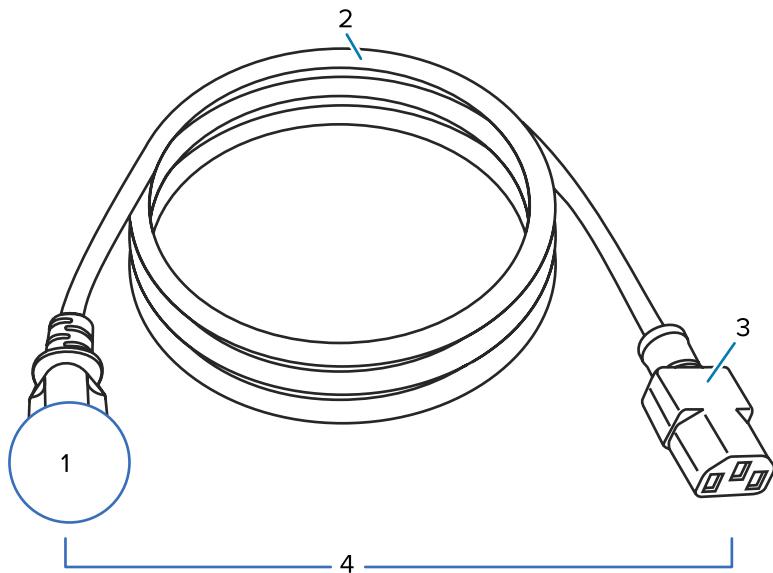
電源コードの仕様

プリンタの注文方法に応じて、電源コードが付属している場合としている場合があります。電源コードが付属していない場合や付属のコードがご使用の要件に適していない場合には、次の情報を参照してください。



注意—製品の損傷: 人体と機器の安全を確保するため、設置する地域や国で使用が認可されている 3 芯の電源コードを必ず使用してください。このコードは IEC 320 メス コネクタを使用し、その地域に適した 3 芯アース付きプラグ構成であることが必要です。

図 13 電源コードの仕様



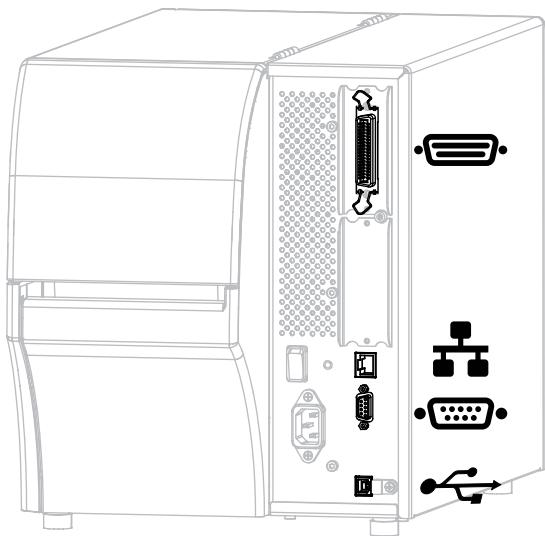
1	使用する国に適した AC 電源プラグ - 次に示す国際安全規格の認定マークのうち、少なくとも 1 つのマークが刻印されている必要があります (図 14 国際安全規格の認証マーク (186ページ) を参照)。安全を確保し、電磁気の干渉を低減するために、シャーシにグラウンド(アース)が接続されていること。
2	使用する国で認定されているケーブル (3 芯 HAR ケーブルなど)。
3	IEC 320 コネクタ - 次に示す国際安全規格の認定マークのうち、少なくとも 1 つのマークが刻印されている必要があります (図 14 国際安全規格の認証マーク (186ページ) を参照)。
4	長さ 3m (9.8 フィート) 以下。定格 10 アンペア、AC 250V。

図 14 国際安全規格の認証マーク



通信インターフェースの仕様

図 15 通信インターフェースの場所



	パラレル ポート		内蔵有線イーサネット プリント サーバー
	シリアル ポート		USB ポート



注: 用途に適したデータケーブルがそれぞれ必要です。ケーブル張力を緩和するクランプの使用をお勧めします。

イーサネットケーブルはシールド不要ですが、他のデータケーブルはすべて、完全にシールドされ、金属または金属で被覆されたコネクタシェルを備えている必要があります。シールドされていないデータケーブルを使用すると、放射妨害波が増大し、規定の制限を超える恐れがあります。

ケーブルの電気ノイズのピックアップを最小限にするには:

- データケーブルをできるだけ短くする。
- データケーブルと電源コードと一緒にきつく束ねない。
- データケーブルを電源ワイヤのコンジットに結び付けない。

標準接続

ZT411/ZT421 プリンタは、さまざまな標準接続をサポートしています。

Bluetooth バージョン 4.1

この機能は、一部のモデルでのみ使用できます。お使いのプリンタにこの機能が搭載されているかどうかを確認するには、用紙セット部内の部品番号ステッカーを確認します。通常、用紙ハンガーの下にあります。

部品番号は次の形式に従います。

####: ZTxxxxxx - XXXXXXXX

部品番号 (xxxxxxx) の末尾の文字列が P の文字で始まる場合、プリンタにこの機能は搭載されていません。

制限および要件	多くのモバイルデバイスは、プリンタから半径 9.1m (30フィート) 以内ならプリンタと通信できます。
---------	--

接続と設定	Bluetooth インタフェースを使用するようにプリンタを設定する手順については、『Zebra Bluetooth User Guide』を参照してください。このマニュアルは、 zebra.com/manuals で入手できます。
-------	---

2つの USB ホストポート

この機能は、一部のモデルでのみ使用できます。お使いのプリンタにこの機能が搭載されているかどうかを確認するには、用紙セット部内の部品番号ステッカーを確認します。通常、用紙ハンガーの下にあります。

部品番号は次の形式に従います。

####: ZTxxxxxx - XXXXXXXX

部品番号 (xxxxxxx) の末尾の文字列が P の文字で始まる場合、プリンタにこの機能は搭載されていません。

制限および要件	プリンタにある 2 つの USB ホストポートには、それぞれ 1 つのデバイスしか接続できません。いずれかのデバイスの USB ポートに接続して 3 台目のデバイスを使用することはできません。また、アダプタを使用してプリンタの USB ホストポートを分割することで、一度に複数のデバイスを接続することもできません。
---------	---

接続と設定	これ以外の設定は不要です。
-------	---------------

Zebra PrintTouch/近距離無線通信 (NFC)

この機能は、一部のモデルでのみ使用できます。お使いのプリンタにこの機能が搭載されているかどうかを確認するには、用紙セット部内の部品番号ステッカーを確認します。通常、用紙ハンガーの下にあります。

部品番号は次の形式に従います。

#####: ZTxxxxxx - XXXXXXXXX

部品番号 (xxxxxxxx) の末尾の文字列が P の文字で始まる場合、プリンタにこの機能は搭載されていません。

制限および要件	NFC 通信は、デバイスをプリンタ上の適切な場所に接触させることで開始する必要があります。
---------	---

接続と設定	一部のデバイスでは、その設定を変更しないと、プリンタとの NFC 通信ができません。
-------	--

USB 2.0 データ インタフェース

制限および要件	最大ケーブル長 5m (16.4 フィート)
---------	------------------------

接続と設定	これ以外の設定は不要です。
-------	---------------

有線 10/100 イーサネット プリント サーバー (内蔵)

この標準の ZebraNet イーサネット オプションは、ネットワーク設定情報をプリンタに保存します。オプションのイーサネット接続は、プリンタ間で共有できるリムーバブルプリントサーバー ボードに設定情報を保存します。

制限および要件	<ul style="list-style-type: none"> • プリンタは LAN を使用するように構成する必要があります。 • 一番下のオプション スロットに 2 つ目の有線プリントサーバーをインストールできます。
---------	---

接続と設定	設定手順については、『ZebraNet 有線プリント サーバーおよびワイレス プリント サーバー ユーザー ガイド』を参照してください。このマニュアルは、 zebra.com/manuals で入手できます。
-------	---

RS-232/C シリアルデータインターフェース

仕様	<ul style="list-style-type: none"> 2400 ~ 115000 ボー パリティ、ビット/文字 7 または 8 データビット XON-XOFF、RTS/CTS、または DTR/DSR ハンドシェイク プロトコルが必要 5V で 750mA (ピン 1 および 9)
制限および要件	<p>標準のモデムケーブルを使用する場合、ヌル モデムケーブルを使用してプリンタまたはヌル モデムアダプタに接続する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 最大ケーブル長 15.24m (50 フィート) ホストコンピュータに合わせて、プリンタのパラメータの変更が必要になる場合があります。
接続と設定	ホストコンピュータに合わせて、ボーレート、データビット数とストップビット数、パリティ、および XON/XOFF または DTR のコントロールを設定する必要があります。

オプションの接続

ZT411/ZT421 プリンタは、これらの接続オプションをサポートしています。

ワイヤレスプリントサーバー

仕様	詳細については、 ワイヤレス仕様 (191ページ) を参照してください。
制限および要件	<ul style="list-style-type: none"> ワイヤレスローカルエリアネットワーク (WLAN) 上の任意のコンピュータから印刷できます。 プリンタの Web ページからプリンタと通信できます。 プリンタは WLAN を使用するように構成する必要があります。 一番上のオプションスロットにのみインストールできます。
接続と設定	設定手順については、『ZebraNet 有線プリントサーバーおよびワイヤレスプリントサーバーアーカイブガイド』を参照してください。このマニュアルのコピーは、 zebra.com/manuals で入手できます。

IEEE 1284 双方向パラレルデータインターフェース

制限および要件	<ul style="list-style-type: none"> 最大ケーブル長 = 3m (10 フィート) 推奨ケーブル長 = 1.83m (6 フィート) ホスト コンピュータに合わせて、プリンタのパラメータを変更する必要はありません。 一番上または一番下のオプションスロットのどちらかにインストールできます。 IEEE 1284 ケーブルが必要です。
接続と設定	これ以外の設定は不要です。

アプリケータインターフェース

要件	DB15F コネクタが必要です。
----	------------------

有線 10/100 イーサネット プリントサーバー(外部)

この ZebraNet イーサネット オプションを使用すると、プリンタ間で共有できるプリントサーバーにネットワーク設定情報をプログラムできます。標準イーサネット接続では、プリンタ自体に設定情報が保存されます。

要件	パラレルデータインターフェース オプションが必要です。
----	-----------------------------

ワイヤレス仕様

アンテナ情報

タイプ	<ul style="list-style-type: none"> チップアンテナ ゲイン 1.69dBi 全方向式アンテナ、ゲイン 2.4GHz で 3dBi、5GHz で 5dBi PCBA アンテナ ゲイン = 900MHz で -30dBi
-----	--

WLAN 仕様

802.11 b	<ul style="list-style-type: none"> • 2.4GHz • DSSS (DBPSK、DQPSK、および CCK) • RF 電力 17.77dBm (EIRP)
802.11 g	<ul style="list-style-type: none"> • 2.4GHz • OFDM (BPSK と QPSK を使用する 16QAM および 64QAM) • RF 電力 18.61dBm (EIRP)
802.11 n	<ul style="list-style-type: none"> • 2.4GHz • OFDM (BPSK と QPSK を使用する 16QAM および 64QAM) • RF 電力 18.62dBm (EIRP)
802.11 a/n	<ul style="list-style-type: none"> • 5.15 ~ 5.25GHz、5.25 ~ 5.35GHz、5.47 ~ 5.725GHz • OFDM (BPSK と QPSK を使用する 16QAM および 64QAM) • RF 電力 17.89dBm (EIRP)
802.11 ac	<ul style="list-style-type: none"> • 5.15 ~ 5.25GHz、5.25 ~ 5.35GHz、5.47 ~ 5.725GHz • OFDM (BPSK と QPSK を使用する 16QAM および 64QAM) • RF 電力 13.39dBm (EIRP)
Bluetooth 4.1 + Low Energy (LE)	<ul style="list-style-type: none"> • 2.4GHz • FHSS (BDR/EDR)、GFSK (Bluetooth Low Energy) • RF 電力 9.22dBm (EIRP)
Bluetooth クラシック + Low Energy (LE)	<ul style="list-style-type: none"> • 2.4GHz • FHSS (BDR/EDR)、DSSS (Bluetooth LE) • RF 電力 9.22dBm (EIRP)
RFID M6e 無線モジュール	<ul style="list-style-type: none"> • 865 ~ 928MHz • FHSS • RF 電力 27.893dBm

印刷仕様

	ZT411	ZT421
印刷解像度	203dpi (ドット/インチ)/8 ドット/mm	203dpi (ドット/インチ) 203 ドット/インチ
	300dpi/12 ドット/mm	300dpi 300 ドット/インチ

仕様

		ZT411	ZT421
		600dpi/24 ドット/mm	N/A
最大印字幅	203dpi	104mm (4.09 インチ)	168mm (6.6 インチ)
	300dpi	104mm (4.09 インチ)	168mm (6.6 インチ)
	600dpi	104mm (4.09 インチ)	N/A
プログラム可能な一定印字速度	203dpi	61mm ~ 356mm (2.4 ~ 14 インチ)/秒、 増分単位は 25.4mm (1 インチ)	61mm ~ 305 mm (2.4 ~ 12 インチ)/秒、 増分単位は 25.4mm (1 インチ)
	300dpi	61mm ~ 254 mm (2.4 ~ 10 インチ)/秒、 増分単位は 25.4mm (1 インチ)	61mm ~ 203 mm (2.4 ~ 10 インチ)/秒、 増分単位は 25.4mm (1 インチ)
	600dpi	38 mm ~ 102 mm (1.5 ~ 4 インチ)/秒、 増 分単位は 25.4mm (1 イ ンチ)	N/A
ドット サイズ (公称) (幅 x 長さ)	203dpi	0.125mm x 0.125mm (0.0049 インチ x 0.0049 インチ)	0.125mm x 0.125mm (0.0049 インチ x 0.0049 インチ)
	300dpi	0.084mm x 0.099mm (0.0033 インチ x 0.0039 インチ)	0.084mm x 0.099mm (0.0033 インチ x 0.0039 インチ)
	600dpi	0.042mm x 0.042mm (0.0016 インチ x 0.0016 インチ)	N/A
最初のドット位置 (用紙の内側の端から 測定)	203dpi	3.5 ±1.25mm (0.14 ± 0.05 インチ)	2.5 ±0.9mm (0.10 ±0.035 インチ)
	300dpi	2.1 ±1.25mm (0.08 ±0.05 インチ)	2.5 ±0.9mm (0.10 ±0.035 インチ)
	600dpi	2.1 ±1.25mm (0.08 ±0.05 インチ)	N/A
バーコード モジュラス (X) 寸法			
ピケット フェンス (非回転状) 方向	203dpi	4.9mil ~ 49mil	5mil ~ 50mil
	300dpi	3.3mil ~ 33mil	3.3mil ~ 33mil
	600dpi	1.6mil ~ 16mil	N/A
ラダー (回転状) 方向	203dpi	4.9mil ~ 49mil	5mil ~ 50mil
	300dpi	3.9mil ~ 39mil	3.9mil ~ 39mil

仕様

	ZT411	ZT421
600dpi	1.6mil ~ 16mil	N/A
縦方向のレジストレーション	すべての印刷速度および dpi	±1.0mm

用紙仕様

		ZT411	ZT421
ラベル長	最小	RFID 非対応	
		切り取り	12.7mm (0.5 インチ)
		剥離	12.7mm (0.5 インチ)
		巻き取り	12.7mm (0.5 インチ)
		カッター	25.4mm (1.0 インチ)
	RFID	トランスポンダのタイプごとに異なる	
最大	200 または 300dpi	991mm (39 インチ)	991mm (39 インチ)
	600dpi	508mm (20 インチ)	N/A
最大連続用紙印字長	200dpi	3988mm (157 インチ)	2590mm (102 インチ)
	300dpi	1854mm (73 インチ)	1143mm (45 インチ)
	600dpi	991mm (39 インチ)	N/A
ラベル幅	最小	RFID 非対応	25.4mm (1.0 インチ)
		RFID	トランスポンダのタイプごとに異なる
	最大	切り取り/カッター	114mm (4.5 インチ)
		剥離/巻き取り	108mm (4.25 インチ)
厚さ合計 (ある場合はライナーを含む)	最小	0.058mm (0.0023 インチ)	0.058mm (0.0023 インチ)
	最大	0.25mm (0.010 インチ)	
最大ロール外径		203mm (8 インチ) -- 芯の内径 76mm (3 インチ)	

仕様

		ZT411	ZT421
ラベルの間隔	最小	2mm (0.079 インチ)	
	優先	3mm (0.118 インチ)	
	最大	4mm (0.157 インチ)	
チケット/タグの切れ込みサイズ (幅 x 長さ)		6mm x 3mm (0.25 インチ x 0.12 インチ)	
穴直径		3.18mm (0.125 インチ)	
切れ込みまたは穴の位置 (内側の用紙端から中央に)	最小	3.8mm (0.15 インチ)	
	最大	57mm (2.25 インチ)	90mm (3.5 インチ)
濃度、光学濃度計 (ODU) (黒マーク)		> 1.0 ODU	
最大用紙印字濃度		≤ 0.5 ODU	
透過式用紙センサー (固定位置)		内側の端から 11mm (7/16 インチ) の位置	

リボン仕様

標準プリンタでは、外側がコーティングされたリボンを使用します。オプションのリボンスピンドルは、内側がコーティングされたリボンを使用する場合に利用できます。注文情報については、Zebra 公認の代理店にお問合せください。

	ZT411	ZT421
最小リボン幅*	2 インチ** (51mm**)	2 インチ** (51mm**)
最大リボン幅	4.33 インチ (110mm)	6.85 インチ (174mm)
最大リボン長	1476 ft (450m)	
リボン巻芯の内径	25mm (1 インチ)	
最大リボン ロール外径	3.2 インチ (81.3mm)	



注:

* Zebra は、印字ヘッドの磨耗を防ぐために、用紙より幅の広いリボンを使用することを奨励します。

** 使用するアプリケーションによっては、使用する用紙よりもリボンの幅が広い場合に限り、51mm (2 インチ) よりも狭いリボンを使用できる場合があります。狭いリボンを使用する際は、用紙と合わせてリボンのパフォーマンスをテストして、希望の結果が得られることを確認してください。

用語集

英数字

文字、数字、または句読点などの文字を示します。

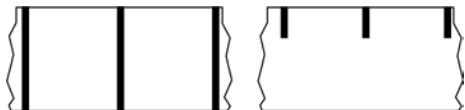
バックフィード

プリンタが用紙とリボン(使用されている場合)をプリンタの後方に引っ張ること。これにより、印刷するラベルの先頭が、印字ヘッドの後ろに正しく配置されます。バックフィードは、プリンタを切り取りモードおよびアプリケータモードで稼働しているときに行われます。

バーコード

太さの異なる線を縞模様状に組み合わせることによって英数字を表現するコード。統一商品コード(UPC : universal product code)またはコード39など、様々なコード体系があります。

黒マーク用紙



印刷用紙の裏面にある登録マーク付きの用紙で、プリンタのラベルの開始位置を示します。反射式用紙センサーは通常、黒マーク用紙で一般的に選択されるオプションです。

これは、[連続用紙](#)(197ページ)または[ギャップ/切れ込み用紙](#)(199ページ)と対称的です。

キャリブレート(プリンタ)

プリンタが特定の[用紙](#)(200ページ)と[リボン](#)(203ページ)の組み合わせにより正確に印刷するためには必要な基本情報を判別するプロセス。この情報を判別するため、プリンタは、用紙とリボン(使用されている場合)をプリンタにフィードして、[ダイレクトサーマル](#)(198ページ)または[熱転写](#)(204ページ)のいずれの印刷方式を使用するかを検出し、[単票用紙](#)(201ページ)を使用している場合は個々のラベルまたはタグの長さを検出します。

コレクション方式

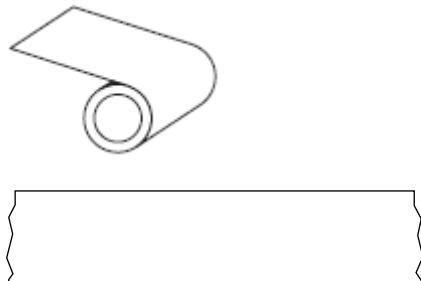
ご使用のプリンタオプションに対応する用紙コレクション方式を選択します。選択肢には、切り取り、剥離、カッター、および巻き取りがあります。基本的な用紙とリボンの装着の手順はすべてのコレクション方式の場合と同じですが、用紙コレクションオプションを使用する際に必要な追加手順がいくつかあります。

構成

プリンタ設定は、プリンタアプリケーション固有の稼働パラメータのグループです。パラメータには、ユーザーが選択できるものや、インストールされているオプションや稼働モードに依存するものがあります。パラメータは、スイッチ選択可能、コントロールパネルでのプログラム可能、またはZPL IIコマンドとしてダウンロード可能です。現在のプリンタパラメータをすべて一覧する設定ラベルを、参照用に印刷できます。

連続用紙

ラベルまたはタグストック用紙には、ラベル分離位置を示すギャップ、穴、切れ込み、黒マークはありません。この用紙は、ロール状に巻かれた1つの長い素材です。このため、イメージをラベル上の任意の場所に印刷できます。個々のラベルまたはレシートの切り離しにカッターを使用することができます。



通常、透過型(ギャップ)センサーは、用紙が切れたときにプリンタが検出するために使用されます。これは、[黒マーク用紙](#)(196ページ)または[ギャップ/切れ込み用紙](#)(199ページ)と対称的です。

コア直径

用紙またはリボンのロールの中心にある厚紙の巻き芯の内径。

診断

プリンタの問題のトラブルシューティングに使用される、機能していないのはどの機能かについての情報。

ダイカット用紙

個々のラベルが用紙ライナーに付いているラベルストックのタイプ。個々のラベルは、ぴったり一列か、少し間を開けて配置されています。通常、ラベルの周りの部分は除かれています。[\(単票用紙\)](#)(201ページ)を参照。

ダイレクト サーマル

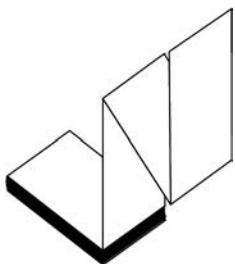
印字ヘッドが用紙に直接触れる印刷方式。印字ヘッド部が熱くなると、用紙の感熱コーティングが変色します。用紙が通過するときに印字ヘッド部を選択的に熱することで、イメージが用紙に印刷されます。この印刷方式では、リボンは使用しません。

[熱転写](#) (204ページ) と対比してください。

感熱用紙

印字ヘッドから直接受ける熱に反応する物質でコーティングされている用紙。

折り畳み用紙



四角形に折り畳まれて、ジグザグに折り畳まれた単票用紙。折り畳み用紙は、[ギャップ/切れ込み用紙](#) (199ページ) または[黒マーク用紙](#) (196ページ) のいずれかです。つまり、黒マークまたは切れ込みを使用して、用紙フォーマットの位置をトラッキングします。

折り畳み用紙は、単票ロール用紙と同様、ラベル分離位置があります。分離位置は折り目または折り目付近になります。

[ロール用紙](#) (203ページ) と対比してください。

ファームウェア

これは、プリンタの稼働プログラムを指定するときに使用される用語です。このプログラムは、ホストコンピュータからプリンタにダウンロードされ、[フラッシュメモリ](#) (198ページ) に保存されます。プリンタの電源が入れられるたびに、この稼働プログラムが起動します。このプログラムは、[用紙](#) (200ページ) をいつ前後にフィードするか、およびドットをいつラベルストックに印刷するかを制御します。

フラッシュメモリ

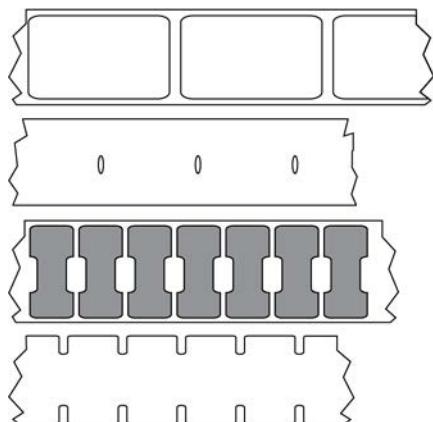
電源が切られても格納されている情報を保持する[非揮発性メモリ](#)。このメモリ領域は、プリンタの稼働プログラムを保存するために使用されます。また、オプションのプリンタフォント、グラフィックフォーマット、および完全なラベルフォーマットを保存するためにも使用できます。

フォント

[英数字](#) (196ページ) 文字を表示したり印刷したりする際の書体。たとえば、CG Timesa™、CG Triumvirate Bold Condensed™などです。

ギャップ/切れ込み用紙

1つのラベル/印刷フォーマットが終了し、次が開始する位置を示す区切り、切れ込み、穴がある用紙。



これは、[黒マーク用紙](#)（196ページ）または[連続用紙](#)（197ページ）と対称的です。

ips (1秒あたりのインチ数)

ラベルまたはタグが印刷される速度。多くのZebraプリンタは、1ipsから14ipsで印刷できます。

ラベル

裏面粘着式の紙やプラスチックなどの素材でできていて、情報が印刷されているもの。単票ラベルには、連続ラベルやレシートとは異なり、定義された長さがあります。

ラベル台紙（ライナー）

製造時にラベルを貼り付けている台紙で、使用時に破棄またはリサイクルされます。

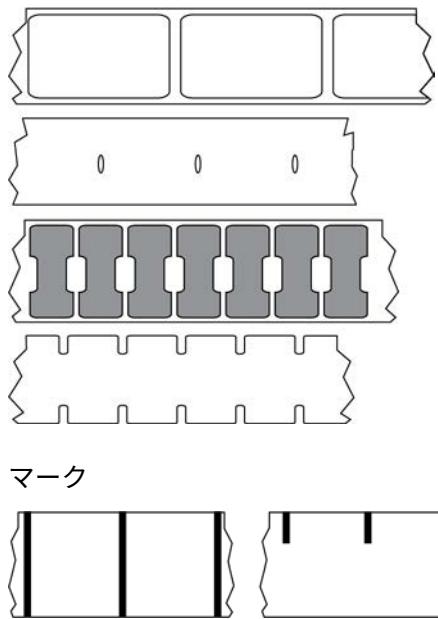
ラベルタイプ

プリンタは以下のラベルタイプを認識します。

連続



ギャップ/切れ込み



LED (発光ダイオード)

特定のプリンタステータス状況を示すインジケータ。各 LED は、監視している機能により、消滅、点灯、点滅します。

台紙なし用紙

台紙なし用紙は、ロール上のラベルの層が互いにくっつかないように保つための台紙を使用しません。台紙なし用紙はテープのロールのように巻かれ、1つの層の粘着面が、その下の層の非粘着面と接触しています。個々のラベルはミシン目で切り離したり、切断したりできます。台紙がないため、1本のロールに収まるラベル数が多くなり、用紙を頻繁に取り換える必要を減らします。台紙なし用紙は台紙が無駄にならないため環境にやさしいオプションと考えられ、ラベル1枚あたりのコストを標準的なラベルよりも大幅に抑えることができます。

LCD (液晶ディスプレイ)

通常稼働時には稼働状態を表示し、プリンタを特定のアプリケーションに設定する時にはオプションメニューを表示するバックライトディスプレイです。

マーク用紙

[黒マーク用紙（196ページ）](#) を参照してください。

用紙

プリンタがデータを印刷する素材。用紙のタイプには、タグ ストック、ダイカット ラベル、連続ラベル(用紙ライナーのあるものとないもの)、単票用紙、折り畳み用紙、ロール用紙があります。

用紙センサー

印字ヘッドの後ろにあり、用紙の存在を検出します。また、[単票用紙](#)（201ページ）の場合、各ラベルの開始位置を示すために使用されるウェブ、穴、または切れ込みの位置を検出します。

用紙サプライ ハンガー

用紙ロールをサポートする固定アーム。

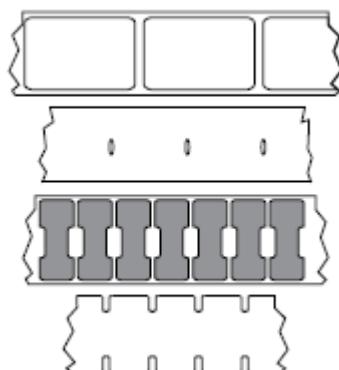
単票用紙

1つのラベル/印刷フォーマットが終了し、次が開始する位置を示すインジケータがある用紙。単票用紙のタイプには、[ギャップ/切れ込み用紙](#)（199ページ）および[黒マーク用紙](#)（196ページ）があります。[（連続用紙）](#)（197ページ）と対比してください。）

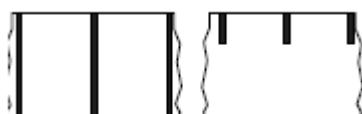
単票ロール用紙は、通常、ライナーに粘着性のある裏紙が貼られたラベルの形で印刷されます。タグ（またはチケット）はミシン目で区切られています。

個々のラベルやタグは、以下のいずれか1つ、または複数の方法を使用してトラッキングおよび位置制御がなされています。

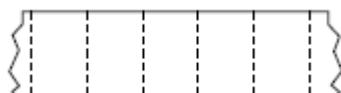
- ・ ウェブ用紙は、ラベルがギャップ、穴、または切れ込みで区切られています。



- ・ 黒マーク用紙には、用紙裏面にあらかじめ黒マークが印刷され、ラベルの分離位置を示しています。



- ・ ミシン目入り用紙には、位置制御用のマーク、切れ込み、ラベルギャップとともに、ラベルやタグを簡単に切り離せる穴があります。



非揮発性メモリ

プリンタの電源を切った後でもデータを保持する電子メモリ。

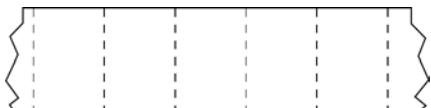
切り込み用紙

ラベルの開始位置を示すインジケータとしてプリンタにより検知される切り込み領域のあるタイプのタグストック。通常、次のタグから切り離されたり破られたりするもので、厚紙のような重い素材が使用されます。[ギャップ/切れ込み用紙](#)（199ページ）を参照してください。

剥離モード

プリンタが印刷されたラベルを台紙から剥がし、別のラベルの印刷前にユーザーが取り除くことができるようとする操作モード。印刷はラベルが取り除かれるまで一時停止します。

ミシン目入り用紙



ラベルやタグを簡単に切り離せるミシン目入り用紙。黒マークなど、ラベルやタグの分離位置を示すマークなども付いていることがあります。

印字速度

印刷の速度。熱転写プリンタの場合、この速度は[ips\(1秒あたりのインチ数\)](#)（199ページ）で表されます。

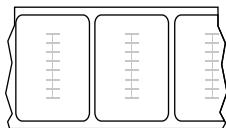
印刷タイプ

印刷タイプは、使用している[用紙](#)（200ページ）のタイプが印刷時に[リボン](#)（203ページ）を必要とするかどうかを指定します。[熱転写](#)（204ページ）用紙にはリボンが必要ですが、[ダイレクトサーマル](#)（198ページ）用紙には必要ありません。

印字ヘッドの磨耗

印字ヘッドまたはプリント要素、あるいはその両方の表面の経年による劣化。熱および磨耗により、印字ヘッドは劣化します。したがって、印字ヘッドの寿命を最大にするには、良質の印刷に必要な最低限の印字濃度設定（焼け温度またはヘッド温度とも呼ばれます）と印字ヘッド圧力を使用します。[熱転写](#)（204ページ）印刷方式の場合、用紙と同じ幅、または用紙より広い幅の[リボン](#)（203ページ）を使用して、でこぼこの用紙表面から印字ヘッドを保護します。

RFID (無線自動識別) 「スマート」用紙



RFID ラベルごとに、ラベルとライナーの間に、チップとアンテナで構成された RFID トランスポンダ（「インレイ」とも呼ばれる）が埋め込まれています。トランスポンダの形状は、メーカーによって異なり、ラベルの上から透けて見えます。すべての「スマート」ラベルに読み取り可能なメモリが備わっており、その多くがエンコード可能なメモリです。

RFID 用紙は、RFID リーダー/エンコーダ搭載のプリンタで使用できます。RFID ラベルは、非 RFID ラベルと同じ材料と接着剤を使用しています。

レシート

レシートは可変長の印刷です。小売店にレシートの一例があります。各購入品目はプリントアウト上で個々のラインを占めます。したがって、購入品目数が増えるほどレシートは長くなります。

登録

ラベルまたはタグの上部（垂直方向）または両端（水平方向）に対して印刷の位置を合わせること。

リボン

リボンとは、[熱転写](#)処理の際に用紙に転写されるワックス、レジン、またはワックス レジン（通称「インク」）で片面がコーティングされた薄いフィルムです。インクは、印字ヘッド内の小さな部品によって熱が加えられると用紙に転写されます。

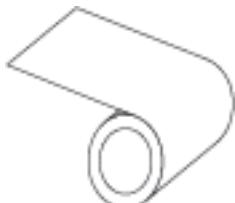
リボンは熱転写印刷方式専用です。[感熱用紙](#)ではリボンを使用しません。リボンを使用する場合、使用的する用紙の幅より広いリボンを使用する必要があります。リボンの幅が用紙の幅よりも狭いと、印字ヘッドの領域が保護されず、印字ヘッドの寿命を縮めるおそれがあります。Zebra リボンは、印字ヘッドの磨耗を防ぐため裏面がコーティングしております。

リボンのシワ

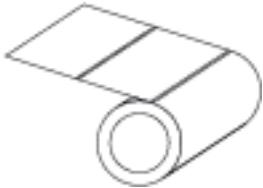
不適切な位置調整、または不適切な印字圧力によって生じるリボンのシワ。このシワにより、印刷または使用リボン、あるいはその両方に隙間が生じて、正しく巻き取られない原因となります。このような場合、位置調整手順に従い修正してください。

ロール用紙

芯（通常、厚紙）に巻かれた状態で提供される用紙。連続用紙（ラベル間の区切りなし）の場合



または単票用紙（ラベル間にいずれかのタイプの区切りがある）の場合があります。



[折り畳み用紙](#)（198ページ）と対比してください。

消耗品

用紙およびリボンに使用する一般的な用語。

シンボル コード体系

バーコードに言及するときに通常使用される用語。

タグ ストック

裏面粘着式ではないが、タグを何かに掛けるときに使用できる穴や切れ込みがあるタイプの用紙。タグは通常、厚紙などの耐久性のある素材で作られています。通常、タグ間にミシン目が入っています。タグストックは、ロール状の用紙または折り畳まれた用紙です（[ギャップ/切れ込み用紙](#)（199ページ）を参照）。

切り取りモード

ユーザーが手作業でラベルやタグ ストックを残りの用紙から切り取るときの操作モード。

熱転写

印字ヘッドが、インクまたは樹脂でコーティングされたリボンを用紙に押し付ける印刷方式。印字ヘッド部に熱を加えることで、インクまたは樹脂が用紙に移染します。用紙およびリボンが通過するときに印字ヘッド部を選択して熱することで、イメージが用紙に印刷されます。

[ダイレクト サーマル](#)（198ページ）と対比してください。

空白

印刷の対象ではあるが、リボンのシワやプリント部品の損傷などのエラー状況により印刷されない領域。空白があると、印刷バーコード シンボルが正しく読み込まれなかったり、まったく読み込まれないことがあります。

